

柏北部東地区 埋蔵文化財発掘調査報告書 1

— 柏市大松遺跡 —
旧石器時代編

平成 20 年 1 月

独立行政法人 都市再生機構

財団法人 千葉県教育振興財団

柏北部東地区 埋蔵文化財発掘調査報告書 1

かしわ おおまつ
— 柏市大松遺跡 —
旧石器時代編

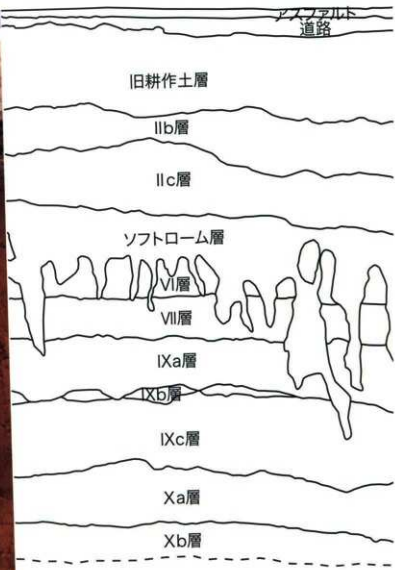




第1文化層接合資料



基本層序 (CC23-28グリッド北西)



序 文

財団法人千葉県教育振興財団（文化財センター）は、埋蔵文化財の調査研究、文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和 49 年に設立されて以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび、千葉県教育振興財団調査報告第 589 集として、独立行政法人都市再生機構の柏北部地区土地区画整理事業に伴って実施した柏市大松遺跡（旧石器時代編）の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では、旧石器時代の多量の石器群が検出され、当時の石器製作技術や石器石材の産出地との関係を知る上で貴重な成果が得られています。

刊行に当たり、この報告書が学術資料として、また郷土研究の資料として広く活用されることを願っております。

終わりに、調査に際し御指導、御協力をいただきました地元の方々をはじめとする関係の皆様や関係諸機関、また、発掘から整理まで御苦勞をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成 20 年 1 月

財団法人 千葉県教育振興財団
理 事 長 福 島 義 弘

凡 例

1. 本書は、独立行政法人都市再生機構による柏北部東地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書の第1集である。
2. 本書に収録した遺跡は、千葉県柏市小青田字大松274-1ほかに所在する大松遺跡（遺跡コード217-031）である。
3. 発掘調査から報告書作成に至る業務は、独立行政法人都市再生機構の委託を受け、財団法人千葉県教育振興財団（平成17年9月1日付けで財団法人千葉県文化財センターから名称変更）が実施した。
4. 発掘調査及び整理事業の組織、担当者及び実施期間は第1章第1節に記載した。
5. 本書の執筆は調査研究部整理課長郷田良一・高田博の指導のもとに、上席研究員落合章雄が執筆・編集した。
6. 本書で使用した地形図は下記のとおりである。
第1図 国土地理院刊行 数値地図25,000「流山」(NI-54-25-1-2)
第7図 地図資料編纂会編 明治前期 関東平野地誌図集成「流山」、「守谷」 柏書房
第8図 国土地理院刊行 数値地図25,000「流山」(NI-54-25-1-2)、「守谷」(NI-54-25-1-1)
7. 本書で使用した周辺地形空中写真は下記のとおりである。
図版1 京葉測量株式会社 千葉全県航空写真データ「柏市小山台地区」 昭和55年2月10日撮影
8. 本書で使用した図面の座標は、日本測地系の公共座標に基づく。また方位は、一部を除き座標北で作成してある。
9. 本書中の出土状況図で用いた記号の意味については、図中において例示した。
10. 本書では出土した石器を平面分布上の観点から「ブロック」として括った。各ブロックについて、「出土分布図」「垂直分布図」「垂直ヒストグラム」「石器実測図」「石器組成表」「石器一覧表」「石器出土状況写真」「出土石器写真」を作成した。

出土分布図 縮尺80分の1を基本とし、機種別、石材別の2種類を作成した。

垂直分布図 縮尺80分の1を基本とし、機種別分布図に付随して作成した。よって記号の種類は機種別分布図に使用したものと同一である。土層柱状図については不明瞭な点が多く認められたため掲載を控えた。

垂直ヒストグラム 石器の出土点数を5cm単位で集計し、グラフとして表している。左側にはCC23-28グリッドの土層柱状図を基に作成した模式図を掲載した。グラフと土層模式図の標高は、各ブロックの位置する地表面の標高と、立川ローム層VI層の標高を基に合わせている。

石器実測図 縮尺5分の4を基本としているが、大型の石器、接合資料の接合状況図については2分の1とした。各実測図にはスケールを配している。番号はブロック毎に1からナンバリングしているが、接合資料についてはブロック間接合の認められる個体が存在するため、接合資料毎にナンバリングしている。器種名と石材を表記してあるが、以下のように記号化している。

器種

槍先形尖頭器：Po、ナイフ形石器：Kn、角錐状石器：Kp、調整痕のある剥片：RFI、使用痕のある

剥片：UF1、剥片：F1、碎片：Ch、石核：Co、敲石：Hs、礫片：PF

石材

黒曜石：Ob、玉髓：Cc、珪質頁岩：Ss、頁岩：Sh、流紋岩：Rh、安山岩：An、ガラス質黒色安山岩：Ga、安山岩（トトロ石）：To、チャート：Ch、凝灰岩：Tu

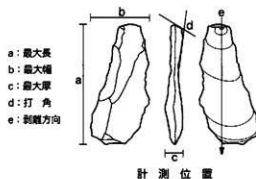
石器組成表 横項目を器種、縦項目を石材として点数、重量について集計した。セルの上段が点数、下段が重量である。また縦横合計と共に組成比の項目をパーセント表示にて明記している。二重線以下は、接合資料の組成を属するブロックに分け点数と重量で表記したものである。

石器一覧表 ブロック単位でまとめた。各ブロック内の並

びはグリッド、遺物番号による。実測図を掲載した石器については、挿図番号（第〇〇図）を付した。器種名、石材については、編集の関係上、上記の記号化したものを使用した。石器の計測は右図に準じて行った。

出土状況写真 調査時における出土状況写真を掲載した。

出土石器写真 実測図を掲載した石器について全て掲載した。



11. 本書に収録した遺物および記録類は、当財団で保管している。
12. 発掘調査から報告書の刊行に至るまで、下記の諸機関から多くのご指導、ご協力をいただいた。

千葉県教育庁教育振興部文化財課、柏市教育委員会、独立行政法人都市再生機構

本文目次

第1章	はじめに	
第1節	調査の概要	1
1.	調査の経緯と経過	1
2.	調査の方法	7
第2節	遺跡の位置と環境	8
1.	遺跡の位置	8
2.	周辺の遺跡	8
第2章	検出した遺構と遺物	
第1節	立川ローム層と文化層	17
第2節	第1文化層	
1.	第1ブロック	24
2.	第2ブロック	24
3.	第3ブロック	29
4.	第4ブロック	29
5.	第5ブロック	33
6.	第6ブロック	33
7.	第7ブロック	38
8.	第8ブロック	42
9.	第9ブロック	57
10.	第10ブロック	60
11.	第11ブロック	60
12.	第12ブロック	67
13.	第13ブロック	73
14.	第14ブロック	73
15.	第15ブロック	76
16.	第16ブロック	79
17.	第17ブロック	79
18.	第18ブロック	82
19.	第19ブロック	87
20.	第20ブロック	90
21.	接合資料	90
第3節	第2文化層	
1.	第21ブロック	217
第4節	その他の遺物	220
第3章	まとめ	223

挿 図 目 次

第1図 柏北部東地区事業範囲と遺跡範囲……………2	第34図 第7ブロック出土石器(4)……………46
第2図 周辺地形と遺跡範囲……………3	第35図 第7ブロック出土石器(5)……………47
第3図 調査次別範囲……………4	第36図 第7ブロック出土石器(6)……………48
第4図 確認調査グリッドと本調査範囲……………5	第37図 第8ブロック器種別分布……………49
第5図 柏北部東地区大グリッド配置……………6	第38図 第8ブロック石材別分布……………50
第6図 小グリッド呼称……………7	第39図 第8ブロック出土石器(1)……………51
第7図 周辺地形と水系……………9	第40図 第8ブロック出土石器(2)……………52
第8図 周辺遺跡分布……………10	第41図 第8ブロック出土石器(3)……………53
第9図 基本層序……………17	第42図 第9ブロック器種別・石材別分布……………54
第10図 遺構分布……………18	第43図 第9ブロック出土石器……………55
第11図 第1文化層遺構分布……………19	第44図 第10ブロック器種別分布……………56
第12図 第1ブロック 器種別・石材別分布……………20	第45図 第10ブロック石材別分布……………57
第13図 第1ブロック出土石器……………21	第46図 第10ブロック出土石器……………58
第14図 第2ブロック 器種別・石材別分布……………22	第47図 第11ブロック 器種別・石材別分布……………59
第15図 第2ブロック出土遺物……………23	第48図 第11ブロック出土石器……………60
第16図 第3ブロック器種別分布……………25	第49図 第12ブロック 器種別・石材別分布……………61
第17図 第3ブロック石材別分布……………26	第50図 第12ブロック出土石器……………62
第18図 第3ブロック出土石器(1)……………27	第51図 第13ブロック器種別分布……………63
第19図 第3ブロック出土石器(2)……………28	第52図 第13ブロック石材別分布……………64
第20図 第4ブロック器種別分布……………30	第53図 第13ブロック出土石器……………64
第21図 第4ブロック石材別分布……………31	第54図 第14・15・16・17ブロック 器種別分布……………65
第22図 第4ブロック出土石器……………32	第55図 第14・15・16・17ブロック 石材別分布……………66
第23図 第5ブロック器種別分布……………34	第56図 第14ブロック出土石器……………68
第24図 第5ブロック石材別分布……………35	第57図 第15ブロック出土石器(1)……………69
第25図 第5ブロック出土石器……………36	第58図 第15ブロック出土石器(2)……………70
第26図 第6ブロック器種別分布……………37	第59図 第15ブロック出土石器(3)……………71
第27図 第6ブロック石材別分布……………38	第60図 第15ブロック出土石器(4)……………72
第28図 第6ブロック出土石器……………39	第61図 第16ブロック出土石器……………74
第29図 第7ブロック器種別分布……………40	第62図 第17ブロック出土石器(1)……………75
第30図 第7ブロック石材別分布……………41	第63図 第17ブロック出土石器(2)……………77
第31図 第7ブロック出土石器(1)……………43	第64図 第14・15・16・17ブロック
第32図 第7ブロック出土石器(2)……………44	
第33図 第7ブロック出土石器(3)……………45	

	石器形状比グラフ	78	第98図	黒曜石07接合関係	115
第65図	第18・19・20ブロック 器種別分布	80	第99図	黒曜石07(1)	116
第66図	第18・19・20ブロック 石材別分布	81	第100図	黒曜石07(2)	117
第67図	第18ブロック出土石器(1)	83	第101図	黒曜石08接合状態	118
第68図	第18ブロック出土石器(2)	84	第102図	黒曜石08接合関係	119
第69図	第18ブロック出土石器(3)	85	第103図	黒曜石08	120
第70図	第18ブロック出土石器(4)	86	第104図	黒曜石09接合状態	121
第71図	第19ブロック出土石器	87	第105図	黒曜石09接合関係	122
第72図	第20ブロック出土石器	88	第106図	黒曜石09(1)	123
第73図	第18・19・20ブロック 石器形状比グラフ	89	第107図	黒曜石09(2)	124
第74図	第1文化層接合状況	91	第108図	黒曜石10接合状態	125
第75図	黒曜石01接合状態	92	第109図	黒曜石10接合関係	126
第76図	黒曜石01接合関係	93	第110図	黒曜石11～31接合関係	127
第77図	黒曜石01(1)	94	第111図	黒曜石11・12	128
第78図	黒曜石01(2)	95	第112図	黒曜石13	129
第79図	黒曜石01(3)	96	第113図	黒曜石14(1)	130
第80図	黒曜石02接合状態	97	第114図	黒曜石14(2)・15(1)	131
第81図	黒曜石02接合関係	98	第115図	黒曜石15(2)	132
第82図	黒曜石02	99	第116図	黒曜石16・17・18	134
第83図	黒曜石03接合状態	100	第117図	黒曜石19・20・21(1)	135
第84図	黒曜石03接合関係	101	第118図	黒曜石21(2)・22・23	136
第85図	黒曜石03(1)	102	第119図	黒曜石24(1)	138
第86図	黒曜石03(2)	103	第120図	黒曜石24(2)・25	139
第87図	黒曜石04接合状態	104	第121図	黒曜石26・27	140
第88図	黒曜石04接合関係	105	第122図	黒曜石28	142
第89図	黒曜石04	106	第123図	黒曜石29・30	143
第90図	黒曜石05接合状態	107	第124図	黒曜石31	144
第91図	黒曜石05接合関係	108	第125図	玉髓01接合状態	146
第92図	黒曜石05	109	第126図	玉髓01接合関係	147
第93図	黒曜石06接合状態	110	第127図	玉髓01(1)	148
第94図	黒曜石06接合関係	111	第128図	玉髓01(2)	149
第95図	黒曜石06(1)	112	第129図	玉髓02接合状態	150
第96図	黒曜石06(2)	113	第130図	玉髓02接合関係	151
第97図	黒曜石07接合状態	114	第131図	玉髓02(1)	152
			第132図	玉髓02(2)	153
			第133図	玉髓03接合状態	154
			第134図	玉髓03接合関係	155

第135図	玉髓03(1)	156	第160図	頁岩04接合状態	182
第136図	玉髓03(2)	157	第161図	頁岩04接合関係	183
第137図	玉髓04接合状態	158	第162図	頁岩04(1)	184
第138図	玉髓04接合関係	159	第163図	頁岩04(2)	185
第139図	玉髓04	160	第164図	頁岩05接合状態	186
第140図	玉髓05~11接合関係	161	第165図	頁岩05接合関係	187
第141図	玉髓05・06・07	162	第166図	頁岩05	188
第142図	玉髓08・09・10(1)	163	第167図	頁岩06接合状態	189
第143図	玉髓10(2)・11	164	第168図	頁岩06接合関係	190
第144図	珩質頁岩接合関係	166	第169図	頁岩06	191
第145図	珩質頁岩01接合状態	167	第170図	頁岩07・08・09接合関係	192
第146図	珩質頁岩01(1)	168	第171図	頁岩07・08	193
第147図	珩質頁岩01(2)	169	第172図	頁岩09	194
第148図	珩質頁岩02	170	第173図	流紋岩接合関係	194
第149図	頁岩01接合状態	171	第174図	流紋岩01接合状態	195
第150図	頁岩01接合関係	172	第175図	流紋岩01(1)	196
第151図	頁岩01(1)	173	第176図	流紋岩01(2)	197
第152図	頁岩01(2)	174	第177図	流紋岩01(3)	198
第153図	頁岩02接合状態	175	第178図	流紋岩02	199
第154図	頁岩02接合関係	176	第179図	第21ブロック出土石器	217
第155図	頁岩02(1)	177	第180図	第21ブロック器種別分布	218
第156図	頁岩02(2)	178	第181図	第21ブロック石材別分布	219
第157図	頁岩03接合状態	179	第182図	ブロック外出石器(1)	221
第158図	頁岩03接合関係	180	第183図	ブロック外出石器(2)	222
第159図	頁岩03	180	第184図	第1文化層ナイフ形石器	224

表 目 次

第1表	周辺遺跡表1	14	第10表	第7ブロック石器組成表	42
第2表	周辺遺跡表2	15	第11表	第8ブロック石器組成表	50
第3表	周辺遺跡表3	16	第12表	第9ブロック石器組成表	55
第4表	第1ブロック石器組成表	21	第13表	第10ブロック石器組成表	57
第5表	第2ブロック石器組成表	23	第14表	第11ブロック石器組成表	60
第6表	第3ブロック石器組成表	26	第15表	第12ブロック石器組成表	62
第7表	第4ブロック石器組成表	31	第16表	第13ブロック石器組成表	64
第8表	第5ブロック石器組成表	35	第17表	第14ブロック石器組成表	67
第9表	第6ブロック石器組成表	38	第18表	第15ブロック石器組成表	67

第19表	第16ブロック石器組成表	67	第43表	頁岩03石器一覧表	180
第20表	第17ブロック石器組成表	67	第44表	頁岩04石器一覧表	183
第21表	第18ブロック石器組成表	82	第45表	頁岩05石器一覧表	187
第22表	第19ブロック石器組成表	82	第46表	頁岩06石器一覧表	190
第23表	第20ブロック石器組成表	82	第47表	頁岩07～09石器一覧表	192
第24表	黒曜石01石器一覧表	93	第48表	流紋岩01・02石器一覧表	194
第25表	黒曜石02石器一覧表	98	第49表	第1文化層石器一覧表(1)	202
第26表	黒曜石03石器一覧表	101	第50表	第1文化層石器一覧表(2)	203
第27表	黒曜石04石器一覧表	105	第51表	第1文化層石器一覧表(3)	204
第28表	黒曜石05石器一覧表	108	第52表	第1文化層石器一覧表(4)	205
第29表	黒曜石06石器一覧表	111	第53表	第1文化層石器一覧表(5)	206
第30表	黒曜石07石器一覧表	115	第54表	第1文化層石器一覧表(6)	207
第31表	黒曜石08石器一覧表	119	第55表	第1文化層石器一覧表(7)	208
第32表	黒曜石09石器一覧表	122	第56表	第1文化層石器一覧表(8)	209
第33表	黒曜石10石器一覧表	126	第57表	第1文化層石器一覧表(9)	210
第34表	黒曜石11～31石器一覧表	127	第58表	第1文化層石器一覧表(10)	211
第35表	玉髓01石器一覧表	147	第59表	第1文化層石器一覧表(11)	212
第36表	玉髓02石器一覧表	151	第60表	第1文化層石器一覧表(12)	213
第37表	玉髓03石器一覧表	155	第61表	第1文化層石器一覧表(13)	214
第38表	玉髓04石器一覧表	159	第62表	第1文化層石器一覧表(14)	215
第39表	玉髓05～11石器一覧表	161	第63表	第1文化層石器一覧表(15)	216
第40表	珠質頁岩01・02石器一覧表	166	第64表	第21ブロック石器組成表	219
第41表	頁岩01石器一覧表	172	第65表	第2文化層石器一覧表	219
第42表	頁岩02石器一覧表	176	第66表	ブロック外出土石器一覧表	222

図 版 目 次

巻頭図版	第1文化層接合資料 基本層序(CC23-28グリッド北壁)	図版4	第9・10ブロック(西方向から) 第11ブロック(南東方向から) 第12ブロック(南方向から)
図版1	遺跡空中撮影写真	図版5	第14～17ブロック(西方向から) 第18～20ブロック(西方向から) 第21ブロック(西方向から)
図版2	遺跡基本土層(CC23-28グリッド北壁) 第7ブロック(北方向から) 第7ブロック(西方向から)	図版6	第1文化道出土石器1 (第1・2・3(1)ブロック)
図版3	第1ブロック(西方向から) 第2・3ブロック(東方向から) 第9ブロック(西方向から)	図版7	第1文化層出土石器2 (第3(2)ブロック)

- 図版 8 第1文化層出土石器3
(第3(3)・4・5(1)ブロック)
- 図版 9 第1文化層出土石器4
(第5(2)・6(1)ブロック)
- 図版10 第1文化層出土石器5
(第6(2)・7(1)ブロック)
- 図版11 第1文化層出土石器6
(第7(2)ブロック)
- 図版12 第1文化層出土石器7
(第7(3)ブロック)
- 図版13 第1文化層出土石器8
(第7(4)ブロック)
- 図版14 第1文化層出土石器9
(第8(1)ブロック)
- 図版15 第1文化層出土石器10
(第8(2)ブロック)
- 図版16 第1文化層出土石器11
(第8(3)・9・10ブロック)
- 図版17 第1文化層出土石器12
(第11・12・13・14(1)ブロック)
- 図版18 第1文化層出土石器13
(第14(2)・15(1)ブロック)
- 図版19 第1文化層出土石器14
(第15(2)ブロック)
- 図版20 第1文化層出土石器15
(第15(3)ブロック)
- 図版21 第1文化層出土石器16
(第16・17(1)ブロック)
- 図版22 第1文化層出土石器17
(第17(2)・18(1)ブロック)
- 図版23 第1文化層出土石器18
(第18(2)ブロック)
- 図版24 第1文化層出土石器19
(第18(3)・19ブロック)
- 図版25 第1文化層出土石器20
(第20ブロック)
- 図版26 第1文化層出土石器21(黒曜石01(1))
- 図版27 第1文化層出土石器22(黒曜石01(2))
- 図版28 第1文化層出土石器23
(黒曜石01(3)・02(1))
- 図版29 第1文化層出土石器24
(黒曜石02(2)・03(1))
- 図版30 第1文化層出土石器25(黒曜石03(2))
- 図版31 第1文化層出土石器26
(黒曜石03(3)・04(1))
- 図版32 第1文化層出土石器27
(黒曜石04(2)・05(1))
- 図版33 第1文化層出土石器28
(黒曜石05(1(2)・06(1))
- 図版34 第1文化層出土石器29(黒曜石06(2))
- 図版35 第1文化層出土石器30(黒曜石07(1))
- 図版36 第1文化層出土石器31
(黒曜石07(2)・08(1))
- 図版37 第1文化層出土石器32
(黒曜石08(2)・09(1))
- 図版38 第1文化層出土石器33(黒曜石09(2))
- 図版39 第1文化層出土石器34
(黒曜石10・11)
- 図版40 第1文化層出土石器35
(黒曜石12・13)
- 図版41 第1文化層出土石器36
(黒曜石14・15(1))
- 図版42 第1文化層出土石器37
(黒曜石15(2)・16・17)
- 図版43 第1文化層出土石器38
(黒曜石18・19・20・21)
- 図版44 第1文化層出土石器39
(黒曜石22・23・24(1))
- 図版45 第1文化層出土石器40
(黒曜石24(2)・25・26・27)
- 図版46 第1文化層出土石器41
(黒曜石28・29)
- 図版47 第1文化層出土石器42
(黒曜石30・31、玉髓01(1))

- 図版48 第1文化層出土石器43 (玉髓01(2))
- 図版49 第1文化層出土石器44
(玉髓01(3)・02(1))
- 図版50 第1文化層出土石器45
(玉髓02(2)・03(1))
- 図版51 第1文化層出土石器46 (玉髓03(2))
- 図版52 第1文化層出土石器47 (玉髓04(1))
- 図版53 第1文化層出土石器48
(玉髓04(2)・05・06)
- 図版54 第1文化層出土石器49
(玉髓07・08・09・10)
- 図版55 第1文化層出土石器50
(玉髓11、頁岩01(1))
- 図版56 第1文化層出土石器51 (頁岩01(2))
- 図版57 第1文化層出土石器52
(頁岩01(3)・02(1))
- 図版58 第1文化層出土石器53 (頁岩02(2))
- 図版59 第1文化層出土石器54
(頁岩02(3)・03(1))
- 図版60 第1文化層出土石器55
(頁岩03(2)・04(1))
- 図版61 第1文化層出土石器56 (頁岩04(2))
- 図版62 第1文化層出土石器57 (頁岩05(1))
- 図版63 第1文化層出土石器58
(頁岩05(2)・06(1))
- 図版64 第1文化層出土石器59 (頁岩06(2))
- 図版65 第1文化層出土石器60
(頁岩07・08・09)
- 図版66 第1文化層出土石器61
(珪質頁岩01(1))
- 図版67 第1文化層出土石器62
(珪質頁岩01(2))
- 図版68 第1文化層出土石器63 (珪質頁岩02)
- 図版69 第1文化層出土石器64 (流紋岩01(1))
- 図版70 第1文化層出土石器65 (流紋岩01(2))
- 図版71 第1文化層出土石器66
(流紋岩01(3)・02)
第2文化層出土石器 (第21ブロック)
- 図版72 ブロック外出土石器

第1章 はじめに

第1節 調査の概要

1. 調査の経緯と経過

昭和60年、常磐新線は、通勤時間帯の混雑率250%以上のJR常磐線の混雑解消策として、運輸政策審議会答申「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画」によって、国策として浮上した。

東京・秋葉原と茨城・つくば間58.3kmを20の駅、45分で結ぶ常磐新線（つくばエクスプレス）は、鉄道建設との一体型特定土地地区画整理で、千葉県内でも5つの駅のうち「流山セントラルパーク駅」、「流山おおたかの森駅」、「柏の葉キャンパス駅」、「柏たなか駅」の4つの駅周辺で沿線地域の開発が行われることとなった。このうち「柏たなか駅」周辺の柏北部東地区においては、都市基盤整備公団（当時）により実施されることとなり、事業地内の埋蔵文化財の取り扱いについて平成10年度に関係諸機関と協議が行われた。その結果、記録保存の措置を講ずることとなり、平成11年2月の館林Ⅱ遺跡の調査を皮切りに、財団法人千葉県文化財センター（当時）が発掘調査を実施することとなった。（第2図）

大松遺跡の発掘調査は平成13年11月から開始され、事業の進捗の関係で幾度かに分割して行われた（第3・4図）。それぞれの発掘調査・整理作業は以下のような期間、体制で行われた。

発掘調査

大松遺跡（1）第1次調査

期間 平成13年11月1日～12月27日

組織 西部調査事務所長 田坂 浩

担当者 上席研究員 遠藤治雄

内容 調査対象面積 1,240㎡

上層確認調査 124㎡ 上層本調査 1,240㎡

下層確認調査 60㎡ 下層本調査 49㎡

大松遺跡（2）第2次調査

期間 平成14年1月7日～3月29日

組織 西部調査事務所長 田坂 浩

担当者 上席研究員 遠藤治雄

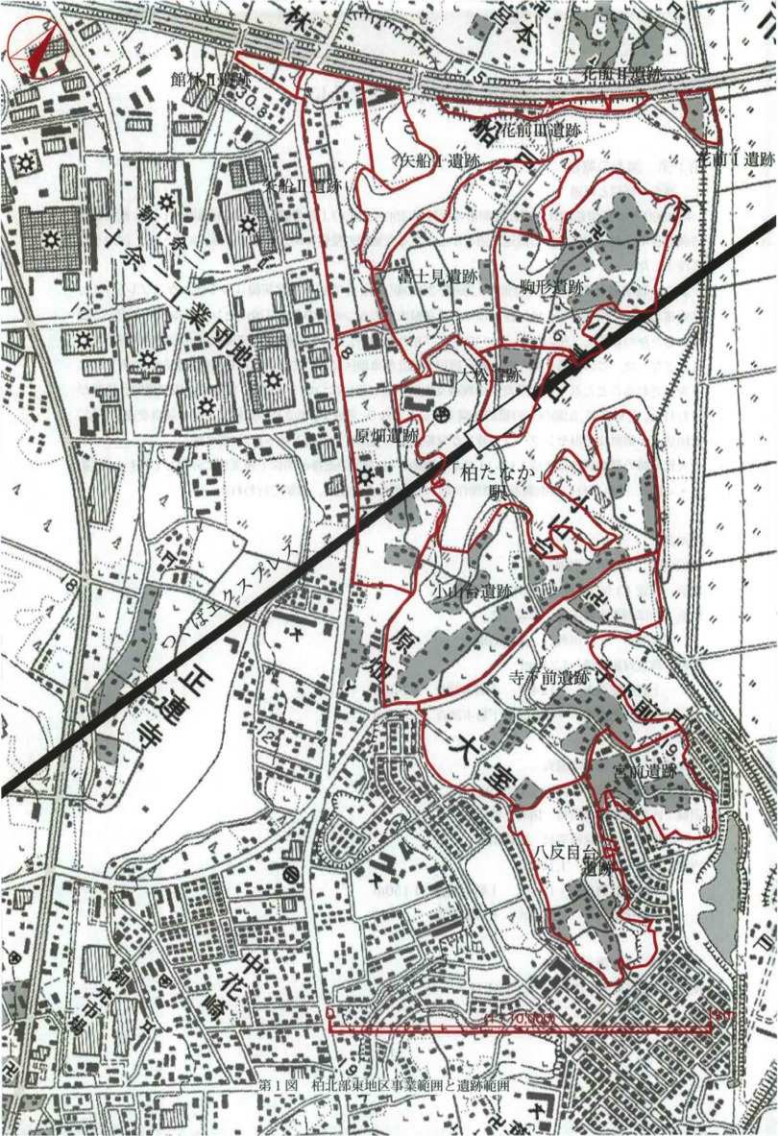
内容 調査対象面積 1,150㎡

上層確認調査 116㎡ 上層本調査 1,150㎡

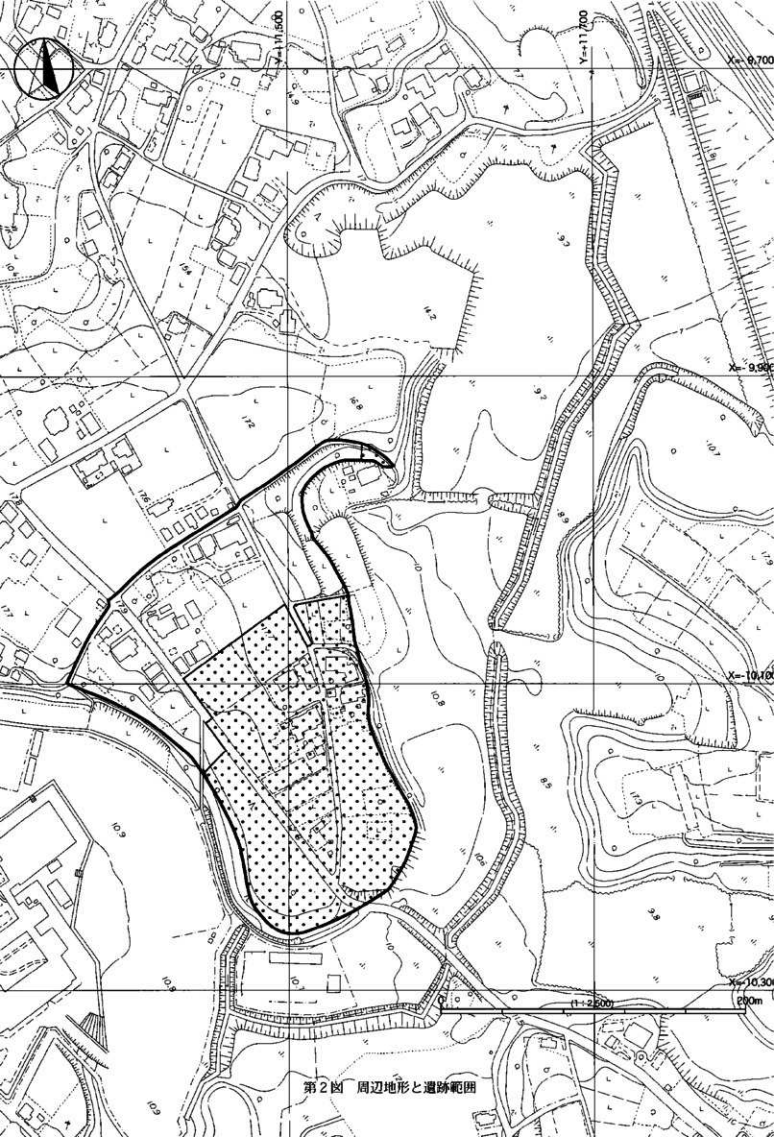
下層確認調査 44㎡ 下層本調査 0㎡

大松遺跡（3）第3次調査

期間 平成14年1月7日～1月31日



第1図 柏北部東地区事業範囲と遺跡範囲



第2図 周辺地形と遺跡範囲

組織 西部調査事務所長 田坂 浩
 担当者 柏調査室長 横山 仁
 内容 調査対象面積 860㎡
 上層確認調査 86㎡
 上層本調査 0㎡
 下層確認調査 64㎡
 下層本調査 95㎡

大松遺跡(4) 第4次調査

期間 平成14年2月1日～
 3月29日

組織 西部調査事務所長 田坂 浩
 担当者 柏調査室長 横山 仁
 内容 調査対象面積 1,480㎡
 上層確認調査 148㎡
 上層本調査 970㎡

期間 平成14年4月8日～
 4月30日

組織 西部調査事務所長 田坂 浩
 担当者 上席研究員 織田良昭
 内容 下層確認調査 64㎡
 下層本調査 62㎡

大松遺跡(5) 第5次調査

期間 平成14年4月8日～
 4月30日

組織 西部調査事務所長 田坂 浩
 担当者 柏調査室長 鳴田浩司
 内容 調査対象面積 500㎡
 上層本調査 500㎡
 下層確認調査 43㎡
 下層本調査 0㎡

大松遺跡(6A～6D) 第6次調査

期間 平成14年5月1日～平成15年3月14日

組織 西部調査事務所長 田坂 浩
 担当者 主席研究員 高橋博文・柏調査室長 鳴田浩司・上席研究員 織田良昭 谷鹿栄一



第3図 調査次別範囲

内容 調査対象面積 13,670㎡
 上層本調査 10,307㎡
 下層確認調査 448㎡
 下層本調査 2,557㎡

大松遺跡（7）第7次調査

期間 平成14年11月25日～

平成14年11月29日

組織 西部調査事務所長 田坂 浩

担当者 柏調査室長 鳴出浩司

内容 調査対象面積 135㎡

上層確認調査 135㎡

上層本調査 0㎡

下層確認調査 5㎡

下層本調査 0㎡

整理作業

平成17年度

期間 平成17年6月1日～

平成18年3月31日

組織 調査部整理課長 加藤修司

担当者 上席研究員 落合章雄

内容 記録整理から実測まで

平成18年度

期間 平成18年4月1日～平成19年3月31日

組織 調査研究部整理課長 郷田良一

担当者 上席研究員 落合章雄

内容 トレースから原稿執筆まで

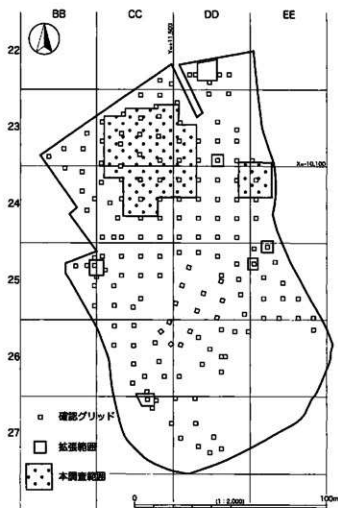
平成19年度

期間 平成19年9月1日～平成19年12月28日

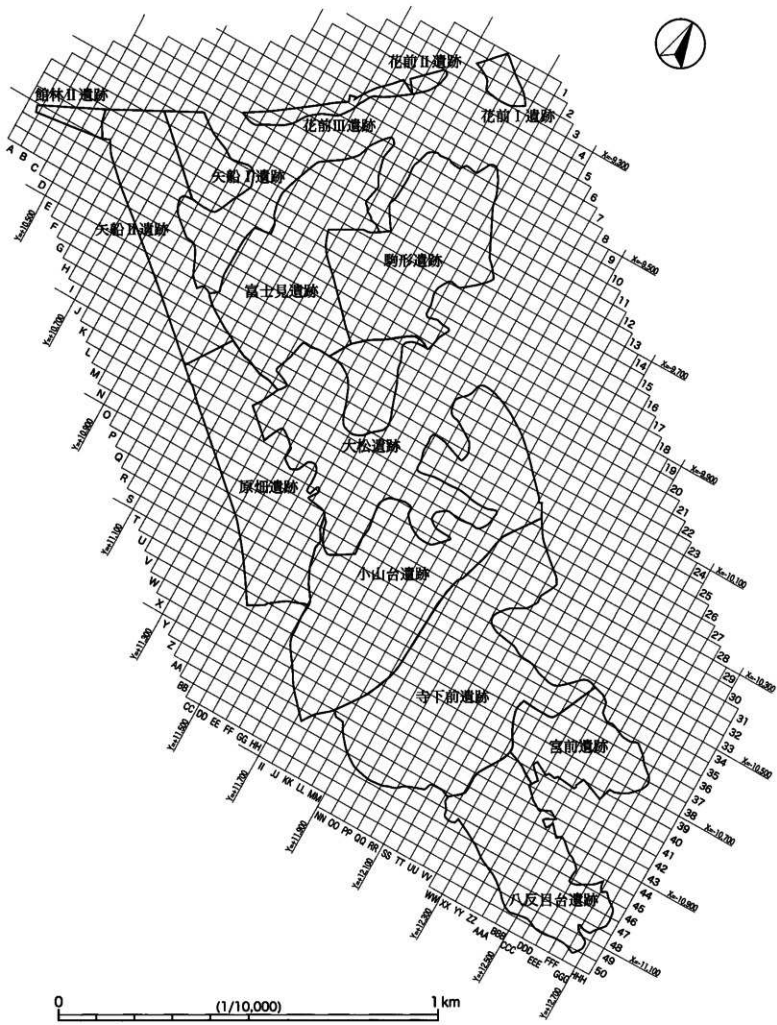
組織 調査研究部整理課長 高田 博

担当者 上席研究員 落合章雄

内容 編集から刊行まで



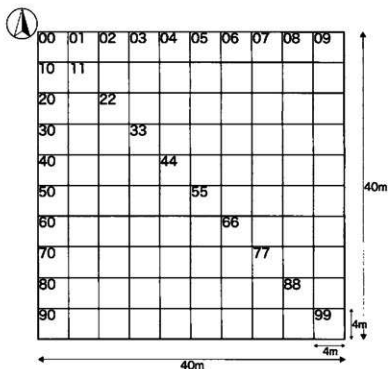
第4図 確認調査グリッドと本調査範囲



第5図 柏北部東地区大グリッド配置

2. 調査の方法

柏北部東土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査の開始にあたり、事業対象区域の全域に合わせて40m×40mの大グリッドを設定した(第5図)。さらに大グリッド内を4m×4mに分割し、計100個の小グリッドを設定した(第6図)。グリッドの名称は、大グリッドが北西隅を基準とし、北から南へ数字で1・2・3……、西から東へアルファベットでA・B・C……と記号を付けた。事業対象区域が広域であるため、東西方向については……X・Y・Zの次はAA・BB・CC……とし、さらに……XX・YY・ZZの次はAAA・BBB・CCC……とした。小



第6図 小グリッド呼称

グリッドは北西隅を00とし、北から南へ00～90、西から東へ00～09と設定した。個々の名称は東西、南北方向の組み合わせでCC23-24、DD24-52、EE24-98等となる。

大松遺跡の発掘調査は、前述したとおり数次にわたり調査され、現在もお調査が継続している。本報告書は第1次から第7次調査の成果のうち旧石器時代の遺構・遺物を対象としているが、ここで旧石器時代以外の遺構について、概略ではあるが調査年次毎に記述しておきたい。

大松遺跡(1) 第1次調査

平成13年11月1日～12月27日まで実施し、対象面積1,240㎡全域の上層本調査を行った。縄文時代の住居15軒、土坑6基を検出した。

大松遺跡(2) 第2次調査

平成14年1月7日～3月29日まで実施し、対象面積1,150㎡全域の上層本調査を行った。縄文時代の住居18軒、土坑33基を検出した。

大松遺跡(3) 第3次調査

平成14年1月7日～1月31日まで実施し、対象面積860㎡の確認調査を行ったが、上層の遺構等は確認されなかった。

大松遺跡(4) 第4次調査

平成14年2月1日～3月29日まで実施し、対象面積1,480㎡のうち970㎡において本調査を行った。縄文時代の住居8軒、土坑4基を検出した。

大松遺跡（5）第5次調査

平成14年4月8日～4月30日まで実施し、対象面積500㎡全域の上層本調査を行った。縄文時代の住居8軒、土坑45基を検出した。

大松遺跡（6）第6次調査

平成14年5月1日～平成15年3月14日まで実施し、対象面積13,670㎡のうち10,307㎡の上層本調査を行った。縄文時代の住居60軒、土坑228基、奈良・平安時代の住居1軒を検出した。

大松遺跡（7）第7次調査

平成14年11月25日～11月29日まで実施し、対象面積135㎡の確認調査を行ったが、上層・下層ともに遺構等は確認されなかった。

第2節 遺跡の位置と環境

1. 遺跡の位置（第7図）

千葉県北部に展開する広大な洪積台地は「下総台地」と呼称され、大小の河川の浸食により形成された小支谷が入りくみ、複雑な地形をなしている。

大松遺跡の所在する台地は下総台地の北西部に位置し、東には利根川、西には利根川水系の手賀沼に流入する地金堀が流路を展開しているが、特に利根川から進入する支谷により半島状に突出した形状となる。台地斜面下には沖積層からなる低地が展開しており、台地との比高差は最大でも10mを越えていない。また、大松遺跡の所在する台地を北西にたどると現在の利根運河に到達するが、これは三ヶ尾沼の一部を河川改修したものであり、以前は広大な湿地帯が展開していた。利根川氾濫原と、地金堀が形成する低湿地に挟まれた大松遺跡周辺の台地は、0.4km～1.5kmほどの狭隘な地形であるが、北西側はこの三ヶ尾沼に阻まれる形となり、西側に展開する広大な台地とは、現在の十余二工業団地付近でのみ連続している。この台地を南東にたどるとさらに馬の背状となり、我孫子市布佐で台地の端に到達する。逆に北西にたどると、野田市関宿で利根川と江戸川の分岐点に到達することができる。

2. 周辺の遺跡（第8図、第1～3表）

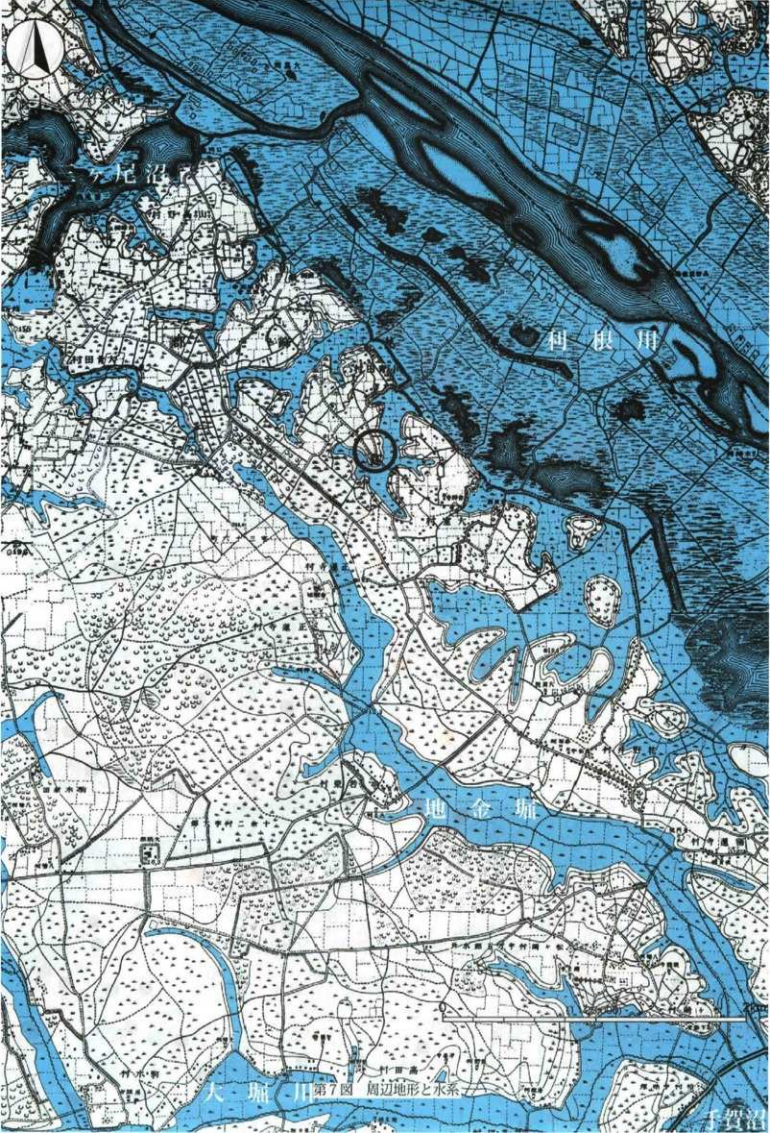
大松遺跡周辺には数多くの遺跡が存在する。常磐自動車道建設や、常磐新線建設等の開発に伴う発掘調査はもとより、周知の遺跡についても、第8図で図示した遺跡数で109遺跡を数える。

遺跡の時代は縄文時代が主であり、早期から後期に至るまで幅広い時期の遺構・遺物が検出されている。旧石器時代についても、大松遺跡を始め、常磐自動車道建設に伴う発掘調査において数多くの石器群が検出されている。そのなかでも第2黒色帯に所属する石器群の検出例が多く、環状ユニットの検出例も複数の遺跡で確認されている。

ここでは、これらの遺跡群について、時代別に概要をまとめておく。

○旧石器時代

旧石器時代の遺物を検出した遺跡は、表採、単独出土を含め28遺跡を数える。このうちⅩ層段階の石



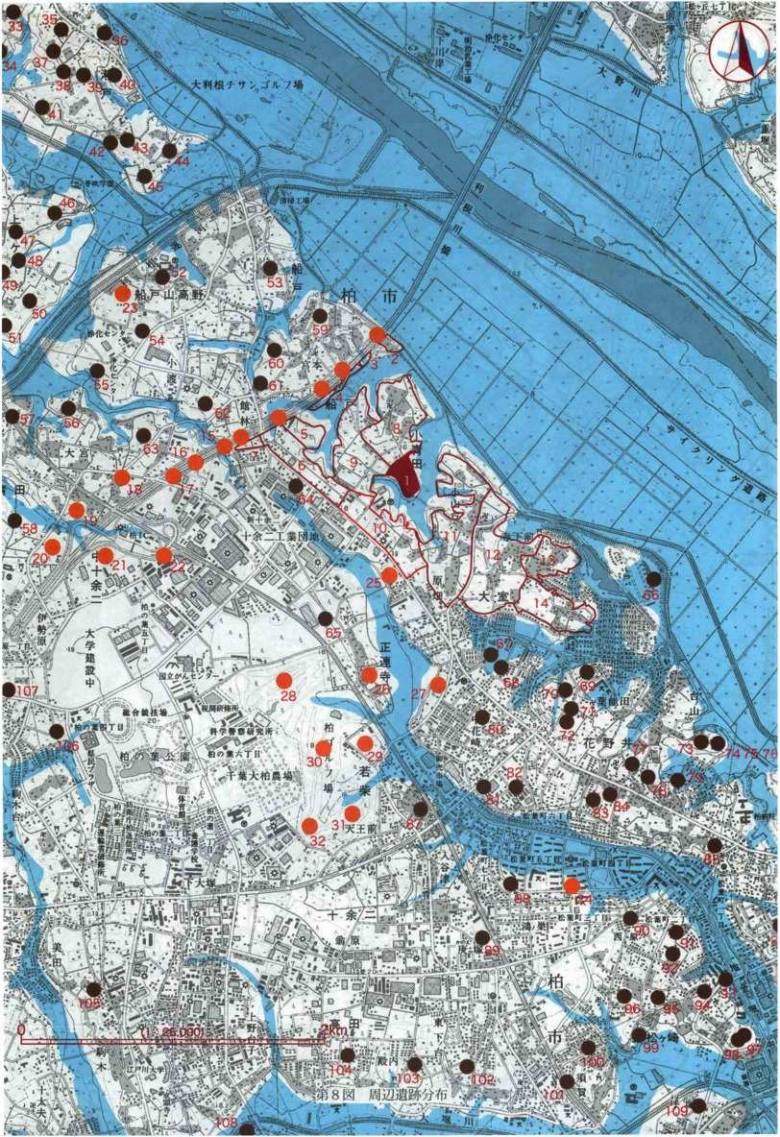
大堀川

利根川

堀川ダム

大堀川 第7図 周辺地形と水系

大堀川



器群が確認されたのは、中山新田Ⅰ遺跡(20)、聖人塚遺跡(21)、農協前遺跡(25)の3遺跡であり、大松遺跡と同様の環状ユニットを検出している。農協前遺跡については未整理のため詳細は不明であるが、径40mほどの規模であり、チャート、頁岩を主体とした石器群である。台形椀石器、ナイフ形石器を石器組成に含むが、石斧が出土しているか否かは不明である。中山新田Ⅰ遺跡、聖人塚遺跡については、前者が径30m、後者が径18mの規模であり、両遺跡とも石刃素材のナイフ形石器、石斧を石器組成に含む。また、中山新田Ⅰ遺跡では台形椀石器の出土も認められる。石器に使用される石材はガラス質黒色安山岩、頁岩、流紋岩、黒曜石などであり、大松遺跡で多用される黒曜石は客体的である。

ナイフ形石器を組成に含む石器群は、元割遺跡(22)、中山新田Ⅱ遺跡(19)、水砂Ⅱ遺跡(16)、花前Ⅲ遺跡(4)で確認されている。前者の2遺跡は第2黒色帯上位に該当し、後者の2遺跡はAⅠを含む層のⅥ層以後に該当する。

尖頭器を組成に含む石器群は水砂Ⅰ遺跡(17)が挙げられ、種状刺鏃を有する尖頭器群がソフトローム層から検出している。また、縄文時代草創期に属する槍先形尖頭器を組成に含む石器群が元割遺跡から検出している。高砂遺跡(23)では単独出土であるが、有舌尖頭器が出土している。

これら旧石器時代の石器群は、台地平坦部より台地縁辺部に集中して所在する傾向が認められる。

○縄文時代

早期

検出されている早期の遺構は炉穴が全てであり、常磐自動車道建設に伴う発掘調査による検出例が多い。遺物についても糸痕文系土器の出土をみる遺跡が多いことが指摘できる。燃糸文系土器の出土例は少なく、花前Ⅲ遺跡(4)、瀬戸向原遺跡(34)に見られる程度である。

前期

特に黒浜期の集落が展開し、山神宮裏遺跡(52)、正連寺貝塚(65)等、地点貝塚を伴う遺跡も見受けられる。大松遺跡内でも台地北西部に地点貝塚を伴う黒浜期の集落が展開し、隣接した駒形遺跡(8)、富士見遺跡(9)、原畑遺跡(10)に亘り広く集落の形成がなされる。この傾向は利根川沿岸のみならず、地金堀の両岸にも認められ、左岸には香取神社遺跡(83)、宿連寺遺跡(85)が、右岸には鴻ノ巣Ⅱ遺跡(24)、八幡遺跡(92)、松ヶ崎Ⅰ遺跡(93)等、複数の集落跡が調査されている。

中期

前期と比較すると、中期の遺物を産出する遺跡数は減少する。この時期の集落を形成する遺跡は、利根川沿岸で環状集落を形成する大松遺跡、小山台遺跡(11)、三ヶ尾沼水系の水砂Ⅰ遺跡(17)、中山新田Ⅱ遺跡(19)、中山新田Ⅰ遺跡(20)、地金堀水系の宿連寺遺跡(85)、富勢中遺跡(86)が挙げられるが、やはり遺跡数では減少している。時期は阿玉台、勝坂を中心とし、加曾利Eがこれに付随する。

後期

後期になると遺跡数はさらに減少し、当該期の遺構の検出例はなく、遺物の散布が認められる程度である。寺前貝塚(71)、寺前遺跡(72)では加曾利B式土器に伴う貝層と表記されるが、詳細は不明である。花前Ⅰ遺跡(2)、高砂遺跡(23)、宮本遺跡(59)では堀之内式土器、山出遺跡(58)、北花崎遺跡(80)、谷中上遺跡(102)では加曾利B式土器、田中小遺跡(68)では安行Ⅱ式土器の出土報告がある。遺跡の立地としては、利根川沿いの台地平坦部に偏る傾向が認められる。

○弥生時代

三ヶ尾沼水系の小支谷には土塔遺跡(37)、出山遺跡(58)が、地金堀の沿岸には田中小遺跡(68)、北花崎遺跡(80)、香取神社遺跡(83)、富勢中遺跡(86)、鴻ノ果Ⅱ遺跡(24)が、地金堀と大堀川の合流地点付近では呼塚遺跡(109)が存在する。当該期の遺物のみ検出した遺跡が大半であるが、鴻ノ果Ⅱ遺跡では北関東系土器の出土が報告されている。遺跡の立地としては利根川沿岸より台地内陸部の水系に偏る傾向が認められる。

○古墳時代

古墳時代前期の遺跡は田中中学校敷地遺跡(67)、田中小遺跡(68)、富勢中遺跡(86)の3遺跡が挙げられる。中期にかけて遺跡数は増加し、松ヶ崎見崎遺跡(99)、殿内遺跡(103)、呼塚遺跡(109)のように大堀川沿岸に当該期の遺跡の展開が認められる。また、花前Ⅲ遺跡(4)、矢船Ⅰ遺跡(5)のように近接した台地に立地する傾向も認められる。後期は遺跡数の増加が認められるものの、地域が限定され、三ヶ尾沼水系と利根川水系の分水嶺付近と地金堀と利根川に挟まれた花野井付近に認められる。ただし、これは発掘調査により集落の存在が確認された遺跡のみであり、古墳時代遺物を伴う周知遺跡の中には、当該期に属する遺跡も数多く含まれるものと考えられる。特に三ヶ尾沼周辺では、後期の古墳群が存在するもの、調査歴のない遺跡が多く存在する。

古墳については、三ヶ尾沼北岸の瀬戸に瀬戸古墳群(35)、西岸の上三ヶ尾には下三ヶ尾古墳群(51)、南岸の船戸には大山古墳群(54)が存在し、それぞれ円墳数基からなる小規模な古墳群を形成している。大松遺跡付近では古墳は確認されておらず、地金堀を流下した花野井には前留古墳群(81)、西高野古墳(84)、利根川沿岸に花野井大塚古墳(74)、花野井やまもと古墳(75)、花野井庄左衛門稲荷古墳(76)が隣接して存在する。花野井大塚古墳は、粘土郭を埋葬施設とする円墳であり、短甲、鉄剣、胡籬、鉄鏝等の副葬品が出土している。地金堀および大堀川の合流地点付近には、腰巻古墳群(97)、町田台古墳群(101)が存在する。いずれも円墳で構成される古墳群である。

○奈良・平安時代

奈良・平安時代の遺構を検出した遺跡は、地金堀下流域と三ヶ尾沼・利根川水系の2地域に分離する感がある。奈良時代の遺構は花前Ⅰ・Ⅲ遺跡(2・4)、尾井戸Ⅰ遺跡(69)、八幡遺跡(92)で検出されているが、遺跡数は少数である。平安時代の遺構については、常磐自動車道建設に伴い調査された遺跡で多く検出している。なかでも水砂Ⅰ遺跡(17)では製鉄跡が検出され、近隣の花前Ⅰ・Ⅲ遺跡についても製鉄関連の遺物が出土している。

○中・近世

大松遺跡周辺の中・近世の遺跡は城館跡、墓跡等が挙げられる。城館跡は三ヶ尾沼水系の小河川に面した台地上に猪ノ山城跡(55)、利根川氾濫原中の独立丘陵上に大室城跡(66)、地金堀と大堀川の合流点の台地上に松ヶ崎城跡(97)が存在する。三ヶ尾沼の西側には板碑が出土する遺跡が多く存在する。瀬戸上野台遺跡(36)、瀬戸欠作遺跡(43)、瀬戸江川遺跡(44)、下三ヶ尾古墳群(51)がこれに該当し、広範囲に墓城が存在するものと考えられる。また、火葬施設、地下式墳を伴った台地整形区画を検出した寺前遺跡(72)が花野井付近の台地上に存在する。

下総一帯は古くから馬の放牧地であり、特に江戸開府以後は幕府直轄の軍馬を養成する牧となっていた。柏市には小金牧のうち上野牧、大青田牧が設置されていたが、大松遺跡の近隣にはこのうちの大青田牧があり、遺跡西側の県道沿いには、野馬除土手が部分的ではあるが現存している。また、野馬除土手に付随

する野馬堀が中山新田Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡（18・19・20）の調査で検出されている。

文献（番号は周辺遺跡表の文献欄・報告書等に対応）

- 1 柏市溝ノ巣遺跡 千葉県都市公社 昭和49年
- 2 千葉県柏市根戸富勢中遺跡発掘調査報告書 柏市教育委員会・富勢中遺跡発掘調査団 昭和54年
- 3 尾井戸遺跡 尾井戸遺跡発掘調査団 昭和55年
- 4 殿内遺跡調査報告書 柏市都市開発公社 昭和56年
- 5 常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅰ（財）千葉県文化財センター 昭和57年
- 6 柏市高砂遺跡 林台遺跡 柏市教育委員会 昭和58年
- 7 柏市山神宮裏遺跡 高野台遺跡（第1次調査） 柏市教育委員会 昭和58年
- 8 常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅱ（財）千葉県文化財センター 昭和59年
- 9 常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅲ（財）千葉県文化財センター 昭和60年
- 10 常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅳ（財）千葉県文化財センター 昭和61年
- 11 柏市埋蔵文化財調査報告書16 柏市教育委員会 平成2年
- 12 柏市埋蔵文化財調査報告書20 柏市教育委員会・調査会 平成4年
- 13 柏市埋蔵文化財調査報告書22 柏市教育委員会・調査会 平成4年
- 14 柏市埋蔵文化財調査報告書27 柏市教育委員会・調査会 平成6年
- 15 柏市埋蔵文化財調査報告書29 柏市教育委員会・調査会 平成7年
- 16 柏市埋蔵文化財調査報告書30 柏市教育委員会・調査会 平成7年
- 17 柏市埋蔵文化財調査報告書31 柏市教育委員会・調査会 平成8年
- 18 柏市埋蔵文化財調査報告書33 柏市教育委員会・柏市遺跡調査会 平成9年
- 19 平成9年度市内遺跡発掘調査報告書 柏市教育委員会 平成10年
- 20 平成10年度市内遺跡発掘調査報告書 柏市教育委員会 平成12年
- 21 柏市埋蔵文化財調査報告書44 柏市教育委員会 平成13年
- 22 柏市埋蔵文化財調査報告書47 柏市教育委員会 平成14年
- 23 柏市埋蔵文化財調査報告書48 寺前遺跡 柏市遺跡調査会・柏市教育委員会 平成14年
- 24 平成12年度 柏市市内遺跡発掘調査報告書 柏市教育委員会 平成14年
- 25 柏市埋蔵文化財調査報告書50 呼塚遺跡 柏市教育委員会 平成15年
- 26 平成13年度柏市市内遺跡発掘調査報告書 柏市教育委員会 平成15年
- 27 平成14年度柏市市内遺跡発掘調査報告書 柏市教育委員会 平成16年
- 28 平成15年度野田市内遺跡発掘調査報告書 野田市教育委員会 平成16年
- 29 柏市埋蔵文化財調査報告書53 富勢中遺跡（第3地点） 株式会社千葉四門 平成16年
- 30 平成14・15年度柏市市内遺跡発掘調査報告書 柏市教育委員会 平成17年

第1表 周辺遊跡表(1)

番号	遊跡名	住所	所在地	緯度・経度(WGS84)		水名	種別	時代	品類	品物		立地	形状	文献	備考
				北緯	東経					出所	用途				
1	大塚遺跡	〒477-0101	岐阜県大塚町大字大塚 27-41	35°54'41"	136°57'25"	利根川	古墳時代	弥生前期	土師器、銅器、鉄器、石器	石川島時代館蔵、穂上土師器(土師器、銅器、鉄器、石器)	南河内町立中央公民館蔵	銅、石	H13	H13.14.15.16 調査	
2	花梨1号跡	〒473-0103	岐阜県花梨町花梨 1210番地	35°55'12"	136°57'15"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	花梨町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S52	S52 調査、花梨1号跡	
3	花梨2号跡	〒473-0103	岐阜県花梨町花梨 1433-1番地	35°55'08"	136°57'14"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	花梨町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S53, 54, H12	S53, S54, H12 調査、花梨2号跡	
4	花梨3号跡	〒473-0103	岐阜県花梨町花梨 1519番地	35°55'01"	136°57'03"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	花梨町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S53, 54	S53, S54, H12 調査、花梨3号跡	
5	花梨4号跡	〒473-0103	岐阜県花梨町花梨 1783-2番地	35°54'53"	136°56'57"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	花梨町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S54	S54 調査	
6	花梨5号跡	〒473-0103	岐阜県花梨町花梨 1783-4番地	35°54'45"	136°56'58"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	花梨町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S54, H11, H12, H13	S54, H11, H12, H13, 14, 15, 16 調査	
7	花梨6号跡	〒473-0103	岐阜県花梨町花梨 1783-45番地	35°54'31"	136°56'43"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	花梨町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S53, H13	S53, H13 調査	
8	花梨7号跡	〒473-0103	岐阜県花梨町花梨 1783-46番地	35°54'34"	136°57'23"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	花梨町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H12, H13	H12, H13, 14, 15, 16 調査	
9	富士見遺跡	〒377-0101	岐阜県小倉町大字富士見 158-1番地	35°54'47"	136°57'13"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	富士見町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H12, H13	H12, H13, 14, 15, 16 調査	
10	北濃遺跡	〒307-0101	岐阜県大室町大字北濃 280-4番地	35°54'32"	136°57'17"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	北濃町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H11, H12	H11, H12, H13, 14, 15, 16 調査	
11	小豆田遺跡	〒277-0101	岐阜県大室町大字小豆田 1060-1番地	35°54'30"	136°57'40"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	小豆田町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H11, H12	H11, H12 調査	
12	寺下町遺跡	〒592-0101	岐阜県大室町大字寺下町 1060-1番地	35°54'27"	136°57'49"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	寺下町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H11, H12	H11, H12 調査	
13	大野遺跡	〒473-0101	岐阜県大野町大字大野 1470-1番地	35°54'24"	136°58'05"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	大野町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H11	H11 調査	
14	大野2号遺跡	〒473-0101	岐阜県大野町大字大野 1470-1番地	35°54'14"	136°58'05"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	大野町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H11	H11 調査	
15	新井1号跡	〒361-0101	岐阜県新井町大字新井 1730番地	35°54'49"	136°56'28"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	新井町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S52	S52 調査	
16	新井2号跡	〒361-0101	岐阜県新井町大字新井 1359番地	35°54'46"	136°56'31"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	新井町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S52 ~ S4, S5, 5.18.24	S52 ~ S4, S5, H13 調査	
17	水鏡1号跡	〒327-0101	岐阜県大室町大字水鏡 1551番地	35°54'43"	136°56'24"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	水鏡町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S52 ~ S4, H12	S52 ~ S4, H12, H13 調査、一部調査	
18	中山山頂遺跡	〒597-0101	岐阜県八幡町大字中山山頂 744番地	35°54'42"	136°56'11"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	中山町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S53	S53, H13 調査	
19	中山山頂2号跡	〒597-0101	岐阜県八幡町大字中山山頂 856番地	35°54'30"	136°55'50"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	中山町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S53 ~ S6	S53 ~ S6 調査	
20	中山山頂3号跡	〒597-0101	岐阜県八幡町大字中山山頂 602番地	35°54'27"	136°55'53"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	中山町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S55	S55 調査	
21	新入塚遺跡	〒512-0101	岐阜県大室町大字新入塚 775-4番地	35°54'26"	136°56'06"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	新入塚町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S54, H12	S54, S55, H12, H13 調査	
22	花梨跡	〒473-0101	岐阜県大室町大字花梨 182番地	35°54'26"	136°56'21"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	花梨町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S54	S54, S55 調査	
23	高津遺跡	〒587-0101	岐阜県高津町大字高津 182番地	35°55'22"	136°56'11"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	高津町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	S56	S56 調査	
24	藤ノ原江田遺跡	〒473-0101	岐阜県花梨町大字藤ノ原江田 1番地	35°55'18"	136°58'09"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	藤ノ原江田町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	1	史和館跡 8号跡	
25	新井山頂遺跡	〒361-0101	岐阜県新井町大字新井山頂 237-11番地	35°54'22"	136°57'22"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	新井町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	つくばエクスプレス	H14 調査	
26	新井山頂2号跡	〒361-0101	岐阜県新井町大字新井山頂 237-11番地	35°54'02"	136°57'18"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	新井町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H12	H12, 14, 15, 16 調査	
27	大野山頂遺跡	〒473-0101	岐阜県大野町大字大野山頂 109-4番地	35°53'59"	136°57'35"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	大野町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H13	H13 調査	
28	内山遺跡	〒473-0101	岐阜県大野町大字内山 39-1番地	35°54'07"	136°58'55"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	内山町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H15, H16	H15, H16 調査	
29	新井山頂3号跡	〒361-0101	岐阜県新井町大字新井山頂 225-5番地	35°53'47"	136°57'17"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	新井町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H10.11, H12, H13	H10.11, H12, H13, 14, 16 調査	
30	大野山頂2号跡	〒473-0101	岐阜県大野町大字大野山頂 112-1番地	35°53'46"	136°57'04"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	大野町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H13	H13, 14 調査	
31	新井山頂4号跡	〒361-0101	岐阜県新井町大字新井山頂 276-1番地	35°53'30"	136°57'12"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	新井町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H13	H13, 14, 15, 16 調査	
32	新井山頂5号跡	〒361-0101	岐阜県新井町大字新井山頂 276-1番地	35°53'29"	136°57'01"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	新井町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H13	H13, 15, 16 調査	
33	三ツ井山頂遺跡	〒597-0101	岐阜県八幡町大字三ツ井山頂 14番地	35°56'29"	136°58'43"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	三ツ井山頂町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H13	H13, 15, 16 調査	
34	藤ノ原江田2号跡	〒473-0101	岐阜県花梨町大字藤ノ原江田 1番地	35°56'12"	136°58'38"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	藤ノ原江田町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H13	H13 調査	
35	藤ノ原江田3号跡	〒473-0101	岐阜県花梨町大字藤ノ原江田 1番地	35°56'17"	136°58'56"	利根川	古墳時代	古墳時代	土師器、銅器、鉄器、石器	藤ノ原江田町立中央公民館蔵	古墳時代	銅、石	H13	H13 調査	

第2表 周辺遺跡表(2)

番号	遺跡名	表名	所在地	経緯・標高(WGS84)		水系	遺跡概要			文献		備考
				北緯	東経		遺跡	時代	遺物	発掘状況	探検	
36	藤戸上野台古墳	H191F 419	野田町藤戸上野台	35°58'18"	139°56'08"	有明川	古墳群	中古室	土葬器、板押	台地上	荒地	
37	上野原古墳	F194F 419	野田町藤戸上野原	35°58'12"	139°55'53"	有明川	古墳群	縄文・古墳	縄文土器、弥生土器	台地上	畑	
38	藤戸中野台古墳群	H191F 419	野田町藤戸中野台	35°58'08"	139°55'58"	有明川	古墳群	縄文・古墳	縄文土器、土葬器	台地上	畑	
39	藤戸西野台古墳群	H191F 419	野田町藤戸西野台	35°58'08"	139°56'01"	有明川	古墳群	縄文・古墳	縄文土器、土葬器	台地上	畑	
40	藤戸金久保古墳群	H191F 419	野田町藤戸金久保	35°58'07"	139°56'10"	有明川	古墳群	縄文	縄文土器	台地上	山崩	
41	藤戸中野台古墳群	H191F 419	野田町藤戸中野台	35°58'01"	139°55'50"	有明川	古墳群	縄文	縄文土器、石器	台地上	畑	
42	藤戸中野台古墳群	H191F 419	野田町藤戸中野台	35°58'54"	139°56'07"	有明川	古墳群	縄文	縄文土器	台地上	畑	
43	藤戸大野台古墳群	H191F 419	野田町藤戸大野台	35°58'54"	139°56'12"	有明川	古墳群	縄文・中古室	縄文土器、板押	台地上	荒地	
44	藤戸大野台古墳群	H191F 419	野田町藤戸大野台	35°58'52"	139°56'24"	有明川	古墳群	縄文・中古室	縄文土器、板押	台地上	畑、荒地	
45	藤戸大野台古墳群	H191F 419	野田町藤戸大野台	35°58'46"	139°56'18"	有明川	古墳群	縄文	縄文土器	台地上	畑、荒地	
46	下三ノ尾川の遺跡	H191F 419	野田町下三ノ尾川	35°58'30"	139°55'54"	有明川	古墳群	縄文・古墳	縄文土器、土葬器	台地上	畑、荒地	
47	下三ノ尾川の遺跡	H191F 419	野田町下三ノ尾川	35°58'34"	139°55'43"	有明川	古墳群	縄文	縄文土器	台地上	畑	
48	上三ノ尾川の遺跡	H191F 419	野田町上三ノ尾川	35°58'29"	139°55'44"	有明川	古墳群	縄文・古墳	縄文土器、土葬器	台地上	畑	
49	上三ノ尾川の遺跡	H191F 419	野田町上三ノ尾川	35°58'27"	139°55'37"	有明川	古墳群	縄文	縄文土器	台地上	畑	H15 調査
50	下三ノ尾川の遺跡	H191F 419	野田町下三ノ尾川	35°58'19"	139°56'40"	有明川	古墳群	縄文	縄文土器	台地上	畑	
51	下三ノ尾川の遺跡	H191F 419	野田町下三ノ尾川	35°58'14"	139°56'30"	有明川	古墳群	縄文・古墳	縄文土器、土葬器	台地上	畑、山崩	
52	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'25"	139°56'22"	有明川	古墳群	縄文・古墳	縄文土器、土葬器	台地上	畑、山崩	S62 7
53	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'26"	139°56'49"	有明川	古墳群	古墳	土葬器	台地上	畑	
54	大山古墳群	H191F 419	野田町大山	35°58'14"	139°56'18"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	山崩	
55	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'09"	139°56'04"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
56	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'54"	139°55'54"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
57	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'55"	139°55'51"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
58	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'52"	139°55'42"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
59	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'17"	139°57'03"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
60	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'08"	139°56'51"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
61	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'03"	139°56'47"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
62	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'58"	139°56'32"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
63	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'41"	139°56'17"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
64	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'41"	139°56'57"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
65	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'12"	139°57'05"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
66	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'23"	139°58'30"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
67	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'54"	139°58'00"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
68	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'02"	139°57'51"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
69	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'01"	139°58'14"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
70	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'58"	139°58'07"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
71	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'42"	139°58'20"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
72	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'54"	139°58'08"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
73	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'47"	139°58'43"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
74	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'32"	139°58'58"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
75	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'58"	139°58'58"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
76	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'56"	139°58'58"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	
77	山崎古墳群	H191F 419	野田町山崎	35°58'42"	139°58'25"	有明川	古墳群	古墳	古墳	台地上	畑	

第3表 周辺遺跡表(3)

番号	遺跡名	図号	所在地	距離・高さ (WGSS4)		水系	種類	時代	遺構	遺物	立地	文書		備考
				北緯	東経							種別	内容	
76	鎌倉遺跡	N14-104	新市花園町丸山1270番地	35°53'39"	139°58'28"	利根川	包蔵跡	古墳(中・後)	縄文土器	台地上	埋			
79	三浦野原遺跡	Y14-104	新市花園町三浦野原1179番地	35°53'39"	139°58'37"	利根川	包蔵跡	縄文(早・中)	縄文土器、石器	台地上	埋	H7	H8	H8一併調査
80	北沢野原遺跡	Y14-104	新市花園町北沢野原746番地	35°53'52"	139°57'45"	利根川	包蔵跡	縄文(後)	縄文土器(加賀川系、赤生土器)	台地上	埋	561	561	561調査
81	野原野原遺跡	Y14-104	新市花園町野原野原447番地	35°53'53"	139°57'46"	利根川	包蔵跡	古墳	古墳	台地上	埋	557	17	557・17調査(1層)調査
82	上野野原遺跡	N17-104	新市花園町上野野原587番地	35°53'53"	139°57'54"	利根川	包蔵跡	縄文(前)	縄文土器、土師器	台地上	埋	H3		557・13調査
83	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原367番地	35°53'54"	139°58'14"	利根川	包蔵跡	縄文(早・中)	縄文土器(加賀川系・赤生土器)、土師器	台地上	埋	562,H2,4,5,6		北沢野原C地区、546,62,H2,4,5,6併調査
84	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原385番地	35°53'56"	139°58'19"	利根川	包蔵跡	古墳	古墳	台地上	埋			調査
85	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原344番地	35°53'55"	139°58'48"	利根川	包蔵跡	縄文(前・中)	縄文土器(加賀川系・赤生土器)、土師器	台地上	埋	36,9	19	H6,9調査
86	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原497番地	35°53'58"	139°59'04"	大塚川	包蔵跡	縄文(中・後)	縄文土器(加賀川系・赤生土器)、土師器	台地上	埋	504,H6	2,14,29	504,H6,H16調査、調査
87	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原355番地	35°53'52"	139°57'30"	利根川	包蔵跡	縄文、平安	縄文土器、土師器、灰皿	台地上	埋	561		561調査、一部の調査
88	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原314番地	35°53'51"	139°57'57"	利根川	包蔵跡			台地上	埋	1		北沢野原A地区
89	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原5-7番地	35°53'00"	139°57'45"	利根川	包蔵跡	縄文	縄文土器	台地上	埋			
90	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原222番地	35°53'00"	139°58'25"	利根川	包蔵跡	古墳	古墳	台地上	埋	36	16	H6調査、調査
91	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原222番地	35°53'00"	139°58'36"	利根川	包蔵跡	古墳	古墳	台地上	埋			
92	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原222番地	35°53'01"	139°58'35"	利根川	包蔵跡	縄文(前・中)	縄文土器(加賀川系)、土師器	台地上	埋	552,53		552,53調査
93	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原419番地	35°52'57"	139°58'48"	利根川	包蔵跡	縄文(前・中)	縄文土器(加賀川系)、土師器	台地上	埋	557		557調査
94	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原251番地	35°52'53"	139°58'43"	利根川	包蔵跡	縄文	縄文土器、土師器	台地上	埋	557		557調査
95	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原274番地	35°52'52"	139°58'31"	大塚川	包蔵跡	平安	土師器	台地上	埋	12		561調査
96	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原1085-1番地	35°52'55"	139°58'22"	大塚川	包蔵跡	縄文(前・中)	縄文土器、土師器	台地上	埋	H2,5		H2,5調査
97	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原457番地	35°52'45"	139°58'56"	大塚川	包蔵跡	古墳	古墳	台地上	埋	27,30		327-一部、H14,15調査
98	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原457番地	35°52'43"	139°58'50"	大塚川	包蔵跡	縄文(前)	縄文土器	台地上	埋	27,30		H14,15調査、調査
99	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原1015-1番地	35°52'43"	139°58'26"	大塚川	包蔵跡	古墳(中)	土師器	台地上	埋	960	12	960,61調査
100	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原780番地	35°52'41"	139°58'13"	大塚川	包蔵跡	縄文(前・中)	縄文土器(加賀川系・赤生土器)、土師器	台地上	埋			調査
101	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原1181番地	35°52'34"	139°58'07"	大塚川	包蔵跡	内堀	内堀	台地上	埋			537・17調査、調査
102	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原750番地	35°52'31"	139°57'42"	大塚川	包蔵跡	縄文(前・中)	縄文土器(加賀川系)	台地上	埋			
103	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原1030番地	35°52'38"	139°57'28"	大塚川	包蔵跡	縄文(前・中)	縄文土器(加賀川系・赤生土器)、土師器	台地上	埋	552	4,24	552,H2,H3調査
104	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原500番地	35°52'40"	139°57'00"	大塚川	包蔵跡	縄文	縄文土器	台地上	埋			
105	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原456番地	35°52'55"	139°56'04"	大塚川	包蔵跡	平安	土師器	台地上	埋			野原野原B地区
106	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原385番地	35°53'49"	139°56'53"	大塚川	包蔵跡	平安	土師器、磁石、フレイク	台地上	埋			
107	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原140番地	35°53'58"	139°55'36"	大塚川	包蔵跡	縄文(中)	縄文土器(加賀川系・赤生土器)	台地上	埋			
108	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原1307-5番地	35°52'23"	139°56'44"	大塚川	包蔵跡	縄文	縄文土器	台地上	埋	556		556調査
109	野原野原遺跡	N17-104	新市花園町野原野原344番地	35°52'28"	139°58'42"	大塚川	包蔵跡	縄文(中)	縄文土器(加賀川系・赤生土器)、土師器	台地上	埋	H5,12,13	15,24,25	H5,12,13調査、一部の調査

第2章 検出した遺構と遺物

第1節 立川ローム層と文化層

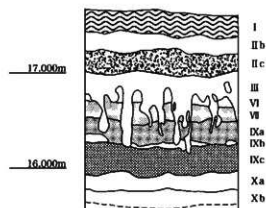
大松遺跡は、下総台地北西部の台地上に位置する。遺跡周辺の標高は18 m前後を測り、下総台地の中心部にあたる四街道市周辺の標高26 m～28 mと比較すると、約10 mの差がある。

下総台地は、更新世中期から後期の海成砂層（下総層群）を主体とし、その上位を風成層である関東ローム層が覆っている。下総層群の最上部には、常総粘土層と呼称される下末吉ローム起因の凝灰質粘土層が堆積しており、大松遺跡周辺の造成工事に伴う法面でも確認することができる。

下総台地の地形面は、海水・汽水・淡水に起因する浸食・堆積作用がなくなる離水期により、古い段階から下末吉面（下総上位面）、武蔵野面（下総下位面）、立川面（千葉面）と区分される。大松遺跡の所在する台地は、このうちの武蔵野面（下総下位面）に比定できる。

大松遺跡の発掘調査では、立川ローム層の一部のみを確認するに至った。各層の記述は以下のとおりである。

—18,000m CC23-28 グリッド北壁

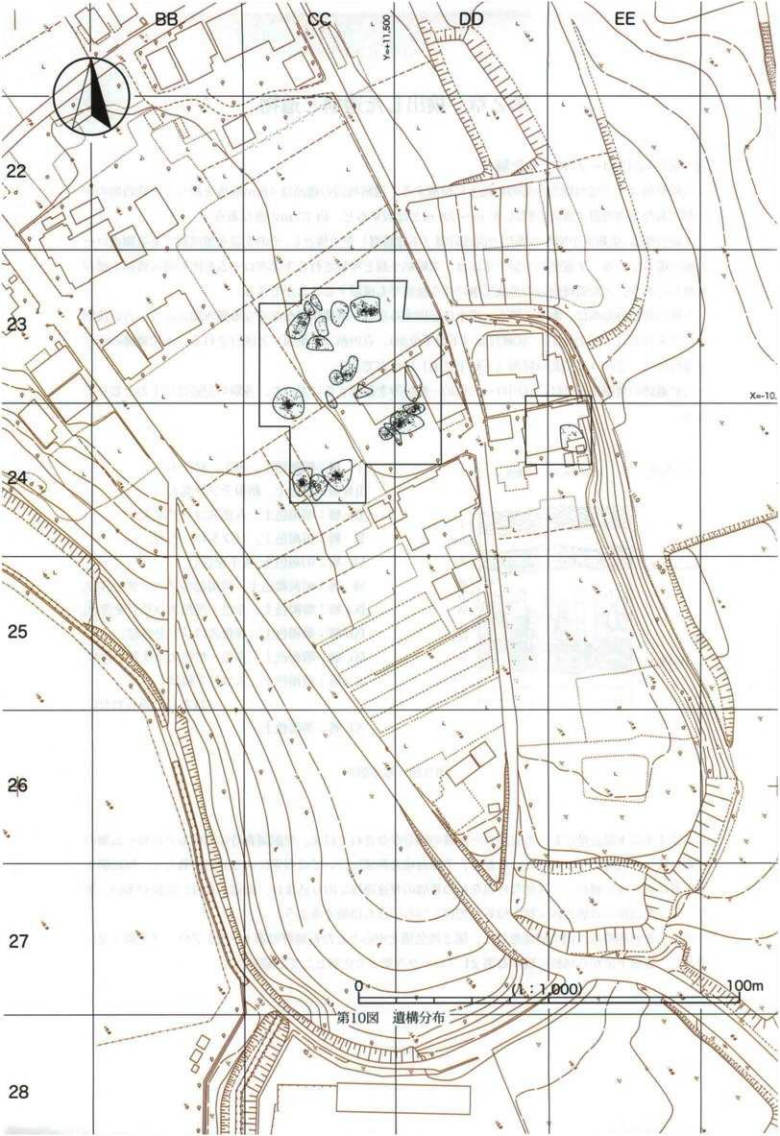


- I 層：暗褐色土。表土、耕作土。
- IIb 層：褐色土。新規テフラ混入。
- IIc 層：暗褐色土。赤色スコリア混入。
- III 層：黄褐色土。ソフトローム層。
- VI 層：明褐色土。A Tを含む。
- VII 層：暗黄褐色土。黄褐色のブロックを含む。
- IXa 層：暗褐色土。赤色・黒色スコリアを含む。
- IXb 層：黄褐色土。赤色スコリアを含む。
- IXc 層：暗褐色土。赤色・橙色スコリアを含む。
- Xa 層：黄褐色土。スコリア粒はほとんどみられない。
- Xb 層：茶褐色土。

第9図 基本層序

平成4年に下総台地における立川ローム層の細分がなされて以来、発掘調査時における立川ローム層の分層も統一されるようになった。しかし、下総台地北西部については視覚による分層が難しく、特に第1黒色帯にあたるV層が、二次的な性質を持つIII層の発達過程に取り込まれ、確認できない状況が多い。また、第2黒色帯のVII層とIXa層の境界が把握しづらい点も指摘できよう。

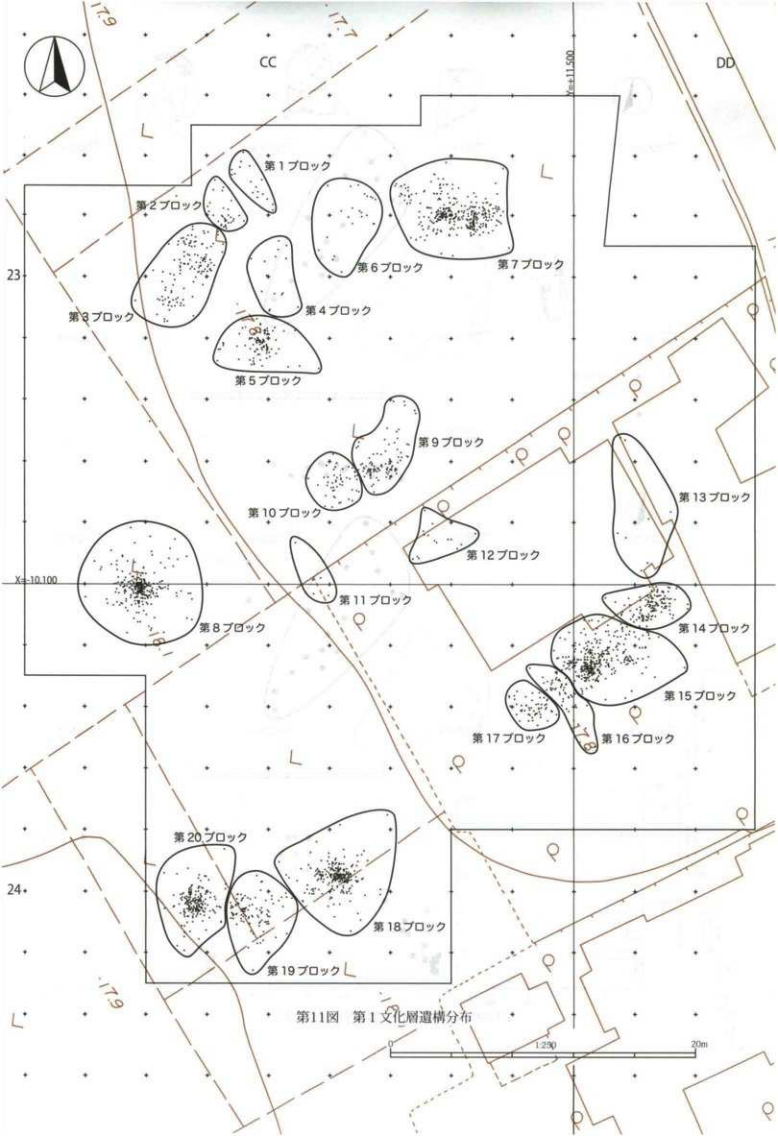
出土した石器群は、出土層位を基に、第2黒色帯を中心とした石器群の第1～20ブロックを第1文化層とし、III層下位からVI層に属する第21ブロックを第2文化層として分類した。



第10図 遺構分布

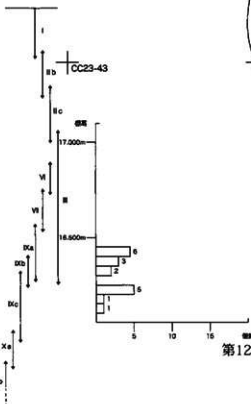
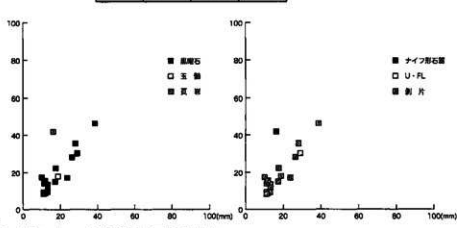
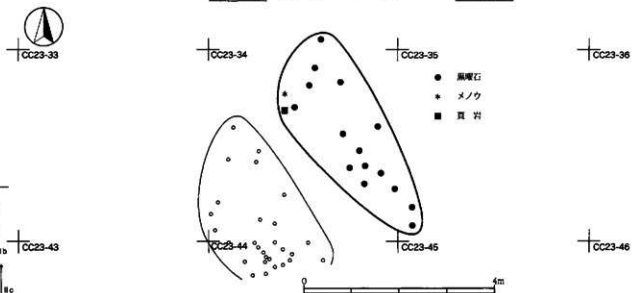
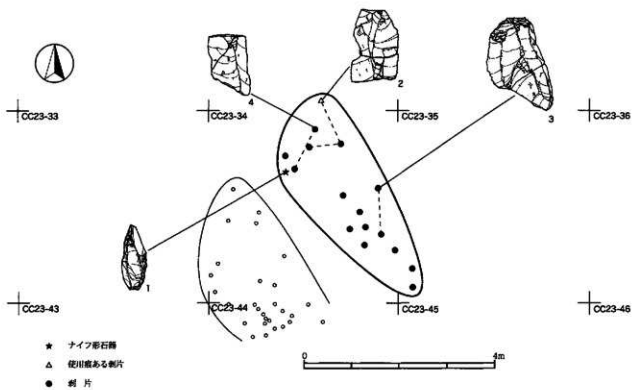
(1:1,000)

100m



第11図 第1文化層遺構分布

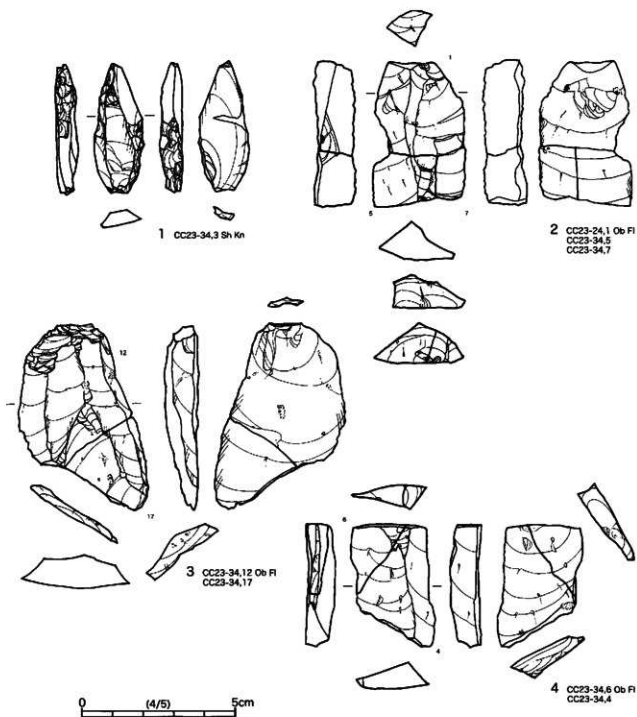




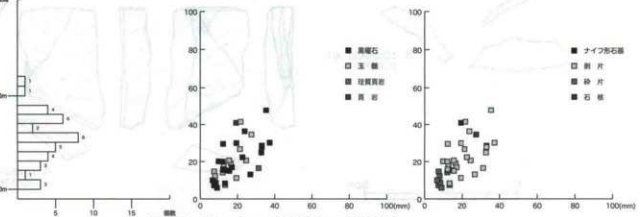
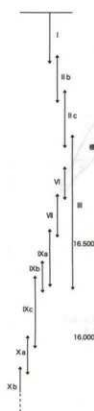
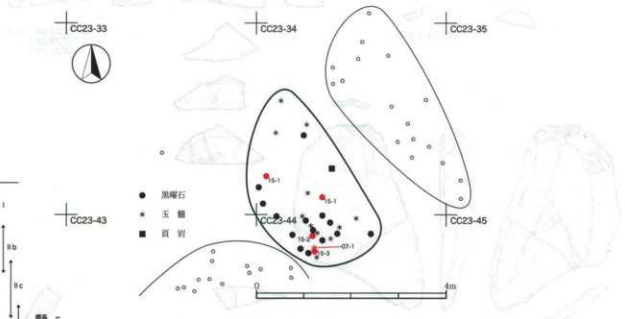
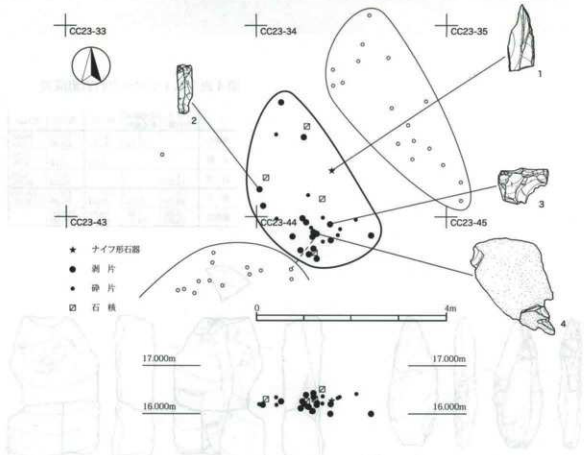
第12図 第1ブロック器種別・石材別分布

第4表 第1ブロック石器組成表

	ナイフ 形石器	使用個の ある破片	断片	合計	組成比
黒曜石	1	15	43.18	16	88.88 75.86
玉髄		1	0.76	1	5.56 1.09
頁岩	1			1	5.56 23.05
合計	16.20	10.12	43.94	18	100.00 100.00
組成比	5.56 23.05	5.56 14.41	88.88 62.54	100.00 100.00	



第13図 第1ブロック出土石器



第14図 第2ブロック器種別・石材別分布

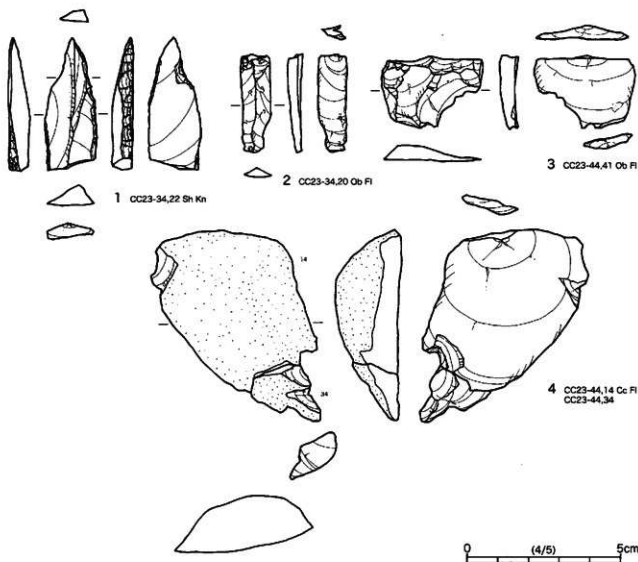
第2節 第1文化層

第2黒色帯上位から下位にかけて石器の出土をみるブロックで、第1ブロックから第20ブロックの20地点が検出された。

すべてのブロックに共通して黒曜石製の石器が組成に加わり、接合資料も黒曜石のみでも計31個体確認された。黒曜石以外では、玉髄、頁岩、珪質頁岩、流紋岩にも剥片剥離工程を明瞭に窺える接合個体を含む。前述した黒曜石を併せ、合計55個体の接合資料が確認されている。これら接合資料はブロック内で完結する個体や、最大40mの距離を置くブロック間の接合も認められる。相互に関連性の高いブロックが径50mの環状に配置することから、環状ユニットと考えられる。

第5表 第2ブロック石器組成表

	ナイフ 剥石器	剥片	砕片	石核	合計	組成比
黒曜石	17	4	0.63	19.69	22	57.89
	82.24				102.96	73.78
玉髄	7	6	1.98	12.89	14	36.84
	14.72				29.59	21.29
珪質頁岩		1.71			1.71	2.63
					5.15	3.70
頁岩	1.515				1.515	2.63
					3.70	3.70
合計	1.515	26	10	2	38	100.00
	65.79	26.32	2.61	5.26	100.00	100.00
組成比	3.70	70.98	1.88	23.44	100.00	100.00
黒曜石		51.43		19.69	71.12	71.12
玉髄					4	4
07		3.27			3.27	3.27



第15図 第2ブロック出土石器

1. 第1ブロック (第12・13図、第4・49表、図版3・6)

分布

CC23-34 グリッドを中心に検出された。分布は長軸4m、短軸2mの長楕円形状を呈する。分布範囲中には特に密集する地点はなく、均等に散布している。出土層位は一部に「IX層」の注記があり、ヒストグラムについても、2つの偏差が認められるがIX a層に所属すると考えられる。石器の出土レベルの最大値は16.466m、最小値は16.139m、平均は16.321mである。

接合資料

2分・3分した剥片の接合が認められるが、剥片剥離工程を示す接合資料は確認されなかった。

器種・石材

計18点の出土のうち16点が黒曜石製で、剥片の他1点が使用痕のある剥片である。他の2点は玉髄、頁岩であり、頁岩はナイフ形石器、玉髄は剥片である。剥片は縦長の形状となる傾向が認められ、縦横比は1.1:1程度であるが、打面側もしくは末端部側が欠損するものが多いため、実際には縦の比が大きくなると考えられる。

黒曜石の特徴は、比較的透明感をもつ石材と、ややくすんだ感のある石材が混在する。共に1~3mmほどの夾雑物を多く含み、剥片剥離時に夾雑物により打撃の方向が分かれ、分割するものが多い。玉髄については、乳白色を主体とし、オレンジ色の部位がみられる石材である。頁岩は明るい黄土色を呈し、きめの細かい石材である。

1は頁岩製のナイフ形石器である。横長剥片の打面および末端部に調整を施し、無調整部位は打面に近い片側縁となる。調整はすべて腹面側から密に行われている。

2は黒曜石製の使用痕のある剥片である。3分するが、剥片剥離の際に分割したものであろう。使用痕の認められる部位は実測図正面右側縁である。背面の剥離はすべて打面側からであり、連続的に作出されたことが窺える。

3・4は黒曜石製の剥片である。共に剥片剥離の段階で分割している。3の背面には末端部側からの剥離が見られるが、他は打面側からの剥離である。4は打面部および末端部が欠損している。

2. 第2ブロック (第14・15図、第5・49表、図版3・6)

分布

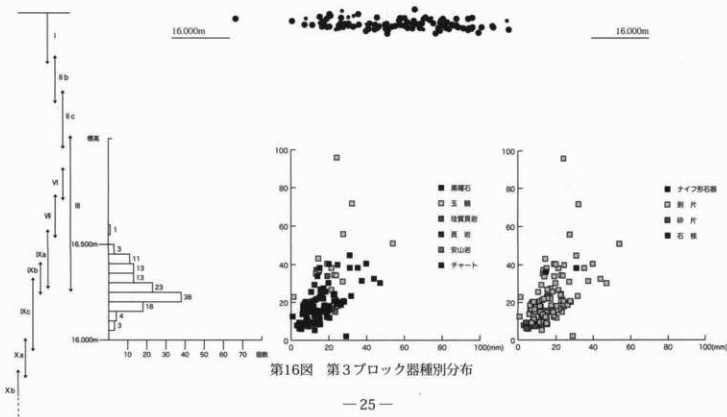
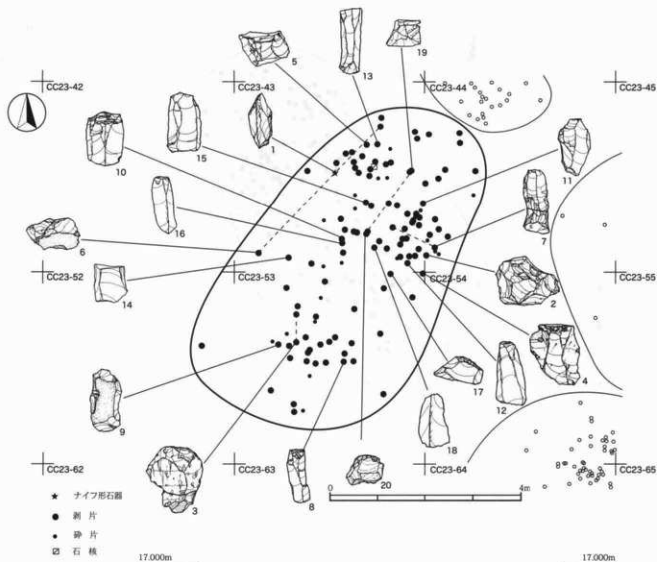
CC23-34、44 グリッドにかけて検出された。分布は長径4m、短径2.5mの楕円形状を呈する。分布範囲の南側、CC23-44 グリッド北西に径1mほどの集中がみられ、以北の分布は疎となる。石器の垂直分布は上下のレベル差0.6mを測る。ヒストグラムでは、点数の最大値付近がIX a層下位付近に該当するため、この層位に所属するものと考えられる。なお、石器の出土レベルの最大値は16.583m、最小値は16.014m、平均は16.269mである。

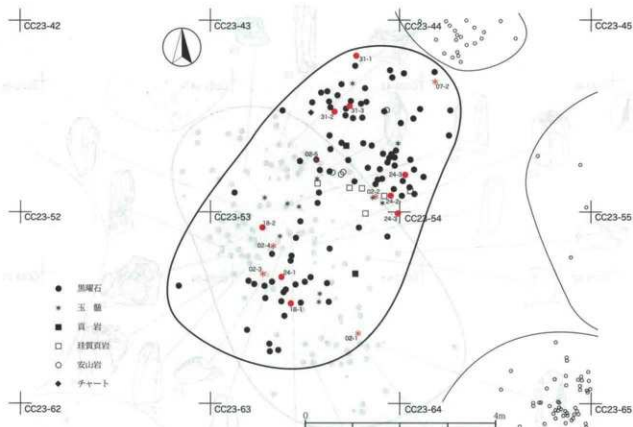
接合資料

2固体が確認され、黒曜石15は第2ブロック内で完結、玉髄07は第3ブロックと共有している。

器種・石材

計38点のうち黒曜石が22点、玉髄が14点と両者で大半を占める。頁岩、珪質頁岩共に単独で出土するが、頁岩はナイフ形石器であり、第2ブロックで出土下石器のうち定型的な石器はこの1点のみで他





第17図 第3ブロック石材別分布

は剥片・砕片である。

黒曜石の特徴は、透明感があり夾雑物の混入が少ないものと、器表面に光沢がみられるがやや透明感に欠けるものの2種で占められる。玉髄は、乳白色を基調とし、半透明の部位とオレンジ色の部位が混在するものである。頁岩は、光沢感はないが緻密な石材で、色調は黄土色を呈する。

石器の縦横比は幅があり系統がつかみにくいが、やや縦長となる傾向が認められる。

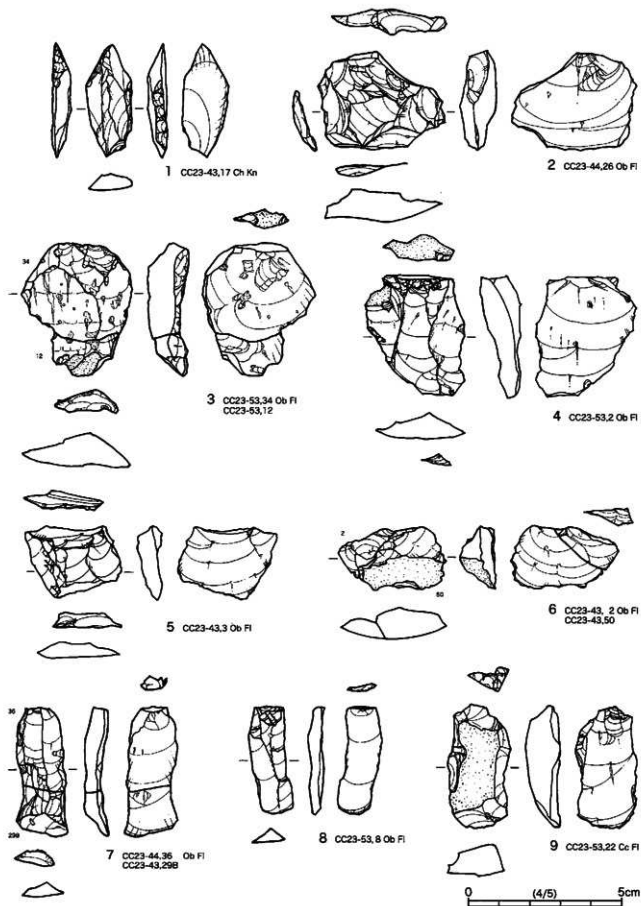
第6表 第3ブロック石器組成表

1は頁岩製のナイフ形石器である。縦長剥片を素材とし、調整は打面から片側縁にかけて施され、対となる側縁の一部を無調整部位とする。基部が欠損している。

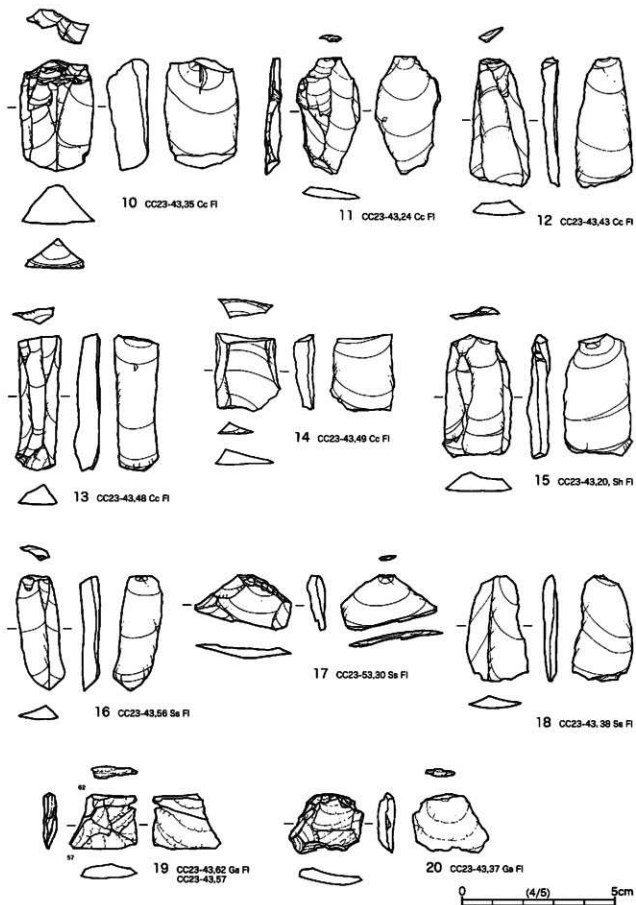
2・3は黒曜石製の剥片である。2は小型の縦長剥片で、背面を構成する剥離の方向はすべて打面側となり、同一方向からの打撃により連続的に作出された剥片であることが窺える。3は横長の不定形剥片である。背面の剥離の方向も多方向であり、打面再生剥片の可能性も考えられる。

4は玉髄製の剥片である。背面は自然面で占められ、剥片剥離工程の初期段階に作出された剥片と考えられる。

	ナイフ 形石器	剥片	砕片	石核	合計	組成比
黒曜石	84	180.34	1.83	1	99	77.95
玉髄	16	160.76	0.13		17	13.39
頁岩	5	6.66			5	3.94
緑頁岩	2	7.11			2	1.57
安山岩	3	4.70			3	2.36
チャート	1	5.80			1	0.79
合計	110	359.57	1.96	1	127	100.00
組成比	0.79	86.61	11.81	0.79	100.00	100.00
黒曜石	2	2.37			2	2.37
黒曜石	3	54.52			3	54.52
黒曜石	2	3.36		1	3	34.13
玉髄	5	63.56			5	63.56
玉髄	1	4.03			1	4.03



第18図 第3ブロック出土石器(1)



第19図 第3ブロック出土石器(2)

末端部付近で2分するが、剥片剥離の初期に自然面に対し、打撃を加えた際の亀裂によるものである。

3. 第3ブロック (第16～19図、第6・49・50表、図版3・6～8)

分布

CC23-43、53グリッドを中心に検出された。石器の平面分布は長軸8m、短軸5mの楕円形を呈するが、分布が密となる箇所がCC23-43グリッド南東、CC23-53グリッド中心部に認められる。垂直分布のヒストグラムはIXa層下面からIXc層上位に最大値が認められ、他のブロックと比較すると若干レベルが下がる。石器出土レベルの最大値は16.561m、最小値は16.080m、平均は16.270mである。

接合資料

5個体確認された。黒曜石18・31が第3ブロック内で完結し、黒曜石24が第6ブロック、玉髓02が第14・15ブロック、玉髓07が第2ブロックとそれぞれ共有している。

器種・石材

計127点のうち、黒曜石が84点と点数的に最も多いが、重量比では玉髓と2分する。他の石材の珪質頁岩、安山岩、チャートは客体的である。チャート製の石器はナイフ形石器1点のみで、第3ブロックで唯一の定型的な石器である。

石器の縦横比は、2:1の縦長系統と、1:0.8のやや横長系統が認められる。

1はチャート製のナイフ形石器である。縦長剥片を素材とし、調整は打面部および末端部に近い片側縁に施される。

2から8は黒曜石製の剥片である。2から6は不定形、7・8は縦長剥片である。第3ブロックでは黒曜石製の大型剥片は少数であり、比較的大型となる剥片も横長もしくは縦横比が1:1に近い形状が多く、7・8のような縦長剥片は小型となる。

9から14は玉髓製の剥片である。形状の整った縦長剥片が多く、背面の剥離も打面側、もしくは打面側と末端部側からのものが多く、縦長剥片作出の意図が明瞭に窺える。

15は頁岩製の縦長剥片である。背面を構成する剥離は、打面側からの一方向からの剥離で占められる。

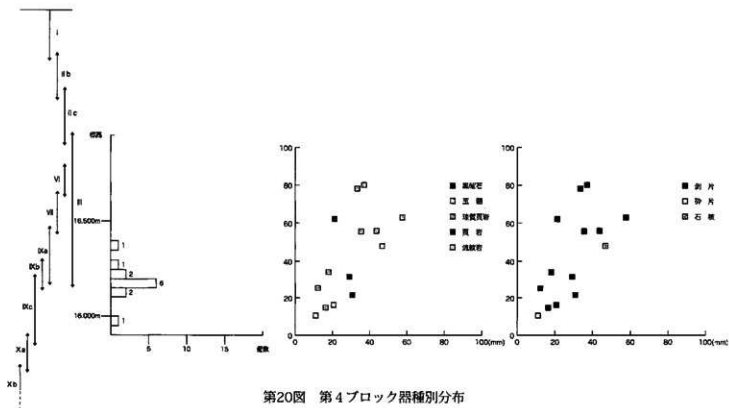
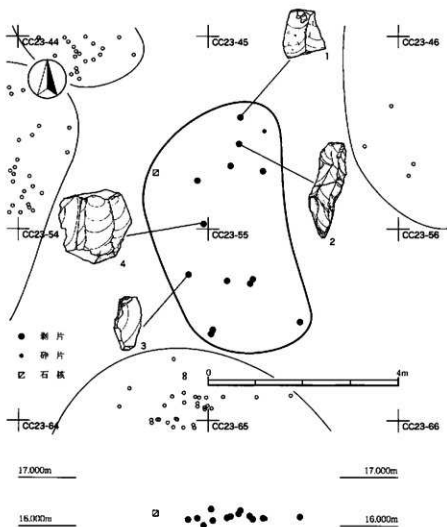
16から18は珪質頁岩製の剥片である。16・18は縦長剥片であるが、両者の背面構成には差異が認められ、16は同一方向からの剥離で構成されるのに対し、18の剥離の方向は一定ではなく、結果的に縦長剥片となるものである。17は横長剥片で、背面の打面部付近には頭部調整痕と考えられる細かい剥離が認められる。

19・20は安山岩製の剥片である。不定形剥片であり、背面を構成する剥離の方向も一定せず、多方向からの剥離である。

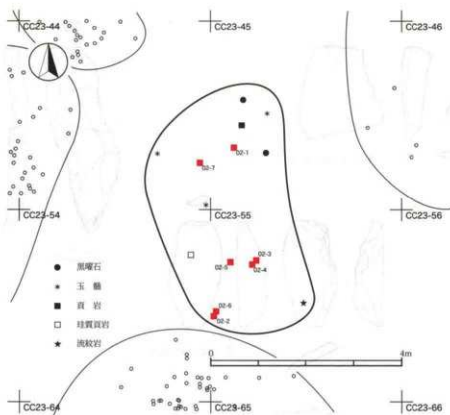
4. 第4ブロック (第20～22図、第7・50表、図版8)

分布

CC23-45、55グリッドを中心に検出された。石器の分布は長軸5m、短軸3mの楕円形状を呈する。垂直分布のヒストグラムの最大値はIXa層下位を示す。石器出土レベルの最大値は16.350m、最小値は15.978m、平均は16.181mである。



第20図 第4ブロック器種別分布



第21図 第4ブロック石材別分布

接合資料

一個体確認され、頁岩 02 が第5ブロックと共有している。

器種・石材

他のブロックでは黒曜石の割合が高いのに反し、計 14 点のうち頁岩が 57%、重量比で 74% を占める。黒曜石、玉髄、珪質頁岩、流紋岩は客体的である。定型的な石器は含まれず、剥片、碎片、石核で構成される。石器の形状の幅が広く、形状比グラフのドットの分布は広範囲にわたる。やや縦長の系統が認められるが。大きさの点では 4cm 以下のグループと、5cm を越えるグループの 2 系統が認められる。

1 は黒曜石製の剥片である。末端部側が欠損している。打面を広く設定し作出されている。2 分するが、剥片作出後に折断されたものではなく、剥片剥離時に腹面に存在する不純物から背面側に打撃が抜けたためである。

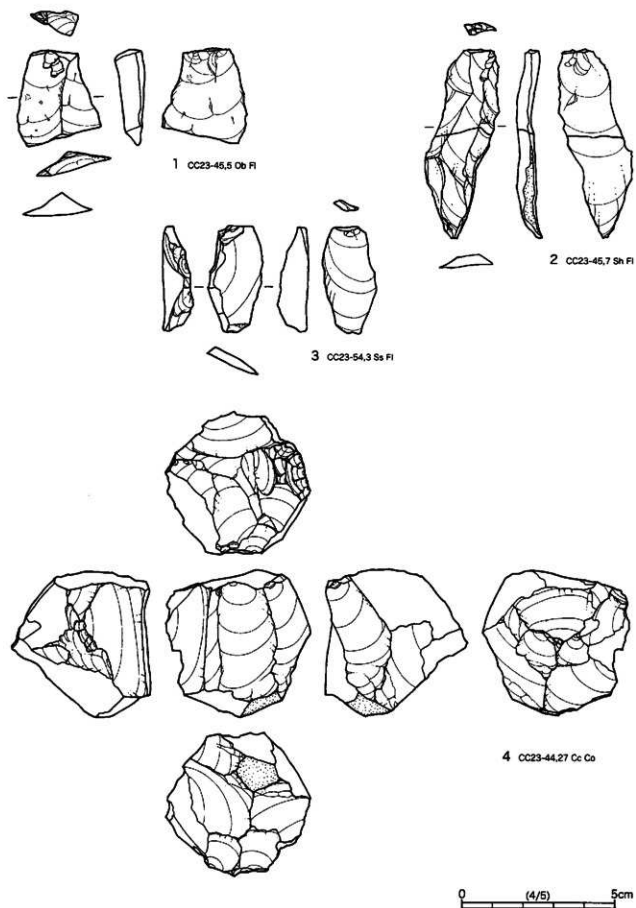
2 は頁岩製の縦長剥片である。ほぼ中間地点で 2 分する。背面右側縁に自然面が見られる。背面を構成する剥離の方向は一貫して打面側からである。

3 は珪質頁岩製の剥片である。左側縁にみられる剥離は頭部調整痕とみられるため、打面再生剥片である可能性が高い。

4 は玉髄製の石核である。玉髄製の接合資料が複数確認されているにもかかわらず、この石核については接合関係が全くみられなかった。頻繁に打面転移を行っており、最終的に正面に

第7表 第4ブロック石器組成表

	剥片	碎片	石核	合計	組成比
黒曜石	2 8.23			2 8.23	14.29 3.31
玉髄		1 0.32	1 48.08	2 48.40	2 14.29 19.48
珪質頁岩	1 6.21			1 6.21	7.14 2.50
頁岩	8 184.26			8 184.26	57.14 74.15
流紋岩	1 1.39			1 1.39	7.14 0.56
合計	12 200.09	1 0.32	1 48.08	14 248.49	100.00 100.00
組成比	85.72 80.52	2.14 0.13	7.14 19.35	100.00 100.00	
頁岩	7 180.80				
02					



第22図 第4ブロック出土石器

みられる同一打面からの剥離により剥片剥離作業を終了している。

5. 第5ブロック（第23～25図、第8・50表、図版8・9）

分布

CC23-64、65グリッドを中心に検出された。石器の平面分布は長径7m、短径4mの楕円形状を呈し、特にCC23-64グリッド北東隅付近に集中箇所が認められる。垂直分布のヒストグラムは、IXa層下位とIXc層上位にピークが認められる。石器出土レベルの最大値は16.644m、最小値は15.935m、平均は16.207mである。

接合資料

6個体確認されている。黒曜石05・19・20・21、珪質頁岩01が第5ブロック内で完結し、頁岩02が第4ブロックと共有している。

器種・石材

ナイフ形石器を組成に含み、黒曜石製、珪質頁岩製のものが各1点出土している。他は剥片、碎片、石核で構成される。計111点のうち黒曜石の点数が78点と全体の70%を占めるが、第5ブロック内で完結する珪質頁岩製の接合資料に含まれる石核により、重量比では36%にとどまる。他は玉髄、頁岩が石材として使用されている。

石器の縦横比は縦長の傾向を示し、1:0.8の値をみることができる。

1は黒曜石製のナイフ形石器である。縦長剥片の打面から片側縁にかけて、および末端部に調整を施す。

2は珪質頁岩製の調整痕のある剥片である。打面付近の片側縁および末端部に微細な調整痕が認められる。大松遺跡第1文化層に所属するナイフ形石器の形状と異なるため、調整痕のある剥片としたが、あるいはナイフ形石器の可能性も考えられる。

3から5は黒曜石製の剥片である。3・4の背面構成は多方向からの剥離により構成される。3の右側縁には背面の剥離面を打面として剥片を作出する痕跡が認められ、打面再生剥片と考えられる。5の背面は自然面で占められ、打面側と末端部側の2方向からの剥離痕が認められる。

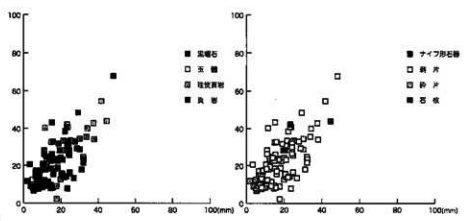
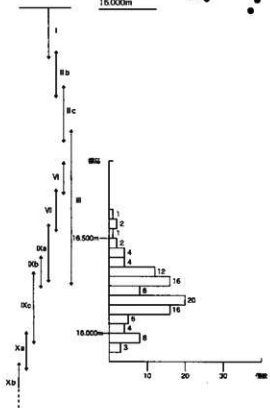
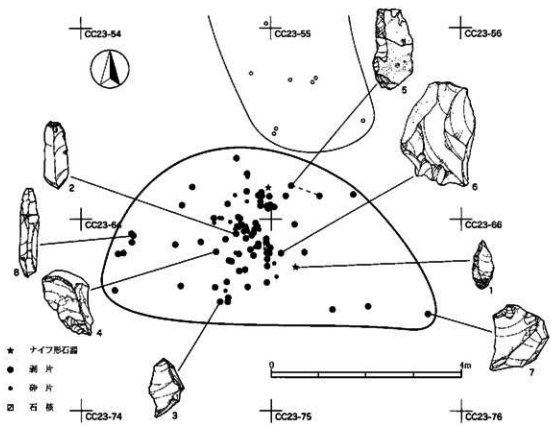
6は頁岩製の大型剥片である。背面は多方向からの剥離により構成される。打面再生剥片の可能性も考えられる。

7・8は珪質頁岩製の剥片である。7は不定形剥片で、背面には多方向からの剥離がみられる。8の背面には打面側からと末端部側からの剥離がみられ、形状からも上下に打面を設定した石核から連続的に作出された剥片といえる。

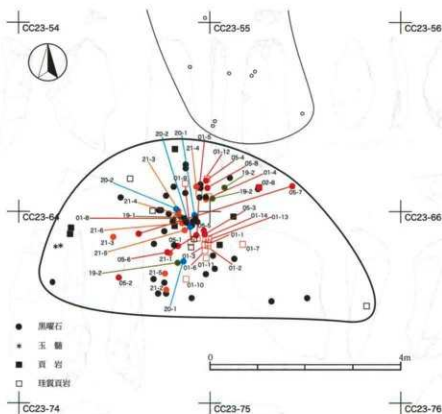
6. 第6ブロック（第26～28図、第9・50表、図版9・10）

分布

CC23-36、46グリッドを中心に検出された。分布範囲は6m×4mの範囲で、やや散漫な分布状況である。垂直分布の上方はVII層下位、下方はIXc層下位と高低差が大きいが、ヒストグラムのピークはIXa層下位からIXc層上位にみられる。石器出土レベルの最大値は16.485m、最小値は15.917m、平均は16.176mである。



第23図 第5ブロック器種別分布



第24図 第5ブロック石材別分布

接合資料

一個体確認され、黒曜石 24 が第3ブロックと共有している。

器種・石材

計 23 点出土している石器のうち、点数的には黒曜石が 56% を占めるが、重量比では 14% を割る。珪質頁岩、チャートの二種で 73% を占め、この石材の石器が概して大型であることが理解できる。

石器の縦横比については大きさに幅があるが、1 : 0.8 とやや縦長の傾向を示す。

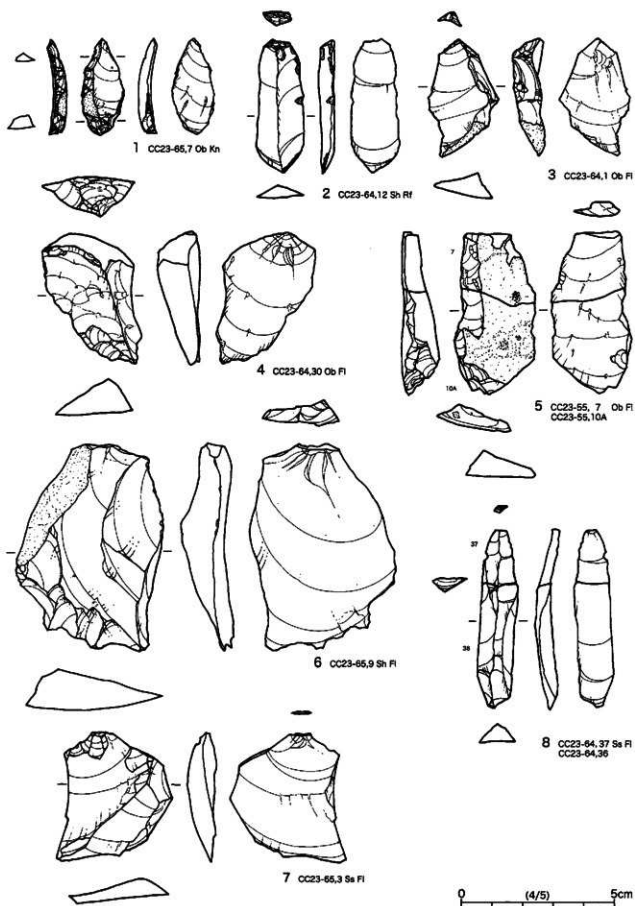
1・2 は黒曜石製の剥片である。1 の背面は原石面で占められ、剥片剥離工程の初期段階に作出された剥片であることが窺える。背面打面部付近にみられる剥離は、剥片剥離の際に同時に割れた痕跡であろう。2 は、大松遺跡第 1 文化層に属する黒曜石製石器群のうち、唯一透明感のある石材である。背面の剥離の方向は、上下両端からの剥離によるものである。

3・4 は珪質頁岩製の剥片である。3 は大型の剥片で、背面に明瞭な稜を有する。4 の背面は打面側からの剥離により構成される。

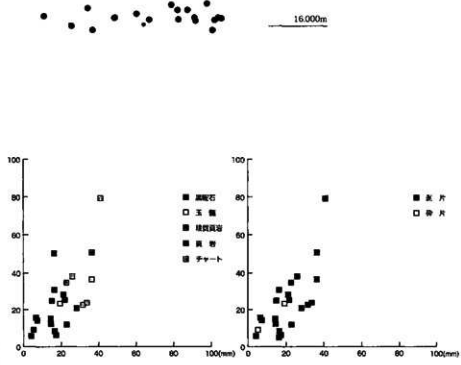
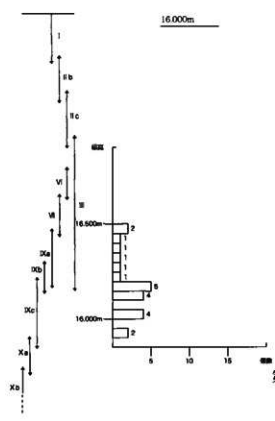
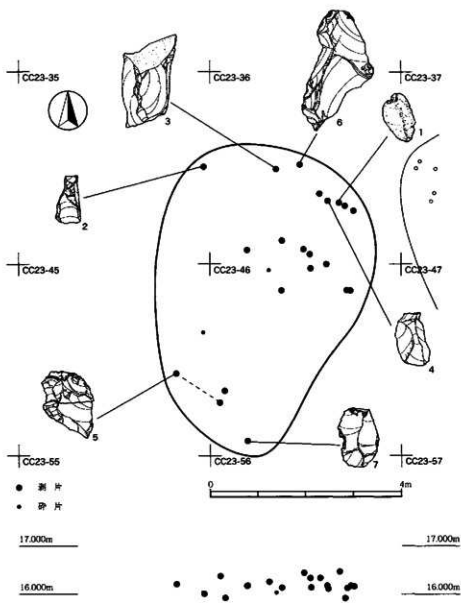
5 から 7 はチャート製の剥片である。5 は不定形剥片で、剥片剥離時に中央部で 2 分している。背面構成はほ

第 8 表 第 5 ブロック石器組成表

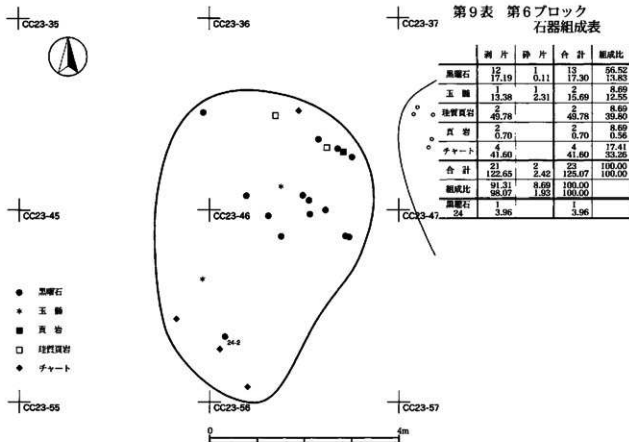
	ナイフ 製石数	剥片	砕片	石核	合計	組成比
黒曜石	1	60	17	78	70.27	36.29
	1.82	133.88	2.51		138.21	
玉髄		4	1	5	4.50	1.98
		7.41	0.12		7.53	
珪質頁岩	1	20	1	22	20.73	100.00
	5.65	103.71	1.19	78.24	188.79	49.56
頁岩		5		5	4.50	12.17
		46.36			46.36	
合計	2	89	19	111	100.00	100.00
	7.47	291.36	3.82	78.24	380.89	100.00
組成比	1.80	80.18	17.12	0.90	100.00	100.00
	1.96	76.49	1.01	20.54		
黒曜石		11		11	44.25	
		44.25				
黒曜石		3		3	10.57	
		10.57				
黒曜石		4		4	7.51	
		7.51				
黒曜石		9		9	20.18	
		20.18				
珪質頁岩	1	15		17	145.71	
	5.65	61.82		78.24		
頁岩		1		1	27.20	
		27.20				



第25図 第5ブロック出土石器



第26図 第6ブロック器種別分布



ぼ打面側からの剥離により構成される。正面左側縁にみられる剥離痕は、分割した際に折面から回り込んだ剥離である。6は大型剥片で、背面の剥離の方向は一定していない。7は打面部付近に最大厚がくる。

7. 第7ブロック (第29～36図、第10・50～53表、図版10～13) 分布

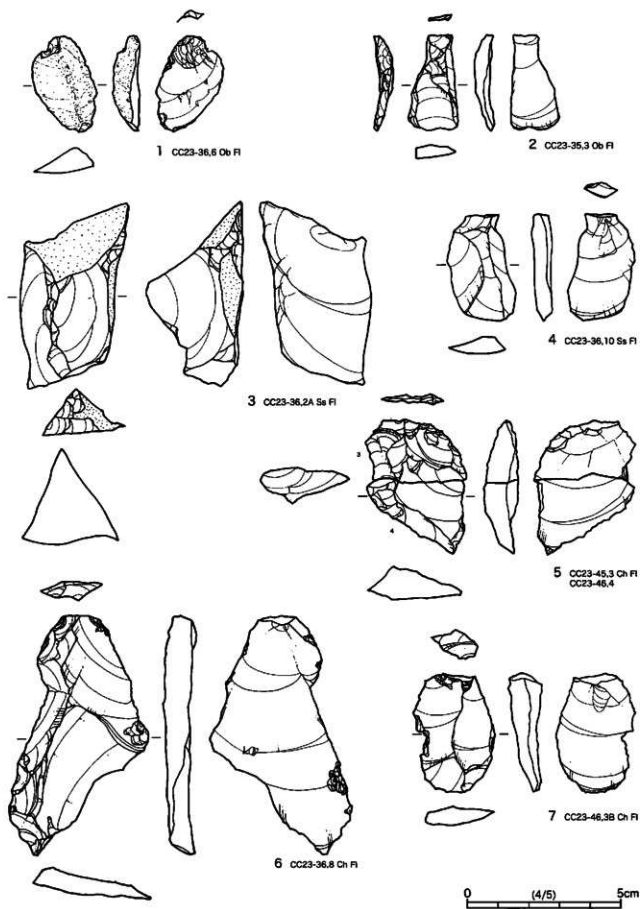
CC23-47、48 グリッドを中心に検出された。石器は8m×7mの広い範囲に分布し、分布範囲の中でもCC23-37グリッド南東コーナーおよびCC23-48グリッド北側に径1m程の集中が認められる。

石器の出土レベルは幅が広く、上方はⅦ層上位から下方はXa層下位に及ぶが、ヒストグラムのピークはIXa層下位を示す。石器出土レベルの最大値は16.518m、最小値は15.648m、平均は16.092mである。
接合資料

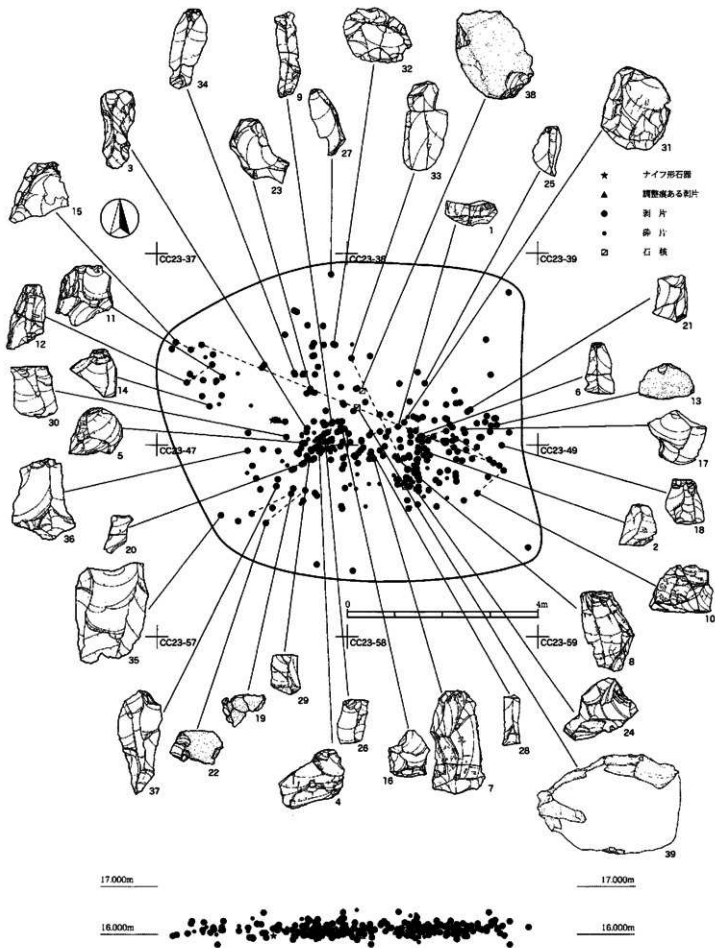
12個体確認された。このうち第7ブロック内で完結する接合資料は9個体で、黒曜石14・17・29、玉髄03・08・09・11、頁岩08・09が該当する。ブロック間接合が認められた個体は3個体で、頁岩05が第9・12ブロック、頁岩06が第8ブロック、流紋岩02が第19ブロックとそれぞれ共有している。
器種・石材

計343点のうち黒曜石製の石器が55%と半数以上を占める。石器の縦横比は1:1を中心に均等に広がり、系統は特に認められない。

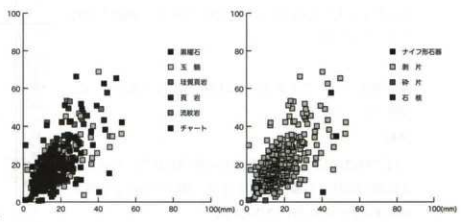
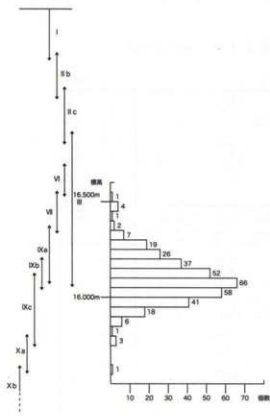
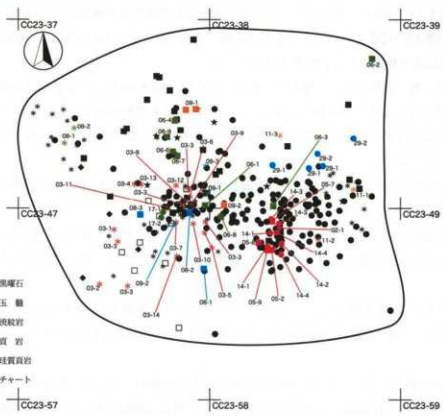
1から10は黒曜石製の剥片である。6・9の背面にみられるように、剥離の方向が一方向もしくは上



第28図 第6ブロック出土石器



第29図 第7ブロック器種別分布



第30図 第7ブロック石材別分布

下両端からとなるものは少なく、そのほとんどが多方向からの剥離により構成される。

11 から 22 は玉髓製の剥片である。すべて不定形剥片であるが、唯一 18 の背面は打面側、末端部側からの 2 方向の剥離により構成され、企画性が認められる。

23 から 28 は頁岩製の剥片である。概ね縦長剥片となるが、23・24 のように背面の剥離が多方向からのものと、25 から 28 のように打面側一方向もしくは打面側、末端部側の 2 方向からの剥離により構成されるものが見受けられる。25 から 27 の主軸はやや傾斜するが、28 については主軸と打撃の方向が一致し石刃状の剥片となる。

29・30 は珪質頁岩製の剥片である。両者とも縦長剥片の範疇に含まれ、背面の剥離の方向は打面側である。30 の末端部は著しくヒンジ・フラクチュアとなる。

31 から 34 は流紋岩製の剥片である。すべて白色を呈する石材である。31・32 は不定形剥片であり、背面の剥離は多方向からの剥離で構成される。33・34 は縦長剥片であり、背面の剥離にも企画性が認められる。

35 から 37 はチャート製の剥片である。第 7 ブロック内では比較的大型の剥片であるが、概して不定形剥片であり、37 の一部に企画性が認められるもの以外は、背面の剥離は多方向からの剥離により構成されている

38 は黒曜石製の石核である。表裏面に自然面が依存することから、長さ 7 cm ほどの小型の扁平礫を利用していることが窺える。打面は上下の 2 か所に設定され、特に実測図上方からの剥片剥離を中心に行われている。下方に設定された打面からは、裏面にみられる一回の剥離の後、正面下方の細かい剥離が行われている。

39 は頁岩製の石核である。自然面は黄土色、剥離面は焦げ茶色を呈する石質で、大松遺跡では第 1・2 文化層を含めてこの石材の出上は認められない。大型のやや扁平な礫を素材とし、正面図上部に打面を作出し、右側面、裏面の一部にみられるような素材剥片の作出を行っている。この作業面での剥片剥離は数回で終了し、打面を側方に転転しているものの、この部位での剥片剥離も数回で終了している。

8. 第 8 ブロック (第 37～41 図、第 11・53・54 表、図版 14～16)

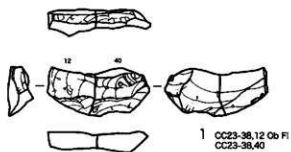
分布

CC24-02、03 グリッドを中心に検出された。直径 8 m のほぼ円形状に石器が分布するが、特に分布の中心部 3 m に集中箇所が顕著に認められる。

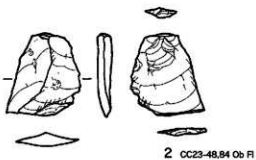
石器の出土層位は VI 層から IX 層下位にわたり、高低差が大きい。ヒストグラムは下方に集中する傾向がみられ、IX 層中位にピークが認められる。石器出土レベ

第 10 表 第 7 ブロック石器組成表

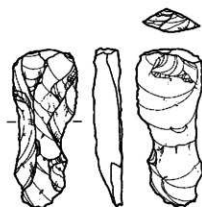
	ナイフ 形打面	剥片	砕片	石核	合計	組成比
黒曜石	154 347.58	35 3.77			189 351.35	95.10 15.04
玉 髓	9.00 233.26	60 22	9.15		89 251.41	24.20 10.76
珪質頁岩		12 33.04			12 33.04	3.60 1.42
頁 岩		40 146.63		3 1394.05	43 1540.69	12.53 85.96
流紋岩		12 75.76			12 75.76	3.50 3.24
チャート		3 83.30	0.26		4 83.56	1.17 3.56
合 計	0.00 918.57	281 918.57	58 13.20	3 1394.05	343 2335.83	100.00 100.00
組成比	0.29 0.39	81.92 39.37	16.91 0.56	0.88 59.65	100.00 100.00	
黒曜石		63.50			63.50	
黒曜石		2			2	
黒曜石		5.85			5.85	
黒曜石		5			5	
黒曜石		15.83			15.83	
玉 髓	9.00	12	0.43		14	
玉 髓		2.52			2.52	
玉 髓		2			2	
玉 髓		7.99			7.99	
玉 髓		3			3	
玉 髓		23.29			23.29	
頁 岩		20.60		88.71	109.31	
頁 岩		8		1	9	
頁 岩		61.11		50.35	111.46	
頁 岩		3			3	
頁 岩		10.78			10.78	
頁 岩		3			3	
頁 岩		3.55			3.55	
流紋岩		8.54			8.54	



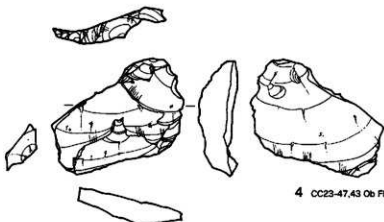
1 CC23-36,12 Ob Fl
CC23-36,40



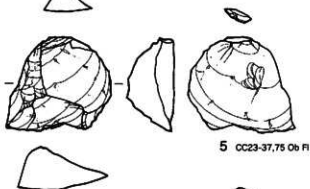
2 CC23-48,84 Ob Fl



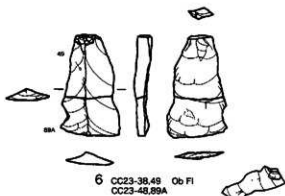
3 CC23-37,67 Ob Fl



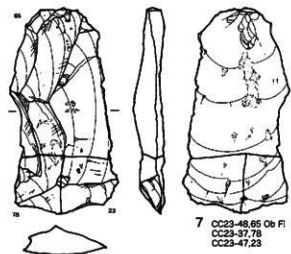
4 CC23-47,43 Ob Fl



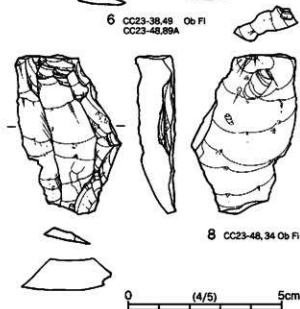
5 CC23-37,75 Ob Fl



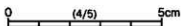
6 CC23-38,48 Ob Fl
CC23-48,89A



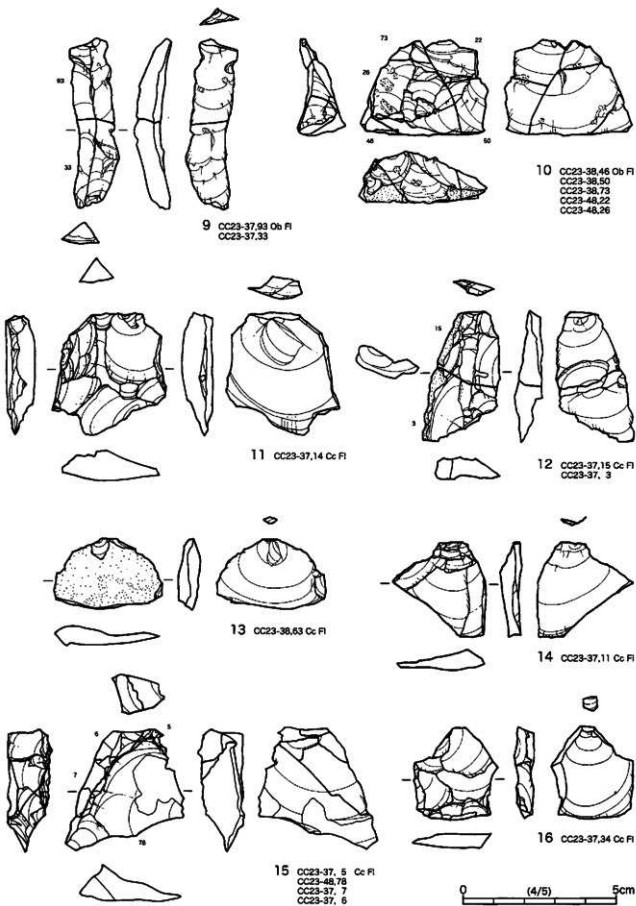
7 CC23-48,65 Ob Fl
CC23-37,78
CC23-47,23



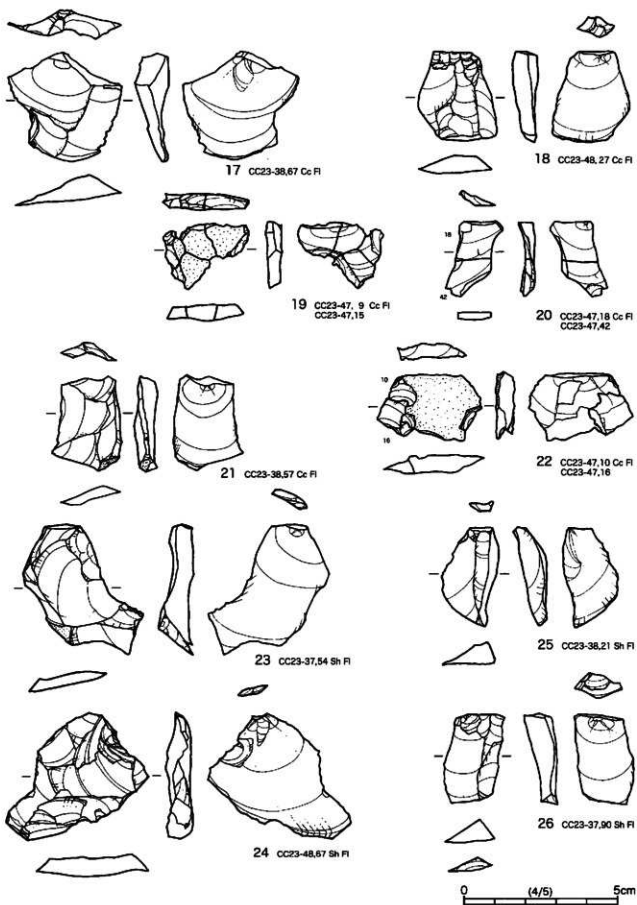
8 CC23-48,34 Ob Fl



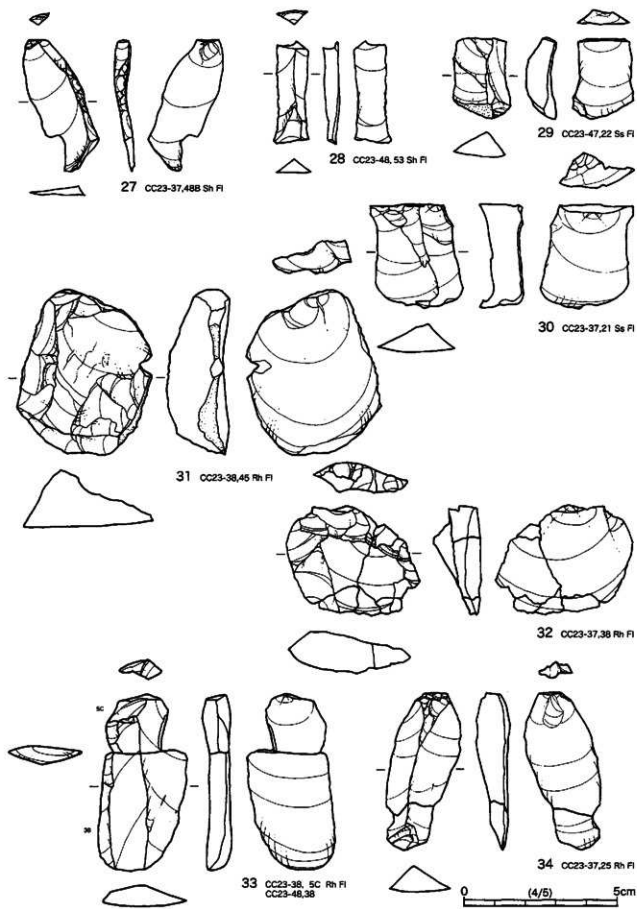
第31図 第7ブロック出土石器(1)



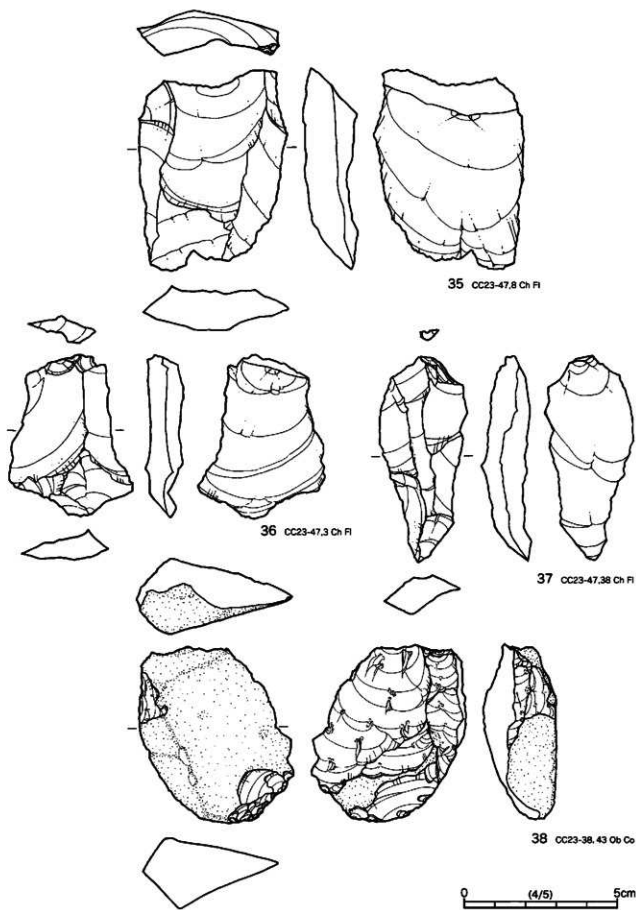
第32図 第7ブロック出土石器(2)



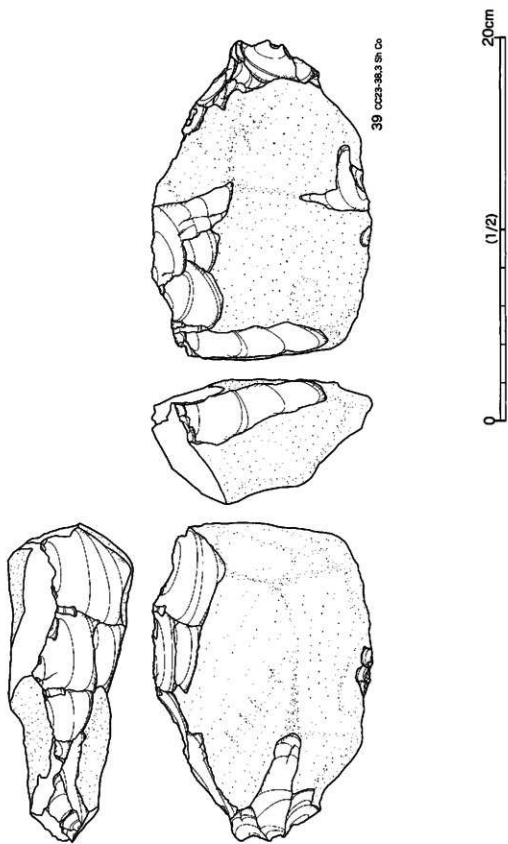
第33図 第7ブロック出土石器(3)



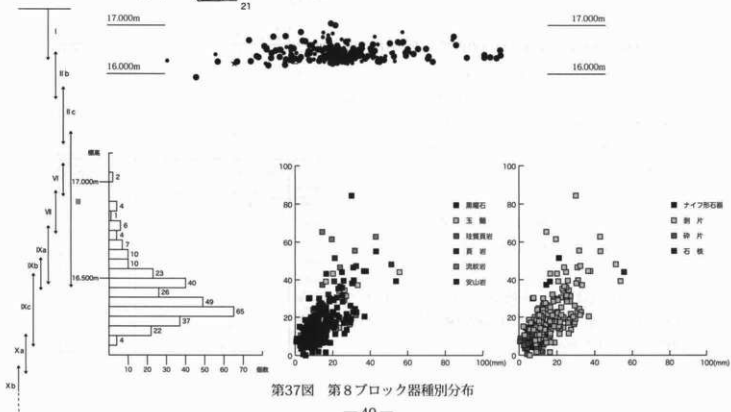
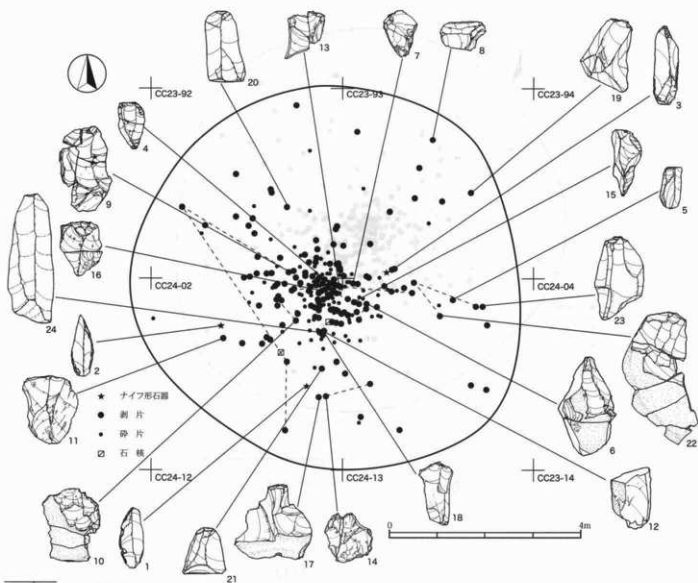
第34図 第7ブロック出土石器(4)



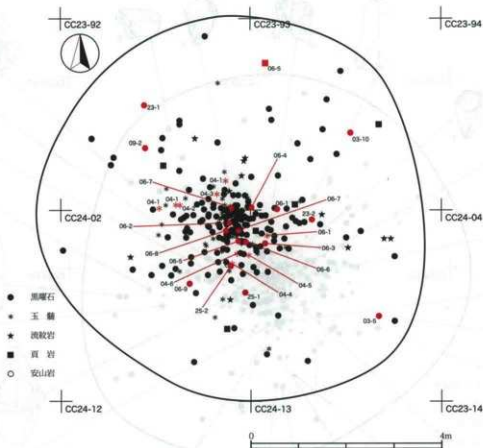
第35図 第7ブロック出土石器(5)



第36図 第7ブロック出土石器(6)



第37図 第8ブロック器種別分布



第38図 第8ブロック石材別分布

ルの最大値は 17.048 m、最小値は 16.177 m、平均は 16.411 m である。

接合資料

8 個体確認された。第 8 ブロック内で完結する接合資料は、黒曜石 06・23・25、玉髓 04 の 4 個体である。ブロック間接合が確認された接合資料は 4 個体で、黒曜石 03 が第 9・10・14・15 ブロック、黒曜石 09 が第 9・10 ブロック、玉髓 06 が第 11 ブロック、頁岩 06 が第 7 ブロックとそれぞれ共有している。

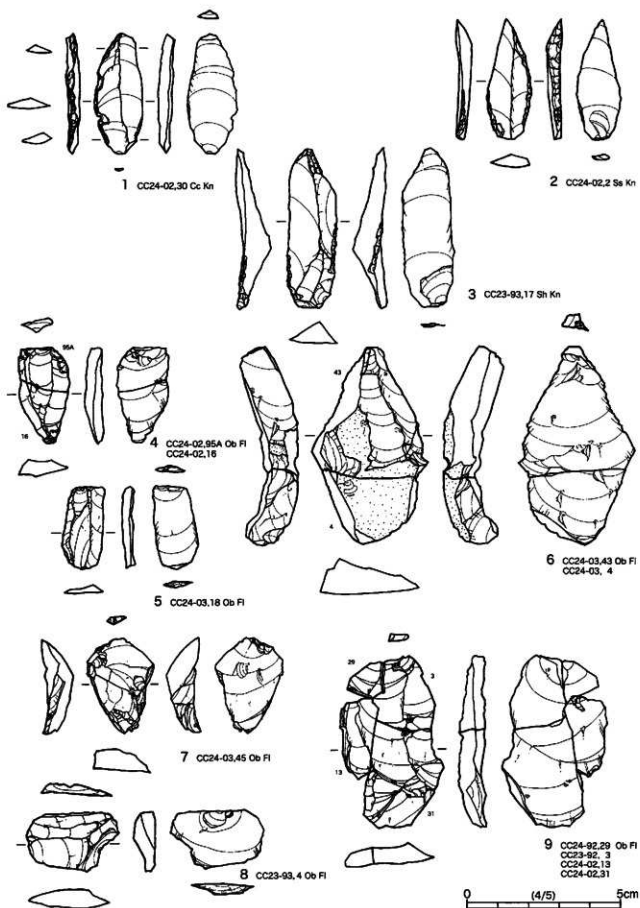
器種・石材

ナイフ形石器 3 点を組成に含む。ナイフ形石器以外に定型的な石器は認められず、他は剥片、碎片、石核で占められる。

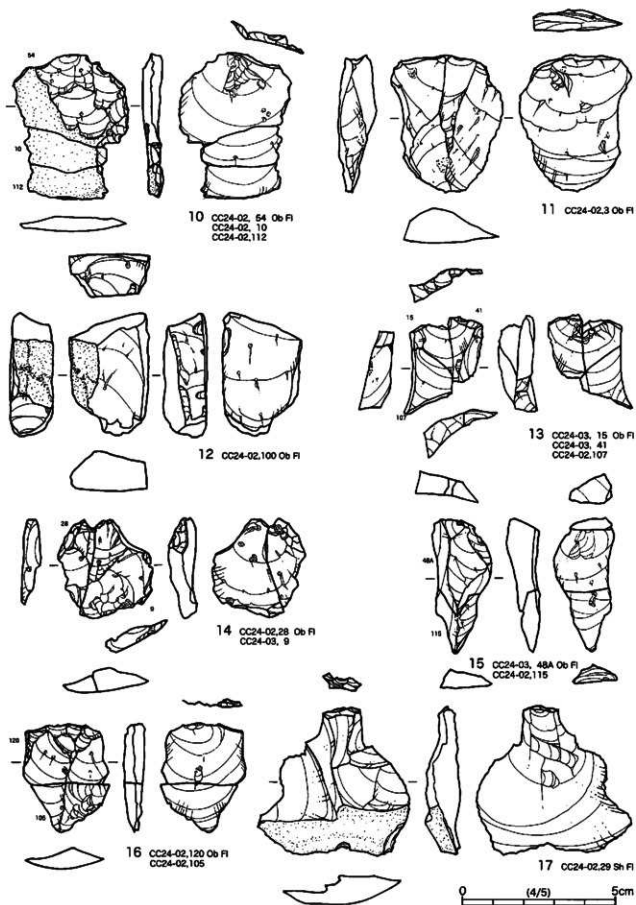
石器の縦横比は縦長の系統が強く窺え、1 : 0.6 程の比が認められる。また、1 : 1.3 程の横長系統の一群が認められるのも特徴的である。

第11表 第8ブロック石器組成表

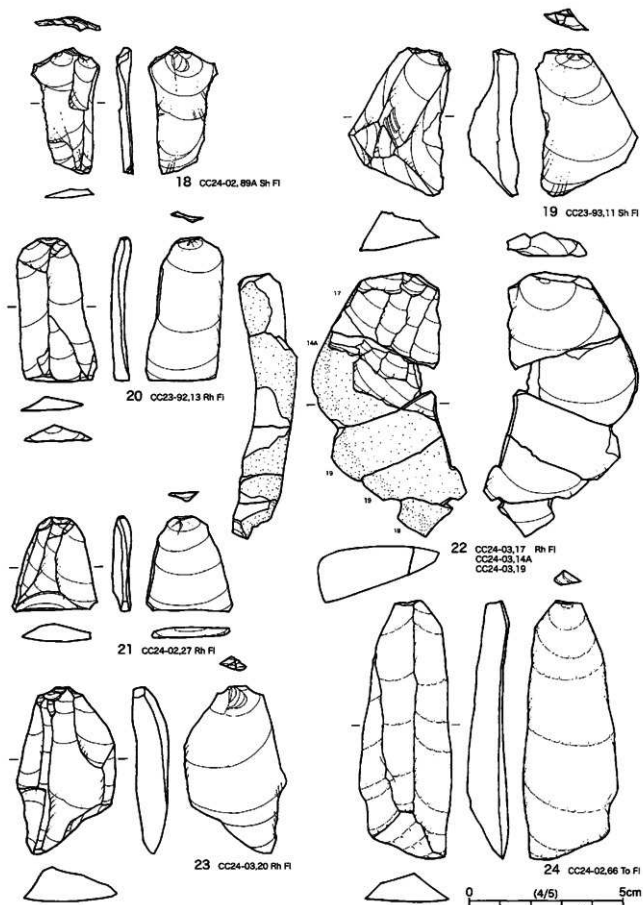
ナイフ形石器	剥片	碎片	石核	合計	組成比
黒曜石	199	108		247	78.90
玉 髓	2.53	63.74	20	132.55	14.38
珠質頁岩	1			1	0.32
頁 岩	5.38	37.99		43.37	6.14
流紋岩		12		12	3.84
安山岩		81.56		81.56	11.54
		25.68		25.68	3.63
合 計	3	181	128	313	100.00
組成比	0.96	622.09	17.65	706.76	100.00
	1.44	88.02	2.50	100.00	
黒曜石	2	16.27		16.27	2
黒曜石 03	10	174.23		10	174.23
黒曜石 09	1	0.76		1	0.76
黒曜石 23	3	7.17		3	7.17
黒曜石 25	3	8.86		3	8.86
玉 髓	7	47.49	1	8	104.35
玉 髓 06	5.85			5.85	
頁 岩	1	2.42		1	2.42
頁 岩 06					



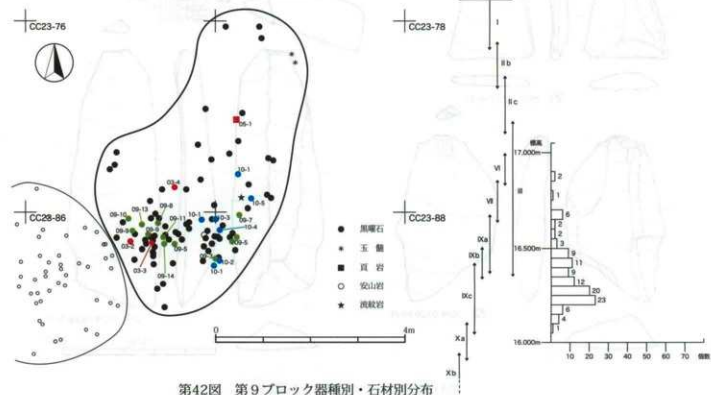
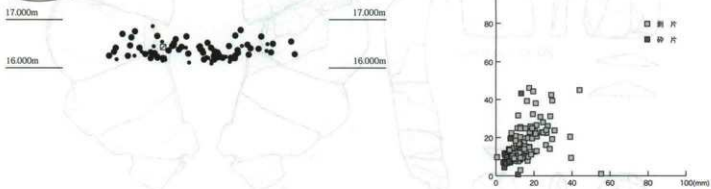
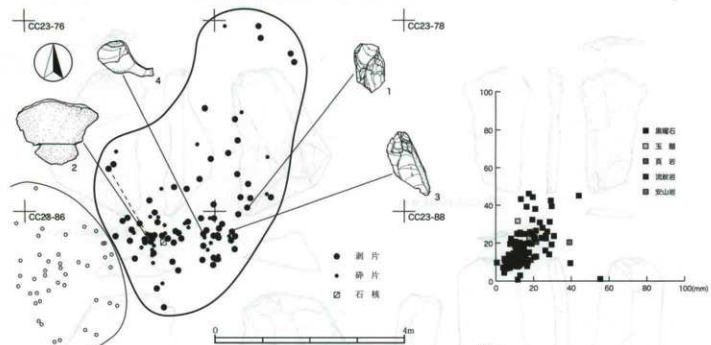
第39圖 第8ブロック出土石器(1)



第40図 第8ブロック出土石器(2)



第41図 第8ブロック出土石器(3)



第42図 第9ブロック器種別・石材別分布

石材は黒曜石を中心に、玉髄、珪質頁岩、頁岩、流紋岩、安山岩が使用される。点数的には黒曜石と玉髄の二種で全体の90%を占めるが、玉髄については、出土した石核1点の重量を除外すると、重量比では11%にとどまり、小型、軽量の剥片類が多いことが指摘される。

1から3はナイフ形石器である。すべて素材剥片の打面部を留め、基部側に設定している。1・2の背面構成は打面側からの一方向の剥離であるが、3については、一部に側縁方向からの剥離が混在している。調整は二側縁に対し行われ、腹面側からの微細な調整により製品としている。

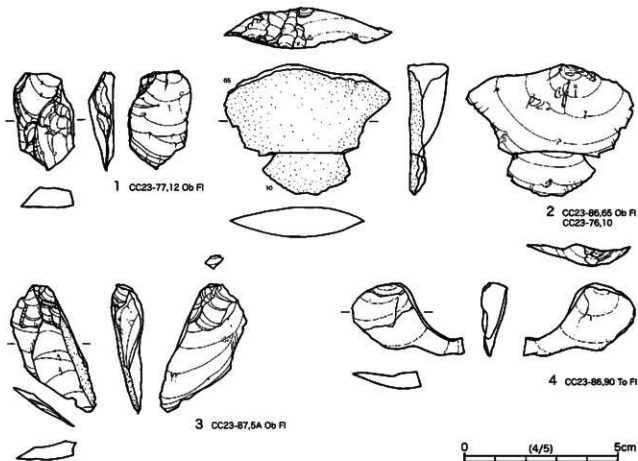
4から16は黒曜石製の剥片である。8の背面には左方向から連続して剥片剥離を行った痕跡が認められ、その後打面を90度変換して剥片を作出しているため、結果的に横長の剥片となる。その他は概して縦長剥片であるが、背面構成については、一部腹面の剥離の方向と異なる剥離を含むもの(5・6・7・11・14)や、全く異なるもの(12)が認められる。

17から19は頁岩製の剥片である。17は自然面を有する不定形剥片で、背面の剥離の方向は左右両方向からである。18・19は縦長剥片で、背面を構成する剥離もほぼ同一方向からのものである。

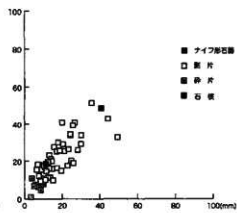
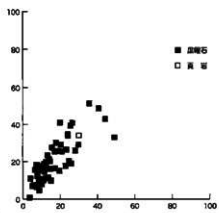
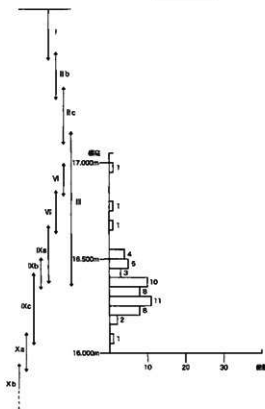
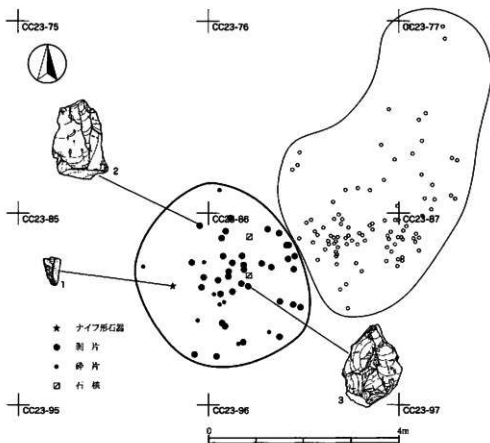
20から23は流紋岩製の剥片である。概して大型剥片が多く、背面

第12表 第9ブロック
石器組成表

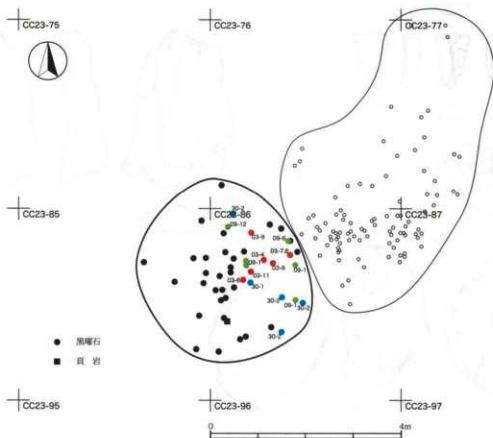
	剥片	碎片	合計	組成比
黒曜石	81 203.07	27 5.77	108 208.84	95.59 96.12
玉髄	2 3.87		2 3.87	1.77 1.78
頁岩	1 1.32		1 1.32	0.88 0.61
流紋岩	1 0.40		1 0.40	0.88 0.18
安山岩	1 2.84		1 2.84	0.88 1.31
合計	86 211.50	27 5.77	113 217.27	100.00 100.00
組成比	76.11 97.34	23.89 2.66	100.00 100.00	
黒曜石	3 16.08		3 16.08	
黒曜石	11 74.98	1 1.94	12 76.92	
黒曜石	7 32.95		7 32.95	
頁岩	1 1.32		1 1.32	



第43図 第9ブロック出土石器



第44図 第10ブロック器種別分布



第45図 第10ブロック石材別分布

を構成する剥離の方向は、打面側 (20・22) もしくは打面側と末端部側 (21・23) の両者である。20は器表面が赤みを帯びるが、21～23は白色を呈し、いずれも0.5mmほどの立方体の結晶を含む石質である。

24は安山岩製の剥片である。器表面は著しく風化し、剥離の単位の観察が極めて困難である。いわゆる「テロテロ石」と呼称されるものである。大型の石刃状剥片であり、背面は打面側からの剥離のみにより構成される。

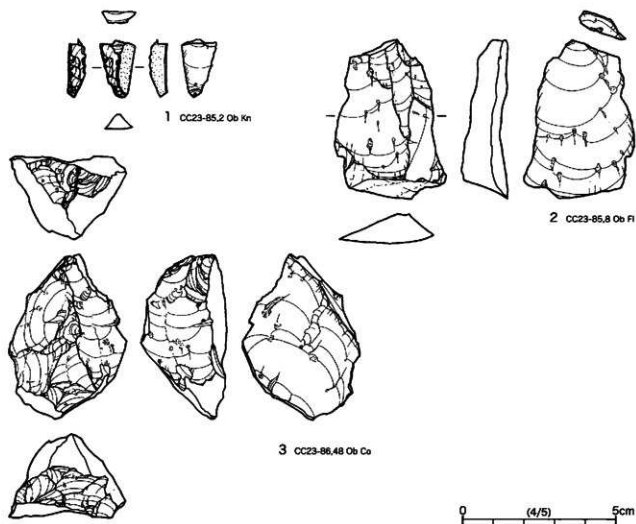
9. 第9ブロック (第42・43図、第12・54・55表、図版3・4・16)
分布

CC23-86、87グリッドに集中箇所が認められる。石器の分布はCC23-86グリッド北東付近を中心にして北方向にかけて散漫に広がり、長軸6m、短径4mの不定円形を呈する。

石器の出土層位はVI層からIXc層下位まで幅が広く、ヒストグラムは下方に集中する傾向がみられ、ピークはIXc層中位を示す。石器出土レベルの最大値は16.865m、最小値は16.098m、平均は16.351mである。

第13表 第10ブロック石器組成表

	ナイフ 削石器	剥片	砕片	石核	合計	組成比
黒曜石	1 0.97	43 185.64	10 1.18	1 60.87	55 248.06	98.18 97.44
頁岩	1	0.52		1	1.52	2.56
合計	1.97	44 192.16	10 1.18	1 60.87	56 255.18	100.00 100.00
組成比	1.82 0.36	78.18 75.31	18.18 9.46	1.82	23.85	100.00
黒曜石 03	5	57.62		1	60.87	118.49
黒曜石 09	6	25.52			6	25.52
黒曜石 30	5	52.85			5	52.85



第46図 第10ブロック出土石器

接合資料

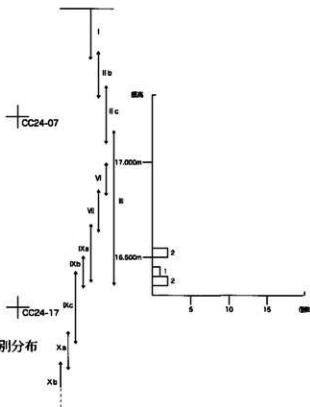
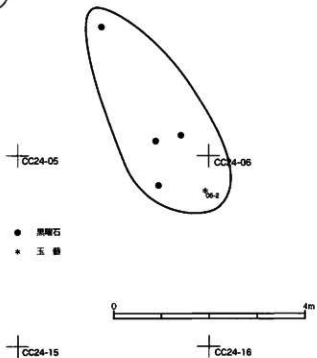
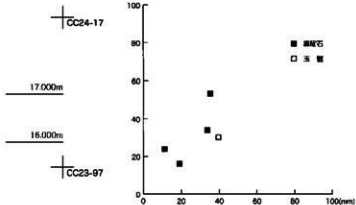
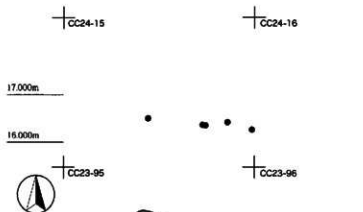
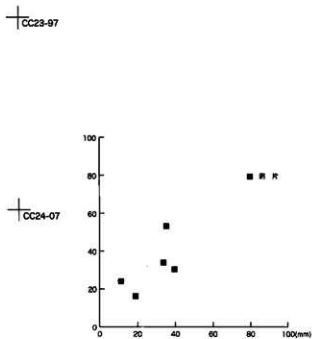
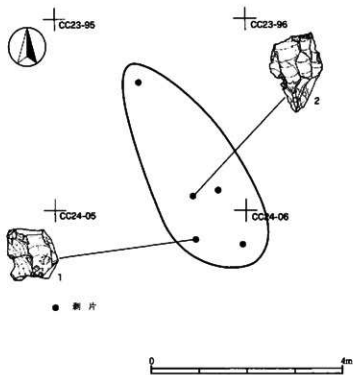
4個体確認された。黒曜石 10 が第9ブロック内で完結し、黒曜石 03 が第8・10・14・15ブロック、黒曜石 09 が第8・10ブロック、頁岩 05 が第7・12ブロックとそれぞれ共有する。

器種・石材

計 113 点のうち黒曜石製の石器が 108 点と 95%を、重量比でも 96%を占める。他の石材は玉髄、頁岩、流紋岩、安山岩が挙げられるが、極めて客体的である。器種は剥片・砕片で構成される。

1 から 3 は黒曜石製の剥片である。1 は不定形剥片で、背面は多方向の剥離により構成される。打面は残存しておらず、剥片作出時に欠損したものと考えられる。2 は大型の不定形剥片で、背面は全面自然面により構成される。打面は広く設定され、打面調整の痕跡が明瞭に認められる。3 は主軸が傾斜する縦長剥片である。背面は打面側からと末端部側からの 2 方向の剥離により構成される。

4 は安山岩製「トトロ石」の不定形剥片である。器表面は風化が著しく剥離の単位が観察しにくい。背面は同一方向からの剥離により構成される。打面には打面調整の痕跡が認められる。



第47图 第11ブロック器種別・石材別分布

10. 第10ブロック (第44～46図、第13・30表、図版4・16)

分布

CC23-85、86グリッドの境界を中心として、直径4mの円形状に石器が出土する。

出土層位はVI層上位からIXc層下位と幅が大きい。垂直分布のヒストグラムのピークはIXa層下位からIXc層中位に該当する。石器出土レベルの最大値は16.975m、最小値は16.099m、平均は16.354mである。

接合資料

3個体確認され、黒曜石03は第8・9・14・15ブロック、黒曜石09は第8・9ブロックとそれぞれ共有する。黒曜石30は第10ブロック内で完結する。

器種・石材

計56点出土したうち、頁岩1点以外は全て黒曜石である。黒曜石製のナイフ形石器1点を含み、他は剥片・砕片・石核で構成される。

石器の縦横比は縦長の傾向が強く窺え、1:0.8程の系統がみられる。

1は黒曜石製のナイフ形石器である。基部のみ残存する。剥片末端部側を基部側に設定し、片側縁に腹面から調整を施す。対となる側縁は自然面が遺存しており無調整となる。

2は黒曜石製の剥片である。部厚な剥片であり、背面構成は打面側からの剥離が圧倒し、一部側縁方向からの剥離もみられる。

3は黒曜石製の石核である。部厚な大型剥片を転用し、腹面を打面として主に打面部および末端部で剥片剥離を行っている。

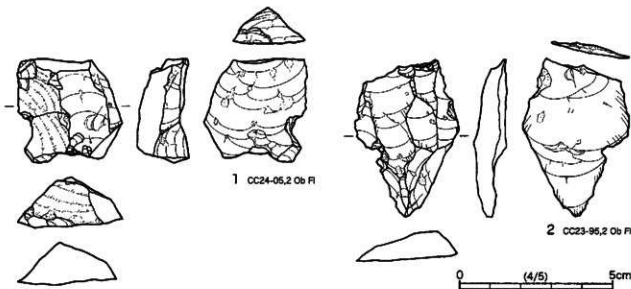
第14表 第11ブロック
石器組成表

	剥片	合計	組成比
黒曜石	4 33.55	4 33.55	80.00 82.51
玉髄	1 7.11	1 7.11	20.00 17.49
合計	5 40.66	5 40.66	100.00 100.00
組成比	100.00 100.00	100.00 100.00	
玉髄	1 7.11	1 7.11	

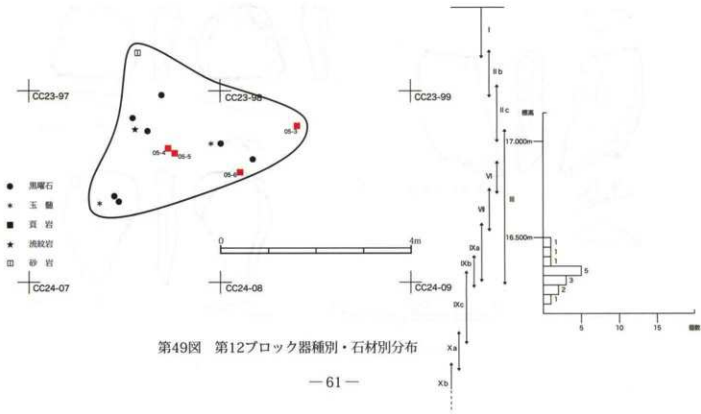
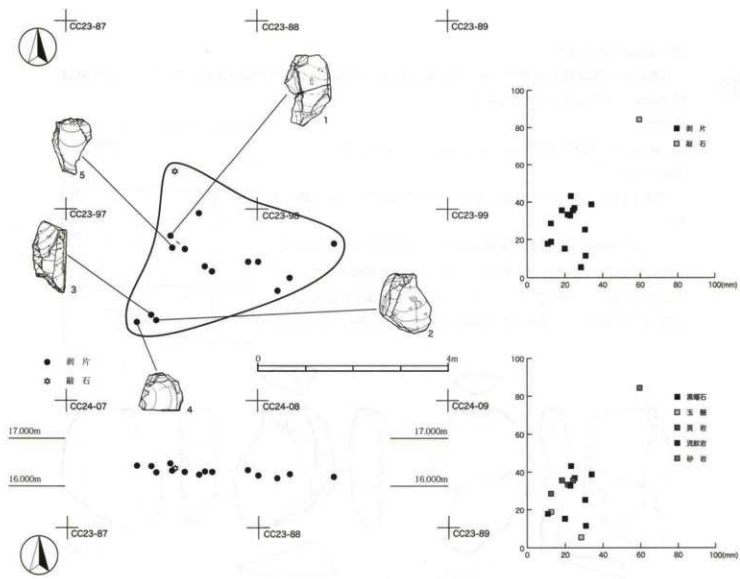
11. 第11ブロック (第47・48図、第14・55表、図版4・17)

分布

CC23-95、CC24-05グリッドにかけて検出された。分布範囲は長軸4m、短軸2mの長楕円形状を呈するが、石器の出土点数は計5点であり極めて散



第48図 第11ブロック出土石器



第49図 第12ブロック器種別・石材別分布

漫な分布状況といえる。

石器の出土層位はIX a層からIX c層上位である。石器出土レベルの最大値は16.510 m、最小値は16.358 m、平均は16.439 mである。

接合資料

玉髓06の一個体が確認され、第8ブロックと共有する。

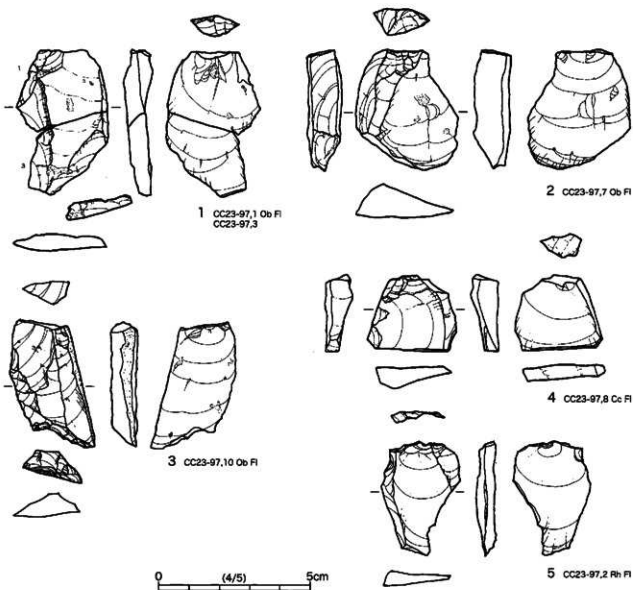
器種・石材

黒曜石4点、玉髓1点で構成される。石器組成は剥片のみで構成される。

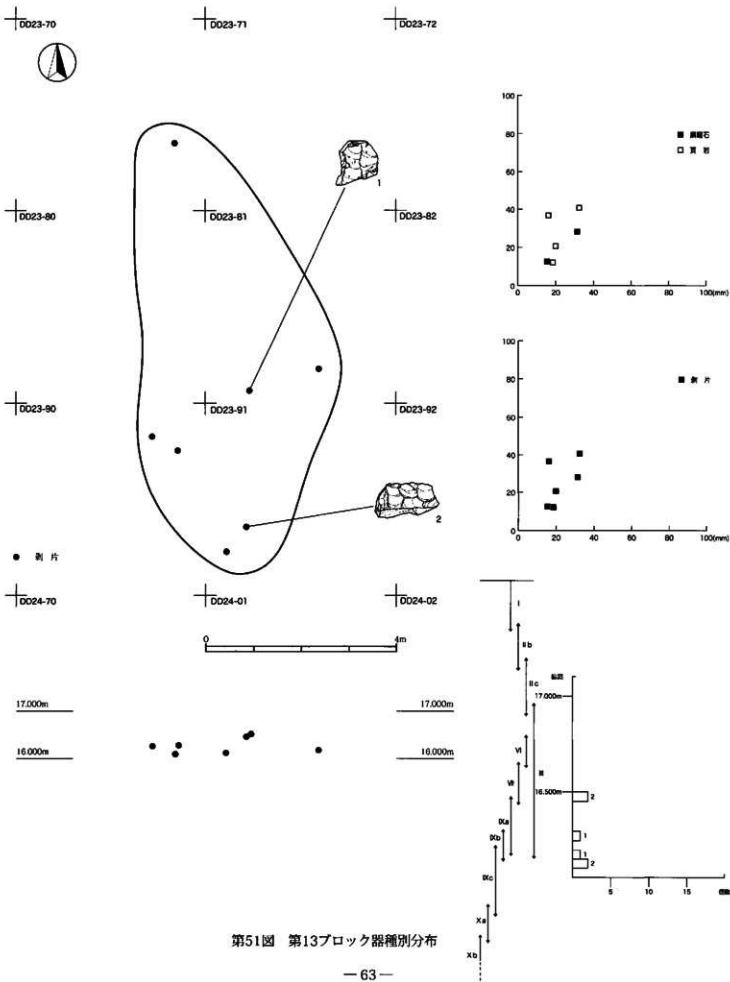
1・2は黒曜石製の剥片である。両者とも画面側が欠損している。1は部厚な剥片で、背面は多方向からの剥離により構成される。末端部には立方体の一面を窺わせるような、急角度の剥離が存在する。2の背面も多方向からの剥離により構成されるが、打面側からの連続的

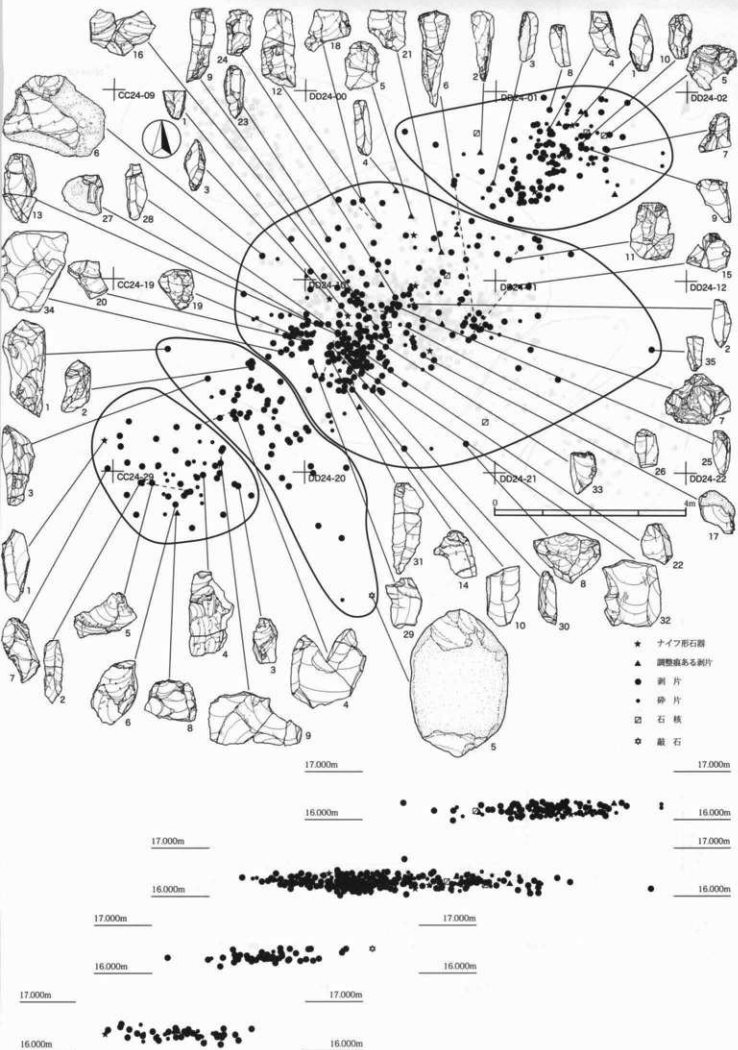
第15表 第12ブロック
石器組成表

	剥片	断石	合計	組成比
黒曜石	7	7	35.65	46.67 8.21
玉髓	2	2	6.40	13.33 1.47
頁岩	4	4	17.69	26.66 4.07
凝灰岩	1	1	3.55	6.97 0.82
砂岩		1	37.08	6.67 86.43
合計	14	15	83.29	100.00 100.00
組成比	93.33	6.67	14.57	100.00 100.00
頁岩	4	4	17.69	
05				

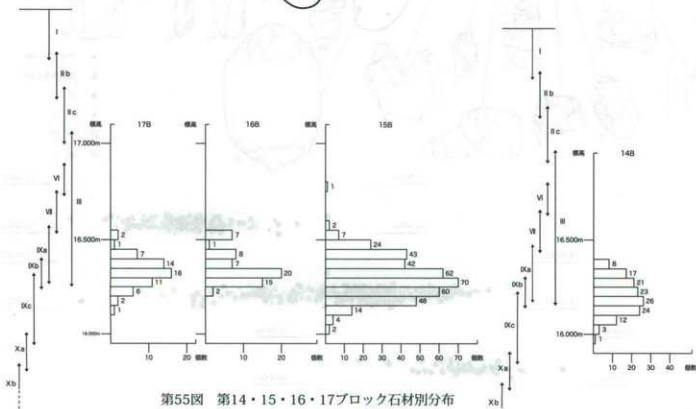
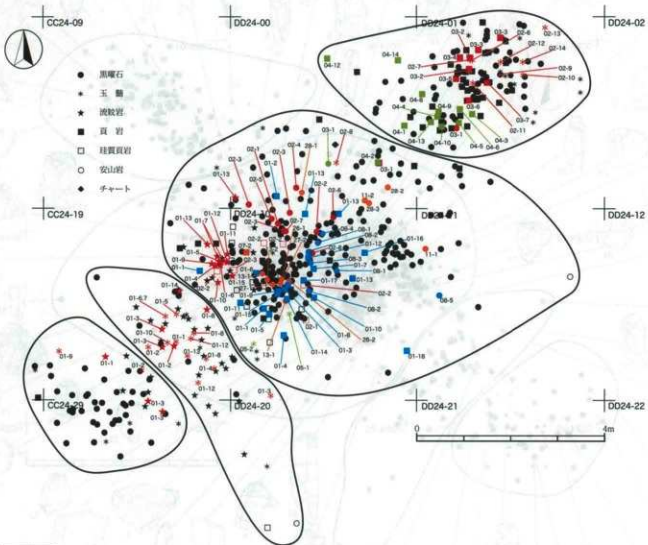


第50図 第12ブロック出土石器





第54図 第14・15・16・17ブロック器種別分布



第17表 第14ブロック石器組成表

	ナイフ 形石器	調整痕の ある割片	割片	砕片	石核	合計	組成比
黒曜石		2 18.48	39 84.33	17 1.79	1 0.42	59 105.02	43.07 26.78
玉 髄	1 2.90	2 3.47	12 17.25	6 1.29	1 06.94	21 96.85	15.33 23.17
頁 岩			60 150.36	6 0.39	45 52.52	106.27	41.90 50.05
合計	1 2.90	4 21.95	101 251.94	28 3.47	3 111.88	137 392.14	100.00 100.00
組成比	1.46 2.54	2.19 3.89	73.72 64.25	20.44 0.88	2.19 28.53	100.00	100.00
黒曜石 03			1 16.46			1 16.46	
玉 髄 02			7 9.68		1 65.94	8 75.62	
頁 岩 03			7 9.88		1 45.52	8 95.40	
頁 岩 04			11 108.67		1 108.67	12 108.67	

第18表 第15ブロック石器組成表

	割片	砕片	石核	合計	組成比
黒曜石	9 39.36		9 39.36	18 78.72	15.00 5.28
玉 髄	16 160.40		16 160.40	32 25.61	26.66 25.61
結實頁岩		1 0.18	1 0.18	2 0.36	1.67 0.53
流紋岩	32 108.08		32 108.08	64 17.26	53.33 17.26
安山岩			1 317.30	1 317.30	1.67 50.57
合計	58 308.80	1 0.18	60 626.37	119 100.00	100.00 100.00
組成比	96.66 49.30	1.67 0.03	1.67 50.67	100.00 100.00	100.00 100.00
玉 髄 01	15 157.20		15 157.20	30 15.00	15.00 15.00
流紋岩 01	5 45.94		5 45.94	10 16.23	16.23 16.23

第19表 第16ブロック石器組成表

	ナイフ 形石器	調整痕の ある割片	割片	砕片	合計	組成比
黒曜石			28 65.78	7 0.41	35 66.19	75.00 54.81
玉 髄	1 7.16	1 10.34	2 5.17	1 0.14	5 22.81	8.33 18.89
頁 岩			1 6.21	1 6.21	2 12.42	1.67 5.14
流紋岩			9 25.56	9 25.56	18 21.16	15.00 21.16
合計	1 7.16	1 10.34	40 102.72	8 0.55	50 120.77	100.00 100.00
組成比	1.67 5.93	1.67 3.96	83.23 82.59	13.33 0.49	100.00 100.00	100.00 100.00
玉 髄 01			1 4.62		1 4.62	
流紋岩 01			3 3.52		3 3.52	

な剥離が認められる。

12. 第12ブロック (第49・50図、第15・55表、図版4・17)

分布

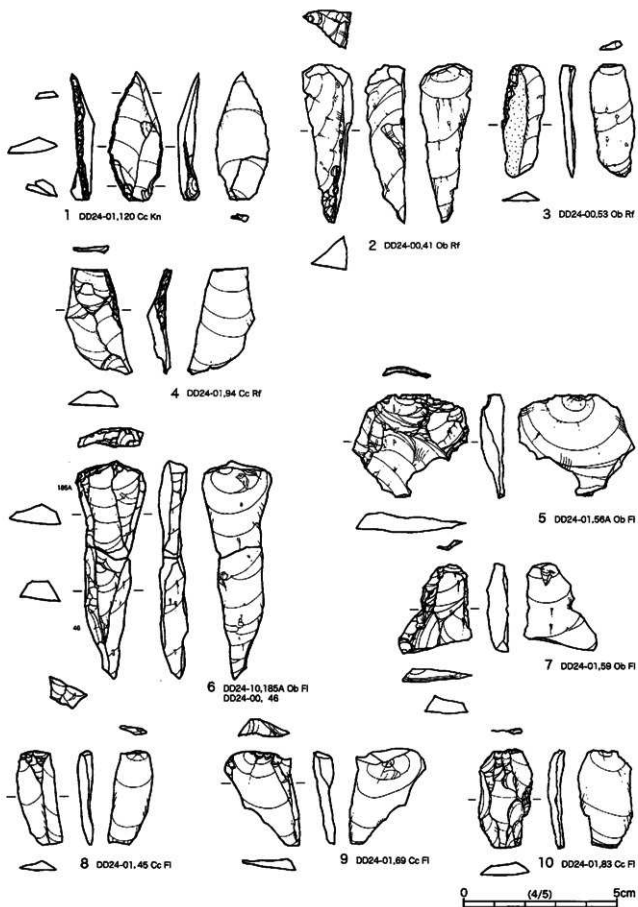
CC23-97 グリッドを中心に検出された。分布は4m×3mの範囲で収束する。

石器の出土層位はIX a層上位からIX c層中位であるが、垂直分布のヒストグラムのピークはIX a層下位を示す。石器出土レベルの最大値は16.453m、最小値は16.195m、平均は16.308mである。

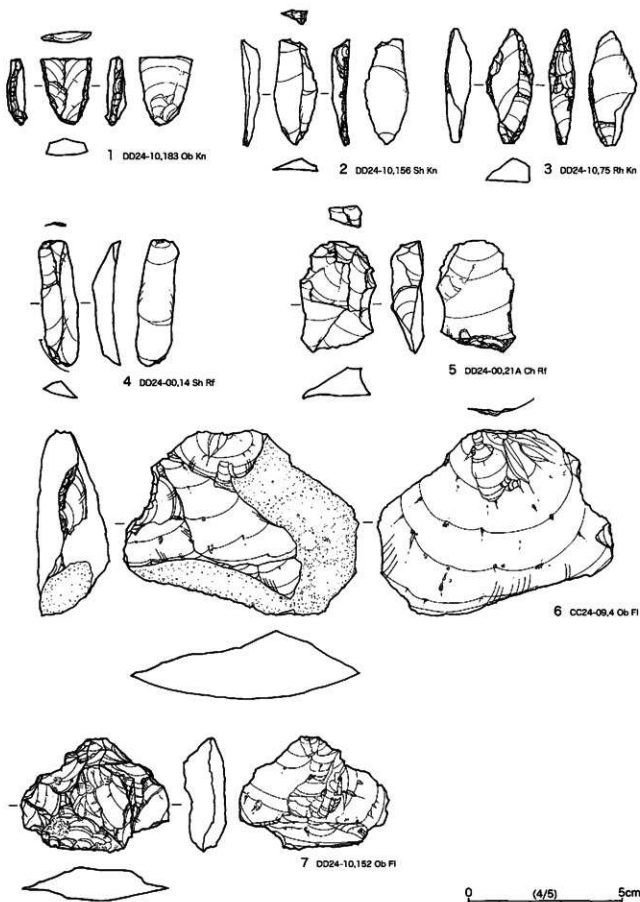
接合資料

第20表 第17ブロック石器組成表

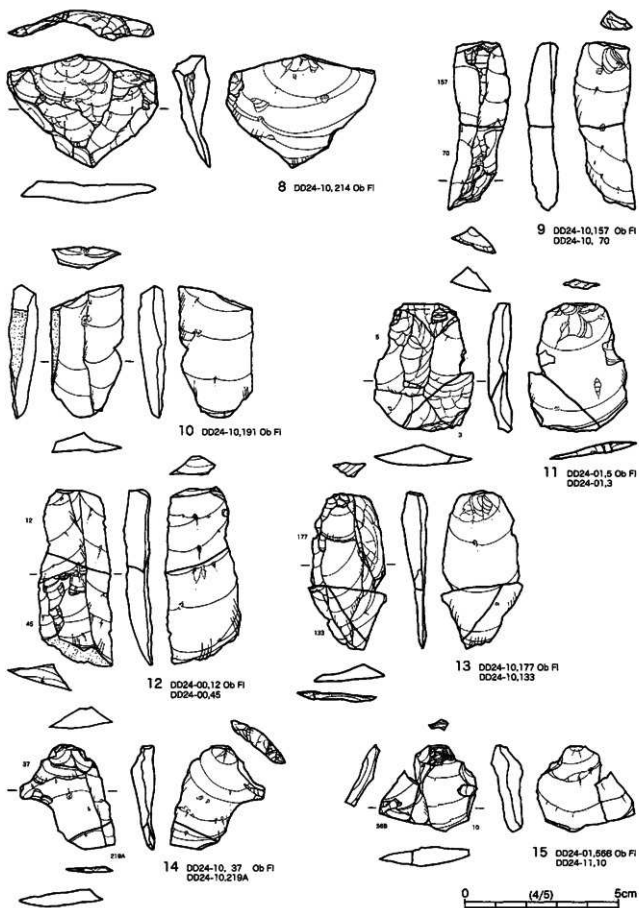
	ナイフ 形石器	割片	砕片	石核	合計	組成比
黒曜石	3 3.80	205 745.24	70 13.88	1 99.03	279 861.95	73.16 61.31
玉 髄	1 4.42	2 29.66	3 1.13		6 35.21	2.63 5.79
結實頁岩			1 0.16		1 66.59	6.18
頁 岩	2 3.63	35 142.14	4 0.45	1 58.49	42 204.71	11.05 14.56
流紋岩	1 2.58	24 204.74			25 207.42	5.38 14.75
安山岩			1 1.09		1 1.09	0.26 0.38
チャート			1 5.97	1 0.04	2 6.01	2.53 0.64
合計	6 14.53	293 1218.27	79 15.66	2 187.52	380 1405.98	100.00 100.00
組成比	1.58 1.03	77.10 86.65	20.79 1.11	0.53 11.21	100.00 100.00	100.00
黒曜石 02		9 54.84		1 99.03	10 153.87	
黒曜石 03		1 5.73			1 5.73	
黒曜石 08		7 132.80			7 132.80	
黒曜石 11		2 8.20			2 8.20	
黒曜石 12		3 40.23			3 40.23	
黒曜石 26		2 29.27			2 29.27	
黒曜石 27		2 31.88			2 31.88	
黒曜石 28		3 77.51			3 77.51	
玉 髄 02	1 4.42				1 4.42	
玉 髄 05		2 22.78			2 22.78	
結實頁岩 02		4 29.19			4 29.19	
頁 岩 01	1 1.88	19 84.30		1 58.49	21 144.67	
頁 岩 03		1 1.65			1 1.65	
頁 岩 04		18.67			18.67	
頁 岩 07		1 27.32			1 27.32	
流紋岩 01		12 162.36			12 162.36	



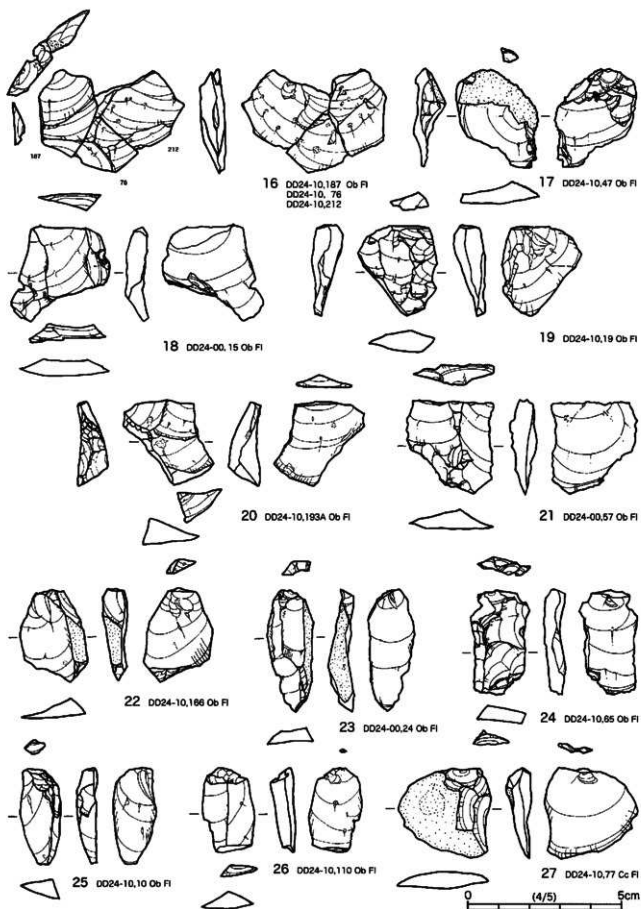
第56図 第14ブロック出土石器



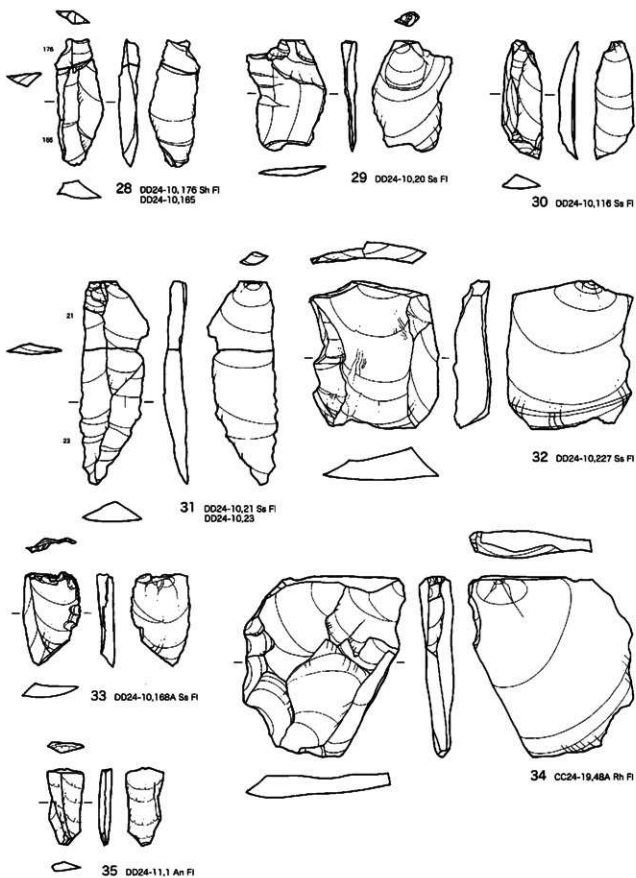
第57図 第15ブロック出土石器(1)



第58図 第15ブロック出土石器(2)



第59図 第15ブロック出土石器(3)



第60図 第15ブロック出土石器(4)

頁岩 05 の一個体が確認され、第 7・9 ブロックと共有する。

器種・石材

黒曜石、玉髄、頁岩、流紋岩、砂岩が石材として使用される。砂岩製の敲石 1 点の他は全て剥片で構成される。

1 から 3 は黒曜石製の剥片である。いずれも主軸が傾斜している。背面を構成する剥離の方向は、打面側からの剥離が主体となる 3 に統一性が認められるのに対し、1・2 については多方向の剥離により構成される。

4 は玉髄製の剥片である。背面には打面調整痕が明瞭に認められる。

5 は流紋岩製の剥片である。縦長剥片であり、背面はほぼ腹面と同一方向の剥離で構成されるが、一部正面左側縁に正逆の方向からの剥離が認められる。

13. 第 13 ブロック (第 51～53 図、第 16・55・56 表、図版 17)

分布

DD23-70 グリッドから DD23-91 グリッドにかけて検出された。長軸 9 m、短軸 4 m の長楕円形状を呈する分布であるが、分布範囲が広範囲である反面、出土点数は計 6 点を数えるのみであり、極めて散漫な分布状況といえる。石器の出土層位はⅦ層下位からⅨ c 層上位にかけてであり、石器出土レベルの最大値は 16.460 m、最小値は 16.117 m、平均は 16.266 m である。

接合資料

頁岩 04 の一個体が確認され、第 14・15 ブロックと共有する。

器種・石材

黒曜石製の剥片 2 点と、頁岩製の剥片 4 点の計 6 点で構成される。

1 は黒曜石製の剥片である。中央部で分割しているが、縦長剥片と考えられる。背面を構成する剥離の方向も打面側である。

2 は頁岩製の横長剥片である。背面末端部には広く節理面が存在する。

14. 第 14 ブロック (第 54～56・64 図、第 17・56 表、図版 5・17・18)

分布

DD24-00 グリッドから DD24-01 グリッドにかけて検出された。分布範囲は長軸 6 m、短軸 3 m の楕円形状を呈する。

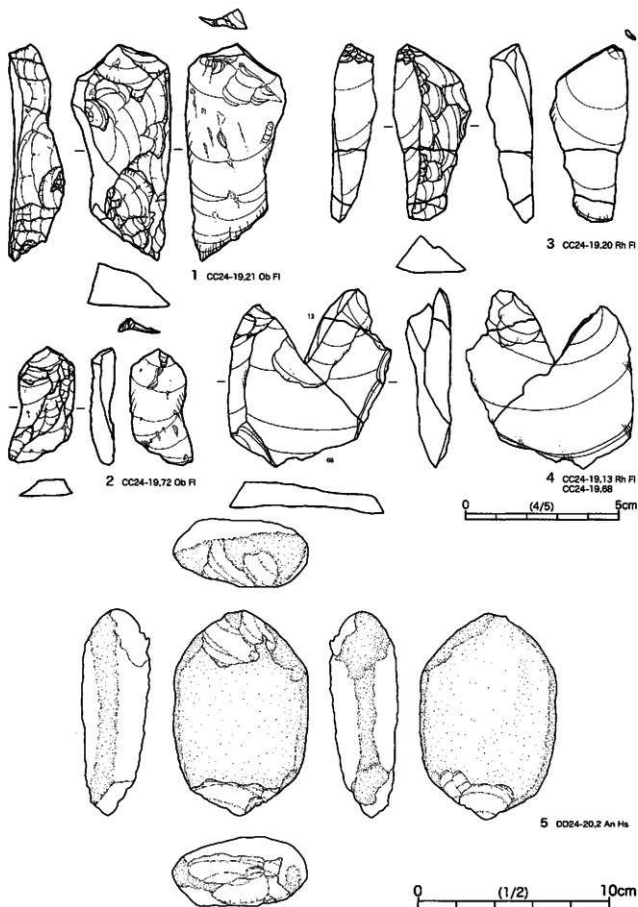
石器の出土層位はⅨ a 層からⅨ c 層中位であり、垂直分布のヒストグラムのピークはⅨ a 層下位を示す。石器出土レベルの最大値は 16.380 m、最小値は 15.975 m、平均は 16.206 m である。

接合資料

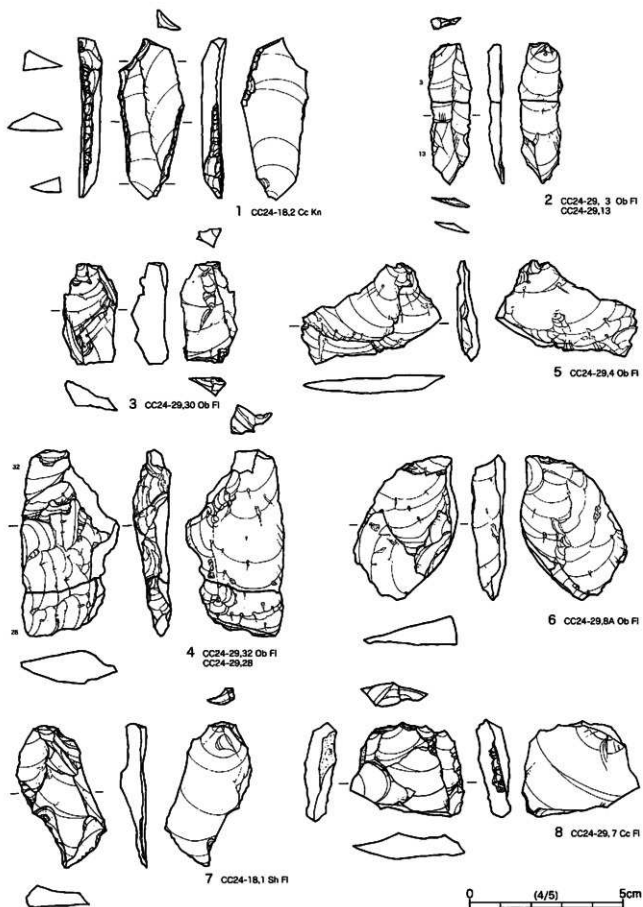
4 個体確認された。4 個体とも他のブロックと共有関係がある。黒曜石 03 は第 8・9・10・15 ブロック、玉髄 02 は第 3・15 ブロック、頁岩 03 は第 15 ブロック、頁岩 04 は第 13・15 ブロックとそれぞれ共有する。

器種・石材

黒曜石、玉髄、頁岩で構成され、ナイフ形石器 1 点、調整痕のある剥片 4 点を石器組成に含む。点数的



第61図 第16ブロック出土石器



第62図 第17ブロック出土石器(1)

には黒曜石、頁岩で占められる。

石器の縦横比は、1:0.5の縦長傾向と1:1の2系統が認められる。

1は玉髓製のナイフ形石器である。薄手の縦長剥片を素材とし、打面部と左側縁の一部を除いた部位に対し微細な調整を施す。背面を構成する剥離の方向は一貫して打面側となる。

2・3は黒曜石製、4は玉髓製の調整痕のある剥片である。いずれも縦長剥片であるが、調整部位は打面に近い片側縁(3・4)、背面の稜(2)に対してである。

5から7は黒曜石製の剥片である。5の背面には多方向からの剥離が認められるため、打面再生剥片である可能性が高い。6・7は縦長剥片である。6の背面構成は、打面側からの連続した剥離を主体に構成されるが、右側縁にみられる同方向からの剥離は前工程の剥離である。7の背面は多方向からの剥離により構成される。

8から10は玉髓製の縦長剥片である。8・9の背面は打面側からの剥離により構成されるが、10については打面側と正逆からの剥離を主体とし、一部に不定方向からの剥離が認められる。

15. 第15ブロック(第54・55・57～60・64図、第18・56～59表、図版5・18～20)分布

CC24-09グリッドからDD24-11グリッドにかけて検出された。分布の中心部は西に傾き、DD24-10グリッドに1.5mほどの遺物集積が認められる。

石器の出土層位はVI層からIXc層下位と幅が大きい。垂直分布のヒストグラムのピークはIXa層下位を示す。石器出土レベルの最大値は16.773m、最小値は16.027m、平均は16.299mである。

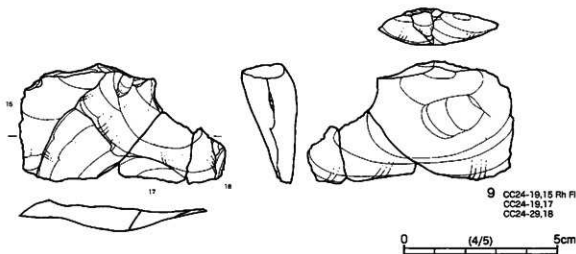
接合資料

第15ブロック内で完結するものが10個体、他のブロックと共有関係が確認されたもの6個体の計16個体が確認された。ブロック内で完結するものは黒曜石02・08・11・13・26・27・28、玉髓05、珪質頁岩02、頁岩01である。他のブロックと共有関係のある個体は、黒曜石03が第8・9・10・14ブロック、玉髓02が第3・14ブロック、頁岩03が第14ブロック、頁岩04が第13・14ブロック、頁岩07が第18ブロック、流紋岩01が第16・17ブロックとそれぞれ共有する。

器種・石材

使用される石材は多種であり、黒曜石を主体とし、玉髓、珪質頁岩、頁岩、流紋岩に接合資料が認められる。安山岩、チャートは客体的である。ナイフ形石器の出土例は他のブロックを凌駕し、黒曜石製2点、玉髓1点、頁岩2点、流紋岩1点の計6点を数える。定型的な石器以外では、剥片、砕片、石核が石器組成に加わるが、このうち剥片については全石材についての総重量が1.2kgを越え、剥片の大型傾向が認められる。

1から3はナイフ形石器である。1は黒曜石製で、先端部が欠損している。背面の剥離の方向はほぼ同一であり、縦長剥片を素材としていることが窺える。末端部側を先端部とし、調整は打面付近の2側縁に対し行われ、打面を調整により除去している。2は頁岩製で、背面の剥離の方向と腹面のそれとは正反対であり、両極に打面を設定した石核から、連続的に作出した剥片を素材としていることが窺える。末端部側を先端部とし、調整は片側縁の全域および対の側縁の打面付近に施され、打面部は除去されている。先端部にも調整が認められるが、欠損部位の再調整の可能性も考えられる。3は流紋岩製で、縦長剥片の末



第63図 第17ブロック出土石器(2)

端部側を先端部としている。調整は、右側面図にみられる剥片剥離時の剥離部分を無調整部位として利用し、他の部分については腹面からの調整を施す。基部付近の片側縁が欠損しているため断定はできないが、やはり打面付近に調整が施されているものと考えられる。

4は頁岩製、5はチャート製の調整痕のある剥片である。4は縦長剥片の末端部に腹面からの調整を施す。やや幅狭な感があるが、ナイフ形石器の未製品としての性格が窺える形状である。5は不定形剥片の末端部に背面からの調整を施す。

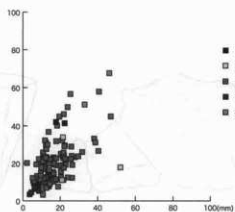
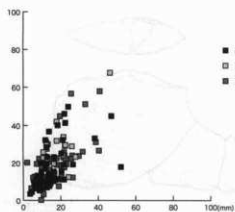
6から26は黒曜石製の剥片である。6から8は大型の横長剥片で、6の背面には自然面が認められ、剥離痕の方向は打面側もしくは左側縁側である。7の背面には多方向からの剥離が認められる。打面再生剥片であろうか。8の背面を構成する剥離は打面側からの剥離が主体となり、一部に末端部側からの剥離も見受けられる。9から14は大型の縦長剥片である。9の背面には打面側からと正逆方向からの剥離により明瞭な稜が形成され、稜付近に左側縁側からの剥離が認められる。10から14は形状の相違はあるが、背面はほぼ打面側からの剥離により構成される。15から22は小型の不定形剥片である。背面を構成する剥離の方向は一定しないが、多方向からではなく2方向で完結するものが多い。23から26は小型の縦長剥片である。背面を構成する剥離の方向は打面側からが主体であるが、24のように正逆、右側縁方向が混在するものも見受けられる。

27は玉髓製の剥片である。背面には広く自然面がみられ、剥離については打面側と腹面側の2方向からの剥離により構成される。

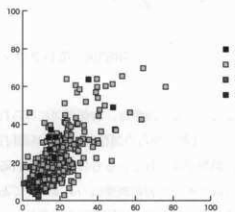
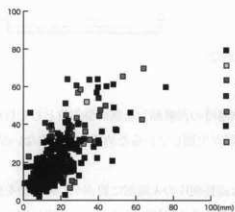
28は青灰色を呈する頁岩製の剥片である。打面部が欠損する。背面を構成する剥離の方向は全て打面側からの同一方向であり、連続的に作出された剥片であることが理解できる。

29から33は珩質頁岩製の剥片である。すべて赤茶色を基調に、白色の節理が斑状に混入する石材である。概して縦長剥片であり、特に31については、背面を構成する剥離の方向が全て打面側からの同一方向である。32についても同様であるが、打面を広く設定して作出されているため、幅広く末端部がヒンジ・フラクチュアとなる。

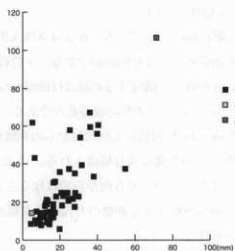
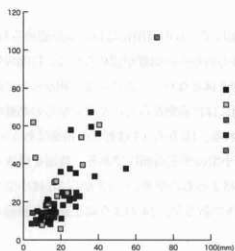
34は白色を呈する流紋岩製の剥片である。大型の剥片で、背面には多方向からの剥離が認められる。



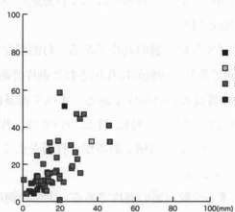
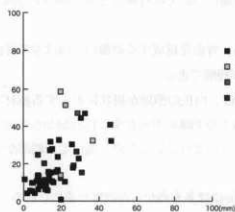
14B



15B



16B



17B

第64図 第14・15・16・17ブロック石器形状比グラフ

35はガラス質黒色安山岩製の剥片である。打面部が欠損している。小型の剥片であるが、背面は全て打面側からの同一方向の剥離により構成される。

16. 第16ブロック(第54・55・61・64図、第19・59表、図版5・21)

分布

CC24-19グリッドからDD24-20グリッドにかけて検出された。分布範囲の形状は、長軸6mの長楕円形状を呈する。

石器の出土層位はⅦ層下位からⅨc層上位であり、垂直分布のヒストグラムのピークはⅨa層中位を示す。石器出土レベルの最大値は16.518m、最小値は16.209m、平均は16.353mである。

接合資料

二個体確認された。玉髓01・流紋岩01が第17ブロックと共有する。

器種・石材

石器組成は剥片、破片で構成され、安山岩製の敲石1点が組成に加わる。使用される石材は黒曜石、玉髓、流紋岩を主体とし、客体的に珪質頁岩が認められる。

1・2は黒曜石製の剥片である。1は大型の部厚な剥片で、背面の稜に対し、主に左側縁側からの連続的な剥離が認められる。2の背面は打面側、末端部側からの剥離により構成される。

3・4は白色を呈する流紋岩製の剥片である。3は背面の稜に対し、左側縁の方向から連続的な剥離が顕著にみられる。4は扁平な大型剥片で、背面を構成する剥離の方向は打面側を主体とし、一部に腹面側からの剥離がみられる。

5は安山岩製の敲石である。器表面全体の風化が著しいが、扁平な川原礫の両端及び周囲に敲打痕が認められる。特に上下両端には剥落痕がみられ、この部位の使用頻度が高いことが理解できる。

17. 第17ブロック(第54・55・62～64図、第20・34表、図版5・21・22)

分布

CC24-19、29グリッドにかけて検出された。分布は径3mの範囲内で収束する。

石器の出土層位はⅦ層下位からⅨc層中位であり、垂直分布のヒストグラムのピークはⅨa層中位を示す。石器出土レベルの最大値は16.538m、最小値は16.138m、平均は16.329mである。

接合資料

二個体確認された。玉髓01・流紋岩01が第16ブロックと共有する。

器種・石材

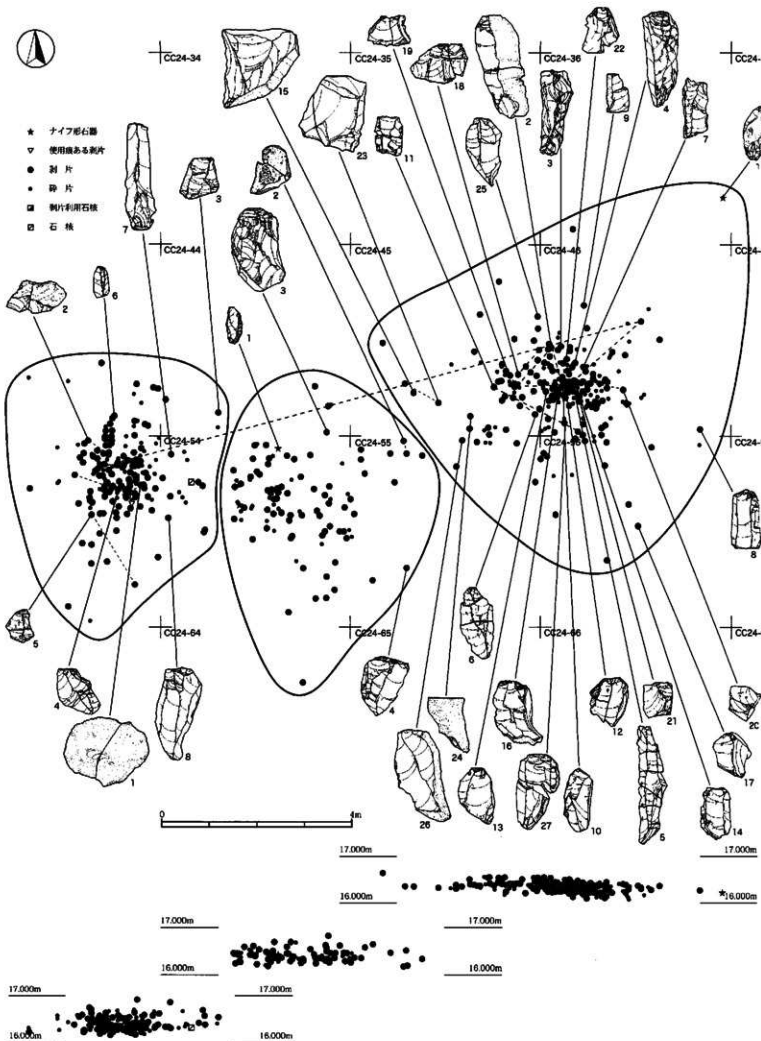
剥片を主体として、ナイフ形石器、調整痕のある剥片を組成に含む。黒曜石が重量比で54%を占め、他に玉髓、頁岩、流紋岩が使用される。

1は玉髓製のナイフ形石器である。先端部の一部が欠損する。調整は両側縁に施され、一部背面側から腹面側への調整もみられる。

2から6は黒曜石製の剥片である。2は縦長剥片で、背面は打面側からの剥離と、前工程の左側縁方向からの剥離により構成される。3・4は縦長剥片であるが、背面は多方向からの剥離により構成される。5・6は主軸の傾く形状で、特に5については70°近い傾斜となる。背面は、6は打面側からの剥離により構



- ★ ナイフ形石器
- ▽ 使用痕ある剥片
- 剥片
- 砕片
- ▣ 剥片利用石器
- 石核



第65図 第18・19・20ブロック器種別分布



CC24-34

CC24-35

CC24-36

CC24-37

CC24-44

CC24-45

CC24-46

CC24-47

CC24-54

CC24-55

CC24-56

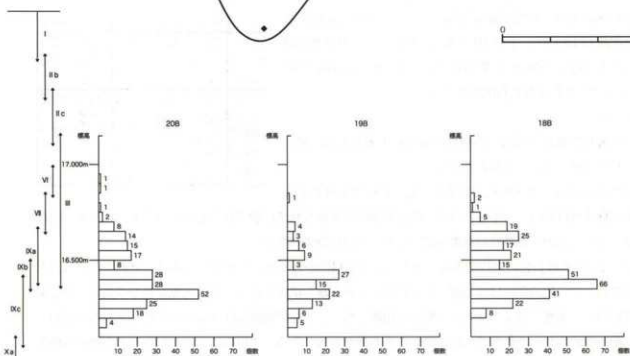
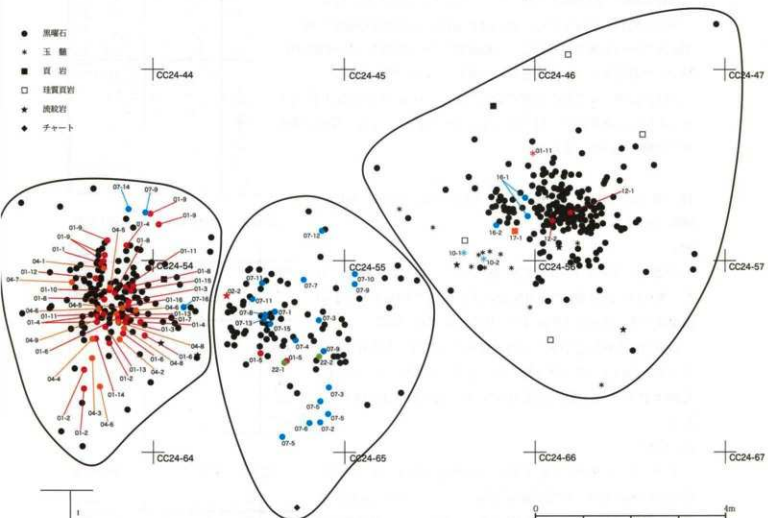
CC24-57

CC24-64

CC24-65

CC24-66

CC24-67



成されるが、6は打面側、右側縁側の2方向からである。右側縁 第21表 第18ブロック石器組成表 部には剥片剥離工程初期段階の剥離痕が見られる。

7は明るい茶色を呈する頁岩製の剥片である。主軸が傾斜し、背面には打面側からの剥離を主体とし、正逆からの剥離も見られる。

8は玉髓製の剥片である。背面は打面側からの剥離で構成され、一部正逆方向の剥離も見られる。左側縁側からの剥離は、古い段階の打撃により亀裂が入った部位が後に剥落したものと考えられる。

9は白色を呈する流紋岩製の剥片である。打面を広く設定し作出されており、打面部直下に最大厚をもつ部厚な作りとなる。背面を構成する剥離の方向は一定しない。

18. 第18ブロック (第65～70・73図、第21・59～61表、図版5・22～24)

分布

CC24-36グリッドからCC24-56グリッドにかけて検出された。集中地点は分布のほぼ中心部にあり、CC24-46グリッドの南東コーナー付近に1.5mほどの集中区が認められる。

石器の出土層位はVI層からIXc層中位であり、垂直分布のヒストグラムのピークはIXc層上位を示す。石器出土レベルの最大値は16.825m、最小値は16.201m、最大値は16.443mである。

接合資料

第18ブロック内で完結するもの3個体、他のブロックと共有関係があるもの2個体が確認された。ブロック内で完結するものは黒曜石12・16、玉髓10である。他のブロックと共有関係があるものは、玉髓01が第16・17ブロック、頁岩07が第15ブロックとそれぞれ共有関係をもつ。

器種・石材

剥片・砕片で構成される。石材は黒曜石が大半を占め、他に玉髓、珪質頁岩、頁岩、流紋岩を含む。

1は黒曜石製のナイフ形石器である。縦長剥片を素材とするが、背面構成は自然面が大半を占める。明瞭な調整は背面左基部に施されるもののみであり、他の部位は自然面、もしくは剥片剥離時の剥離が認められ、調整は施されない。

2から22は黒曜石製の剥片である。2から5は縦横比が3:1以上の剥片である。2の背面には自然面が見られ、その他の部位は打面側、左側縁側からの剥離で構成される。3は明瞭な稜を形成し、稜に対し左側縁側から剥離を施す。4の背面構成は複雑であり、左右側縁部には4の剥片が作出される以前の工程の剥離が認められ、これらは末端部側からの剥離を主体とする。平坦面には打面側からの剥離を主体と

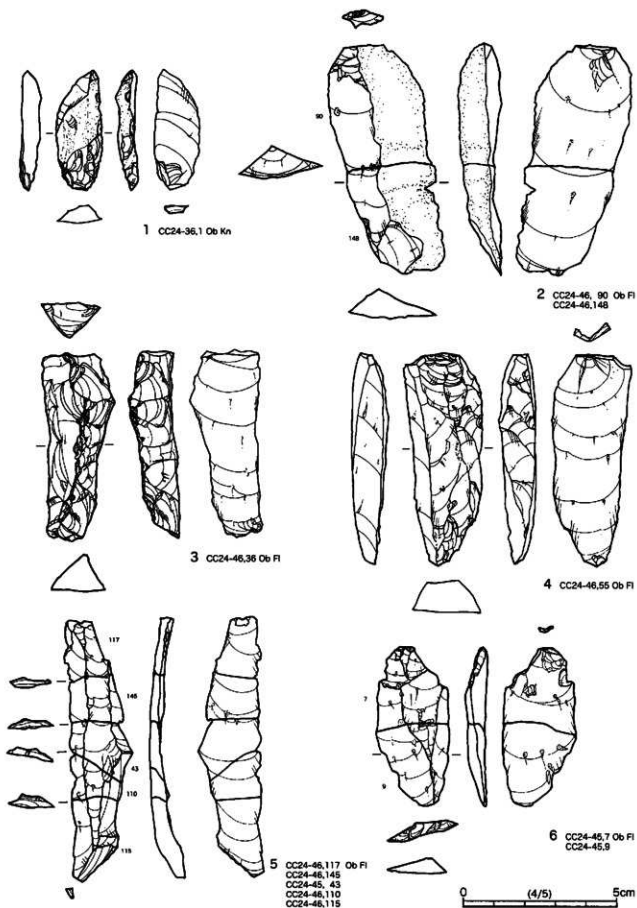
	剥片	砕片	合計	組成比
黒曜石	157 305.59	106 13.92	263 319.51	83.76 68.38
玉髓	12 87.19	4 1.08	16 88.27	5.46 18.88
珪質頁岩	1 8.98		1 8.98	0.34 1.92
頁岩	4 15.13	1 0.07	5 15.20	1.71 3.25
流紋岩	1 35.31		1 35.31	2.73 7.58
合計	182 452.20	111 15.07	293 467.27	100.00 100.00
組成比	62.12 96.77	37.88 3.23	100.00 100.00	
黒曜石	2 12		2 22.04	
黒曜石	15 3		3 16.78	
玉髓	01		25.38	25.38
頁岩	10		25.97	25.97
流紋岩	07		6.37	6.37

第22表 第19ブロック石器組成表

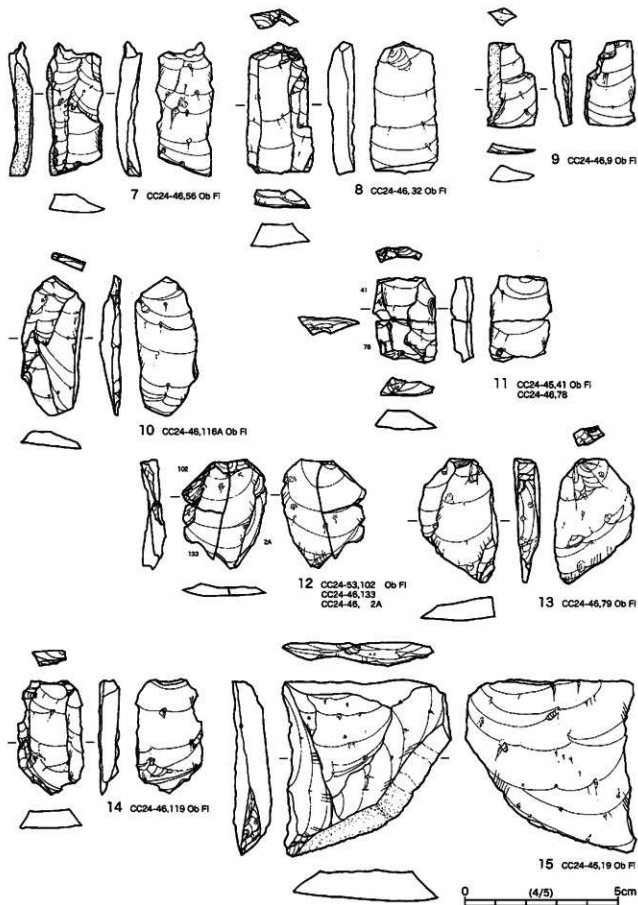
	ナイフ形石器	剥片	砕片	合計	組成比
黒曜石	2 2.27	81 181.02	29 2.02	112 185.31	98.24 78.87
流紋岩		1 48.53		1 48.53	0.88 20.65
チャート		1 1.12		1 1.12	0.88 0.48
合計	2 2.27	83 230.67	29 2.02	114 234.96	100.00 100.00
組成比	1.75 0.97	72.81 98.17	25.44 0.86	100.00 100.00	
黒曜石	01	16.21		16.21	
黒曜石	07	19 58.67		19 58.67	
黒曜石	2			2	
流紋岩	02	1 49.53		1 49.53	

第23表 第20ブロック石器組成表

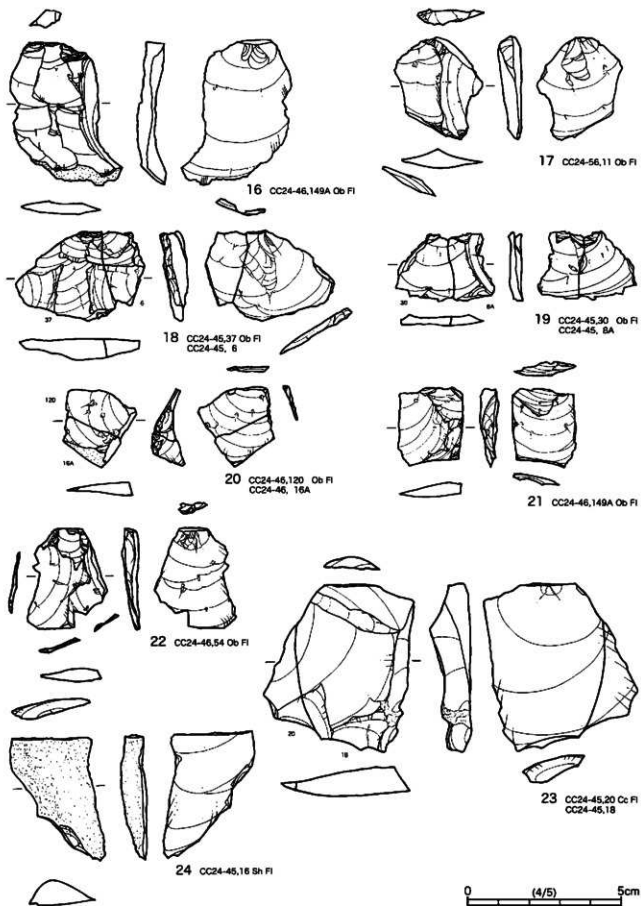
	剥片	砕片	石核	合計	組成比
黒曜石	157 500.56	62 6.43	1 49.98	220 556.97	98.65 95.11
珪質頁岩	10.30			10.30	4.57
流紋岩	2 18.22			2 18.22	0.90 3.11
合計	169 529.17	62 6.43	1 49.98	232 585.58	100.00 100.00
組成比	71.75 90.37	27.80 1.10	0.45 8.53	100.00 100.00	
黒曜石	31 01			31 257.46	
黒曜石	04			13 102.59	
黒曜石	2			3	
流紋岩	07		1 49.98	1 49.98	54.96



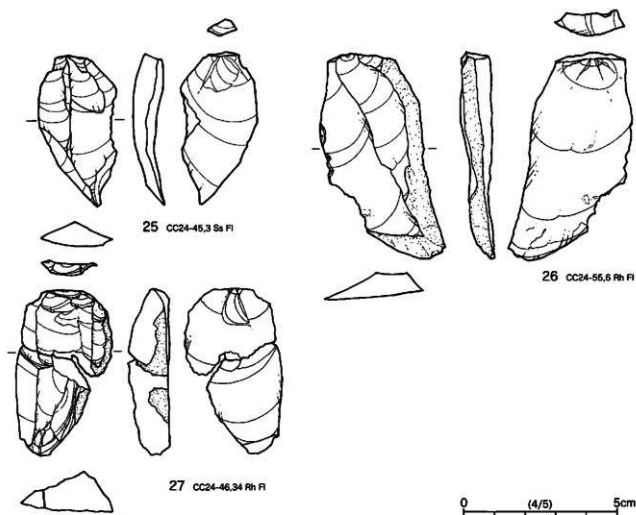
第67図 第18ブロック出土石器(1)



第68図 第18ブロック出土石器(2)



第69図 第18ブロック出土石器(3)



第70図 第18ブロック出土石器(4)

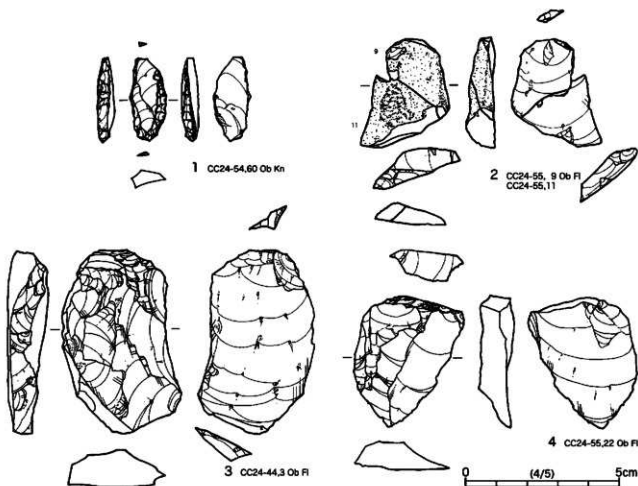
し、末端部付近に左側縁からの剥離が見られる。5は薄い作りで、背面は打面部側からの剥離を主体として構成される。6から14は縦横比が2:1以上の縦長剥片である。主軸が若干傾斜するもの(6・12・13)が見られるが、背面を構成する剥離の方向はほぼ打面側からである。15から22は不定形剥片である。単一方向の剥離が背面を構成するものではなく、全て多方向からの剥離によるものである。特に左右いずれかの側縁方向からの剥離が認められる。

23は玉髓製の大型剥片である。背面を構成する剥離の方向は、左側縁側と末端部側の2方向からで、右側縁に末端部側からの剥片剥離工程初期段階の剥離が認められる。

24は頁岩製の剥片である。自然面は黄土色、器表面は茶色を呈し、光沢はないが平滑である。背面は自然面でほぼ占められ、打面側が欠損している。

25は珪質頁岩製の剥片である。器表面は明るい茶色を呈し、平滑である。背面は打面側からの剥離により構成される。

26・27は流紋岩製の剥片である。26は自然面、器表面共に茶色を呈する。背面は打面側からの剥離と自然面で構成される。27は自然面、器表面共に白色を呈し、背面の剥離の方向はほぼ打面側からである。



第71図 第19ブロック出土石器

19. 第19ブロック (第65・66・71・73図、第22・61・62表、図版5・24)

分布

CC24-44 グリッドから CC24-64 グリッドにかけて検出された。分布状態は密ではないが集中地点は分布範囲の西に傾き、CC24-54 グリッドに認められる。

石器の出土層位はVI層下位からIX c層中位であり、垂直分布のヒストグラムのピークはIX a層中位を示す。石器出土レベルの最大値は 16.820 m、最小値は 16.169 m、平均は 16.396 mである。

接合資料

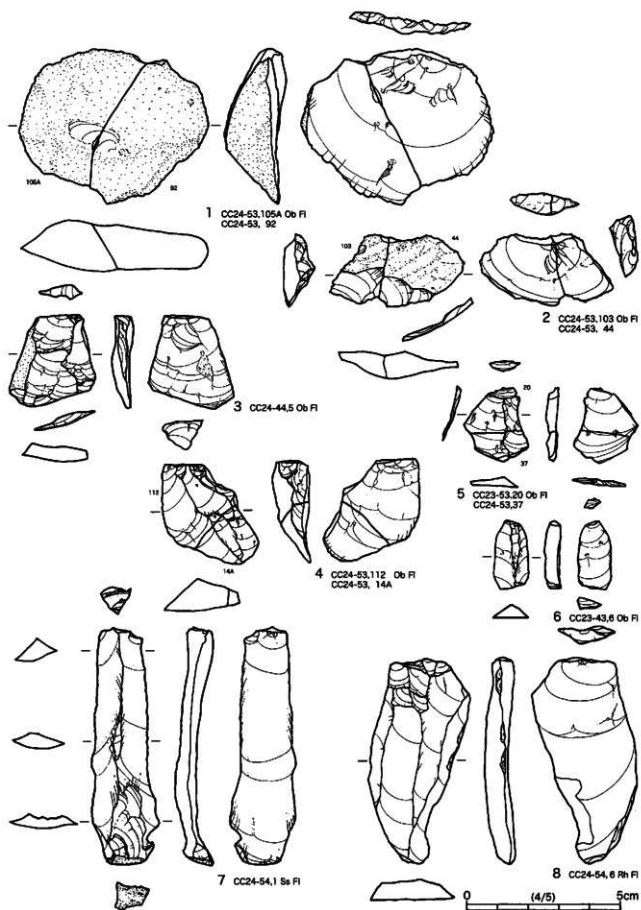
4 個体確認された。黒曜石 22 が第 19 ブロック内で完結し、黒曜石 01・07 が第 20 ブロック、流紋岩 02 が第 7 ブロックと共有関係が認められた。

器種・石材

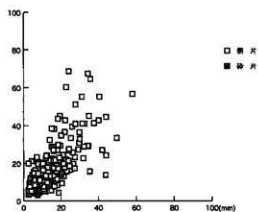
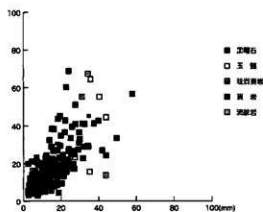
ナイフ形石器 2 点を含み、他は剥片・碎片で構成される。使用される石材は黒曜石が 98% を占め、流紋岩、チャートは極めて客体的である。

1 は黒曜石製のナイフ形石器である。先端部と基部の一部が欠損する。主軸の傾斜する縦長剥片を素材とし、素材剥片の末端部を除くほぼ全周に対し、腹面からの細かい調整を施す。

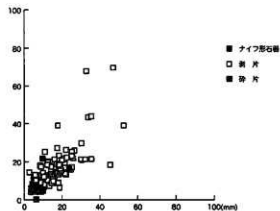
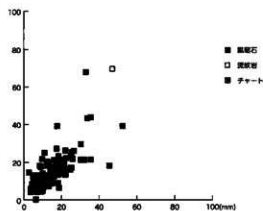
2 から 4 は黒曜石製の剥片である。2 は背面の広い範囲に自然面が見られる。末端部の剥離は、2 が作



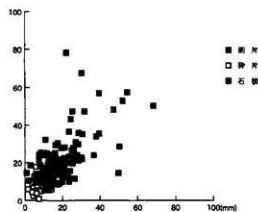
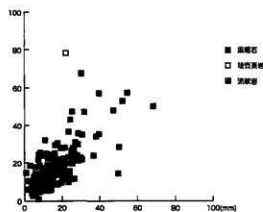
第72図 第20ブロック出土石器



18B



19B



20B

第73図 第18・19・20ブロック石器形状比グラフ

出される以前の工程のものである。3は厚みのある大型剥片で、背面を構成する剥離は多方向からであり、頻繁に打面転移を行っていることが窺える。4は打面を広く設定し作出された剥片である。頭部調整痕が顕著であり、背面を構成する剥離の方向は全て打面側からである。

20. 第20ブロック（第65・66・72・73図、第23・62・63表、図版5・25）

分布

CC24-44グリッドからCC24-53グリッドにかけて検出された。分布範囲のほぼ中心部に集中地点が認められ、直径2mほどの集中地点がCC24-53グリッドの北東端に認められる。

石器の出土層位はVI層からIX c層下位にかけてであり、垂直分布のヒストグラムのピークはIX c層上位を示す。石器出土レベルの最大値は16.923 m、最小値は16.165 m、平均は16.406 mである。

接合資料

3個体確認された。黒曜石04は第20ブロック内で完結し、黒曜石01・07が第19ブロックと共有関係が認められた。

器種・石材

石器組成は剥片、碎片、石核で構成され、定型な石器は出土していない。計223点出土しているうち、黒曜石が220点と98%を占め、重量比についても95%を占める。他に珩質頁岩裂、流紋岩製の石器が含まれるが、極めて客体的である。

1から6は黒曜石製の剥片である。1は背面構成が自然面となる横長剥片である。2分しているのは、前工程で打面を作出した際に亀裂が生じたためである。打面を作出した後打面転移を行い、最初に作出された剥片である。2も横長の剥片である。剥片剥離の際に打点から2分している。背面は自然面と左側縁方向からの剥離により構成される。3から5は、背面が打面側からの剥離により構成される剥片である。縦横の比が等率となるもの（3）、主軸が著しく傾斜しているもの（4）、打面付近が欠損しているが、最大幅が中央部に位置するもの（5）と多様である。6は、腹面の剥離の方向と背面の剥離の方向が正反対となる剥片である。両極に打面を有する石核から連続して作出された剥片である。末端部側が欠損する。

7は珩質頁岩製の剥片である。背面構成は、末端部に自然面を有し、主たる剥離の方向は打面側からであり、連続して縦長剥片を作出していることが理解できる。末端部に近い縁からの剥離は前工程の剥片剥離の痕跡である。打面付近に最大厚をもつ剥片である。

8は流紋岩製の剥片である。打面を広く設定し、やや幅広ながらも縦長剥片となる。背面は打面側からの連続した剥離で構成されている。

21. 接合資料

黒曜石01（第75～79図、第39表、図版26～28）

石材の特徴

自然面は平滑であるが光沢感はない。剥離面は透明感のある黒色を呈し、透かすとやや赤みを帯びた半透明と黒色層が平行にみられる。節理はほとんど認められない。不純物は1mm～3mmの球形で粒が揃う。リングは不純物の影響で歪みがちで、フィッシャーは概して長めである。



CC

DD

Y=11.500

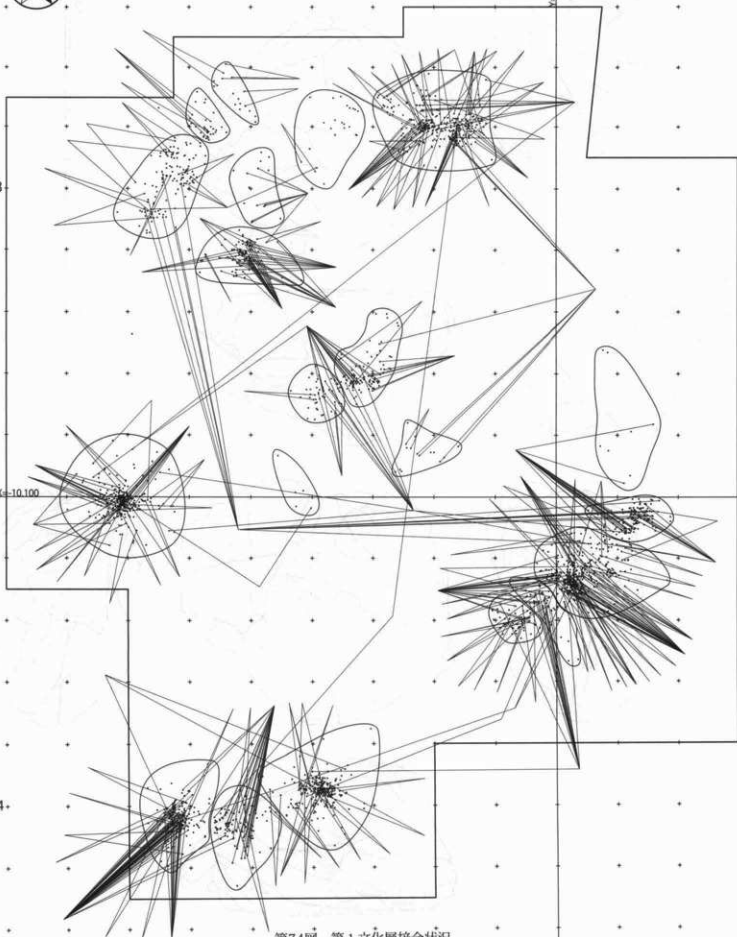
23

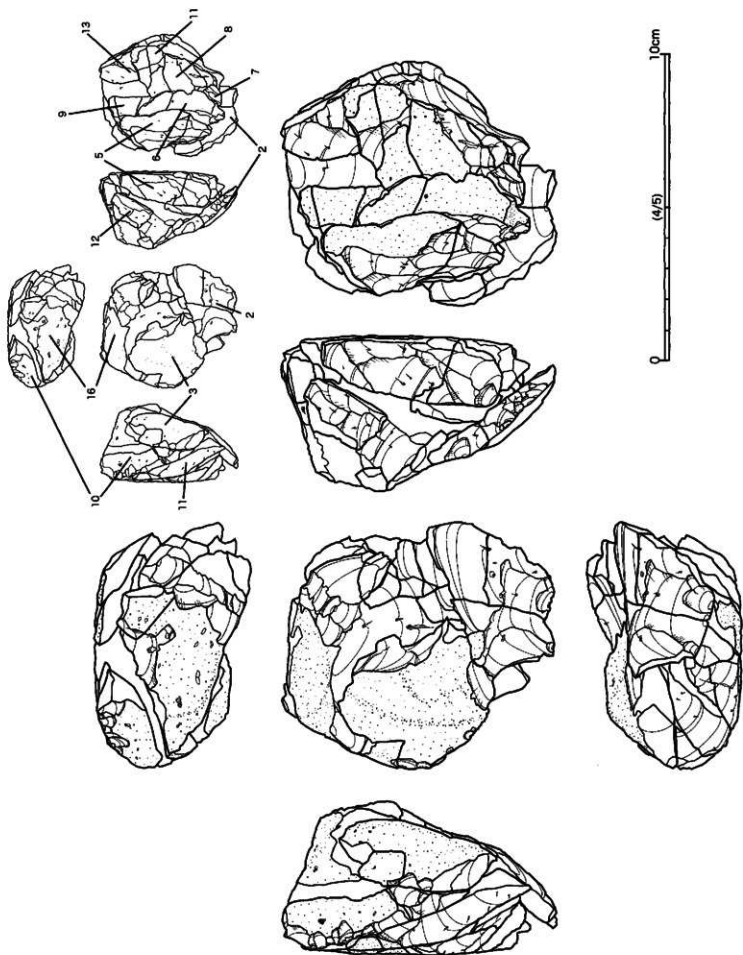
X=10.100

24

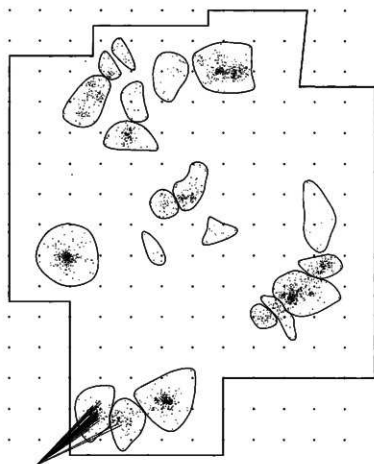
第74図 第1文化層接合状況

0 1:250 20m





第75图 黑曜石01接合状态



第76図 黒曜石01接合関係

第24表 黒曜石01石器一覧表

プロ ック	調査 番号	フリ ーフ 番号	器 種	器 種 番号	器 種 番号	器 種 番号	器 種 番号	器 種 番号	器 種 番号	器 種 番号	器 種 番号
20	77	CC24-53	0090	Fl	1	1	1.13	1.97	0.38	0.54	
20	77	CC24-53	0030	Fl	1	2	3.65	2.96	0.81	7.92	
20	77	CC24-53	0020	Fl	1	2	2.87	2.60	0.96	4.08	
20	77	CC24-53	0074	Fl	1	2	4.32	2.44	0.74	6.28	
20	77	CC24-53	0092	Fl	1	3	1.34	1.35	0.79	1.00	
20	77	CC24-53	0133A	Fl	1	3	5.90	5.00	1.99	35.56	
20	77	CC24-53	0019	Fl	1	4	1.36	1.15	0.99	0.61	
20	77	CC24-53	0059	Fl	1	4	1.94	1.80	0.54	1.61	
20	77	CC24-53	0072	Fl	1	4	0.97	1.98	0.40	0.78	
20	77	CC24-53	0078	Fl	1	4	1.80	1.29	0.45	0.71	
19	77	CC24-54	0055	Fl	1	5	4.38	3.58	1.05	12.72	
19	77	CC24-54	0058	Fl	1	5	2.11	3.95	0.73	3.49	
20	77	CC24-54	0008	Fl	1	6	2.18	3.05	0.98	3.29	
20	77	CC24-53	0076	Fl	1	6	3.09	2.72	1.31	7.40	
20	77	CC24-53	0142A	Fl	1	8	1.54	2.41	0.47	1.05	
20	78	CC24-53	0141A	Fl	1	7	2.16	1.75	0.51	1.25	
20	78	CC24-53	0081	Fl	1	8	2.11	2.87	0.65	2.24	
20	78	CC24-53	0100	Fl	1	8	1.99	2.42	0.42	0.82	
20	78	CC24-53	0136	Fl	1	8	3.51	3.06	1.02	8.25	
20	78	CC24-53	0011	Fl	1	9	0.98	2.24	0.46	0.80	
20	78	CC24-53	0016	Fl	1	9	1.27	2.31	0.73	0.89	
20	78	CC24-53	0005	Fl	1	9	2.43	0.77	0.70	4.26	
20	78	CC24-44	0006	Fl	1	9	2.40	3.87	0.67	4.13	
20	78	CC24-53	0049	Fl	1	9	1.85	2.14	0.58	1.41	
20	78	CC24-53	0144	Fl	1	10	3.58	2.86	0.87	6.76	
20	78	CC24-53	0133A	Fl	1	11	5.70	3.89	1.20	20.38	
20	78	CC24-53	0135	Fl	1	11	1.15	2.65	0.48	0.90	
20	78	CC24-53	0108	Fl	1	12	3.04	1.78	1.14	5.84	
20	78	CC24-53	0075	Fl	1	13	2.86	3.01	1.18	7.07	
20	78	CC24-53	0132B	Fl	1	13	4.74	2.53	0.45	14.52	
20	78	CC24-53	0090	Fl	1	14	2.79	2.01	0.67	2.83	
20	79	CC24-53	0110	Fl	1	15	1.43	4.88	1.41	11.67	
20	79	CC24-53	0134	Fl	1	16	5.53	8.82	3.95	82.51	

分布

第19・20ブロックに帰属する。主として第20ブロックの範囲中心部に分布し、第19ブロックには5の剥片のみ属し、黒曜石01の集中区から4mほどの隔りがある。

剥片剥離工程

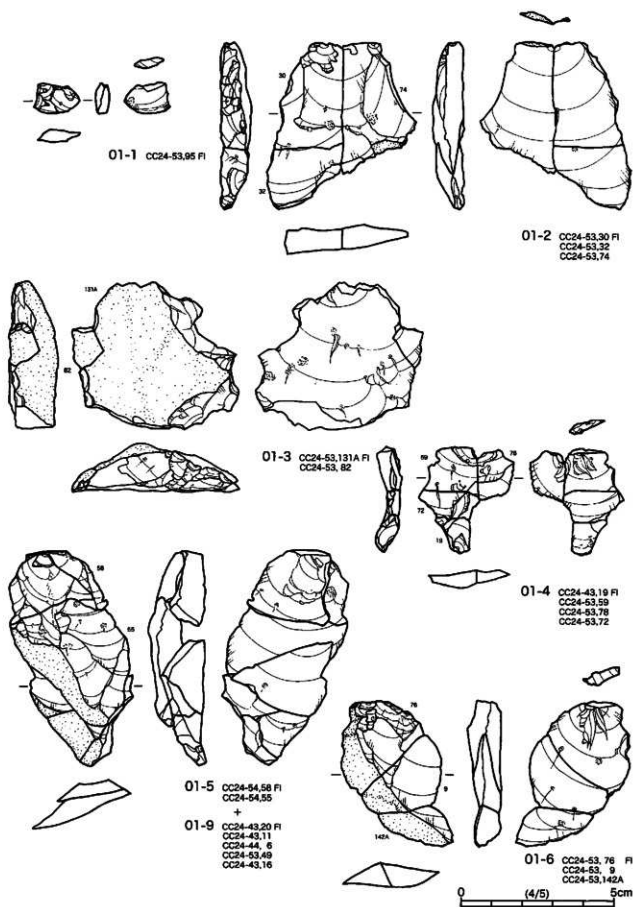
接合状態での計測値は、縦8.9cm、横8.1cm、最大厚5.1cmを測り、直径10cm、厚み6cmほどの拳状の母岩に対し剥片剥離を行っていると考えられる。

剥片剥離工程初期段階の剥片は接合していないため詳細は不明であるが、接合状態図左側面に対し、正面側からの打撃により剥片剥離を開始していると考えられる。その後打面を裏面下端部に転換し、末端部のみの残存であるが1、及び2・4を作出している。2と4の剥片を作出する間に打面を180°転換し3を作出している。5から12は一連の剥片剥離となり、1・2・4作出後の剥離面を打面とし、正面から裏面に向かい打撃を加え、連続して剥片を作出している。13以後は打面を180°転換し、上端からの打撃により13から15を作出し、剥片剥離作業を終了している。

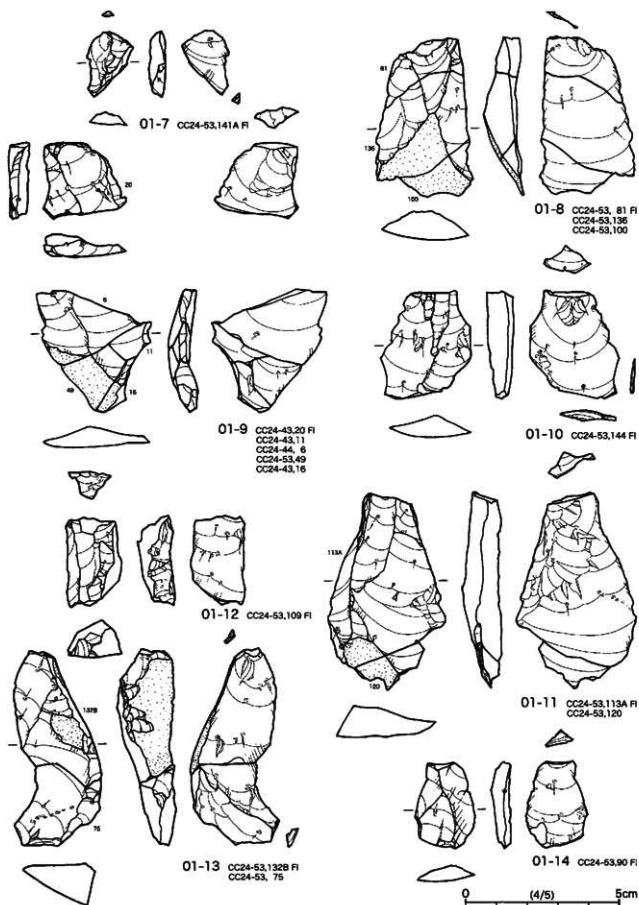
黒曜石02 (第80～82図、第40表、図版28・29)

石材の特徴

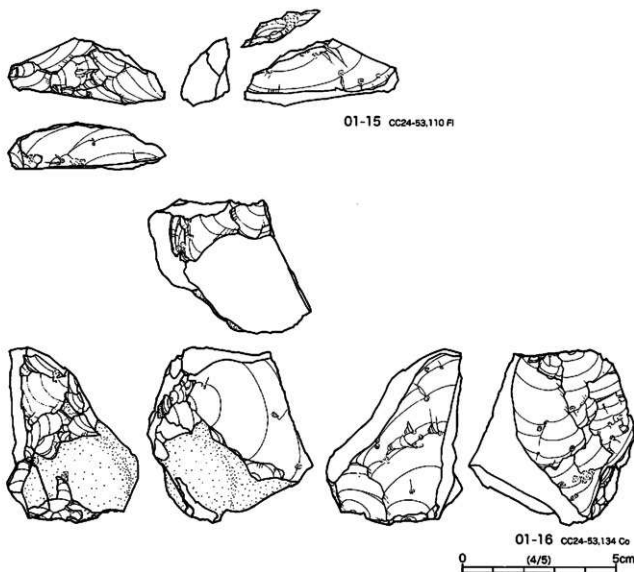
自然面は細かい凹凸が認められ硬質な感がある。剥離面はやや曇った黒色を呈し、半透明の層と曇りガ



第77図 黒曜石01(1)



第78圖 黒曜石01(2)



第79図 黒曜石01(3)

ラス状の層が平行に混在する。節理はほとんど認められない。不純物は0.5mm～2mmほどで概して不定形である。リングは一見すると確認しづらいが、光線の当て具合で確認が容易となる。不純物から伸びる亀裂は目立たない。

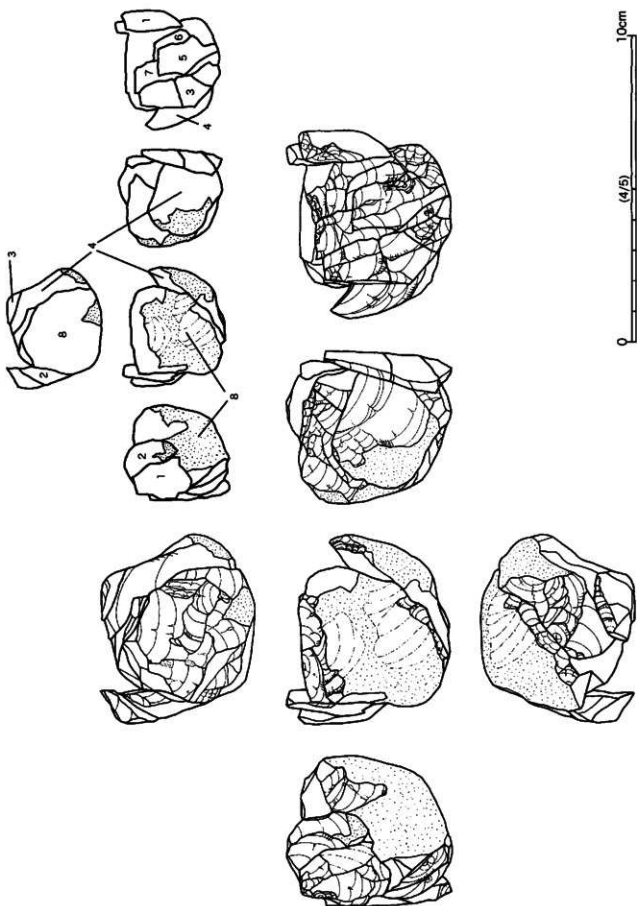
分布

第15ブロックに帰属し、ブロック範囲のほぼ中央部に集中して分布する。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦5.5cm、横6.2cm、最大厚5.1cmを測り、直径6cmほどの円礫を母岩としていると考えられる。

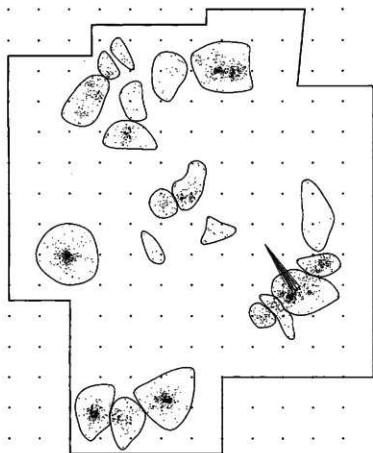
剥片剥離は打面の作出を意図して開始されていると考えられ、2の打面を観察すると、異なる方向から打撃を加え打面を作出していることが窺える。この打面を利用して1・2を連続的に作出している。その後上部に対し打面再生を行い、3から6の剥片を連続的に作出している。石核に残る剥離の方向からも、終始上部を打面に設定し、剥片剥離を行っていることが理解できる。



第80圖 黑曜石O2接合狀態

第25表 黒曜石02石器一覧表

ブロック番号	グリッド	器物番号	種類	長さ	幅	厚さ	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)
15	R2	02024-10	0184	片	2	1	2.87	2.86	0.60	4.19
15	R2	02024-10	0114	片	2	2	2.64	2.76	0.82	5.51
15	R2	02024-05	0093	片	2	3	1.20	1.55	0.65	0.92
15	R2	02024-10	0099	片	2	3	2.18	1.74	0.42	1.64
15	R2	02024-10	0192	片	2	3	1.97	2.17	0.65	1.82
15	R2	02024-05	0048	片	2	4	3.97	3.96	1.75	21.52
15	R2	02024-10	0072	片	2	5	3.52	1.83	0.67	2.72
15	R2	02024-10	0127	片	2	6	2.99	1.49	0.67	1.67
15	R2	02024-10	0134	片	2	7	3.74	2.4	0.80	4.85
15	R2	02024-10	0179	片	2	8	4.89	4.82	3.89	99.03



第81図 黒曜石02接合関係

黒曜石 03 (第 83～86 図、第 41 表、図版 29～31)

石材の特徴

自然面は平滑であるが光沢はない。部分的に灰色の縞が混入する。剥離面はややくすんだ黒色を基調とし、部分的に斑状もしくは層状に灰色の層が認められる。透かすとやや赤みを帯びているのが確認できる。不純物が集中したような節理が認められるが局所的である。不純物は 0.5mm～2mm ほどで概して不定形である。リングは一見すると確認しづらいが、光線の当て具合で確認が容易となる。不純物から伸びる亀裂は概して長めである。

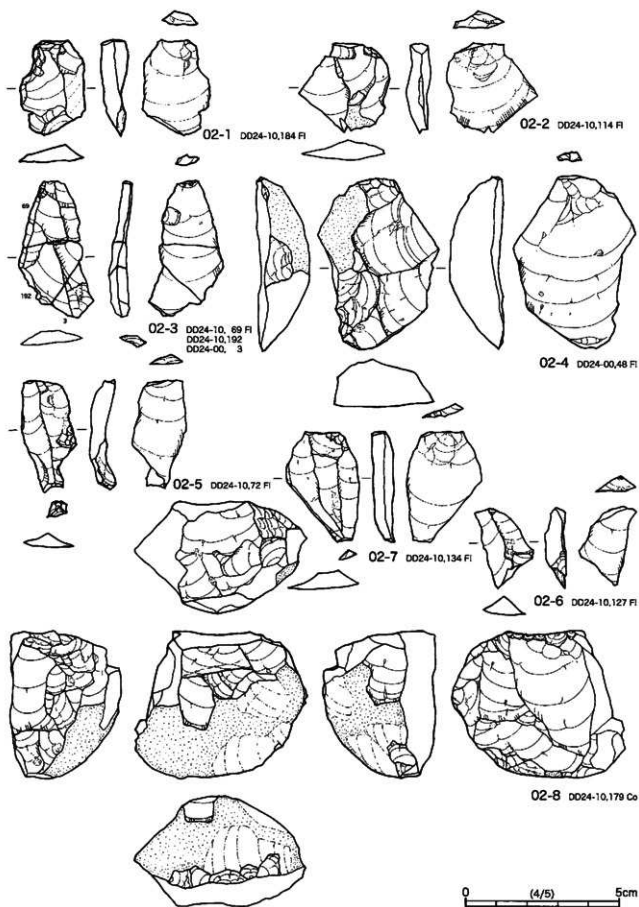
分布

第 8・9・10・14・15 ブロックに帰属する。主体は第 9・10 ブロックに集中し、第 8・14・15 ブロックに剥片の搬出が行われていると考えられる。分布中心部からの搬出距離は、第 8 ブロックに属する 8・10 の剥片で 16 m、第 14・15 ブロックに属する 1 の剥片で 22 m を測る。

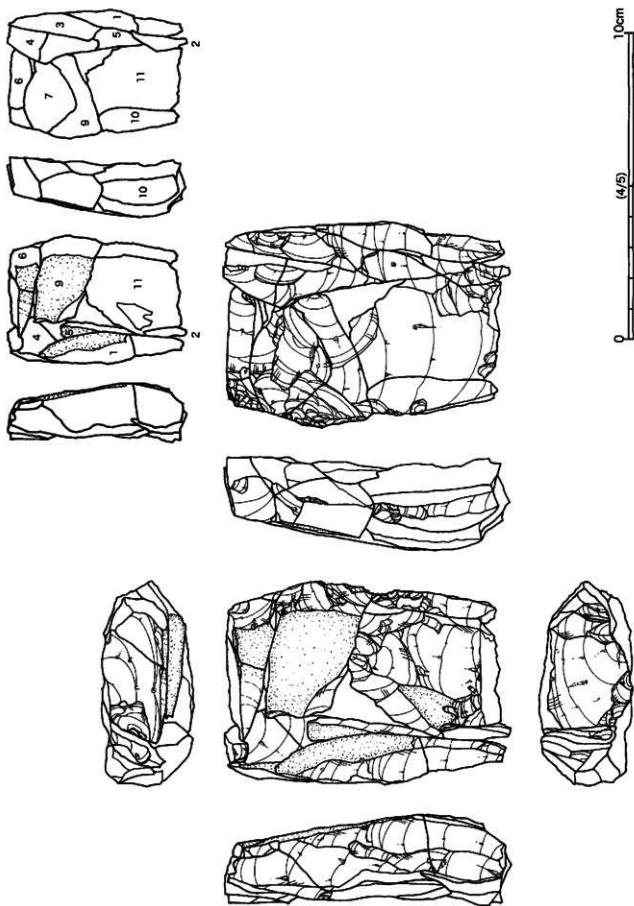
剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 9.4cm、横 6.7cm、最大厚 2.9cm である。

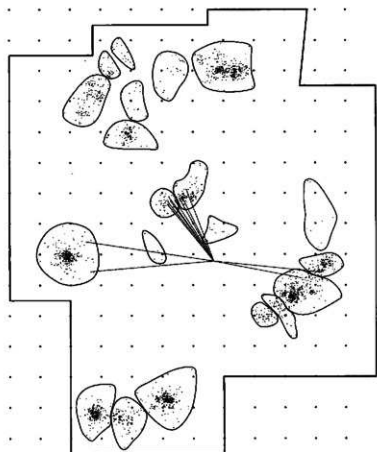
厚い板状で片面に自然面を有するが、自然面の様子は転石状ではなく風化面と考えられる。裏面には古い剥離面が認められる。風化した形跡は認められないため、大型礫から作出した大型剥片を用いて剥片剥



第82圖 黑曜石02



第83图 黑曜石03接合状态



第84図 黒曜石03接合関係

第26表 黒曜石03石器一覧表

プロ ツク 番号	フリッド 番号	器物 番号	器種	器材	器数	最大径 (mm)	最大厚 (mm)	最大重 (g)	重量 比
14	85	DB0401	0063	片	3	1	4.97	2.39	1.32
15	85	DB0400	0019	片	3	1	3.14	2.00	0.95
9	85	CC2386	0058	片	3	2	2.84	2.13	0.85
9	85	CC2386	0031	片	3	3	4.61	1.75	1.11
10	85	CC2386	0019	片	3	4	2.60	2.81	0.85
9	85	CC2376	0020	片	3	4	2.24	2.08	0.91
8	85	CL2403	0023	片	3	5	4.40	2.48	1.10
10	85	CL2386	0015	片	3	6	3.38	2.41	0.82
10	85	CC2386	0055A	片	3	7	2.50	2.85	0.90
10	85	CC2386	0059B	片	3	8	4.00	1.80	0.90
10	86	CC2386	0053	片	3	8	3.30	4.91	1.77
8	86	CC2383	0010	片	3	10	4.32	1.65	1.26
10	86	CC2386	0051	片	3	11	4.88	4.06	2.85

離を行ったものと考えられる。

剥片の作出は下端の平坦面を打面とし、1・2を得ているが、1・2の間に少なくとも3回の打撃が行われていることが、2の背面打面付近の剥離痕で理解できる。この後打面を正逆の上端部に転じ、3・4・5の剥片を連続して作出している。さらに打面を90°転換し、4・5のネガティブ面を打面として6・7・8を作出している。この後9と10+11に打刺し、打刺面を打面として10を作出して作業を終了している。

黒曜石04 (第87～89図、第42表、図版31・32)

石材の特徴

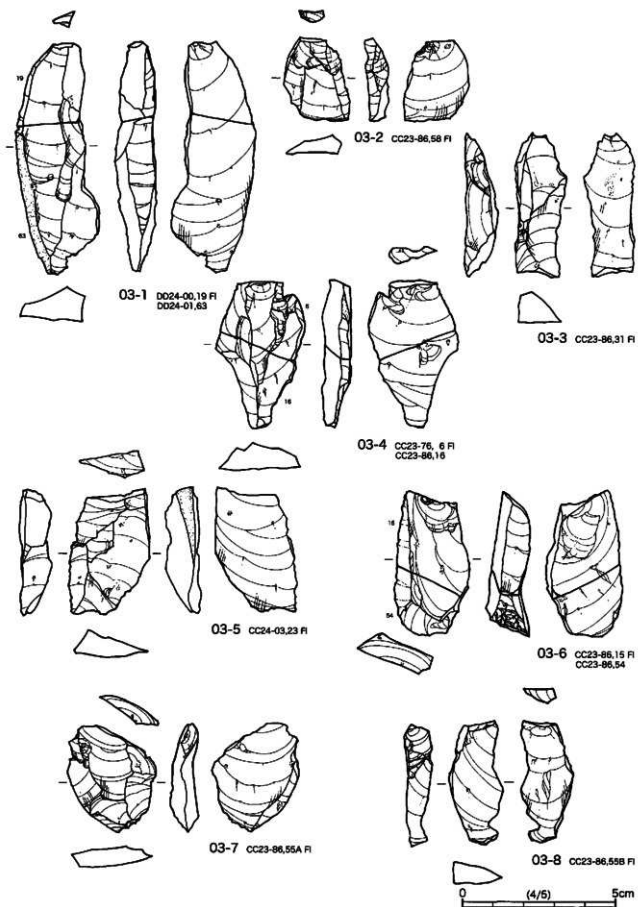
自然面については、平坦面は光沢があるが、縁辺部は細かい凹凸がみられる。硬質な感がある。剥離面はややくすんだ黒色を基調とし、局所的に半透明の部位が認められる。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で0.5mm～3mmほどであり差が大きい。リングの広がりはややいびつとなり、剥離面全面に細かいフィッシャーがみられる。

分布

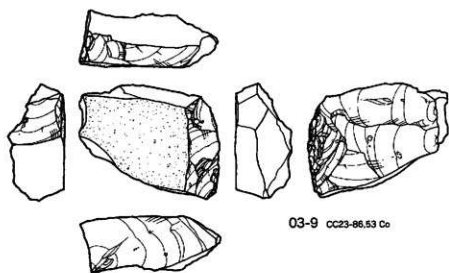
第20ブロックに所属し、ブロック範囲のほぼ中心部に集中する。

剥片剥離工程

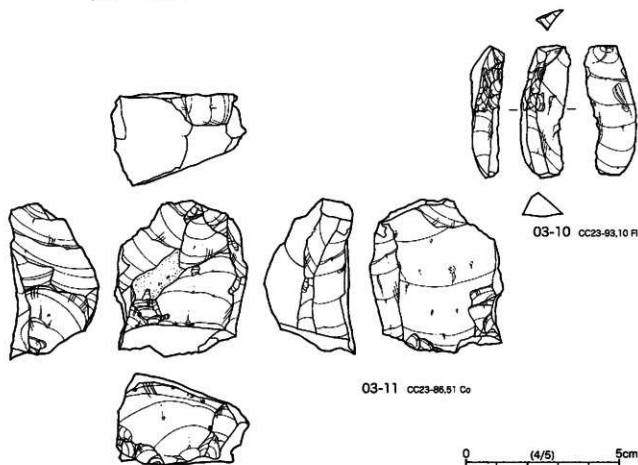
接合状態での計測値は、縦7.7cm、横7.4cm、最大厚2.9cmを測る。扁平礫を母岩としており、この接



第85図 黒曜石03(1)



03-9 CC23-86.53 Co



03-10 CC23-93.10 Fi

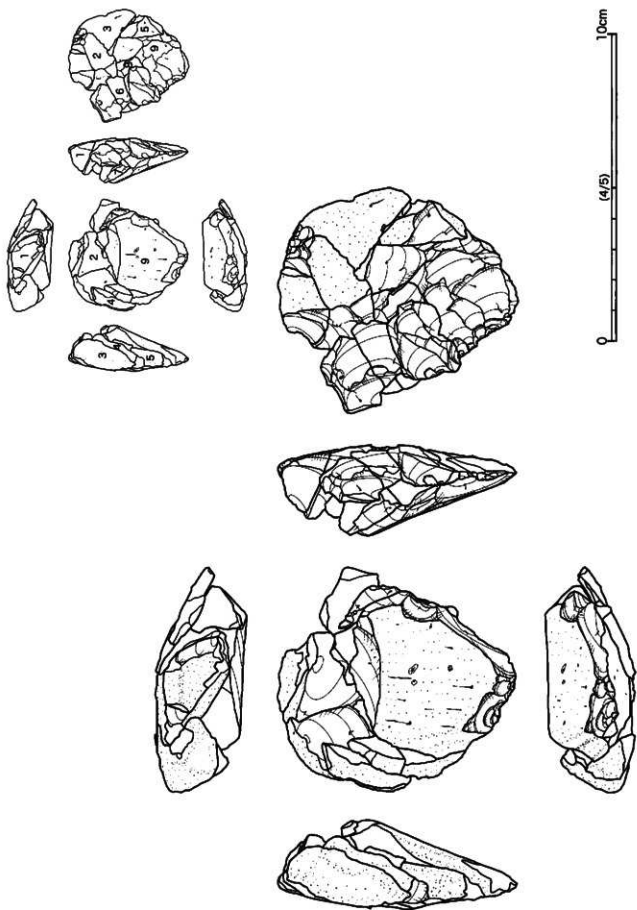
03-11 CC23-86.51 Co

0 (4/5) 5cm

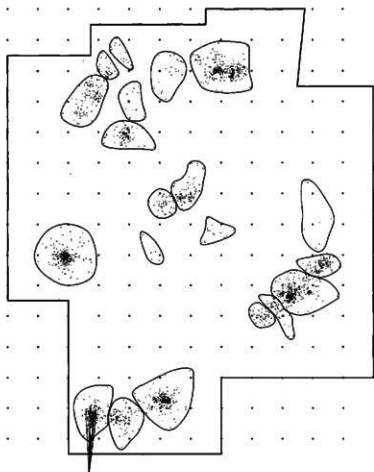
第86図 黒曜石03(2)

合状態以前の工程で裏面右側縁からの剥片剥離が行われている。

1・2・3の作出は前工程から打面を転移して行われており、上端部正面側から裏面に向かい打撃を加えている。その後、3のネガティブ面を打面とし4・5を連続的に作出している。6の剥片は、1以前の工程の打面に戻り作出されている。この後打面を再生し7・8を作出しているが、この打面再生の痕跡が正面右側縁にみられる一連の剥離痕である。



第87图 黑曜石O4接合状态



第88図 黒曜石04接合関係

第27表 黒曜石04石器一覧表

ブロック番号	フリット番号	計測値	種類	最大径	最大厚	最大径/最大厚	重量		
20	89	CC24-03 0122	片	4	1	2.21	2.62	1.17	4.43
20	89	CC24-03 0022	片	4	2	3.53	3.97	1.01	11.21
20	89	CC24-03 0024	片	9	3	3.39	3.81	1.39	12.60
20	89	CC24-03 0023	片	6	4	3.21	1.10	0.89	2.89
20	89	CC24-03 0025	片	6	5	1.58	1.98	0.43	1.95
20	89	CC24-03 0111	片	6	5	2.78	1.84	1.05	4.13
20	89	CC24-03 0033	片	4	6	2.32	2.63	0.57	2.25
20	89	CC24-03 0116	片	4	6	2.50	1.17	0.41	1.06
20	89	CC24-03 0128	片	4	6	2.76	2.61	0.41	2.15
20	89	CC24-03 0027	片	4	7	2.25	2.09	0.87	2.84
20	89	CC24-03 0088	片	6	8	1.75	2.05	0.62	1.52
20	89	CC24-03 0106	片	6	8	2.82	2.23	0.62	3.95
20	89	CC24-03 0132A	片	6	8	3.74	5.43	1.86	52.97

黒曜石 05 (第 90 ~ 92 図、第 43 表、図版 32・33)

石材の特徴

自然面は、光沢感に欠ける暗灰色の部位と光沢感のある黒色の部位が混在する。剥離面は光沢が認められるが透明感に欠ける黒色を基調とする。節理はほとんど認められない。不純物は球形で 0.1mm ~ 4mm と差が大きい。リングの広がりはいびつであるが、フィッシャーを含め確認が容易である。

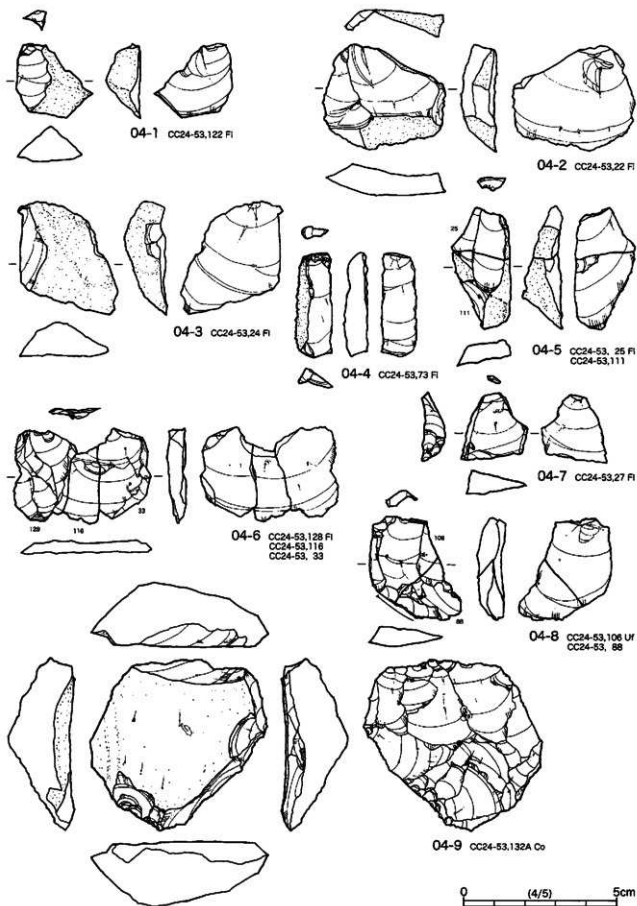
分布

第 5 ブロックに帰属する。ブロック範囲に散在し、集中する分布は認められない。

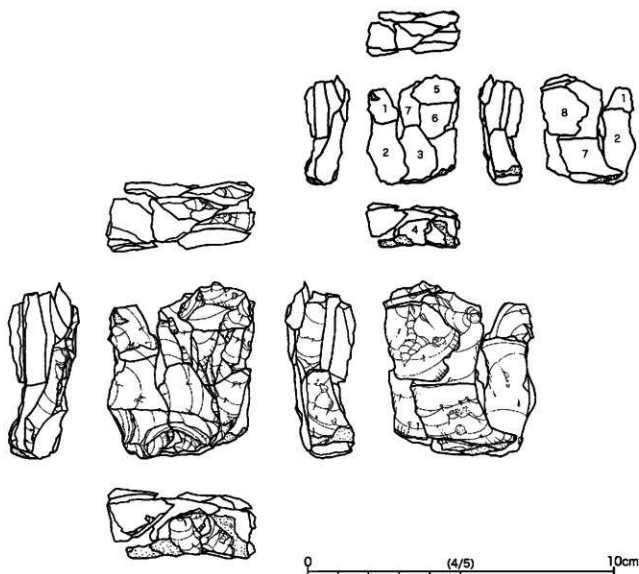
剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 5.8cm、横 4.9cm、最大厚 2.3cm を測る。下部に自然面が認められるものの、母岩の形状については不明である。

1 の作出は、正面左側縁から行われ、打面を下部部に転換し 2 から 4 を作出している。その後、打面を 180° 転換し、上部部から 5 から 8 の作出を行っている。この間、5 の作出後に正面左側縁からの打撃により打面を再生している。剥片のみの接合資料であり、石核は確認されなかった。



第89圖 黑曜石04



第90図 黒曜石05接合状態

黒曜石 06 (第 93～96 図、第 44 表、図版 33・34)

石材の特徴

自然面は、平滑は部位と細かい凹凸が認められる部位が混在するが、共に光沢感はない。剥離面は黒色を基調とし、透かすと透明な部位が広範囲に認められる。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で 0.1mm～3mm と差が大きい。リング・フィッシャーは確認しづらい。

分布

第 8 ブロックに帰属する。ブロック範囲の中心部に集中している。

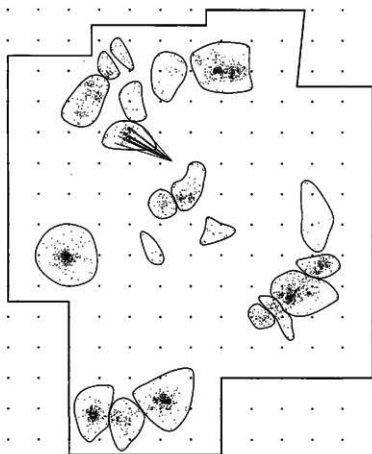
剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 5.6cm、横 7.5cm、最大厚 5.2cm を測る。部分的に自然面が認められ、その様子から川原石のような円礫ではなく、角の張る母岩であることが窺える。

剥片は一様に部厚であり、薄い素材剥片の作出よりも礫を打割るように剥片剥離を行っている感がある。

第28表 黒曜石05石器一覧表

ブロック	図版	グリッド	種別	形状	長さ	最大径	最大厚	最大径	最大厚	重量
05	92	OC23-04	G019	F	3	1	1.40	2.10	0.06	0.85
05	92	OC23-04	G029	F	5	2	4.00	2.31	1.04	6.08
05	92	OC23-04	G006	F	5	3	2.87	3.01	0.82	4.98
05	90	OC23-04	G017K	F	5	4	1.27	2.19	0.32	1.46
05	92	OC23-04	G042	F	5	5	1.43	2.47	0.52	1.83
05	92	OC23-04	G003	F	1	6	3.10	1.80	0.90	4.82
05	92	OC23-04	G021	F	5	4	2.65	2.41	1.04	6.13
05	92	OC23-05	G011A	F	5	7	2.16	3.20	0.98	4.04
05	92	OC23-04	G031	F	5	7	3.18	2.35	0.78	6.02
05	92	OC23-04	G006	F	5	8	2.84	2.43	0.70	3.88



第91図 黒曜石05接合関係

黒曜石 07 (第 97～100 図、第 45 表、図版 35・36)

石材の特徴

自然面は平滑だが光沢感はない。剥離面は黒色を基調とし、透かすと赤みを帯びた透明な部位が層状に確認できる。節理はほとんど認められない。不純物は球形、不定形の両者が混在し、0.1mm～3mmと差が大きい。リング・フィッシャーは容易に確認できる。

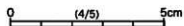
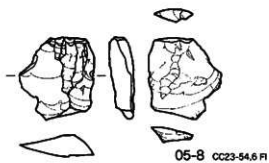
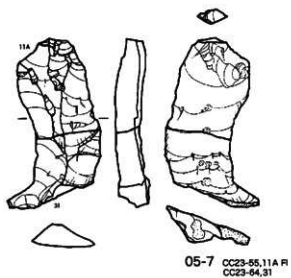
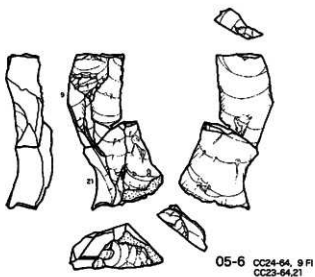
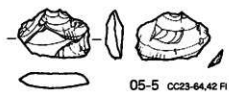
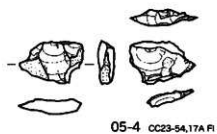
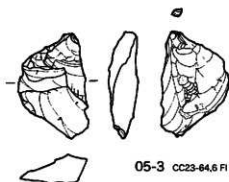
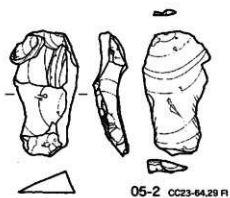
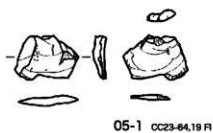
分布

第 19・20 ブロックに帰属する。点数的には第 19 ブロックに含まれるが、範囲は径 6m の範囲内に収束され、搬出されたものとは考え難い。

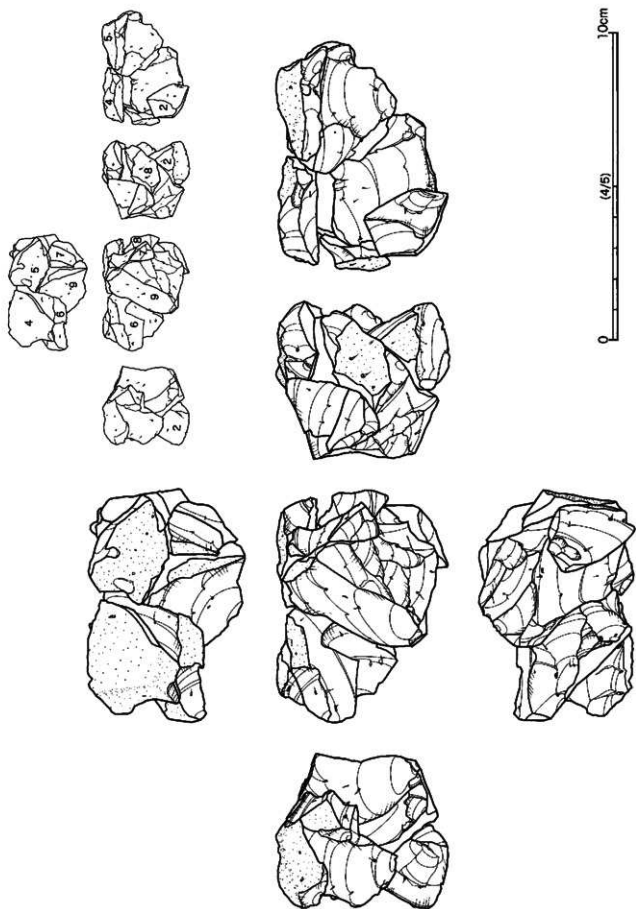
剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 8.4cm、横 7.0cm、最大厚 2.9cm を測る。自然面の状態から平面形状が台形を呈する扁平礫を母岩としていることが理解できる。

接合状態の前工程で、正面右側縁に打面を設定し、裏面方向に剥片を作出しているのが、裏面に残る一連の剥離痕で理解できる。1 はこの打面から正面方向に打撃を加え作出された剥片である。この打面からは続く 2・3 も作出される。4 は同一打面から裏面方向に打撃を加え作出される。5 は裏面上部の自然面に打面を転換し作出され、この打面は後の 7・8 についても踏襲される。5 と 7 の作出の間に 6 が古い打



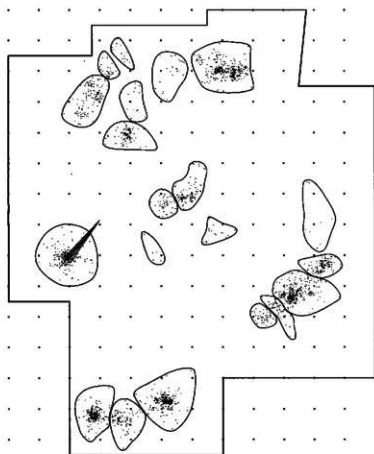
第92圖 黑曜石05



第93圖 黑曜石06接合狀態

第29表 黒曜石06石器一覧表

ブロック	グリッド	器物番号	種類	面数	最大径 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)		
8	95	OC23-03	0019	片	8	1	4.95	3.09	0.95	0.40
8	95	OC24-02	0103	片	6	2	2.82	2.53	2.06	12.44
8	95	OC24-03	0007	片	6	3	3.81	3.03	0.61	11.14
8	95	OC23-03	0020	片	6	4	3.97	3.12	1.33	11.34
8	95	OC24-02	0064A	片	6	5	3.52	2.29	1.28	11.01
8	95	OC24-02	0069	片	6	6	3.92	5.37	2.63	35.06
8	95	OC23-02	0059	片	6	7	2.27	2.00	1.21	3.53
8	95	OC24-02	0125	片	6	7	1.35	1.70	1.35	3.25
8	96	OC24-02	0078	片	6	8	2.26	3.29	1.27	5.94
8	96	OC24-02	0042	片	6	9	3.90	4.31	4.17	70.07



第94図 黒曜石06接合関係

面から作出されるが、打面を広く設定し作出されるため、石核整形を目的としたものと考えられる。8の作出後、数工程のブランクが認められ、9・10の剥片は正面左側縁を打面として作出される。11・12は連続して作出されるが、11は6のネガティブ面を、12は5のネガティブ面を打面としており、90°転換している。13・14は正面方向に打撃を加え作出されるが、形状等から打面調整的な目的が感じられる。15はさらに打面を転換し、正面左側縁の9のネガティブ面を打面として作出されている。

黒曜石08 (第101～103図、第46表、図版36・37)

石材の特徴

自然面は細かい凹凸で占められ、硬質感がある。剥離面は黒色を基調とし、部分的に灰色の層が認められ、透かすと若干赤みを帯びているのが確認できる。節理はほとんど認められない。不純物は0.1mm～2mmほどの不定形である。リングは観察しづらいが、剥離面全体に細かいフィッシャーがみられる。

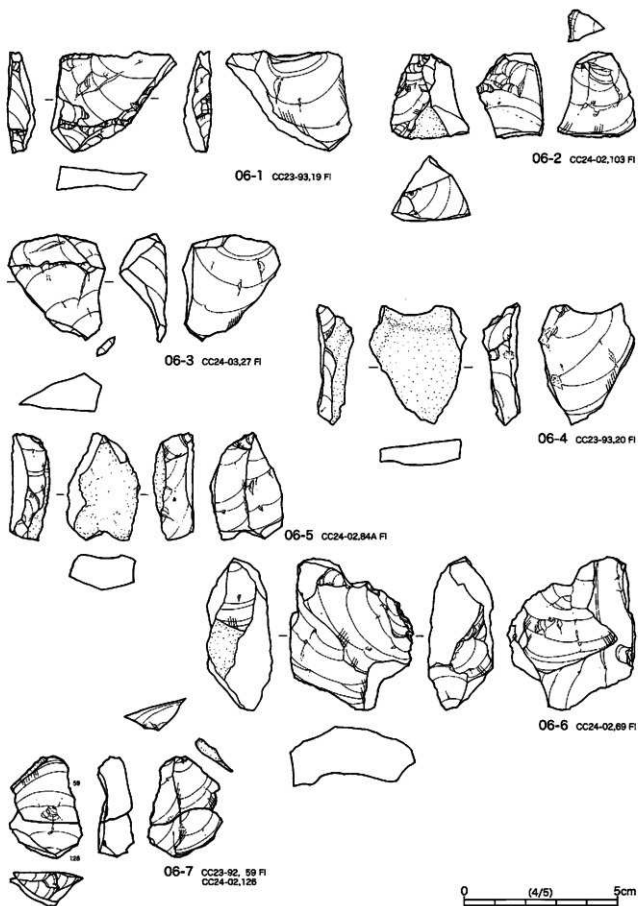
分布

第15ブロックに帰属する。ブロック内の密集区とほぼ分布を同じにする。

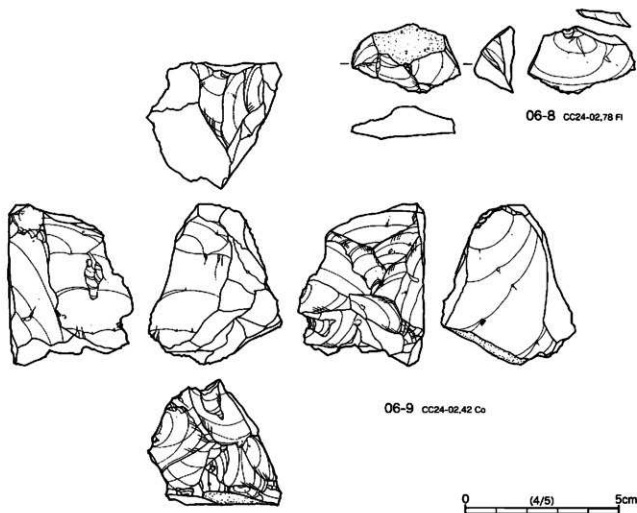
剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦8.6cm、横6.8cm、最大厚4.6cmを測る。

自然面が多く認められ、母岩は平面形が三角形を呈する形状と考えられる。自然面にはローリングによ



第95図 黒曜石06(1)



第96図 黒曜石06(2)

る風化した剥離痕が見られる。

剥片剥離工程の初期段階を示す接合資料であり、1は正面上端部の自然面を打面として作出されている。2は1のネガティブ面を打面として作出されるが、打面作出を目的とした感が強い。3・4はこの打面から連続的に作出されている。5については、同一打面からの作出か否かは解らないが、この打面からの作出ならば6cmを越える剥片となる。

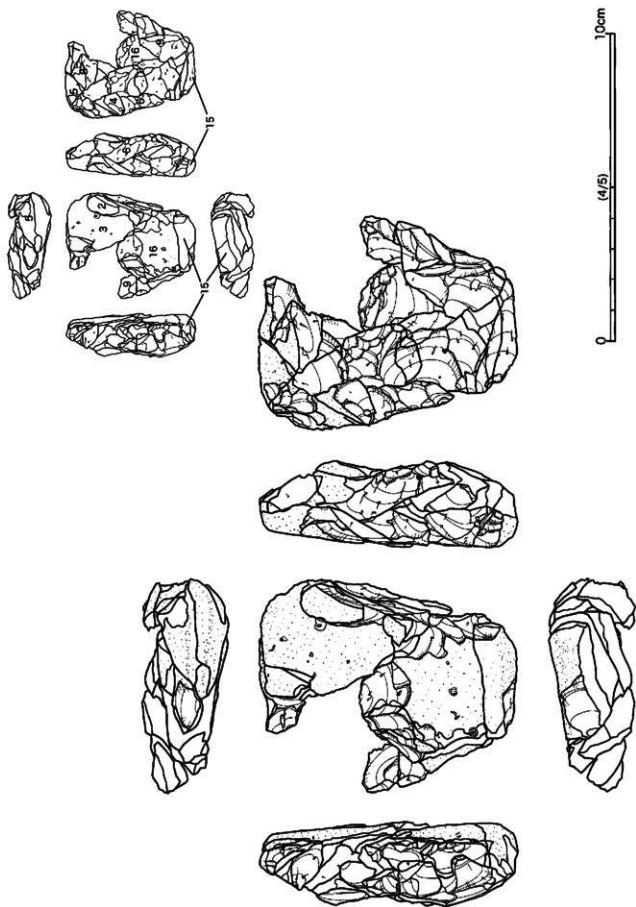
黒曜石09 (第104～107図、第47表、図版37・38)

石材の特徴

自然面は平滑であるが光沢感に欠ける。剥離面は透明感に欠ける黒色を基調とし、透かすと半透明の部位と黒色の部位が層状に認められる。部分的に灰色の細かい節理が認められる。不純物は球形で1mm～10mmと差が大きい。不純物を多く含む割りにリング・フィッシャーは容易に観察できる。

分布

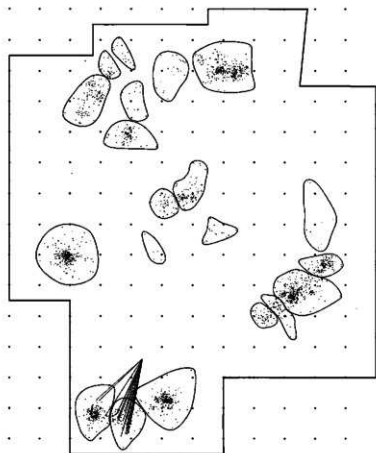
第8ブロックに帰属する石器は、2の小型の剥片1点のみで、そのほとんどは第9・10ブロックに帰属する。分布の中心から16mの距離を置く。



第97图 黑曜石07接合状态

第30表 黒曜石07石器一覧表

プロ タイプ	種別	グリッド	番号 番号	材料	用途	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	測定 位置	測定 位置	測定 位置	重量 g
19	99	CC24-54	0096A	Fl	7	1	1.69	1.90	0.20	0.32			
19	99	CC24-54	0047	Fl	7	2	1.35	2.20	0.34	0.78			
19	99	CC24-54	0043	Fl	7	3	1.09	1.49	0.41	0.67			
19	99	CC24-54	0062	Fl	7	3	3.89	5.25	0.93	12.45			
19	99	CC24-54	0030	Fl	7	4	2.04	1.23	0.44	0.98			
19	99	CC24-54	0042	Fl	7	5	2.75	1.74	0.91	5.35			
19	99	CC24-54	0045	Fl	7	5	2.13	3.61	1.35	5.78			
19	99	CC24-54	0048	Fl	7	5	2.13	3.22	1.17	5.22			
19	99	CC24-54	0046	Fl	7	6	1.83	4.54	1.55	6.37			
19	99	CC24-54	0022A	Fl	7	7	1.72	2.51	1.15	2.65			
19	99	CC24-54	0073	Fl	7	8	0.99	2.13	0.84	2.08			
19	99	CC24-54	0098	Fl	7	9	1.34	1.81	0.61	1.58			
19	99	CC24-54	0036	Fl	7	9	1.36	1.60	0.59	1.38			
20	99	CC24-43	0001	Fl	7	9	2.40	2.70	0.88	4.58			
19	100	CC24-05	0015	Fl	7	10	2.19	2.86	0.62	2.66			
19	100	CC24-54	0008A	Fl	7	11	2.97	3.03	0.80	5.05			
19	100	CC24-54	0070	Fl	7	11	1.83	0.84	0.35	0.43			
19	100	CC24-44	0002	Fl	7	12	2.60	2.66	0.90	4.72			
19	100	CC24-34	0095	Fl	7	13	1.44	1.89	0.20	0.51			
20	100	CC24-43	0002	Fl	7	14	1.49	1.32	0.30	0.40			
19	100	CC24-54	0056	Fl	7	15	3.90	1.78	1.12	7.19			
20	100	CC24-54	0093	Co	7	16	4.8	4.72	2.65	49.98			



第98図 黒曜石07接合関係

剥片剥離工程

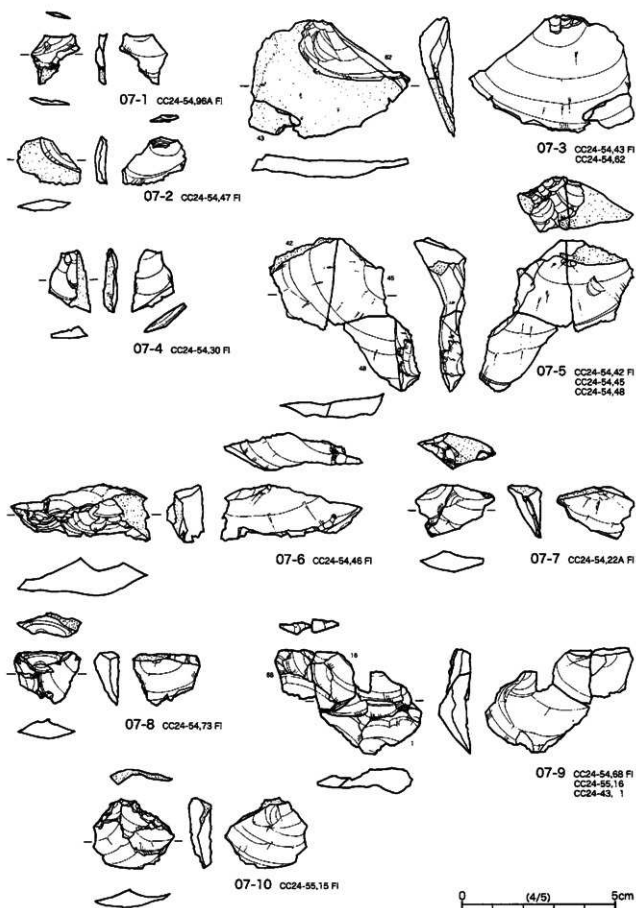
左側面の一部に自然面が認められるが、母岩形状を想定するには至らない。接合状態での計測値は、縦8.1cm、横5.4cm、最大厚3.8cmを測る。

1は上面に設定された打面から作出している。背面には、1と同一の打面から連続的に剥片剥離を行った痕跡が明瞭に見られる。腹面には打点が2か所存在するが、これは左側の打点に打撃を加えた際に剥離せず、右側の打点に打撃を加えた際に石核より分離したためである。2は打面を転換し、正面右側縁の下部を打点として作出される。この後さらに打面を転換し、正面下端を打面とし、裏面方向に打撃を加え3・4を作出している。5・6は打面を上面に再度転換し連続的に作出されているが、1の打面とは異なり、打面再生が行われていることが理解できる。また1は表面側に剥片剥離を行っているのに対し、5・6の剥片剥離は裏面側に変換している。7は打面を下端に転換し、かつ正面側に剥片剥離を行っている。8以降は打面を上面に再度転換し剥片剥離を行っているが、正面側と裏面側に交互に剥片剥離を行っている。9は裏面側、10・11は正面側、12・13は再度裏面側に転換し作業を終了している。

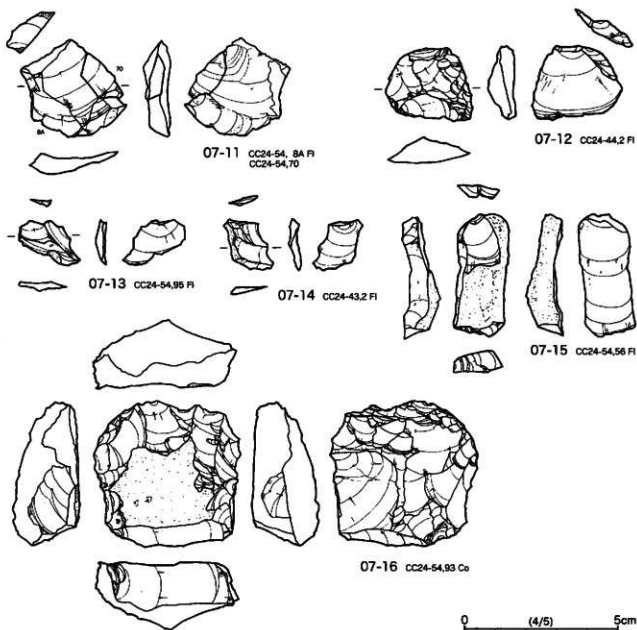
黒曜石10（第108・109図、第48表、図版39）

石材の特徴

質感、色調等は黒曜石09と同であるが、不純物の大きさは1mm～3mmとなり、含有量も比較す



第99図 黒曜石07(1)



第100図 黒曜石07(2)

ると少量である。

分布

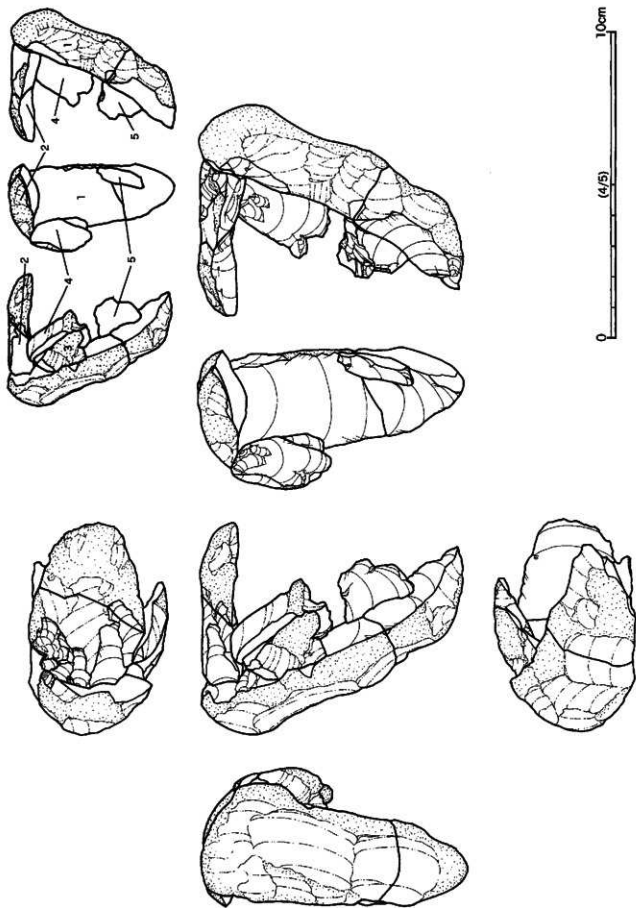
第9ブロックに帰属する。ブロックの密集区の東側に分布が偏る。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 6.0cm、横 3.7cm、最大厚 2.1cmを測る。

剥片剥離工程の最終段階の接合資料のため、母岩の形状、大きさは不明である。上下両端に打面を設定し、連続的に剥片剥離を行っている。上下の打面は多方向からの剥離で再生していることが窺える。

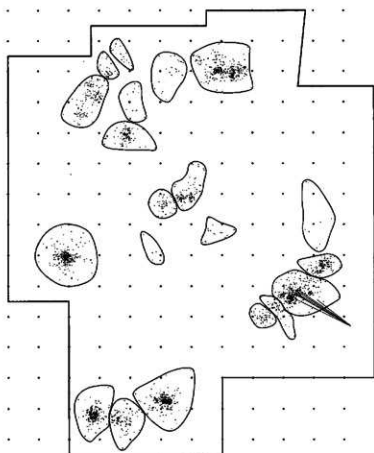
1は下面からの剥片剥離により作出された剥片である。背面構成は、上面に設定された打面からの剥離が主体となる。右側縁には下面に設定された打面からの剥離が認められ、1の作出前に同一打面から剥離されたものと考えられる。左側面にも下方からの剥離が認められるが、数工程前の打面からの剥離である



第101图 黑曜石08接合状态

第31表 黒曜石08石器一覧表

プロ ツク 番号	種別	グロッ ド	図記 番号	図種	材料	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	備 考
18	03	0004-10	0145	削	黒	1	4.03	2.05	2.07	24.28
15	03	0004-10	0178	打	黒	1	6.36	3.96	2.33	68.65
15	03	0004-10	0173	打	黒	2	3.15	4.00	1.19	11.58
15	03	0004-10	0216	削	黒	2	3.00	4.04	1.63	14.71
15	03	0004-10	0229	削	黒	3	2.92	2.41	0.94	4.33
10	00	0004-10	0147	削	黒	4	3.92	2.32	0.88	6.39
15	03	0004-11	0005	削	黒	5	2.68	2.18	0.75	2.86



第102図 黒曜石08接合関係

う。1の剥片作出後、同一打面から剥片剥離を行っていることが、5の背面末端部側に見られる剥離痕で理解できる。2から5は、打面を上面に転換し連続的に作出された剥片である。

黒曜石11 (第110・111図、第49表、図版39)

石材の特徴

自然面は平滑であるが光沢感に欠ける。剥離面は黒色を基調とし、透かすと黒色、半透明の層が等間隔に認められる。節理はほとんど認められない。不純物は球形もしくは不定形で1mm～10mmと差が大きい。リング・フィッシャーは容易に観察できる。

分布

第15ブロックに帰属する。

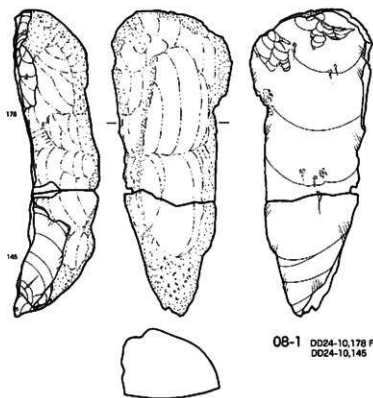
剥片剥離工程

剥片2点のみの接合である。両者の打面は同一ではなく、1は正面左側縁部に設定された打面から作出されるが、2は正面右側縁の節理面を打面として作出されている。

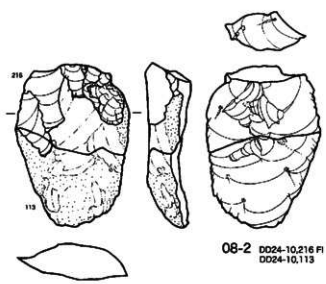
黒曜石12 (第110・111図、第49表、図版40)

石材の特徴

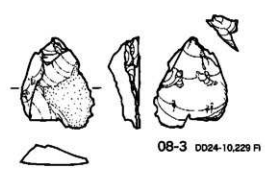
自然面は平滑であるが光沢感はない。剥離面は透明感のある黒色を呈し、透かすとやや赤みを帯びた半



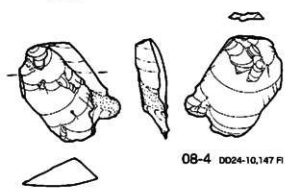
08-1 DD24-10,178 FI
DD24-10,145



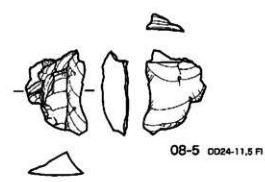
08-2 DD24-10,216 FI
DD24-10,113



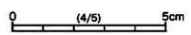
08-3 DD24-10,229 FI



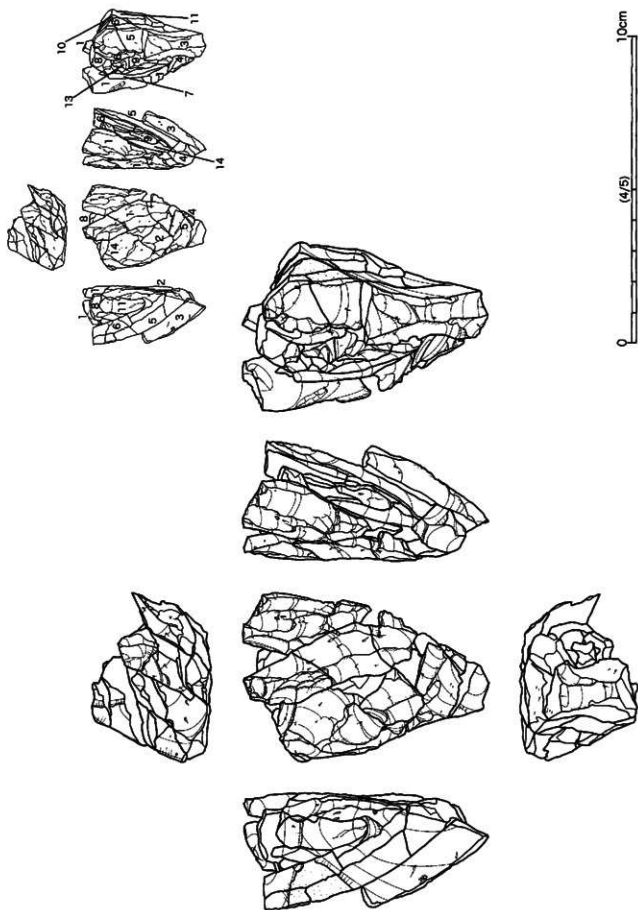
08-4 DD24-10,147 FI



08-5 DD24-11,5 FI



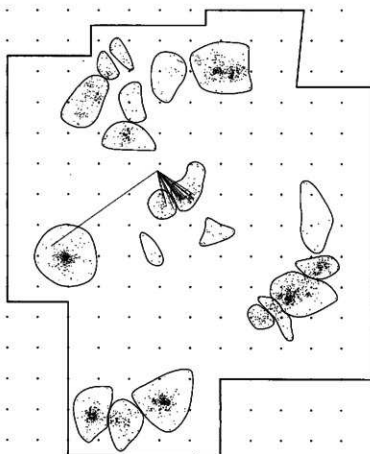
第103图 黑曜石08



第104图 黑曜石09接合状态

第32表 黒曜石09石器一覧表

ブロック番号	リード番号	器種	器名	器種	器名	最大径 (mm)	最小径 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	
10	106	CC23-86	0052	Fl	9	1	2.91	2.04	0.55	2.73
10	106	CC23-86	0053	Fl	9	1	2.76	1.57	0.63	2.29
10	106	CC23-86	0050	Fl	9	1	2.01	1.43	0.34	0.91
10	106	CC23-86	0075	Fl	9	1	3.94	2.55	0.84	7.70
9	106	CC23-82	0005	Fl	9	2	1.80	1.06	0.28	0.76
9	106	CC23-86	0044	Fl	9	3	4.43	1.96	1.13	12.01
9	106	CC23-86	0008	Fl	9	5	1.92	2.96	1.53	7.04
9	106	CC23-87	0004	Fl	9	5	2.31	2.06	0.63	2.25
9	106	CC23-87	0010	Fl	9	5	3.79	2.09	0.90	6.29
10	106	CC23-86	0019	Fl	9	8	2.92	2.96	0.82	6.60
9	106	CC23-87	0006A	Ch	9	7	4.32	3.33	0.62	1.94
9	106	CC23-86	0002	Fl	9	4	2.79	2.47	1.26	6.28
9	106	CC23-86	0032A	Fl	9	9	1.48	1.74	0.72	1.33
9	106	CC23-86	0053	Fl	9	9	0.92	1.38	0.30	0.31
9	106	CC23-86	0080	Fl	9	10	2.22	0.81	0.41	0.84
9	107	CC23-86	0083	Fl	9	11	3.07	2.33	0.87	4.06
10	107	CC23-86	0012	Fl	9	12	3.46	2.40	0.66	5.23
9	107	CC23-86	0081A	Fl	9	13	2.40	1.28	0.55	1.00
9	107	CC23-86	0008	Fl	9	14	4.50	4.40	1.58	23.99



第105図 黒曜石09接合関係

透明と黒色層が平行にみられる。節理はほとんど認められない。不純物は1mmほどの球形で粒が揃う。リングは不純物の影響で歪みがちで、フィッシャーは概して長めである。黒曜石01の特徴とほぼ同一である。

分布

第18ブロックに帰属する。

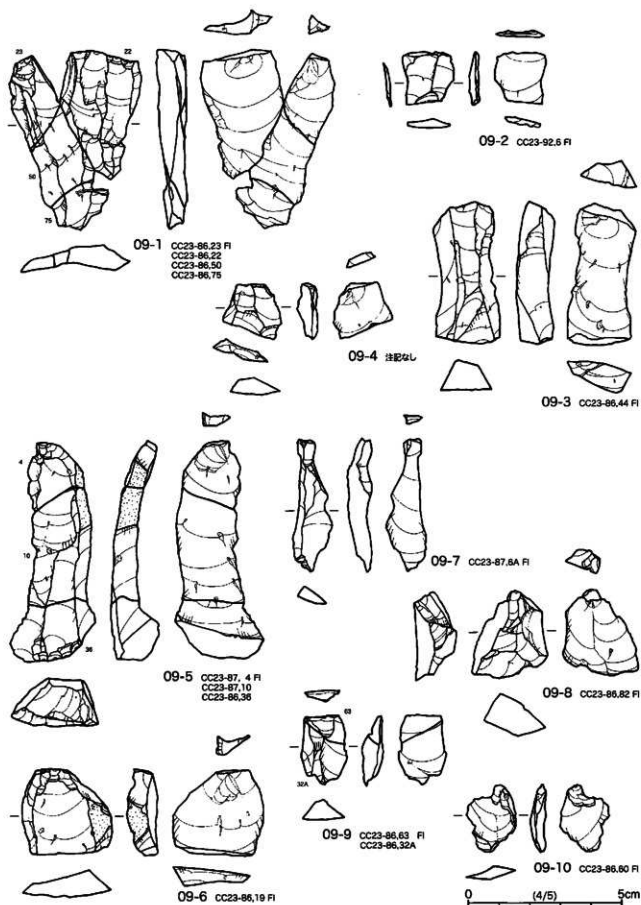
剥片剥離工程

剥片2点のみの接合である。両者の背面は自然面を共有し、打面側からの剥離により構成される。ただし、両者の打面は同一ではなく、1の剥片作出後に打面再生を行っていることが理解できる。

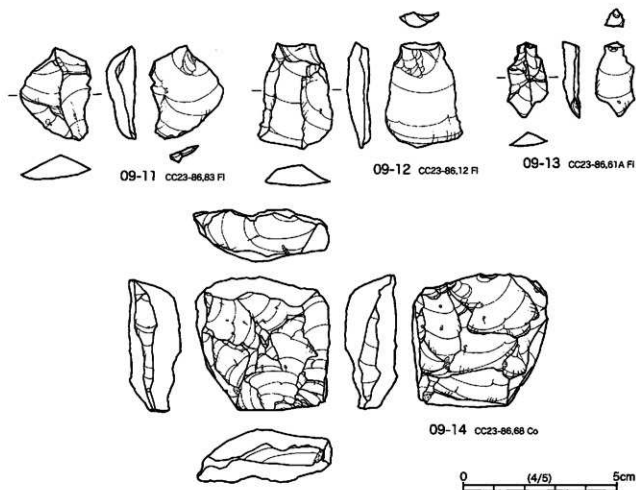
黒曜石13 (第110・112図、第49表、図版40)

石材の特徴

自然面は細かい凹凸が認められ、硬質な感がある。剥離面はやや曇った黒色を呈し、半透明の層と曇りガラス状の層が平行に混在する。節理はほとんど認められない。不純物は0.5mm～2mmほどで概して不定形である。リングは一見すると確認しづらいが、光線の当て具合で確認が容易となる。黒曜石02の特徴とほぼ同一である。



第106図 黒曜石09(1)



第107図 黒曜石09(2)

分布

第15ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

剥片2点のみの接合である。1は正面左側縁下部の自然面を打面打面として作出されるが、2は上端の自然面を打面として作出される。接合状態図の正面右側縁には、2と打面を共有する一連の剥離痕が見られるが、これらは1の剥片作出以前の剥離であり、打面を転換していることが理解できる。

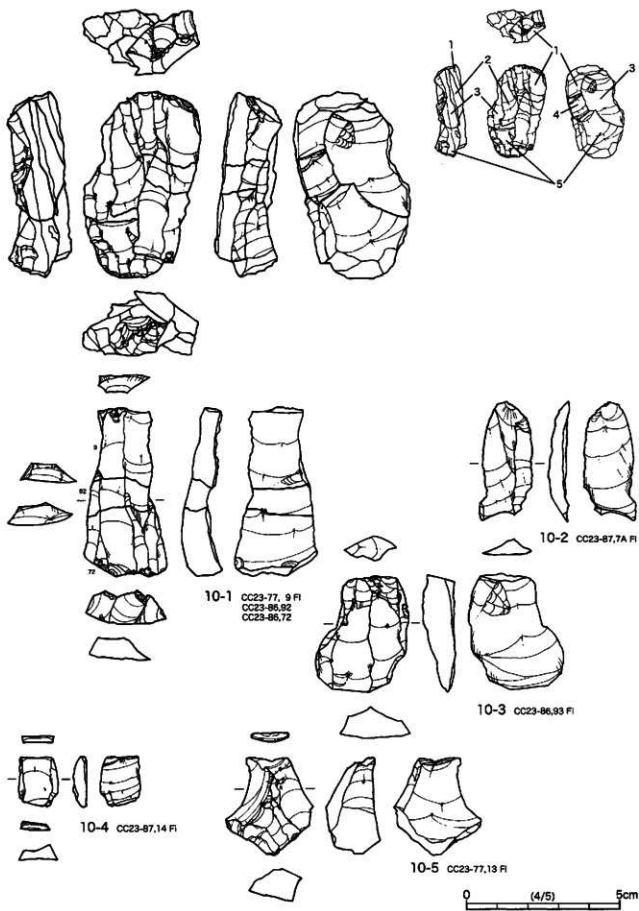
黒曜石14 (第110・113・114図、第49表、図版41)

石材の特徴

自然面は平滑であるが光沢はない。部分的に灰色の縞が混入する。剥離面はややくすんだ黒色を基調とし、部分的に斑状もしくは層状に灰色の層が認められる。透かすとやや赤みを帯びているのが確認できる。不純物が集中したような節理が認められるが局所的である。不純物は0.5mm～2mmほどで概して不定形である。黒曜石03の特徴とほぼ同一である。

分布

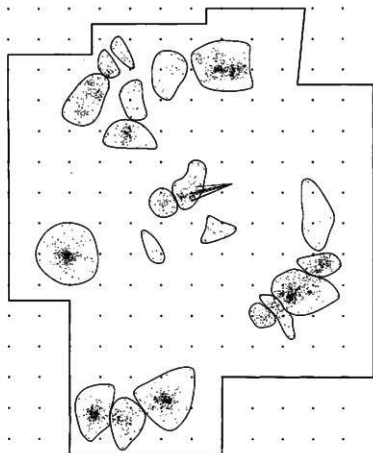
第7ブロックに帰属する。



第108图 黑曜石10接合状态

第33表 黒曜石10石器一覧表

ブロック 番号	グラッド 番号	器種	用途	長さ cm	幅 cm	最大厚 cm	最大径 cm	重量 g		
9	108	CC23-77	0000	F	10	1	2.47	1.80	0.68	3.71
9	108	CC23-86	0072	F	10	1	2.38	2.64	0.88	6.57
9	108	CC23-86	0092	F	10	1	1.28	2.14	0.64	1.81
9	108	CC23-87	0007A	F	10	2	1.82	1.19	0.24	0.40
9	108	CC23-86	0093	F	10	3	3.04	2.86	0.97	9.29
9	108	CC23-87	0014	F	10	4	1.61	1.28	0.30	0.83
9	108	CC23-77	0013	F	10	5	3.11	2.88	1.53	10.94



第109図 黒曜石10接合関係

剥片剥離工程

全て打面再生剥片である。1から3は同工程の打面再生で、4は次の工程の打面再生により作出されている。1の打面には連続した剥片剥離の痕跡が認められ、全て背面側を打面として作出される。同様の剥離が2の左側面にも認められるが、3の打面には正逆方向の剥離痕が存在する。このことから、上下両端に打面を設定し、打面再生を繰り返しながら連続的に剥片剥離を行う作業工程が看取できる。

黒曜石 15 (第110・114・115図、第49表、図版41・42)

石材の特徴

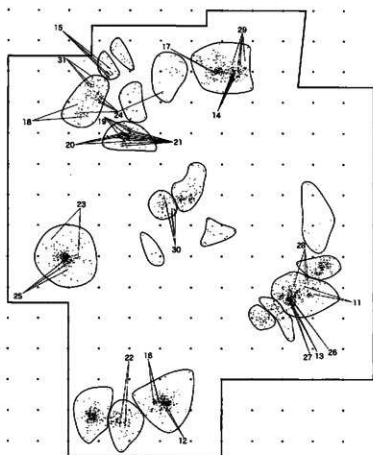
自然面は平滑であるが光沢はない。部分的に灰色の縞が混入する。剥離面はややくすんだ黒色を基調とし、部分的に斑状もしくは層状に灰色の層が認められる。透かすとやや赤みを帯びているのが確認できる。不純物が集中したような節理が認められるが局所的である。不純物は0.5mm～2mmほどで概して不定形である。黒曜石03の特徴とほぼ同一である。

分布

第2ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

接合状態の計測値は、縦8.2cm、横4.1cm、最大厚2.4cmを測る。



第110図 黒曜石11~31接合関係

大型剥片を分割し、剥片剝離を行っている。素材となる大型剥片の背面には、同一方向の打面からの連続的な剝離が見られ、この剥片も一連の剥片剝離作業で得られた剥片であろう。

大型剥片は打面寄りの部位で分割され、その後剥片剝離が行われるのは末端部側に対してである。分割面を打面として、主に左側縁に対して剥片剝離が行われ、その後背面側からの打撃により打面を再生、新規打面から剥片剝離を行い、作業を終了している。

黒曜石 16 (第110・116図、第49表、図版42)

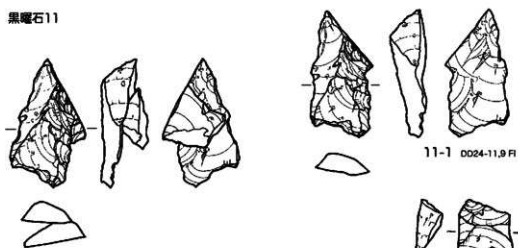
石材の特徴

自然面については、平坦面は光沢があるが、縁辺部は細かい凹凸がみられる。硬質な感がある。剝離面はややくすんだ黒色を基調とし、局部的に半透明の部位が認められる。節理はほとんど認められない。黒曜石 04 の特徴とほぼ同一である。

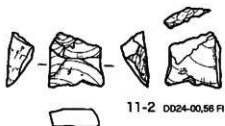
第34表 黒曜石11~31石器一覧表

プロトタイプ	グループ	遺物番号	材質	形状	長さ (mm)	最大径 (mm)	最大厚 (mm)	最大重量 (g)	重量
11	002411	00209	F	11	4	4.1	2.24	1.53	5.94
15	002410	00565	F	11	2	1.81	1.77	0.75	2.26
18	002440	01956	F	12	1	4.38	4.00	1.05	13.00
19	002440	01443	F	12	2	3.36	4.95	3.81	8.04
15	000410	00308	F	13	1	2.68	2.80	0.52	2.84
15	000410	01663	F	13	-	3	2.99	0.67	5.75
15	000410	00224	F	13	2	4.62	4.43	1.39	31.64
7	002340	00296	F	14	1	4.21	3.28	1.53	26.54
7	002340	02057	F	14	1	1.73	4.09	0.87	6.62
7	002340	00709	F	14	2	3.72	3.62	0.93	7.80
7	002340	00312	F	14	3	3.41	2.71	0.99	7.83
7	002340	00309	F	14	3	1.84	3.05	0.85	1.85
7	002340	00306	F	14	4	2.23	2.76	0.86	2.97
7	002340	00966	F	14	4	3.51	2.50	1.25	10.44
2	002334	00710	F	15	-	1.52	1.29	1.14	1.51
2	002334	00304	Co	15	1	2.87	3.30	1.75	19.60
2	002344	00333	F	15	2	2.79	3.30	1.19	6.95
2	002344	00209	F	15	3	4.78	3.54	2.50	43.47
18	002440	00004	F	16	1	2.74	2.81	0.49	3.98
18	002440	00004	F	16	1	2.58	2.62	0.71	4.76
18	002440	00004	F	16	2	4.17	3.75	0.85	8.44
7	002340	00400	F	17	1	3.52	2.40	0.94	4.18
7	002340	00301	F	17	2	4.06	1.75	0.83	1.60
3	002353	00018	F	18	1	2.55	1.08	0.46	0.89
3	002353	00306	F	18	2	2.39	1.57	0.53	1.40
5	002344	00441	F	19	1	3.28	1.57	0.87	2.48
5	002344	00008	F	19	2	1.78	3.10	0.99	4.58
5	002344	00306	F	19	2	1.98	2.46	0.98	3.45
5	002344	00323	F	19	2	2.83	2.86	0.86	2.64
5	002344	00322	F	20	1	2.42	1.94	0.88	3.02
5	002344	00353	F	20	1	2.41	1.37	0.80	1.82
5	002344	00313	F	20	2	2.25	1.48	0.52	1.38
5	002344	00360	F	20	2	1.53	1.59	0.54	1.29
5	002344	00300	F	21	1	1.73	0.87	0.28	0.33
5	002344	00306	F	21	2	3.31	2.41	0.59	4.59
5	002344	00323	F	21	2	1.55	2.26	0.51	1.51
5	002344	00304	F	21	3	2.31	2.09	0.66	1.60
5	002344	00306	F	21	4	2.08	3.34	0.80	2.08
5	002344	00315	Co	21	4	0.97	0.91	0.36	0.16
5	002344	00324	F	21	5	1.85	1.80	0.44	1.23
5	002344	00369	F	21	5	3.19	2.41	0.92	4.49
5	002344	00354	F	21	6	2.31	3.23	0.81	3.20
19	002454	00307	F	22	1	2.75	3.54	0.95	4.54
19	002454	00308	F	22	2	1.61	2.46	0.62	2.26
8	002342	00010	F	23	1	2.42	1.43	0.67	1.50
8	002342	00013	F	23	2	2.23	3.69	1.02	5.84
3	002353	00013	F	24	1	4.48	3.10	2.19	24.71
3	002343	00066	F	24	2	4.05	3.96	1.00	9.47
8	002346	00305	F	24	2	2.07	2.83	0.74	3.94
5	002344	00304	F	24	3	3.22	4.71	2.05	20.34
3	002353	00333	F	24	3	2.12	1.27	0.63	0.93
8	002402	00448	F	25	1	3.60	2.30	1.00	5.20
8	002402	00485	F	25	1	2.85	1.81	0.70	2.33
8	002402	00605	F	25	2	2.63	1.46	0.53	1.33
15	002420	00222	F	26	1	5.69	3.91	1.49	20.77
15	002420	00232	F	26	2	3.67	4.19	1.14	8.90
15	002420	00249	F	27	1	1.97	2.64	0.74	2.82
15	002420	00244	F	27	2	4.62	5.71	1.58	29.08
15	002402	00355	F	28	1	2.87	2.22	1.16	10.18
15	002402	00327	F	28	2	2.08	4.75	1.48	11.79
15	002402	00324	F	28	3	6.12	4.79	2.00	55.63
7	002338	00317	F	29	1	1.88	3.27	0.89	3.41
7	002338	00325	F	29	2	1.39	1.83	0.34	3.94
7	002338	00308	F	29	1	4.25	2.53	0.92	7.37
7	002338	00328	F	29	2	1.86	0.96	0.48	1.64
7	002338	00305	F	29	2	1.76	2.66	0.87	2.80
10	002386	00449	F	30	1	3.03	2.34	0.82	4.46
10	002386	00310	F	30	2	1.49	1.95	0.73	2.78
10	002386	00321	F	30	2	1.90	2.50	0.86	3.90
10	002386	00329	F	30	2	2.54	2.70	1.04	5.34
10	002386	00369	F	30	2	1.75	2.28	0.86	3.20
3	002343	00501	F	31	1	1.56	1.83	0.34	0.72
3	002343	00314	F	31	2	2.57	1.81	0.85	2.64
3	002343	00381	Co	31	3	3.82	3.11	2.89	30.77

黑曜石11



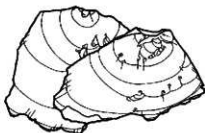
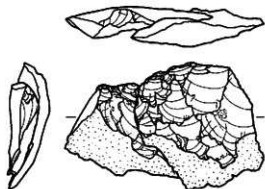
11-1 D024-11,9 F1



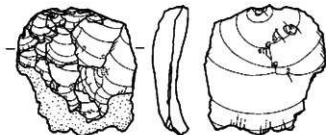
11-2 D024-00,56 F1



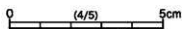
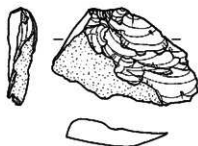
黑曜石12

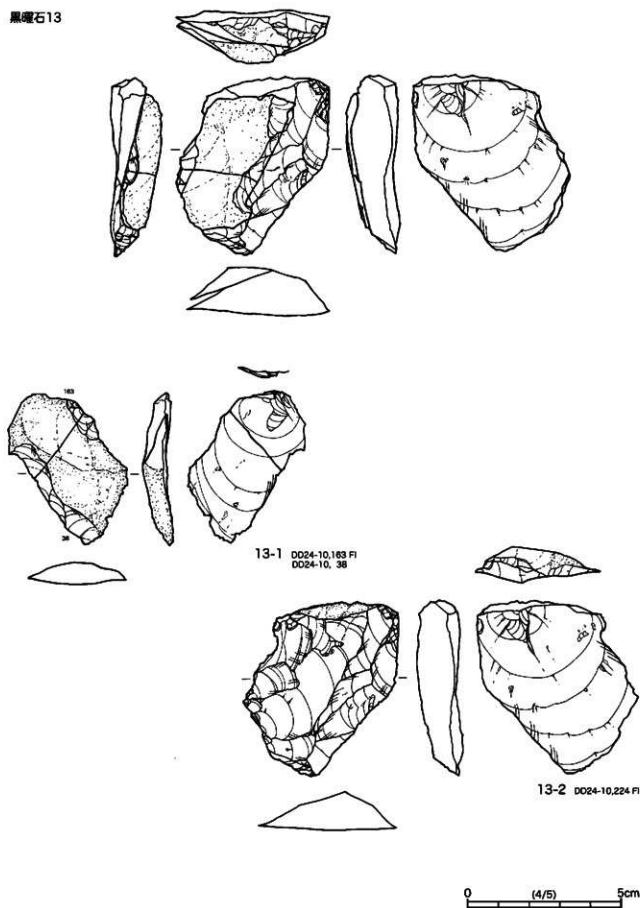


12-1 CC24-46,156A F1



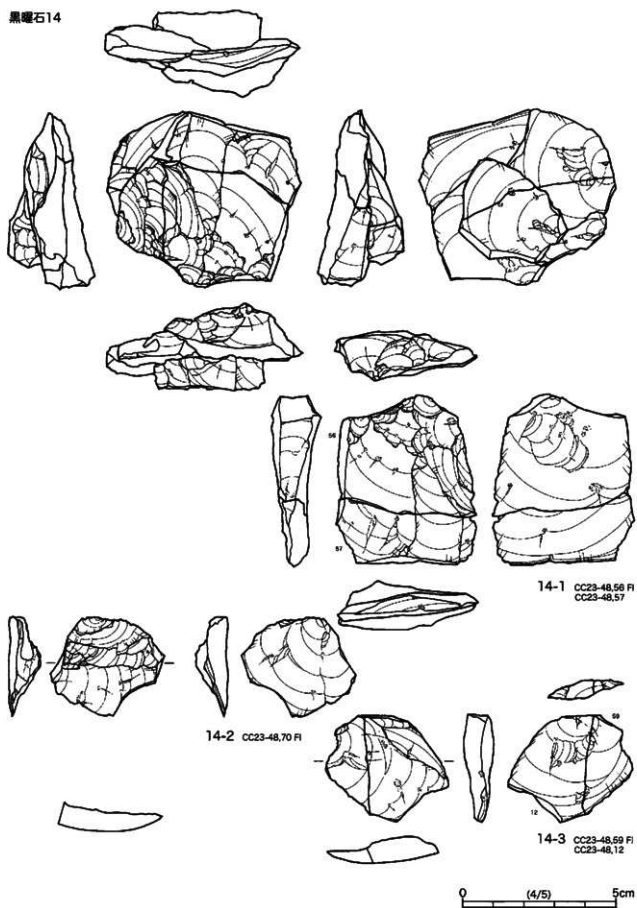
12-2 CC24-46,143 F1



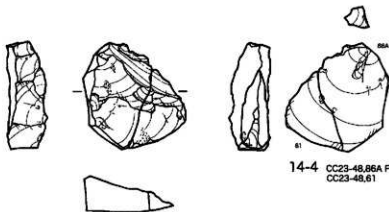


第112図 黒曜石13

黑曜石14



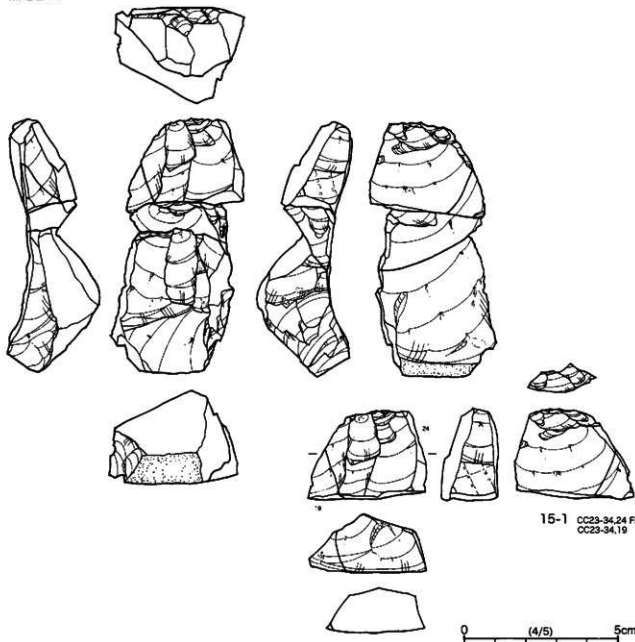
第113圖 黑曜石14(1)



14-4 CC23-48,86A FI
CC23-48,61

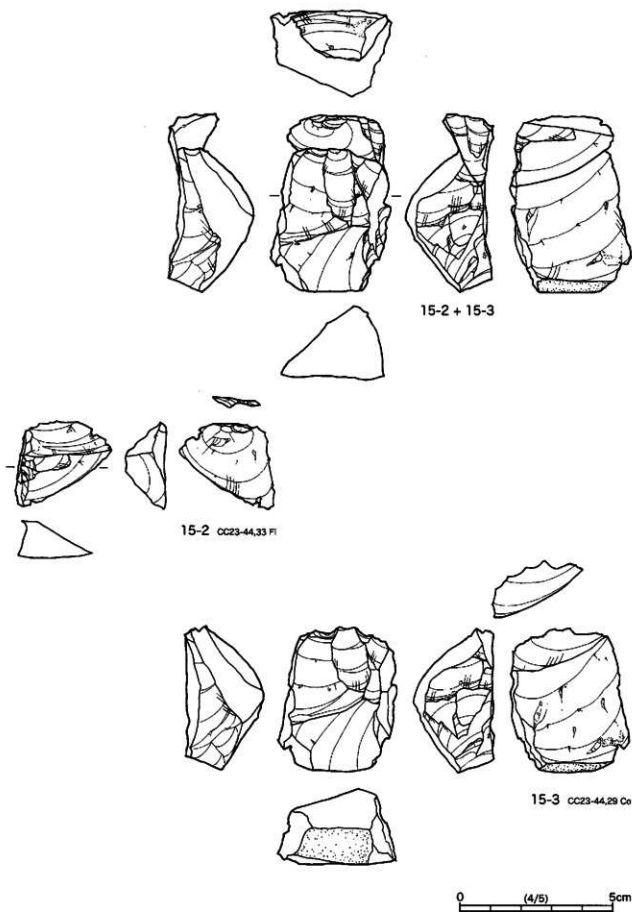


黑曜石15



15-1 CC23-34,24 FI
CC23-34,19

第114圖 黑曜石14(2)・15(1)



第115圖 黑曜石15(2)

分布

第18ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

剥片2点の接合である。1と2の作出の間に、2と打面を共有する剥離が認められる。接合状態を示す図の左側面及び下面には、背面側からの剥片剥離の痕跡が認められるため、打面再生剥片である可能性が高い。

黒曜石17 (第110・116図、第49表、図版42)

石材の特徴

自然面については、平坦面は光沢があるが、縁辺部は細かい凹凸がみられる。硬質な感がある。剥離面はややくすんだ黒色を基調とし、局所的に半透明の部位が認められる。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で0.5mm～2mmほどであり差が大きい。黒曜石04の特徴とほぼ同一である。

分布

第7ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

1は打面側が欠損しているが、同一打面から作出されたものと考えられる。1の背面は不定方向の剥離により構成され、連続的に剥片を作出している様子は窺えない。

黒曜石18 (第110・116図、第49表、図版43)

石材の特徴

自然面については、平坦面は光沢があるが、縁辺部は細かい凹凸がみられる。硬質な感がある。剥離面はややくすんだ黒色を基調とし、局所的に半透明の部位が認められる。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で0.5mm～2mmほどであり差が大きい。黒曜石04の特徴とほぼ同一である。

分布

第3ブロックに帰属する。

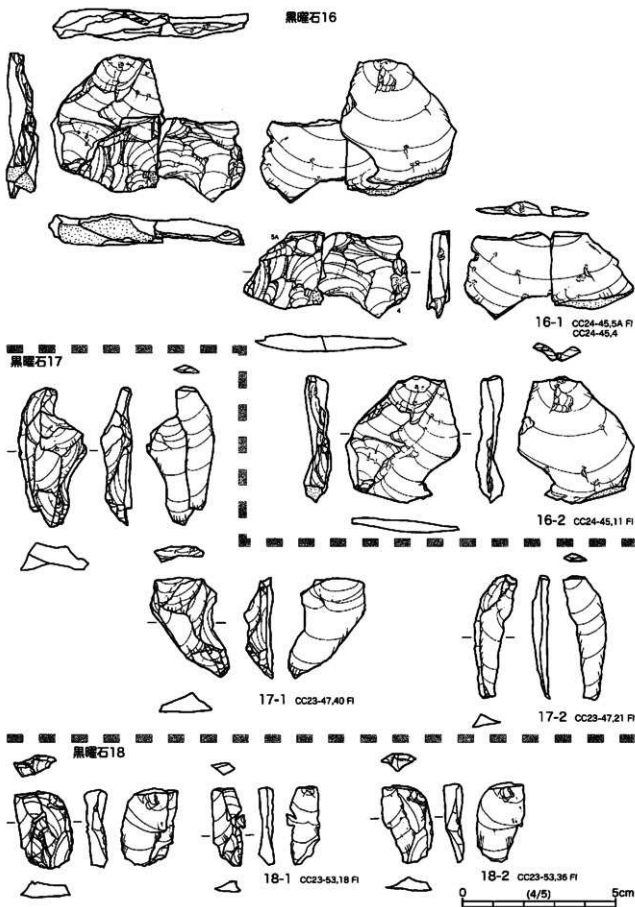
剥片剥離工程

同一打面から連続的に作出された剥片の接合資料である。黒曜石17の接合資料と同様に、背面構成は不定方向からの剥離によることから、前段階の剥片剥離においては、連続的に剥片を作出している様子は窺えない。

黒曜石19 (第110・117図、第49表、図版43)

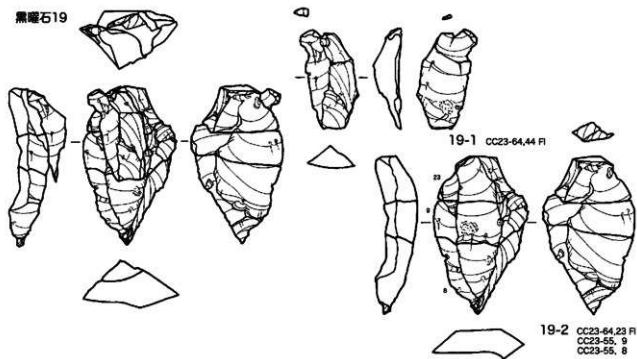
石材の特徴

自然面は、平滑な部位と細かい凹凸が認められる部位が混在するが、共に光沢感はない。剥離面は黒色を基調とし、透かすと透明な部位が広範囲に認められる。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で0.1mm～3mmと差が大きい。リング・フィッシャーは確認しづらい。黒曜石05の特徴とほぼ同一である。

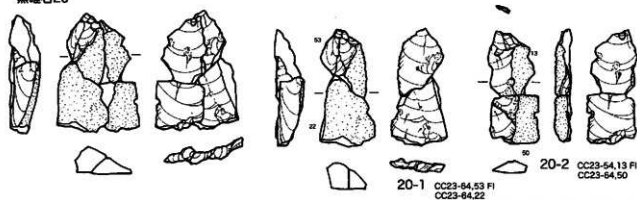


第116図 黒曜石16・17・18

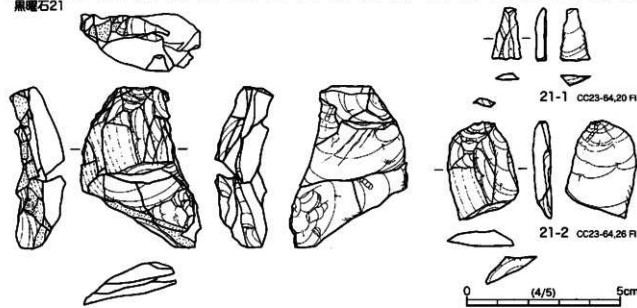
黑曜石19



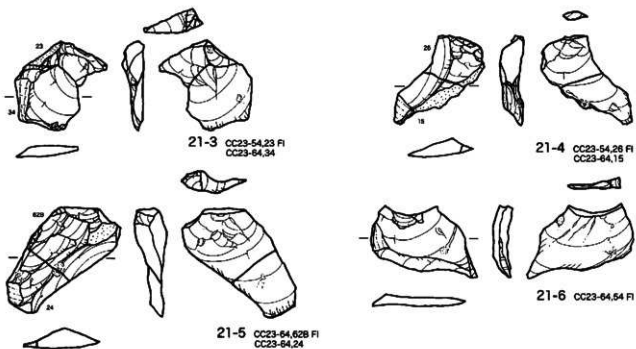
黑曜石20



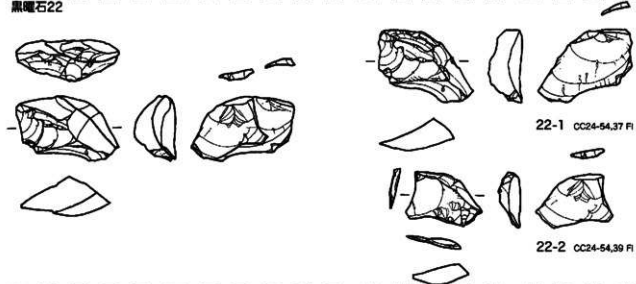
黑曜石21



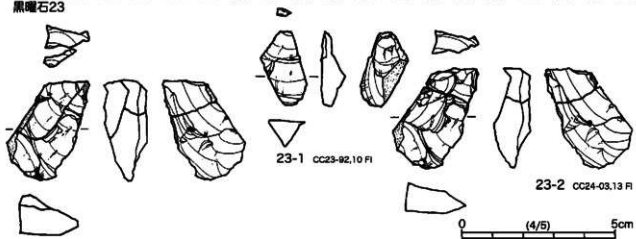
第117图 黑曜石19·20·21(1)



黒曜石22



黒曜石23



第118図 黒曜石21(2)・22・23

分布

第5ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

同一打面から連続的に作出された剥片の接合資料である。正面左側縁には打面側からの剥離痕が見られ、1の剥片が作出される直前の剥離と考えられる。1の腹面には大粒の不純物があり、剥片剥離の際に打撃の方向が分かれ背面側に抜けたために、主軸の長さが変化している。2の背面に見られる剥離痕の長さが、本来の1の長さであろう。

黒曜石20（第110・117図、第49表、図版43）

石材の特徴

自然面は、平滑な部位と細かい凹凸が認められる部位が混在するが、共に光沢感はない。剥離面は黒色を基調とし、透かすと透明な部位が広範囲に認められる。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で0.1mm～2mmと差が大きい。リング・フィッシャーは確認しづらい。黒曜石05の特徴とほぼ同一である。

分布

第5ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

同一打面から連続的に作出された剥片の接合資料である。背面には自然面を共有している。

黒曜石21（第110・117・118図、第49表、図版43）

石材の特徴

自然面は、平滑な部位と細かい凹凸が認められる部位が混在するが、共に光沢感はない。剥離面は黒色を基調とし、透かすと透明な部位が広範囲に認められる。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で1mmほどである。リング・フィッシャーは確認しづらい。黒曜石05の特徴とほぼ同一である。

分布

第5ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦5.3cm、横3.9cm、最大厚1.7cmを測る。

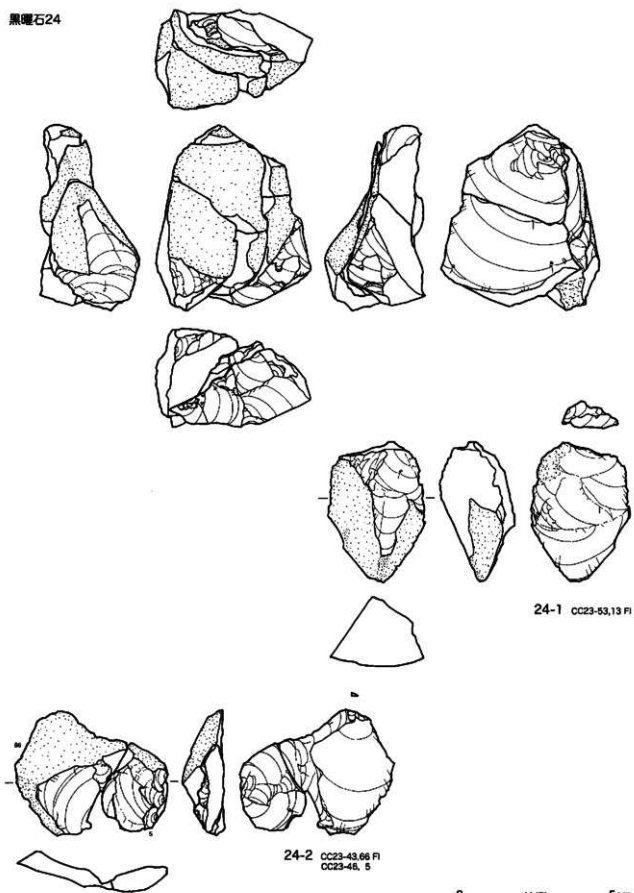
1から6まで全て連続した工程の接合資料である。1から3は正面上端の打面から連続して作出される。4・5は打面を転換し正面右側縁の下端部を打面として作出される。6は打面を正面上端に戻し作出される。この間打面再生は行われていない。

黒曜石22（第110・118図、第49表、図版44）

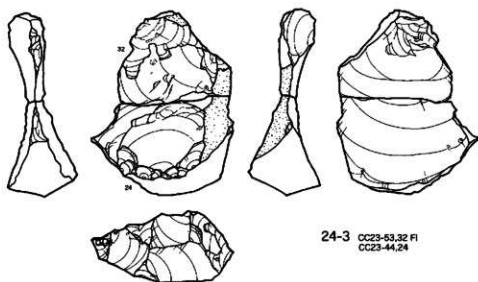
石材の特徴

自然面は、平滑な部位と細かい凹凸が認められる部位が混在するが、共に光沢感はない。剥離面は黒色を基調とし、透かすと透明な部位が広範囲に認められる。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で0.1mm～3mmと差が大きい。リング・フィッシャーは確認しづらい。黒曜石06の特徴とほぼ同一

黑曜石24

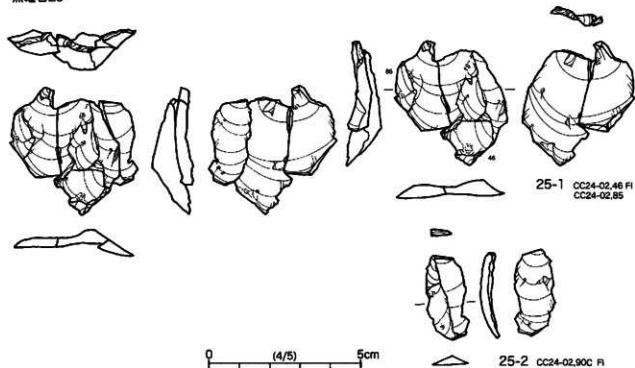


第119圖 黑曜石24(1)



24-3 CC23-53,32 FI
CC23-44,24

黒曜石25



第120図 黒曜石24(2)・25

である。

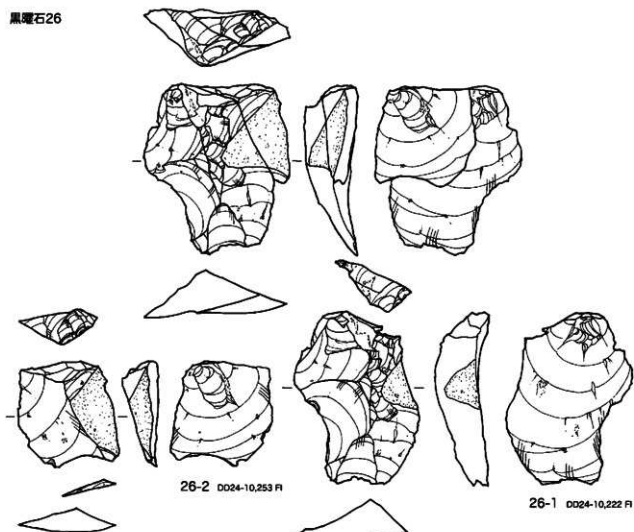
分布

第19ブロックに帰属する。

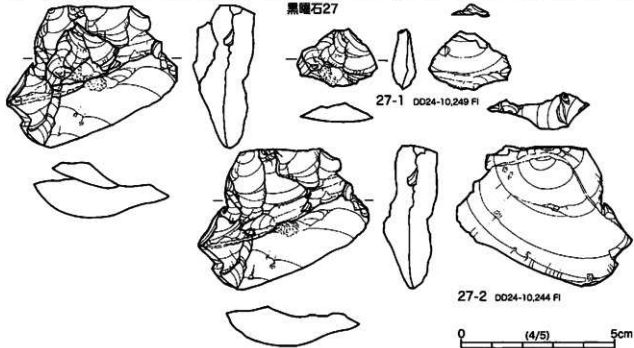
剥片剥離工程

同一打面から連続的に作出された剥片の接合資料である。1の背面は多方向からの剥離で構成されるため、石核整形を目的とした資料である可能性が高い。

黑曜石26



黑曜石27



第121图 黑曜石26·27

黒曜石 23 (第 110・118 図、第 49 表、図版 44)

石材の特徴

自然面は、平滑な部位と細かい凹凸が認められる部位が混在するが、共に光沢感はない。剥離面は黒色を基調とし、透かすと透明な部位が広範囲に認められる。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で 1 mm ～ 3 mm と差が大きい。リング・フィッシャーは確認しづらい。黒曜石 06 の特徴とほぼ同一である。

分布

第 8 ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

同一打面から連続的に作出された剥片の接合資料である。正面左側縁には自然面が認められ、剥片剥離工程の初期段階に、打面作出の目的で打撃を加えているため亀裂が多く見られる。そのため 1・2 の剥離の方向は複雑に変化していることが、それぞれの背面・腹面の様子から理解できる。

黒曜石 24 (第 110・119・120 図、第 49 表、図版 44・45)

石材の特徴

自然面は細かい凹凸で占められ、硬質な感がある。剥離面は黒色を基調とし、部分的に灰色の層が認められ、透かすと若干赤みを帯びているのが確認できる。節理はほとんど認められない。不純物は 0.1 mm ～ 2 mm ほどの不定形である。リングは観察しづらいが、剥離面全体に細かいフィッシャーがみられる。黒曜石 08 の特徴とほぼ同一である。

分布

第 3・6 ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 5.9 cm、横 5.1 cm、最大厚 3.3 cm を測る。大型剥片 3 点の接合資料である。

1 は部厚な剥片で、正面下部に設定された打面から作出される。1 を作出後に打面再生を行い、同部位に対し剥片剥離を行っていることが、2 の背面右側縁の剥離痕で理解できる。2・3 は打面上端に転換し作出される。2 の腹面には打点が 2 か所存在するが、右側縁の打点は先述した打面再生後の一連の打撃の際に、剥離せずに残ったものである。

黒曜石 25 (第 110・120 図、第 49 表、図版 45)

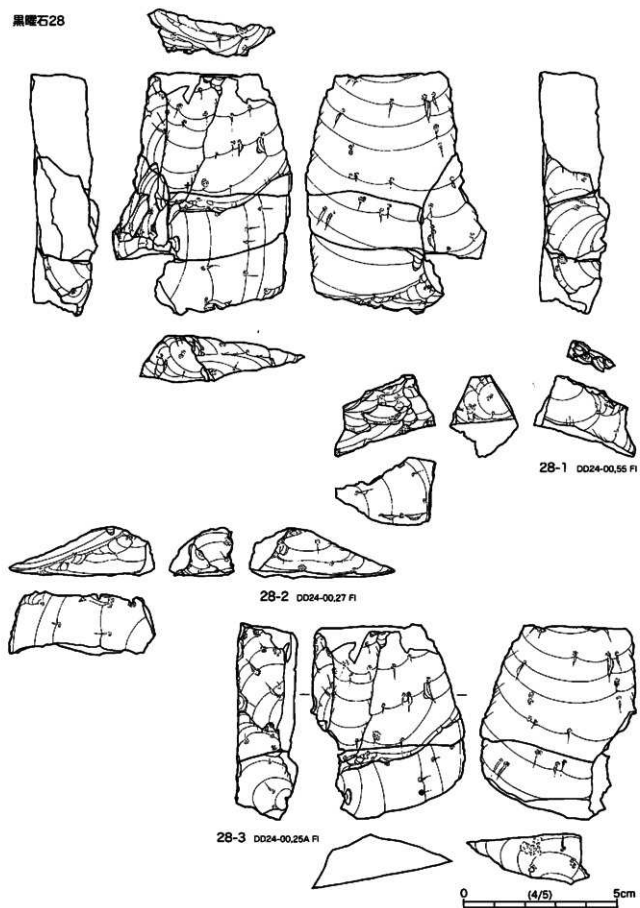
石材の特徴

自然面は、平滑な部位と細かい凹凸が認められる部位が混在するが、共に光沢感はない。剥離面は黒色が強い感がある。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で 1 mm ほどである。リング・フィッシャーの観察は容易である。

分布

第 8 ブロックに帰属する。

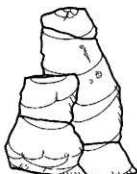
黒曜石28



第122図 黒曜石28



黑曜石29



29-1 CC23-38,38 FI
CC23-38,17
CC23-38,25



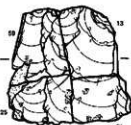
29-2 CC23-38,28 FI
CC23-38,35



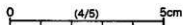
黑曜石30



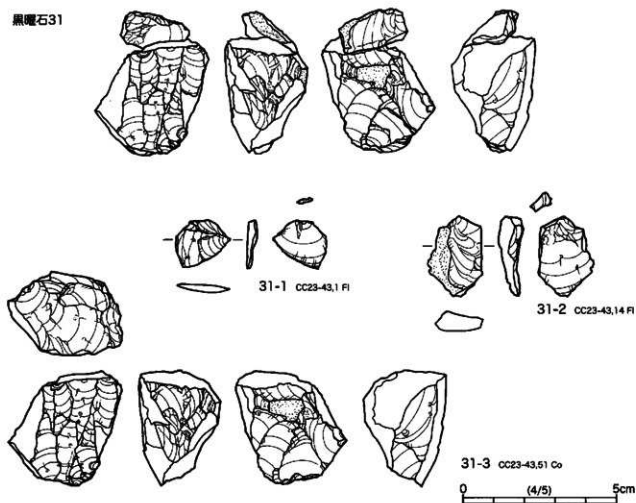
30-1 CC23-86,48 FI



30-2 CC23-86,59 FI
CC23-86,13
CC23-86,25
CC23-86,21



黒曜石31



第124図 黒曜石31

剥片剥離工程

連続的に作出された剥片の接合資料である。1・2共に打面部が欠損しているが、同一打面からの作出と考えられる。

黒曜石 26 (第 110・121 図、第 49 表、図版 45)

石材の特徴

自然面は、平滑な部位と細かい凹凸が認められる部位が混在するが、共に光沢感はない。剥離面は黒色が強い感がある。節理はほとんど認められない。不純物は不定形で 1mm ほどである。リング・フィッシャーの観察は容易である。黒曜石 25 とほぼ同一である。

分布

第 15 ブロックに所属する。

剥片剥離工程

連続的に作出された剥片の接合資料である。1 の背面には多方向からの剥離が認められ、打面を頻りに転換し作出している事が看取できる。

黒曜石 27 (第 110・121 図、第 49 表、図版 45)

石材の特徴

自然面は、平滑な部位と細かい凹凸が認められる部位が混在するが、共に光沢感はない。剥離面は黒色が強い感がある。灰色の節理が混入する。不純物は不定形で 1mm～3mm ほどである。リング・フィッシャーの観察は容易である。

分布

第 15 ブロックに所属する。

剥片剥離工程

剥片 2 点の接合資料で、同一打面から作出される。1 の腹面には、1 の作出時の剥離痕の他に下方からの剥離が認められるが、これは 2 の背面中央部に見られる節理と不純物によるもので、2 の背面下部に見られる左側縁側からの剥片剥離の際に、不純物により力の方向が変化したものである。

黒曜石 28 (第 110・122 図、第 49 表、図版 46)

石材の特徴

剥離面はややくすんだ黒色を基調とし、透かすとやや赤みを帯びているのが確認できる。不純物が集中したような節理が認められるが局所的である。不純物は 0.5mm～3mm ほどで概して不定形である。リングは一見すると確認しづらいが、光線の当て具合で確認が容易となる。不純物から伸びる亀裂は概して長めである。

分布

第 15 ブロックに所属する。

剥片剥離工程

大型剥片を打割した接合資料である。接合状態での計測値は、縦 7.8cm、横 5.8cm、最大厚 2.1cm を測る。

打割は大型剥片の末端部側、正面左側縁に背面側から行われ、左側縁部 (1) と末端部 (2) を作出している。3 は中央部で分割するが、打撃により分割された痕跡は認められず、不純物を多く含む石質のため、剥片剥離の際に力の方向が変化し亀裂が入ったものであろう。

黒曜石 29 (第 110・123 図、第 49 表、図版 46)

石材の特徴

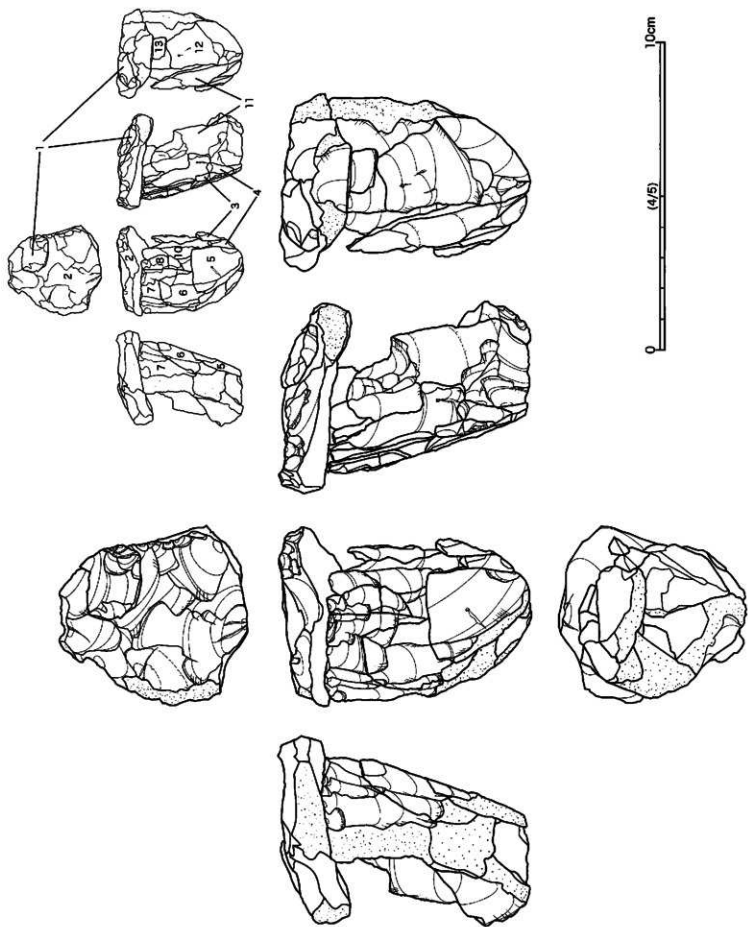
剥離面はややくすんだ黒色を基調とし、透かすとやや赤みを帯びているのが確認できる。不純物が集中したような節理が認められるが局所的である。不純物は 1mm～3mm ほどであるが、なかには 4mm を越える不純物も見受けられる。大型の不純物は球形であるが、他は概して不定形である。リングは一見すると確認しづらいが、光線の当て具合で確認が容易となる。不純物から伸びる亀裂は概して長めである。

分布

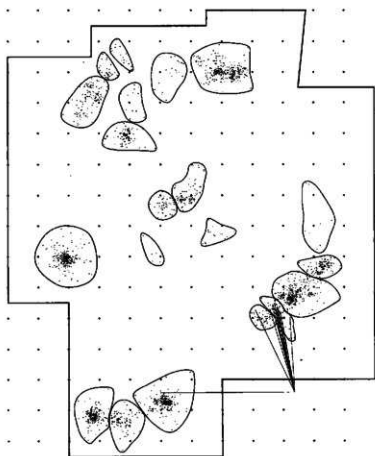
第 7 ブロックに所属する。

剥片剥離工程

剥片 2 点の接合資料である。2 の打面側が欠損しているため定かではないが、同一打面から作出されたものと考えられる。2 の背面を構成する剥離痕から、1 と 2 の作出の間に少なくとも 2 回の剥片剥離が行



第125网 玉髓01接合状态



第126図 玉髓01接合関係

われていることが看取できる。

黒曜石 30 (第 110・123 図、第 49 表、図版 47)

石材の特徴

剥離面はややくすんだ黒色を基調とし、部分的に斑状もしくは層状に灰色の層が認められる。透かすとやや赤みを帯びているのが確認できる。不純物が集中したような節理が認められるが局所的である。不純物は 0.5mm～3mm ほどで概して不定形である。リングは一見すると確認しづらいが、光線の当て具合で確認が容易となる。

分布

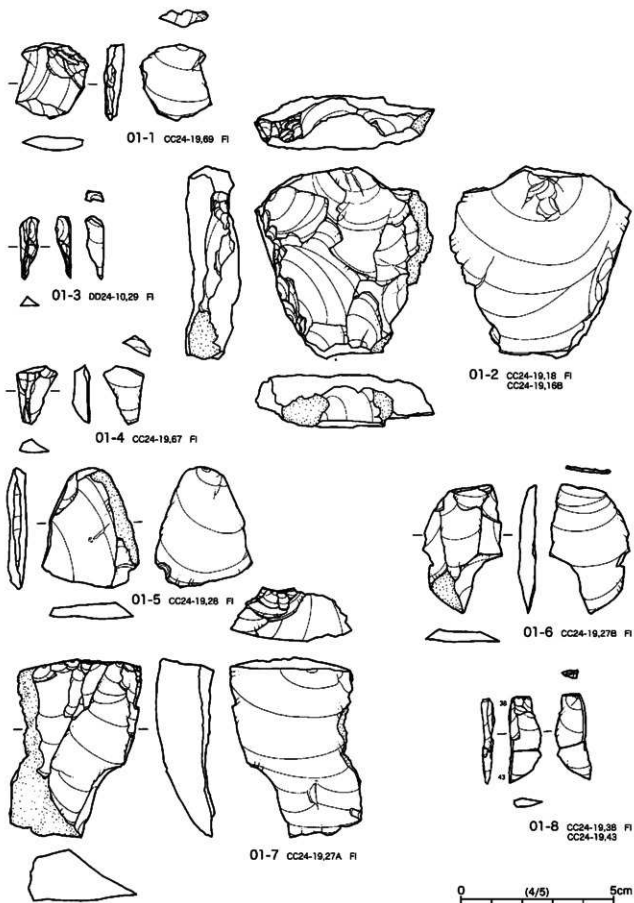
第 10 ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

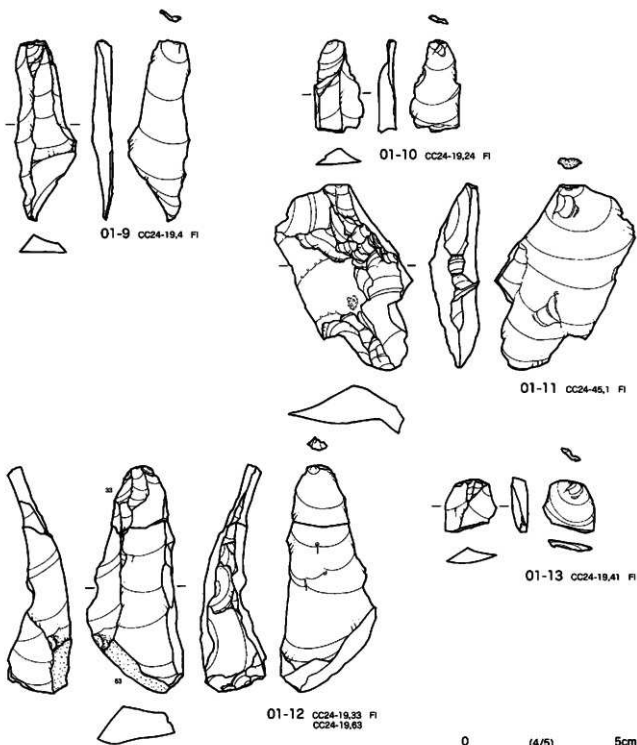
剥片 2 点の接合資料である。1 の打面側は欠損するが、不純物を多く含む石質によるものであろう。2 についても中央部で 4 分割している。2 の背面に見られる 1 の腹面のポジティブ面から、同一打面から連続的に作出された剥片であることが理解できる。

第35表 玉髓01石器一覧表

フリ ーフ	標 本 号	グ ラ フ イ ド	器 種	器 材	器 材	器 材	器 材	器 材	器 材	器 材	器 材
16	127	CC24-19	0009	Fl	1	1	2.45	2.33	0.41	3.77	
16	127	CC24-19	0018	Fl	1	2	4.18	0.32	1.86	43.85	
16	127	CC24-19	0029	Fl	1	3	0.98	1.98	0.47	0.35	
16	127	CC24-19	0067	Fl	1	4	1.88	1.31	0.54	0.87	
16	127	CC24-19	0026	Fl	1	5	3.93	3.16	0.64	9.37	
16	127	CC24-19	00278	Fl	1	6	4.31	0.63	0.96	4.88	
16	127	CC24-19	0027A	Fl	1	7	6.25	4.05	2.19	39.89	
16	127	CC24-19	0138	Fl	1	8	0.79	0.96	0.28	0.61	
16	127	CC24-19	0143	Fl	1	8	0.94	1.31	0.28	0.28	
17	128	CC24-19	0024	Fl	1	9	5.87	1.98	0.52	4.62	
16	128	CC24-19	0024	Fl	1	10	3.01	1.63	0.62	2.21	
18	128	CC24-45	0001	Fl	1	11	6.44	3.57	1.72	25.38	
16	128	CC24-19	0033	Fl	1	12	2.29	1.79	0.96	2.18	
16	128	CC24-19	0063	Fl	1	12	5.39	3.29	2.01	29.54	
16	128	CC24-19	0041	Fl	1	13	1.65	1.64	0.47	1.22	



第127図 玉髓01(1)

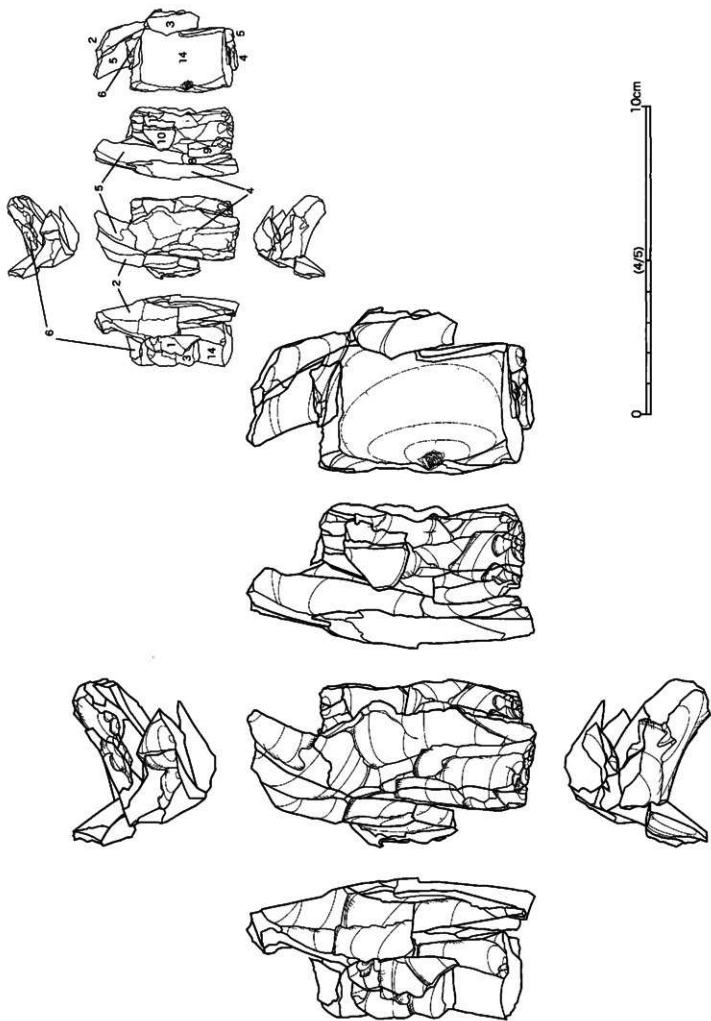


第128図 玉髄01(2)

黒曜石 31 (第 110・124 図、第 49 表、図版 47)

石材の特徴

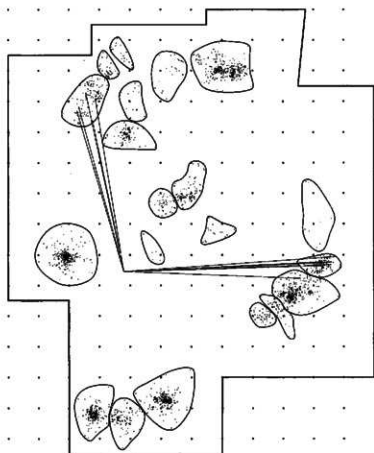
自然面は細かい凹凸が認められ硬質な感がある。剥離面はやや曇った黒色を呈し、半透明の層と曇りガラス状の層が平行に混在する。節理の混入はほとんど認められない。不純物は 0.5mm ~ 2mm ほどで概して不定形である。



第129図 玉髓02接合状態

第36表 玉髓02石器一覧表

ブロック	品目	アブド	番号	形状	用途	長さ	幅	最大厚	最大厚	最大厚	重量
						(cm)	(cm)	(mm)	(mm)	(mm)	(g)
3	131	0225-03	0026	片	2	1	3.60	1.48	0.63	2.40	
3	131	0225-03	0067	片	2	2	5.96	2.75	1.37	14.28	
3	131	0225-03	0011	片	2	3	3.44	2.28	0.74	7.89	
3	131	0225-03	0035	片	2	4	7.16	3.23	0.98	17.07	
3	131	0225-03	0033	片	2	5	9.36	2.42	1.62	22.22	
14	132	0204-01	0115	片	2	6	1.24	2.41	0.29	0.70	
14	131	0204-01	0042	片	2	7	2.58	1.07	0.28	1.02	
15	131	0204-00	0030	片	2	8	3.33	1.77	0.66	4.42	
14	131	0204-01	0028	片	2	9	2.96	2.26	0.59	2.57	
14	132	0204-01	0025	片	2	10	2.32	2.78	0.31	1.65	
14	132	0204-01	0087	片	2	11	2.12	1.22	0.40	0.86	
14	132	0204-01	0081	片	2	12	1.23	1.03	0.25	0.27	
14	132	0204-01	0057	片	2	13	2.41	2.12	0.47	1.81	
14	132	0204-01	0093	片	2	14	6.75	4.62	1.96	65.04	



第130図 玉髓02接合関係

分布

第3ブロックに帰属する。

剥片剥離工程

石核1点、剥片2点からなる接合資料で、接合状態での計測値は、縦4.7cm、横3.8cm、最大厚2.7cmを測る。

剥片2点の接合位置は、隔離した位置にあるが、3の正面に見られる上面からの剥離が最終剥離面となり、2がこの打面を再生するための一連の作業により作出された打面再生剥片であること、2が作出された一連の剥離と正逆の、前工程の剥離が見られるが、この剥片剥離の打面再生剥片が1であることからこの番号を付けた。

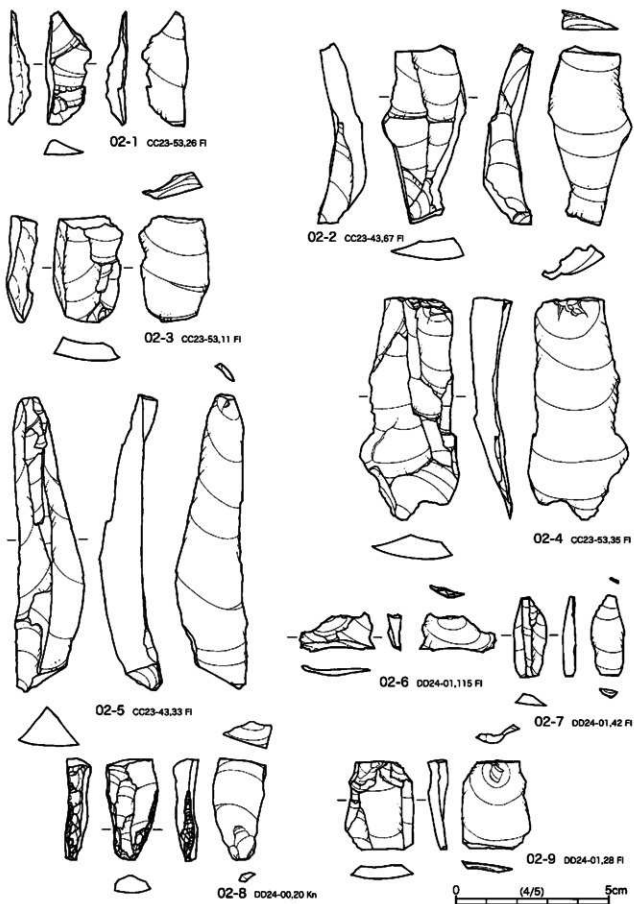
玉髓01 (第125～128図、第50表、図版47～49)

石材の特徴

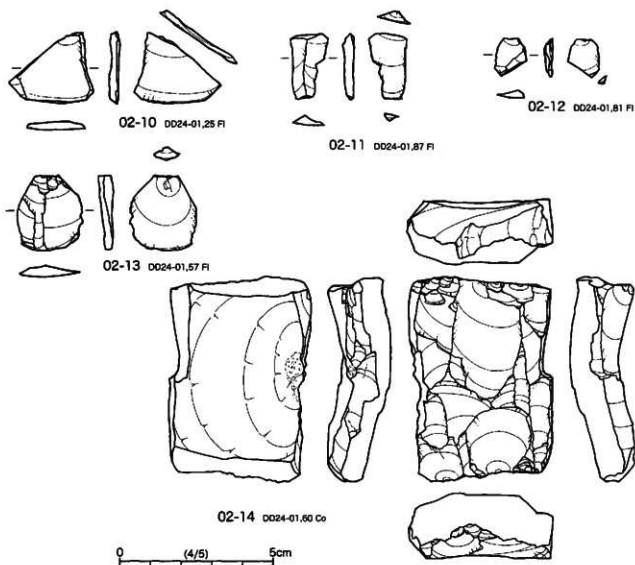
自然面は半透明もしくは白色で、半透明の部位は平滑で光沢がある。白色の部位は細かい亀裂状の節理が複雑に混入する。内面は半透明を基本とし、橙色、白色の層が認められる。直径1mmほどの黒色不純物が部分的に混入する。

分布

第16・17ブロックに帰属するが、11の1点のみ第18ブロックに属する。第16・17ブロックの集



第131圖 玉髓02(1)



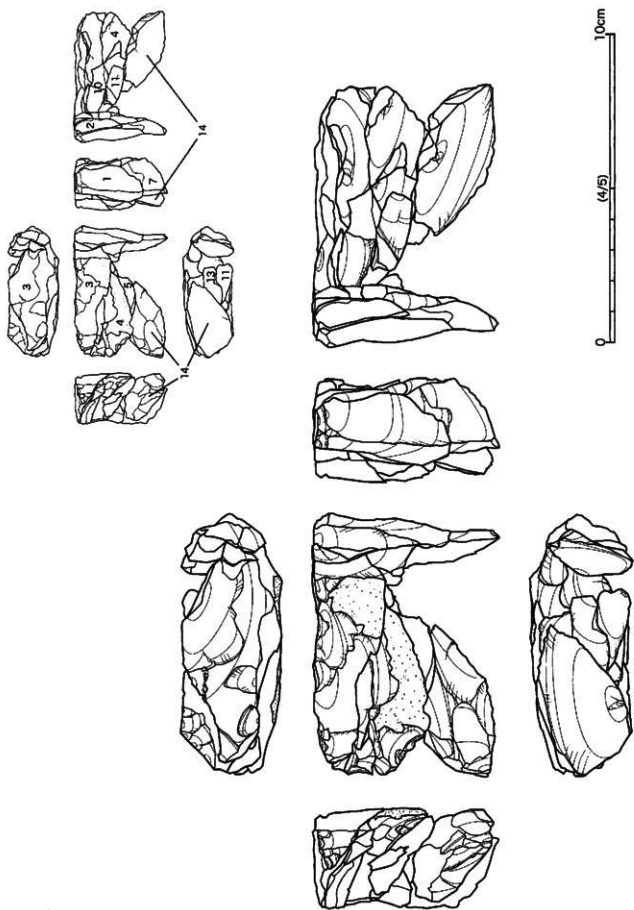
第132図 玉髓02(2)

中から直線距離で 16.8 m の距離を置く。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 8.3cm、横 5.7cm、最大厚 6.2cm を測る。横断面が円形に近い棒状礫を母岩としているものと考えられる。

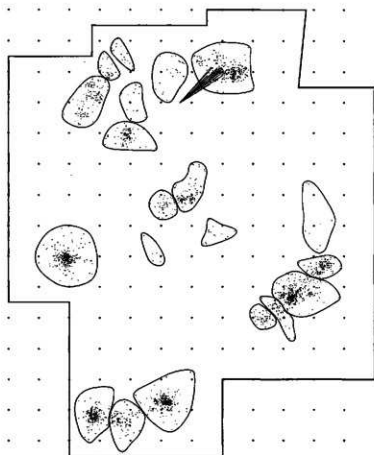
1・2 は同一工程内の打面再生剥片である。この打面再生以前にも剥片剥離が行われていたことが、2 の上面、左側面に見られる背面側からの連続した剥離により看取できる。この打面再生は 2 の作出で終了せず、細かい剥離を行いさらに打面を調整していることが、7 の打面に見られる剥離痕で理解できる。この打面再生後に新規に打面再生が行われている痕跡は、この接合状態においては見受けられない。3・4 は末端部のみ残存する。4 の背面には 3 の後に作出された剥離痕が見られ、打面再生後、新規打面から数回剥片剥離が行われていた事が解る。この後打面を下端に転換し、5 の剥片を作出している。下端からの剥片剥離はこの 5 の作出のみで、再び打面を上面に転換し、6 から 10 の剥片を作出している。6 の打面は欠損しているが、7 の背面の剥離から、打面直下から急激に横幅の増す形状と考えられる。7



第133图 玉器03接合状态

第37表 玉髄03石器一覧表

プロ ット 番号	検出 層位	グリップ	用途 分類	材料	厚さ mm	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	
7	135	CC23-47	0004	Fl	3	1	4.52	2.26	1.11	9.80
7	135	CC23-47	0012	Fl	3	2	3.04	2.17	0.94	4.69
7	135	CC23-37	0049	Fl	3	3	6.99	4.02	1.80	31.31
7	135	CC23-37	0095	Fl	3	3	2.32	1.97	0.23	0.38
7	135	CC23-47	0096	Fl	3	3	1.20	1.24	0.65	0.71
7	135	CC23-47	00108	Fl	3	3	1.71	0.21	0.30	0.82
7	135	CC23-37	0045	Fl	3	3	1.37	2.50	0.34	0.88
7	135	CC23-47	0064	Fl	3	4	3.48	4.75	1.04	9.00
7	135	CC23-47	0025	Fl	3	5	2.92	4.61	0.62	6.19
7	135	CC23-48	0029	Ch	3	3	1.27	1.29	0.41	0.43
7	135	CC23-37	0091	Fl	3	6	2.19	1.52	0.84	2.07
7	135	CC23-47	0052	Fl	3	7	3.85	3.32	0.72	6.45
7	135	CC23-37	0092	Fl	3	8	2.04	0.97	0.24	0.33
7	135	CC23-37	0096	Fl	3	9	1.23	2.06	0.31	0.61
7	136	CC23-47	0050	Fl	3	10	2.80	3.94	1.16	7.35
7	136	CC23-37	0088	Fl	3	11	2.46	1.65	0.87	3.06
7	136	CC23-37	0047	Fl	3	12	3.58	3.05	0.42	2.83
7	136	CC23-37	0045	Fl	3	13	2.95	1.33	0.48	1.85
7	136	CC23-47	0034	Fl	3	14	3.81	3.24	1.40	21.80



第134図 玉髄03接合関係

は打面を広く設定し作出される。玉髄01を構成する他の剥片の打面に、これほど広い打面の残る例はなく、また、6の剥片の形状から推測すると、石核整形を目的として作出された剥片と考えられる。11の作出は下端に打面を転換して行われるが、下端への打面転換の前に側面からの石核整形が行われていたことが、背面右側面付近に見られる一連の剥離から窺い知ることができる。この後、打面を上面に再び転換し、12・13の剥片を作出している。

玉髄02 (第129～132図、第51表、図版49・50)

石材の特徴

乳白色を基準とし、黄色、白色の層が混入する。裏面の節理状に分離した部位は、赤みの強い紫色を呈する。不純物については、裏面左側縁にみられる大型の不純物以外には特に認められない。

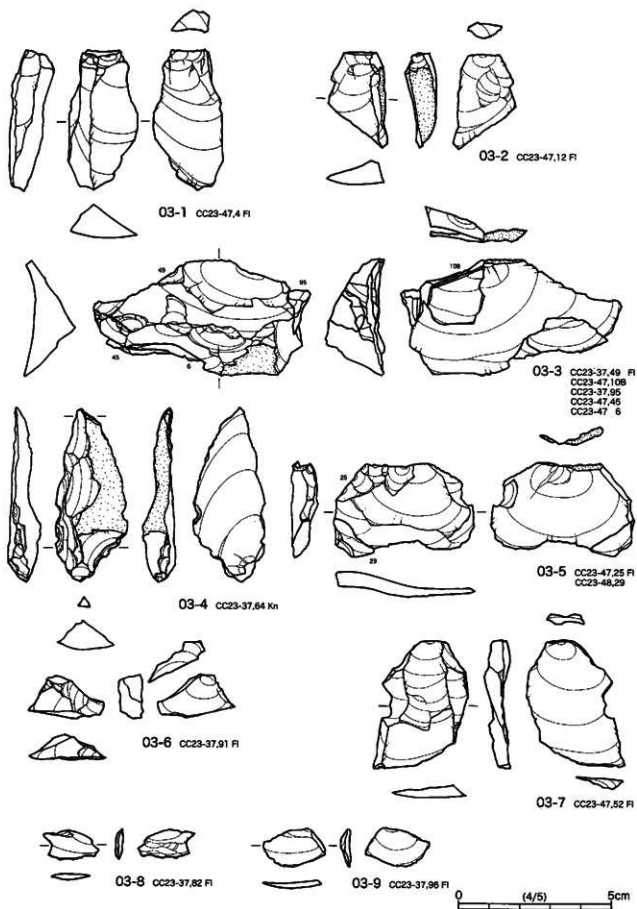
分布

第3ブロックに属する一群(1～5)と第14・15ブロックに属する一群(6～14)とに分かれる。第15ブロックに属するのは8のナイフ形石器である。それぞれの分布中心部は34mの距離を置く。

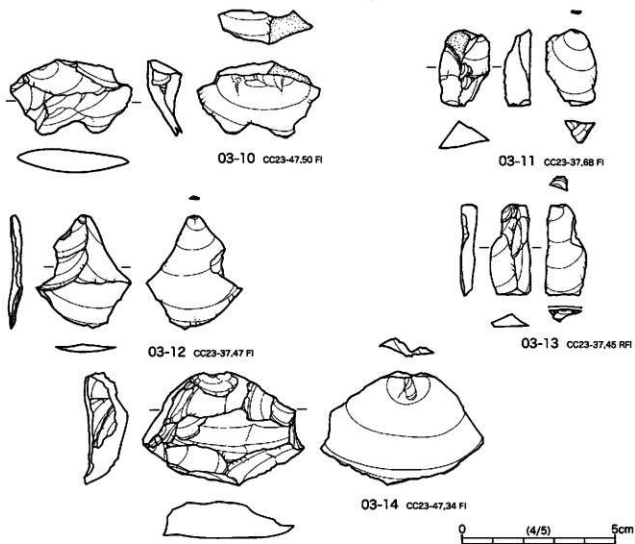
剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦9.5cm、横5.4cm、最大厚4.6cmを測る。

14の石核の背面は節理状の剥離面で構成され、この面の打点に該当する部位には直径0.8cmほどの不



第135図 玉髓03(1)



第136図 玉髓03(2)

純物が存在する。剥片剥離工程の初期段階に既に亀裂が入っていたものと考えられる。

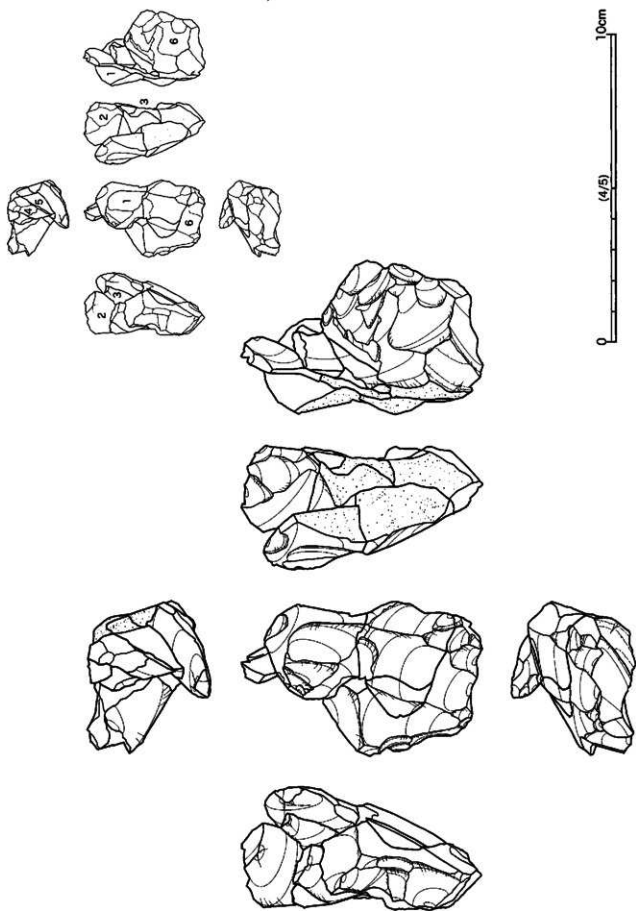
1から5までは、第3ブロックの分布域で出土し、これらの打面は実測図下面に見られる平坦面である。1から3は打面部が欠落しているが、それぞれ前述した節理状の剥離面を有しており、この剥離面の形成時の亀裂が要因と思われる。

6以後の剥片剥離は、第14ブロックへの石核の持ち込みにより行われ、6に見られるように打面再生から再開されたものと考えられる。しかし、6により再生された打面から作出されたのは10から13であり、7から9は正逆の打面から作出されている。

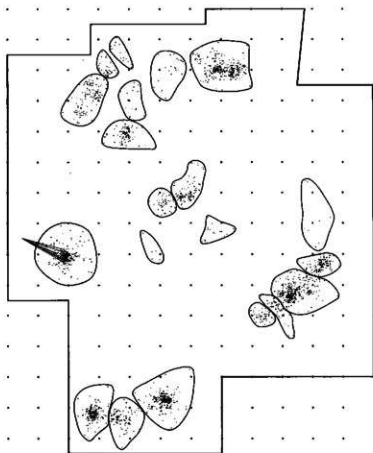
玉髓03 (第133～136図、第52表、図版50・51)

石材の特徴

自然面は暗茶褐色もしくは黄土色で、細かい凹凸があるものの光沢感がある。器表面は暗茶褐色を基調とし、部分的に橙色、赤褐色、半透明の層が混入する。不純物はほとんど含まれていない。



第137图 玉髓04接合状态



第138図 玉髓04接合関係

第38表 玉髓04石器一覧表

ブロック 番号	グリッド 番号	発掘 層位	種類	形状 番号	長さ (cm)	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	単位 量
B 139	CC23-92	0023	Fl	4	1	1.43	2.34	0.25	1.04
B 139	CC23-92	0030	Fl	4	1	3.71	3.53	1.57	13.41
B 139	CC23-92	0041	Fl	4	1	3.44	2.62	1.90	16.93
B 139	CC23-92	0050	Fl	4	2	3.12	2.70	0.71	5.68
B 139	CC23-92	0038	Fl	4	3	4.32	2.01	0.82	3.07
B 139	CC24-02	0009B	Fl	4	4	2.10	1.28	0.67	1.34
B 139	CC24-02	0009	Fl	4	5	3.29	2.34	1.13	6.82
B 139	CC24-02	0007	Co	4	6	4.41	5.56	2.54	56.88

分布

第7ブロックの範囲から出土する。ブロック範囲の西側寄り、CC23-47 グリッド付近の集中区に分布が認められる。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 5.8cm、横 6.4cm、最大厚 3.3cmを測る。

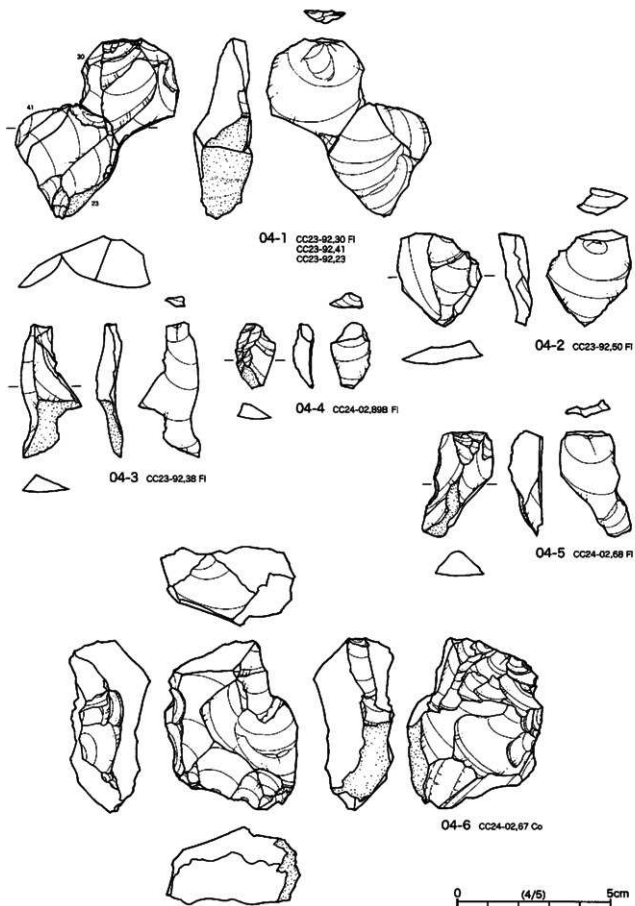
石核は確認されていないが、自然面の様子から厚みのある板状の石核に対し、剥片剥離を行ったものと考えられる。

1・2・6・7は、接合状態図上面に位置する打面から作出されるが、1・2の作出後に3から5が別打面から作出される。3の作出は上端部裏面側の自然面から、4は左側縁から、5は3と同一の自然面である。7以降の打面は全て裏面に変わり、14の作出で終了している。

玉髓 04 (第 137 ~ 139 図、第 53 表、図版 52・53)

石材の特徴

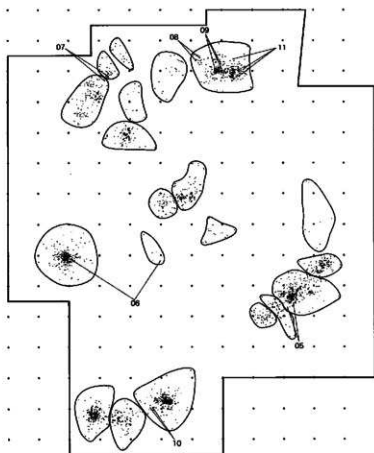
自然面は光沢を有し赤みの強い紫色を呈する。内面は乳白色を基調とし、部分的に黄色、橙色の層が認められる。肌理は細かいが自然面に比べ光沢は鈍る。自然面の一部、1の剥片が2分する位置に層状の節理があり、形 0.5mm ほどの球形の不純物が混入する。



第139図 玉髓04

第39表 玉髓05～11石器一覧表

プロ ット 番号	グリッド 番号	種類	用途	厚 み	長さ mm	幅 mm	最大厚 mm	最大幅 mm	重量 g	
15	141	0024-10	0118	片	5	1	1.52	2.00	0.47	1.17
15	141	0024-10	0096	片	5	2	5.18	3.38	1.71	21.61
8	141	UC24-03	0047	片	6	1	2.92	2.61	1.19	5.83
11	141	UC24-05	0001	片	6	2	3.02	3.96	0.84	7.11
2	141	CC23-44	0009	片	7	1	4.14	2.18	0.51	3.27
3	141	CC23-44	0015	片	7	2	3.10	2.73	0.55	4.03
7	142	CC23-37	0009	片	8	1	2.02	3.62	0.90	3.25
7	142	CC23-37	0065	片	8	2	2.92	2.39	0.55	2.87
7	142	CC23-37	0065	片	9	1	2.56	2.36	0.56	2.72
7	142	CC23-47	0051	片	9	2	2.78	1.89	0.49	1.88
7	142	CC23-37	0035	片	9	3	2.71	2.18	0.52	3.39
18	142	CC24-45	0017	片	10	1	2.92	3.45	0.49	3.98
18	143	CC24-45	0014	片	10	3	4.43	4.40	1.75	21.99
7	143	CC23-38	0059	片	11	1	4.54	3.05	0.64	6.42
7	143	CC23-48	0016	片	11	2	3.40	2.68	0.95	5.82
7	143	CC23-38	0022	片	11	3	4.87	2.97	1.07	11.05



第140図 玉髓05～11接合関係

分布

第8ブロックの中心部に分布する。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦7.9cm、横5.0cm、最大厚4.1cmを測る。

接合状態図に見られる前工程の剥離の方向は一定せず、打面を頻りに転換して剥片剥離を行っていることが理解できるが、1から5の作出は、打面再生を行いながらも打面の位置関係は常に一定である。1・2は上端部に位置する同一打面から作出される。その後打面再生を行い3を作出、さらに打面再生の後4・5が作出される。6の上端に見られる剥離が最終打面である。

玉髓05（第140・141図、第54表、図版53）

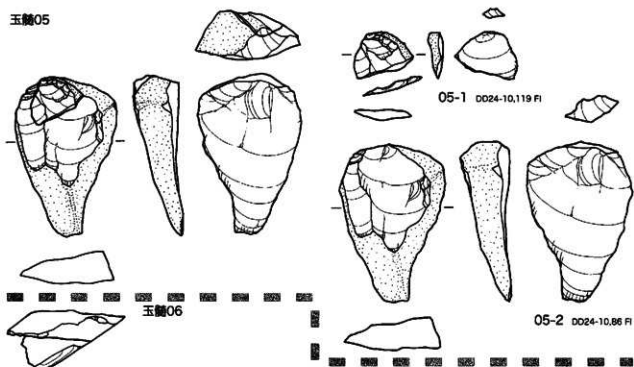
石材の特徴

自然面は平滑で光沢がある。色調は半透明で部分的に橙色の層が認められる。不純物の混入は認められない。

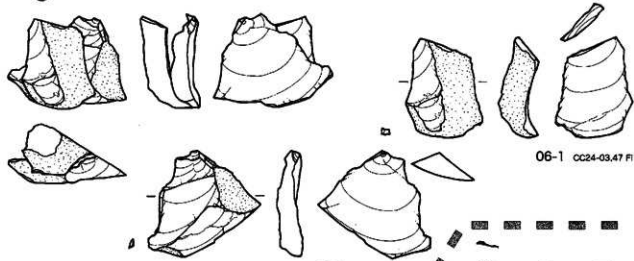
分布

第15ブロックに属する。

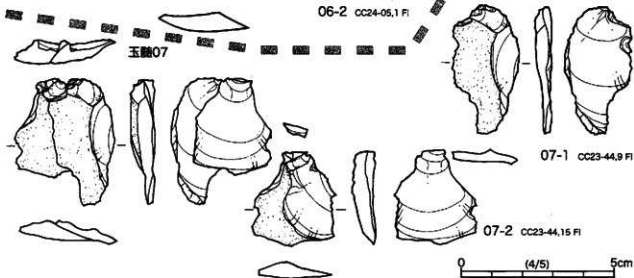
玉髓05



玉髓06

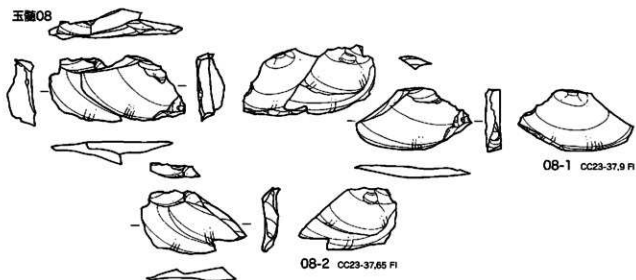


玉髓07

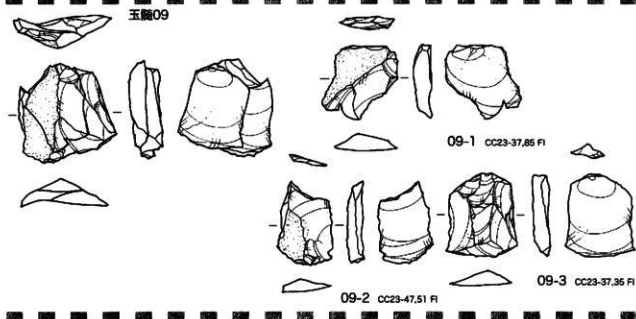


第141图 玉髓05·06·07

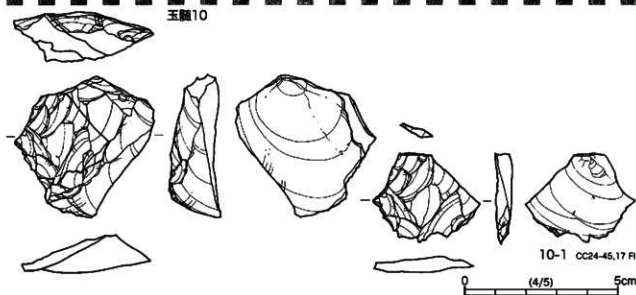
玉髓08



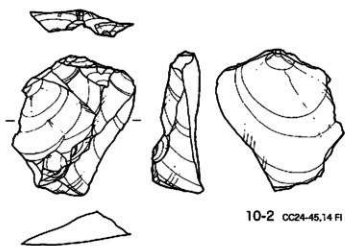
玉髓09



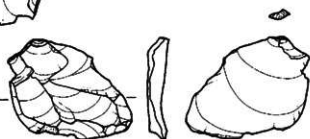
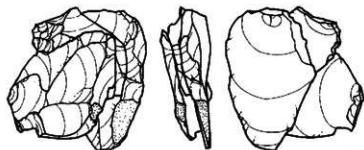
玉髓10



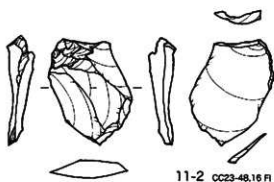
第142圖 玉髓08・09・10(1)



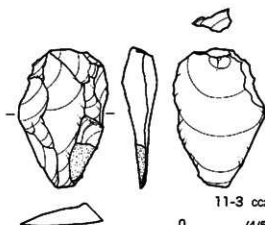
玉髓11



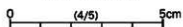
11-1 CC23-38,59 FI



11-2 CC23-48,16 FI



11-3 CC23-38,22 FI



第143圖 玉髓10(2)・11

剥片剥離工程

同一打面から連続的に作出された剥片2点の接合資料である。1は打面付近のみの依存であるが、2の背面中央に見られる剥離痕が、そのまま1の形状となろう。1の作出以前にも同一打面から剥片剥離が行われていることが、1・2の背面の剥離から看取できる。

玉髓06 (第140・141図、第54表、図版53)

石材の特徴

玉髓03と酷似し、自然面は暗茶褐色もしくは黄土色で、細かい凹凸があるものの光沢感がある。器表面は暗茶褐色を基調とするが、玉髓03に見られる半透明の層は観察できない。不純物はほとんど含まれていない。

分布

第8ブロック、第11ブロックに属する。玉髓03の石材と酷似するが、玉髓03は第7ブロックの範囲に分布しており、分布位置に隔たりがある。第11ブロックでは玉髓製の石器はこの1点のみである。

剥片剥離工程

1の打面部分は欠損しているが、おそらく同一打面から作出された剥片であろう。1の作出後連続的に3回の剥片剥離を行い、その後2が作出される。

玉髓07 (第140・141図、第54表、図版54)

石材の特徴

自然面は平滑で光沢がある。内面は半透明で橙色の層が混入する。不純物は混入しない。

分布

第2ブロック、第3ブロックから出土するが、双方の出土位置は0.8mほどの隔たりしかない。

剥片剥離工程

同一打面から連続的に作出された、剥片2点からなる接合資料である。1の背面右側縁には前工程の剥離が認められ、腹面側に位置する打面から剥片剥離を行っていることが理解できる。1・2は打面転換の後、早期の段階で作出されるが、両者の背面打面付近には微細な剥離痕が認められ、一部頭部調整によるものと考えられる。

玉髓08 (第140・142図、第54表、図版54)

石材の特徴

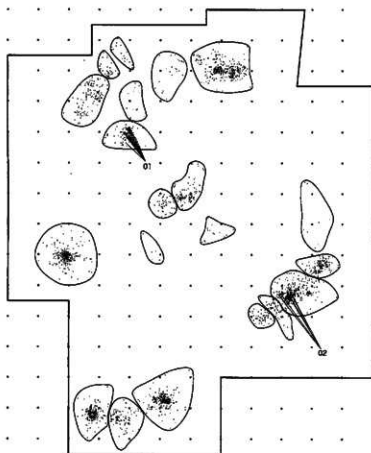
半透明を基調とするが、薄い橙色の層が全体的に混入するため、琥珀色を呈する感がある。不純物は全く混入しない。

分布

第7ブロックの範囲、北西隅付近から出土しており、互いの出土位置は近接している。

剥片剥離工程

1・2が作出された打面は同一打面であるが、複数回の打面再生により形成された打面であることが接合状態図の上面で理解できる。双方とも横長剥片であり、末端部はヒンジ・フラクチュア気味となる。



第144図 珪質頁岩接合関係

第40表 珪質頁岩01・02石器一覧表

ブロック	グリッド	番号	種類	目録	最大長さ	最大幅	最大厚	重量	
5-146	CC23-64	0056	珪	1	3.35	2.32	0.54	4.30	
5-146	CC23-64	0005	珪	1	2	2.35	1.68	0.34	0.96
5-146	CC23-64	0049	珪	1	3	3.41	3.79	1.50	17.15
5-146	CC23-64	0027	珪	1	4	2.25	17.64	3.25	1.01
5-146	CC23-64	0025	珪	1	5	3.99	3.41	0.81	9.08
5-146	CC23-64	0001	珪	1	5	2.83	2.07	0.45	2.02
5-146	CC23-64	0048	珪	1	6	3.05	2.33	0.78	6.26
5-146	CC23-64	0006	珪	1	7	3.43	3.01	1.00	5.86
5-146	CC23-64	0014	珪	1	8	2.04	1.13	0.40	0.60
5-146	CC23-64	0008	珪	1	9	1.86	1.90	0.55	0.96
5-146	CC23-64	0018	珪	1	9	2.83	2.01	0.36	1.93
5-147	CC23-64	0041	珪	1	10	4.07	2.36	0.45	2.32
5-147	CC23-64	0004	珪	1	11	2.30	1.23	0.56	1.48
5-147	CC23-64	0017B	珪	1	12	4.80	2.32	0.78	1.60
5-147	CC23-64	0007	珪	1	13	3.55	3.38	0.84	7.81
5-147	CC23-64	0058	珪	1	14	4.38	4.46	3.84	78.24
15-148	DD04-10	0042	珪	2	1	3.00	3.81	0.84	7.43
15-148	DD04-10	0079	珪	2	2	3.16	2.04	0.36	1.85
15-148	DD04-10	0189	珪	2	2	4.75	4.10	1.13	18.09
15-148	DD04-10	0028	珪	2	2	1.36	2.18	0.60	1.32
15-148	DD04-10	0082	珪	2	3	4.44	4.05	0.73	10.00

玉髓09 (第140・142図、第54表、図版54)

石材の特徴

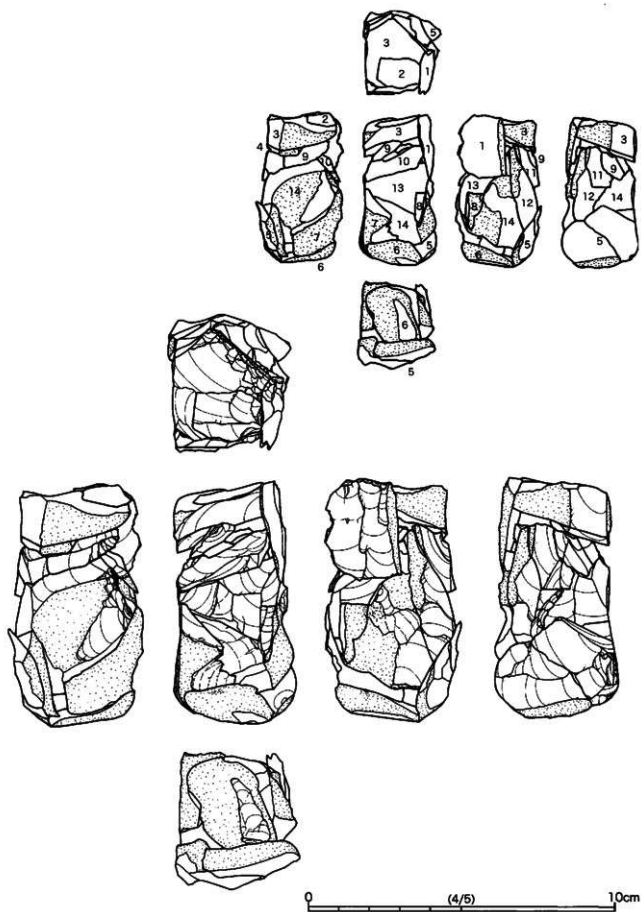
玉髓03と類似し、自然面は暗茶褐色もしくは黄土色で、細かい凹凸があるものの光沢感がある。器表面は暗茶褐色を基調とするが、玉髓03に見られる半透明の層は観察できない。不純物はほとんど含まれていない。

分布

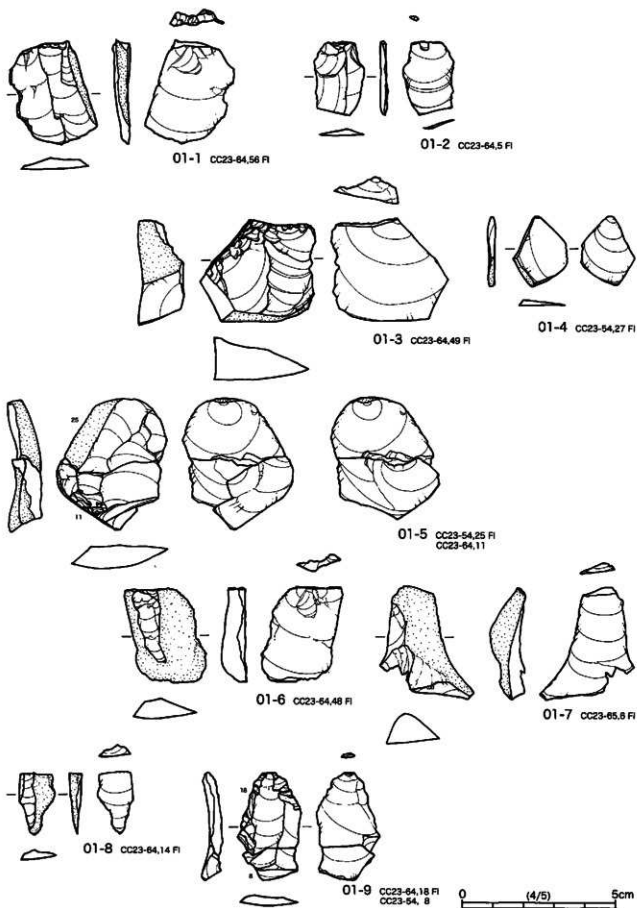
第7ブロック範囲の西側寄り、CC23-47グリッド付近の集中区に分布が認められる。玉髓03と分布範囲が重なるため、接合関係は確認できなかったが、同一母岩である可能性が高い

剥片剥離工程

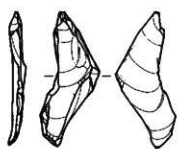
連続的に作出された3点の接合資料である。2の打面部は欠落しているが、打面を共有していると考えられる。前工程では、腹面側に位置する打面から剥片剥離を行っていることが、接合状態図正面左側面に見られる剥離痕から理解できる。



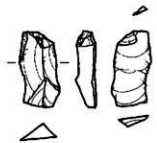
第145图 硅質頁岩01接合狀態



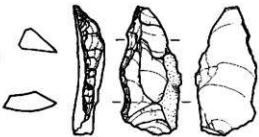
第146図 珪質頁岩01(1)



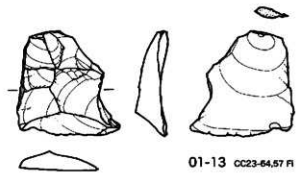
01-10 CC23-64,41 Fl



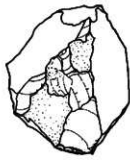
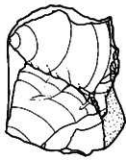
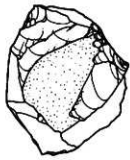
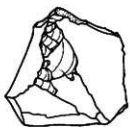
01-11 CC23-64,4 Fl



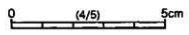
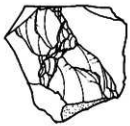
01-12 CC23-64,17 Kn



01-13 CC23-64,57 Fl



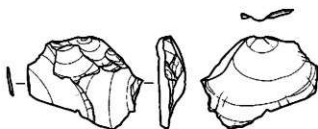
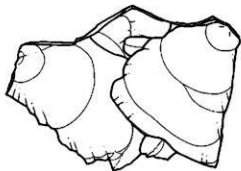
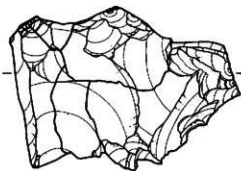
01-14 CC23-64,58 Co



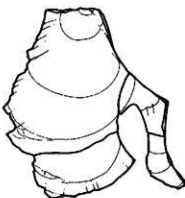
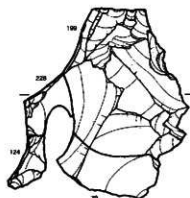
第147圖 珪質頁岩01(2)



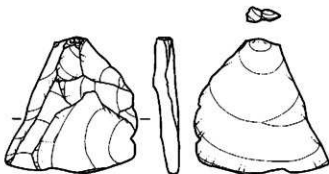
珪質頁岩02



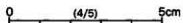
02-1 D024-10,42 Fl



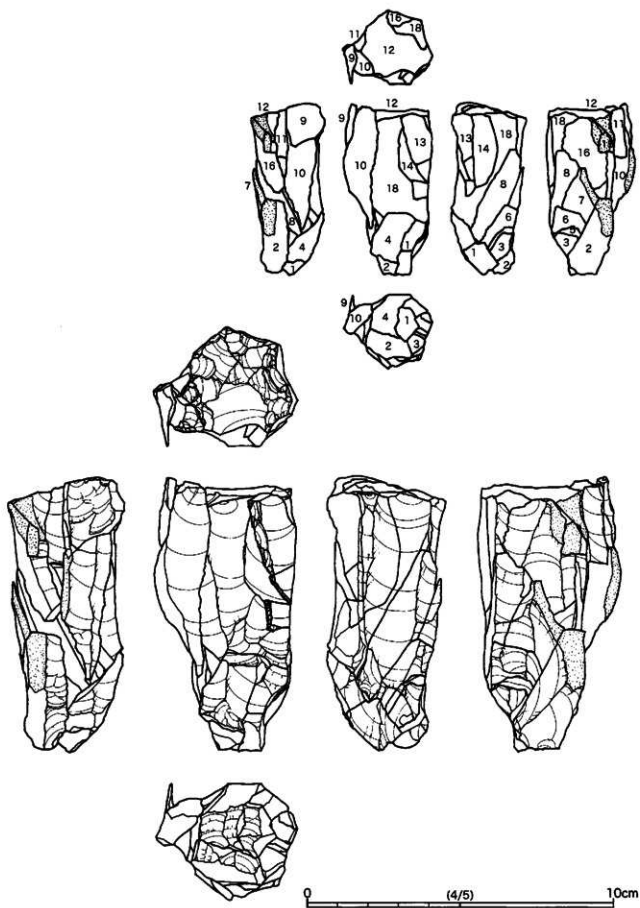
02-2 D024-19,124 Fl
D024-10,228
D024-10,199
CC24-19, 79



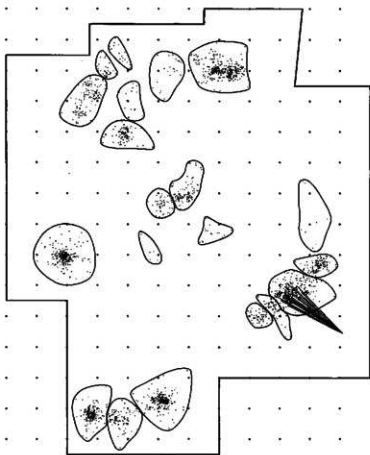
02-3 D024-10,80 Fl



第148圖 珪質頁岩02



第149图 頁岩01接合狀態



第150図 頁岩01接合関係

第41表 頁岩01石器一覧表

ブロック	グリッド	遺物番号	種類	形状	長さ (cm)	最大径 (cm)	最小径 (cm)	重量 (g)
15	151	DD24-19-0060	Fl	1	1.50	1.06	0.50	0.80
15	151	DD24-19-0055	Fl	1	1.17	1.63	0.76	1.46
15	151	DD24-00-0047	Fl	1	2.40	2.30	0.77	7.80
15	151	DD24-19-0030	Fl	1	3.17	1.33	0.81	1.15
15	151	DD24-19-0004	Fl	4	3.29	2.26	1.33	7.74
15	151	DD24-19-0117	Fl	1	1.17	1.61	0.22	0.82
15	151	DD24-19-0190	Fl	1	6.26	2.08	0.62	3.83
15	151	DD24-19-0237	Fl	1	7.46	0.37	1.15	8.38
15	151	DD24-19-0238	Fl	1	8.51	2.24	1.13	10.17
15	151	DD24-19-0151	Fl	1	9.23	2.08	0.45	1.44
15	151	DD24-19-0043	Fl	1	10.68	2.35	1.02	9.90
15	151	DD24-19-0022	Fl	1	11.26	1.27	0.81	1.91
15	152	DD24-19-0158	Fl	1	12.39	3.38	1.52	6.84
15	152	DD24-19-0052	Fl	1	13.26	1.44	0.50	1.88
15	152	DD24-19-0058	Fl	1	13.10	1.03	0.27	0.37
15	152	DD24-19-0106	Fl	1	13.12	0.82	0.21	0.27
15	152	DD24-19-0220	Fl	1	14.37	2.58	1.04	9.86
15	152	DD24-19-0213	Fl	1	15.14	1.37	0.24	0.35
15	152	DD24-19-0053	Fl	1	16.35	2.47	1.01	7.64
15	152	DD24-19-0164	Fl	1	17.32	3.43	0.79	3.91
15	152	DD24-19-0004	Co	1	18.67	2.52	2.53	58.49

玉髓 10 (第 140・142・143 図、第 54 表、図版 54)

石材の特徴

半透明を基調とし、部分的に白色、橙色、赤みの強い紫色の層が混入する。不純物はほとんど混入しない。

分布

第 18 ブロックに所属する。第 18 ブロックの集中区は CC24-46 グリッド南西部に位置するが、玉髓 10 はこの集中区を外れ、CC24-45、55 グリッドの境界付近から出土している。1・2 は近接して出土しており、0.5 m の距離を置く。

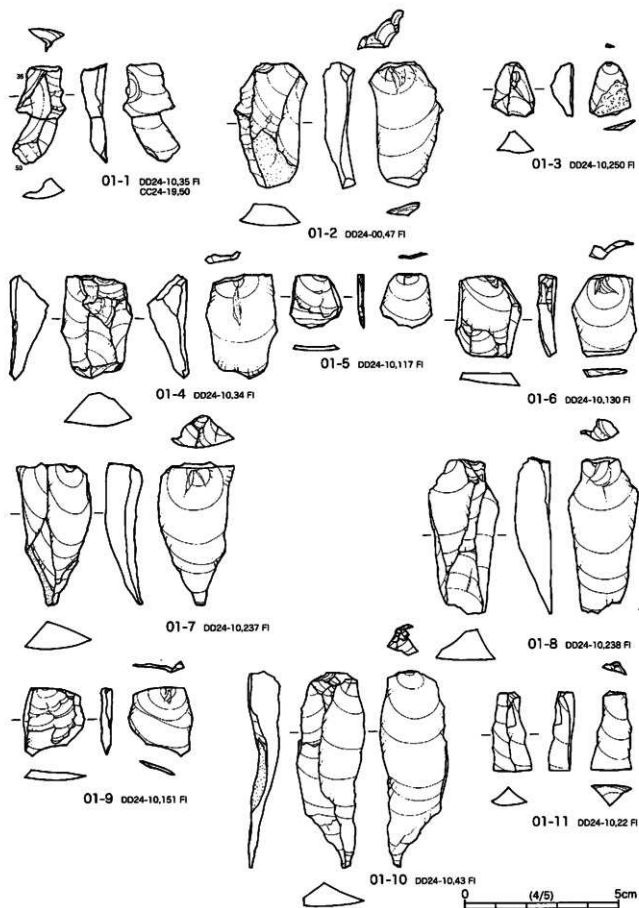
剥片剥離工程

同一打面から連続的に作出された剥片 2 点の接合資料である。接合状態図正面に見られる剥離痕の状態は、多方向から剥片剥離が行われていることを表している。打面には細かい打面再生の痕跡が認められる。

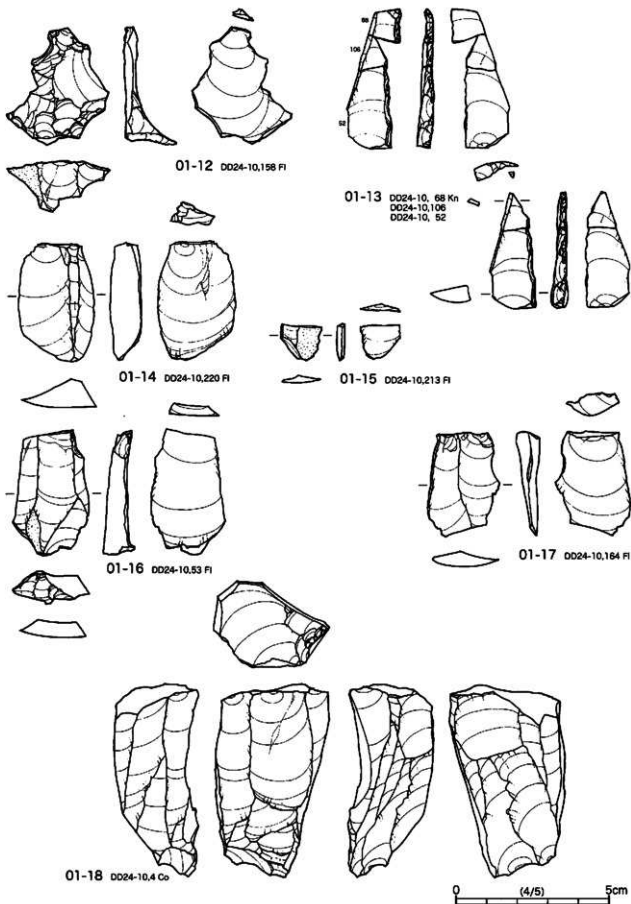
玉髓 11 (第 140・143 図、第 54 表、図版 55)

石材の特徴

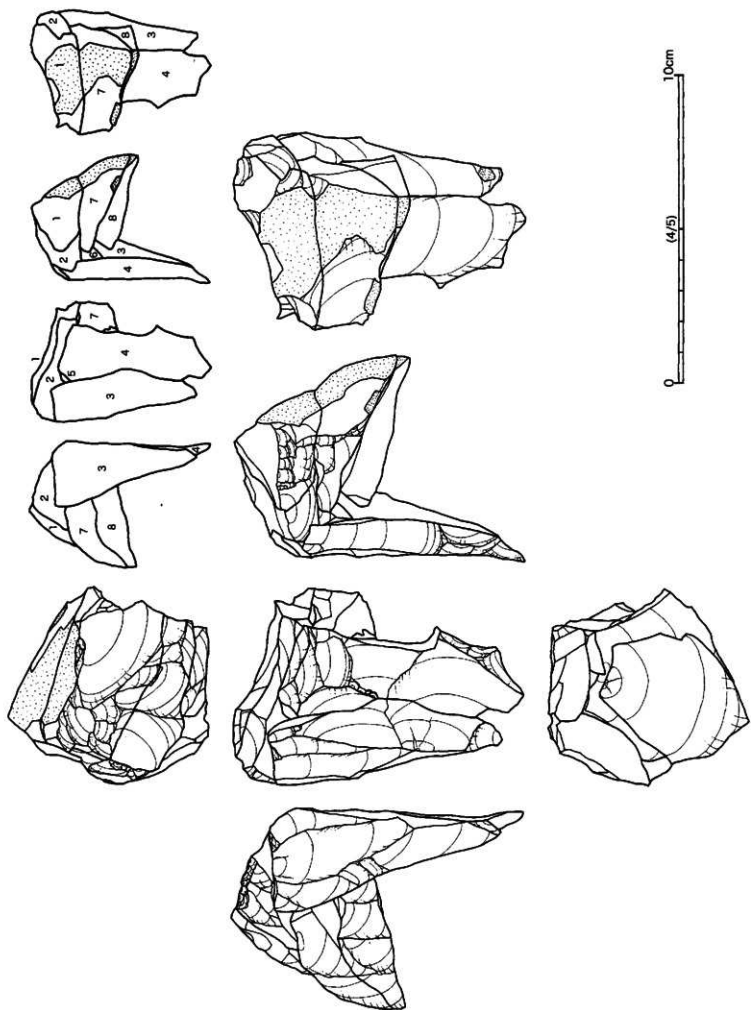
自然面は橙色を呈し、平滑で光沢がある。器表面は乳白色を基調とし、部分的に白色の細かい層が混入する。微量であるが、径 0.2mm ほどの黒色もしくは橙色の不純物が混入する。



第151圖 頁岩01(1)



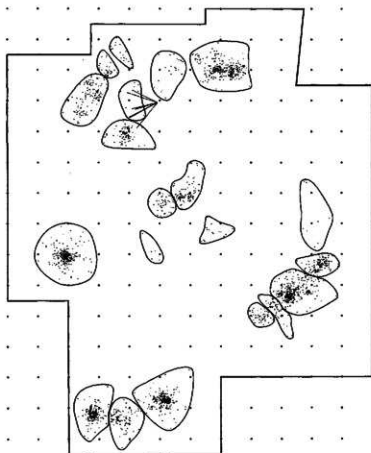
第152圖 頁岩01(2)



第153图 頁岩02接合狀態

第42表 頁岩02石器一覧表

ブロック	グリッド	発掘層	器種	発出層	最大長さ (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)		
4	155	CC23-45	0008	片	2	1	5.27	2.54	1.95	28.65
4	155	CC23-55	0006	片	2	2	5.61	4.38	1.88	31.89
4	155	CC23-56	0003	片	2	3	7.99	3.70	1.55	35.96
4	156	CC23-55	0012	片	2	4	7.82	3.34	1.35	34.53
4	156	CC23-55	0004	片	2	5	2.33	1.21	0.77	1.68
4	156	CC23-55	0013	片	2	6	1.47	1.63	0.74	1.44
4	156	CC23-44	0008	片	2	7	6.31	5.75	1.52	47.26
5	156	CC23-55	0015B	片	2	8	6.45	4.17	1.84	27.25



第154図 頁岩02接合関係

分布

第7ブロックに属する。第7ブロックには2か所の集中区が認められるが、このうち東側のCC23—38、48グリッドから出土し、2mの範囲内で収束する。

剥片剥離工程

剥片3点の接合資料である。1は左側縁側から作出され、その後打面を90°転換し2を作出している。この間打面再生は行われていない。2の作出後、打面再生を行い3を作出している。

珪質頁岩01 (第144～147図、第55表、図版66・67)

石材の特徴

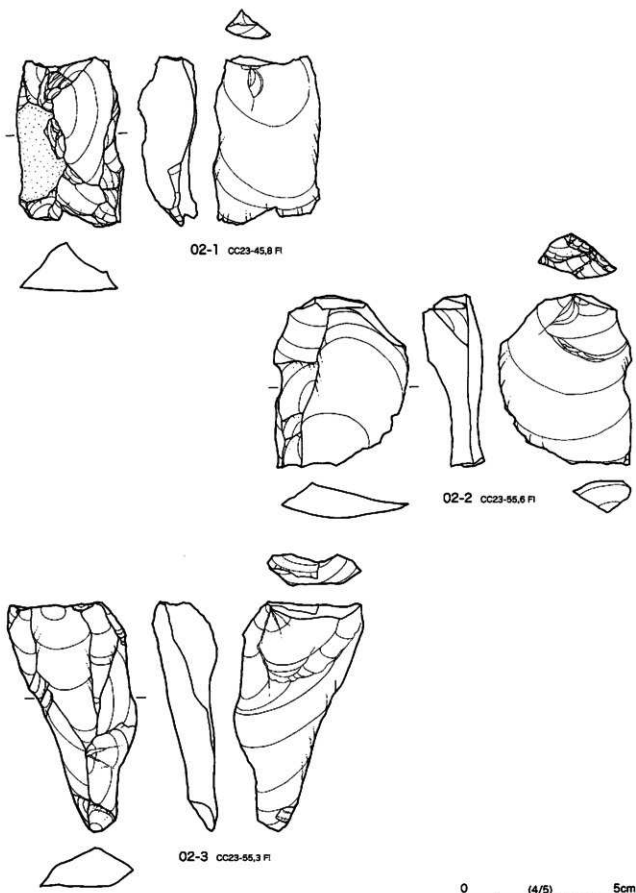
自然面は褐色もしくは茶褐色を呈し、平滑で光沢がある。器表面は緑がかかった暗灰色を呈する。節理、不純物などの混入は認められない。

分布

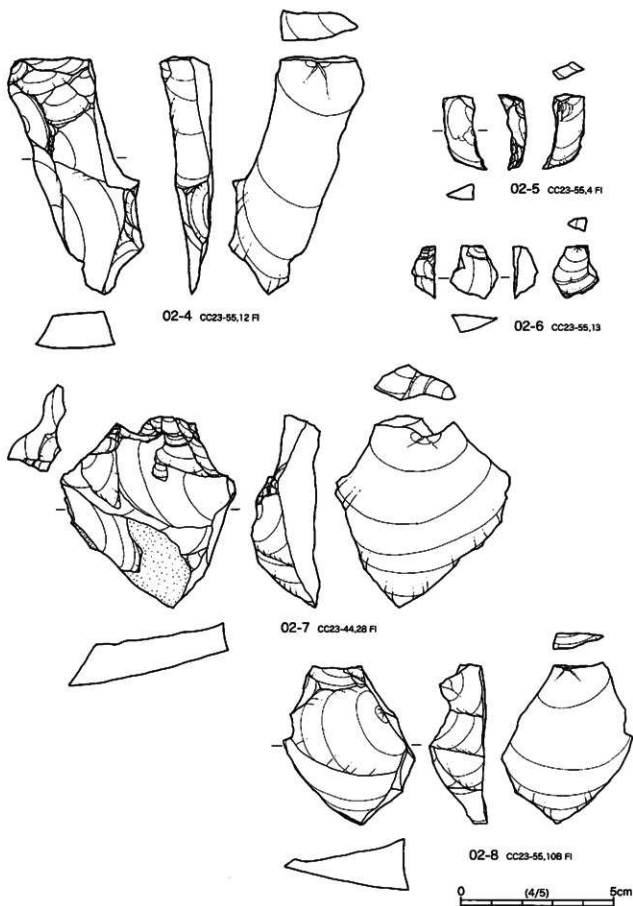
第5ブロックの中心部に集中する。分布は径2mの範囲内で収束し、分布が南北に2分する感がある。

剥片剥離工程

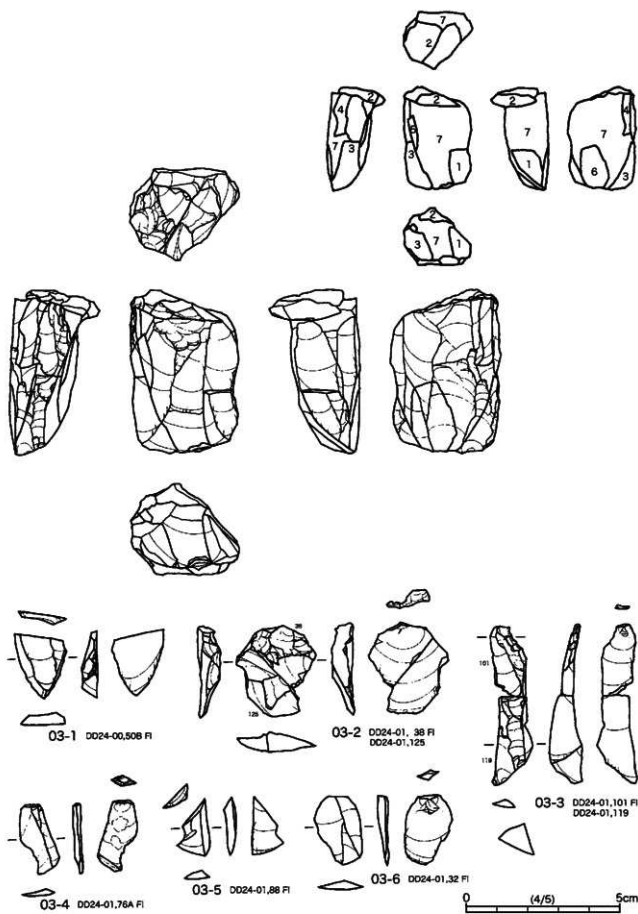
接合状態での計測値は、縦7.8cm、横3.9cm、最大厚4.4cmを測る。接合状態図の自然面の様子から、直方体を呈する棒状礫を母岩としていることが窺える。



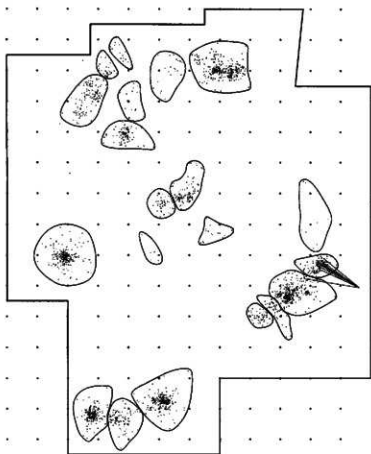
第155圖 頁岩02(1)



第156圖 頁岩02(2)



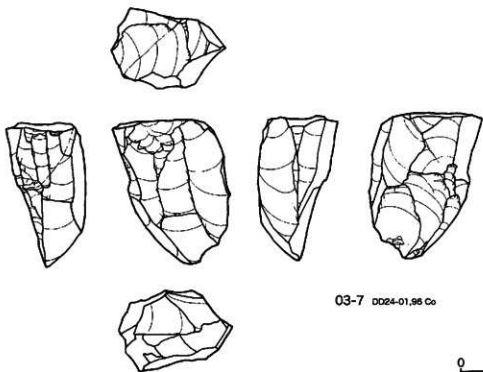
第157图 頁岩03接合狀態



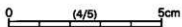
第158図 頁岩03接合関係

第43表 頁岩03石器一覧表

プロ ツク	器 種	クワット 番号	器 種	器 材	器 材	最大長 cm	最大幅 cm	最大厚 cm	重量 g	
15	157	0024-03	00208	Fl	3	1	2.24	1.50	0.54	1.60
14	157	0024-01	00306	Fl	3	2	2.70	1.26	0.57	1.70
14	157	0024-01	01225	Fl	3	2	1.76	2.19	0.71	2.44
14	157	0024-01	01101	Fl	3	3	2.96	1.10	0.41	0.90
14	157	0024-01	01194	Fl	3	3	3.01	1.32	1.09	2.91
14	157	0024-01	00764	Fl	3	4	2.28	1.22	0.27	0.50
14	157	0024-01	00288	Fl	3	5	1.14	1.77	0.32	0.42
14	157	0024-01	00232	Fl	3	6	2.23	1.54	0.35	0.90
14	159	0024-01	00286	Co	3	7	5.11	3.30	2.29	45.52



03-7 0024-01.98 Co



第159図 頁岩03

現状での最も古い段階の打面は、接合状態図の上面にあたる部位であり、この打面から1が作出される。1の背面に見られる剥離は同一打面からの剥片剥離によるもので、前工程の剥離は接合状態図裏面に見られるものである。

1の作出後ネガティブ面を打面とし、2・3が作出される。4は3に連続して作出されるが、打面を180°転換し作出される。この後作業面を母岩の下部に換え、剥片剥離を行っている。これは接合状態図裏面の下部付近、5の裏面に見られる剥離痕である。5は打面を180°転換し作出され、この5のネガティブ面を打面として6・7が連続して作出される。この後作業面を再び上部に換え8を作出している。8の作出以後、剥片剥離工程が不明瞭となるが、打面転移と剥片剥離が行われ、その一連の作業の中で9が作出される。10の作出は打面を転換した後、一連の剥片剥離の中で行われ、10のネガティブ面を打面とし11・12が作出される。12の作出後、ネガティブ面を打面として数回剥片剥離が行われており、13の作出は打面を90°転換した後に行われている。

珪質頁岩02 (第144・148図、第55表、図版68)

石材の特徴

赤みがかった灰色を呈する。赤茶色もしくは白色の節理が部分的に認められ、一見するとコンピーフを思わせる。ざらついた感じを受けるが堅緻であり、剥片の縁辺部は鋭い。

分布

第15ブロックに属する。DD24-10グリッド西寄りに密に分布する地点が認められ、珪質頁岩02を構成する石器もこの地点から出土している。

剥片剥離工程

剥片3点の接合資料である。いずれも不定形剥片で、背面を構成する剥離の方向は一定せず、多方向から剥片剥離を行っていることが看取できる。1から3は打撃の位置・方向は異なるが、求心的に薄く剥離されており、接合状態図の上面の剥離方向は背面側からである。打面再生を目的として作出された剥片と考えられる。

頁岩01 (第149～152図、第56表、図版55～57)

石材の特徴

自然面は茶褐色を呈し、平滑であるが光沢はない。内面は青緑色を基調とし、部分的に赤茶色の節理が混入する。接合状態図の下端は色調が変化し、緑灰色を呈する。この部位には細粒の礫片が混入する。

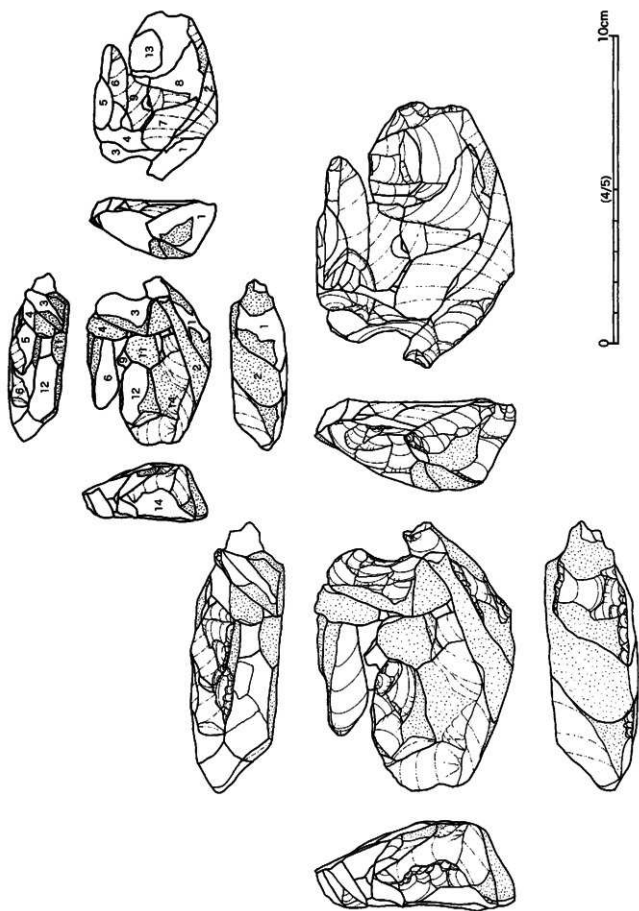
分布

第15ブロックに帰属する。第15ブロックを構成する石器はDD24-10グリッド北西部に集中する傾向が認められ、頁岩01の分布もこの集中区と重複する。分布範囲は径4mの範囲内で収束する。

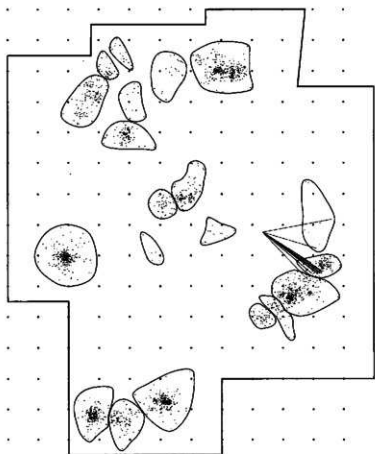
剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦8.9cm、横4.6cm、最大厚3.8cmを測る。

1から8は下部から作出される。下部の剥片剥離は作業面を交互に変換し、1の作出後、1のネガティブ面を打面とし、2・3を作出。さらに2のネガティブ面を打面とし4を作出。この後1のネガティブ面に打面を戻し、5から8までを連続的に作出している。8の作出後打面を上面に転換し、9から11を作



第160图 頁岩04接合狀態



第161図 頁岩04接合関係

第44表 頁岩04石器一覧表

ブロック	標本番号	フリット	形状	石質	厚さ(mm)	最大径(mm)	最大幅(mm)	重量(g)
14	162	0024-01	0073A	Fl	4	5.66	2.95	1.79
15	162	0024-00	0025A	Fl	4	6.06	2.82	1.15
14	162	0024-01	0072A	Fl	4	3	2.21	0.97
14	162	0024-01	0014	Fl	4	4	2.40	2.62
14	162	0024-01	0073A	Fl	4	5	2.46	1.78
14	162	0024-01	0001	Fl	4	6	4.48	1.95
13	162	0023-3b	0002	Fl	4	7	3.65	1.62
14	162	0024-01	0008	Fl	4	8	2.67	4.04
14	162	0024-01	0108	Fl	4	5	2.21	2.23
14	162	0024-01	0002	Fl	4	30	2.23	2.28
13	163	0023-81	0002	Fl	4	11	2.06	1.95
14	163	0024-30	0044	Fl	4	12	3.12	3.87
14	163	0024-01	0102	Fl	4	13	1.87	2.63
14	163	0024-30	0042	Fl	4	14	5.79	4.07

出している。12は打面再生剥片であるが、背面には微細な打面再生の痕跡が見られる。これらは12の作出まで一貫した打面再生であり、途中で素材剥片の作出を行っている形跡は認められない。打面再生の後にこの打面から13・14が作出される。13はナイフ形石器であるが、素材剥片は薄い作りであり、調整作業中に破損したため製品化に至らなかったものと考えられる。15から17は再び打面を下部に転移し作出される。打面は4のネガティブ面であり、打面再生は行われていない。

頁岩02 (第153～156図、第57表、図版57～59)

石材の特徴

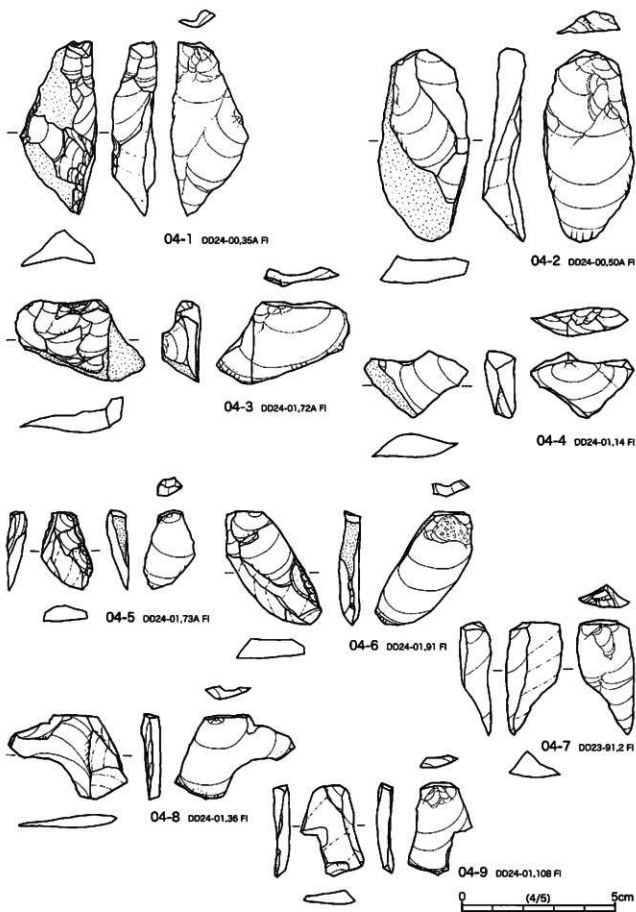
自然面は暗茶褐色を呈し、平滑な部位と細かい凹凸が認められる部位がある。平滑な部位はやや光沢がある。器表面は茶色がかかる暗灰色を呈し、肌理は細かいが光沢はない。局所的に節理が混入するが、不純物の混入は認められない。

分布

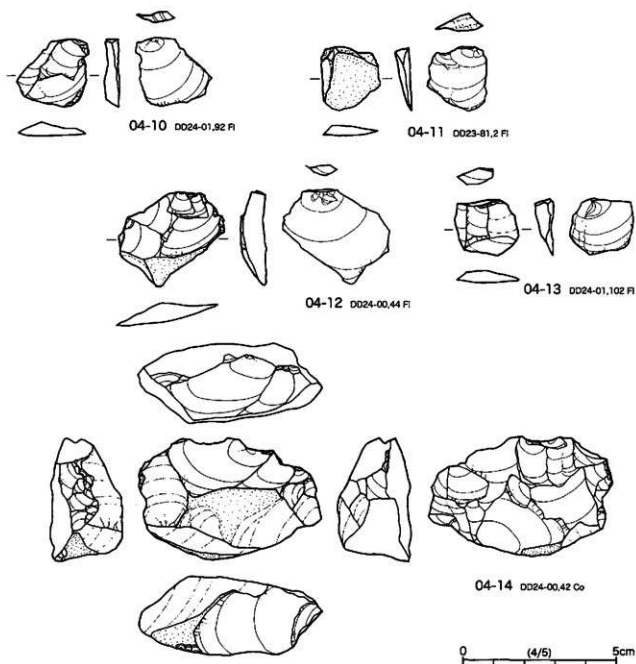
第4・5ブロックに帰属する。このうち第5ブロックから出土するのは8の1点のみである。特に集中して出土している感はなく、第4ブロックから第5ブロックの北端にかけて広範囲に散漫に出土している。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦9.4cm、横6.4cm、最大厚6.7cmを測る。

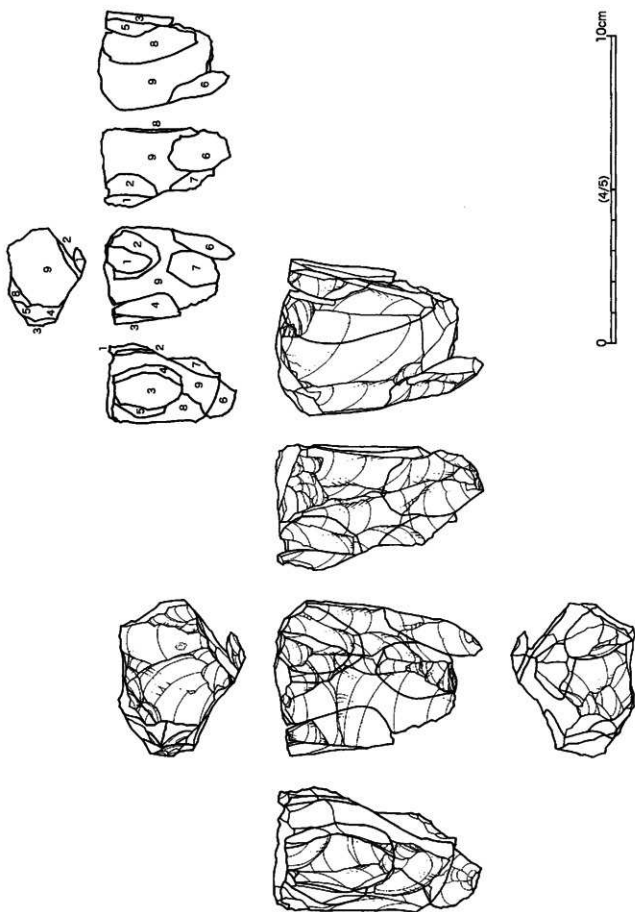


第162圖 頁岩04(1)



第163図 頁岩04(2)

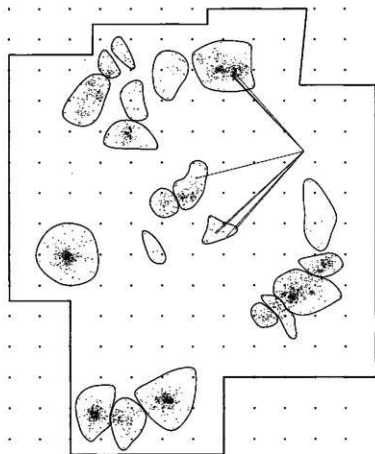
接合状態図裏面に見られる自然面以外の3面を作業面とし、打面再生を行いながら素材剥片の作出を行っている。1・2は打面再生剥片で、正逆の方向から打撃を加え打面再生を行っている。1の背面、稜上の微細な剥離は、1の打面再生直前の工程で施された頭部調整である。打面再生の後3・4が作出される。5から7は一連の打面再生剥片である。この後剥片剥離が行われているが、この痕跡は8の側面の背面側からの剥離痕が該当する。さらに8の打面再生が行われるが、以後の工程の剥片は確認されなかった。



第164图 頁岩05接合狀態

第45表 頁岩05石器一覧表

ブロック	番号	グリフ	形状	種類	厚	長さ	最大長	最大幅	最大厚	重量
9	188	CC23-77	0006	片	5	1	2.05	2.14	0.58	1.32
7	166	CC23-48	0056	片	5	2	2.80	2.83	0.70	4.46
12	186	CC23-88	0004	片	5	3	3.58	1.83	0.42	2.39
12	188	CC23-97	0004	片	5	4	3.56	2.42	1.29	7.35
12	186	CC23-97	0005	片	5	5	2.85	1.25	0.86	1.61
12	186	CC23-98	0003	片	5	6	3.23	2.14	0.96	6.34
7	165	CC23-48	0045	片	5	7	2.77	1.91	0.95	3.75
7	166	CC23-48	0035	片	5	8	4.94	2.41	1.20	12.30
7	168	CC23-48	0058	片	5	9	5.77	4.48	3.29	88.71



第165図 頁岩05接合関係

頁岩03 (第157～159図、第58表、図版59・60)

石材の特徴

器表面は緑がかった暗灰色を呈する。肌理は細かく光沢があるが、肉眼でも剥離面に微細なフィッシャーが認められる。節理が混入し、2はこの節理により2分している。

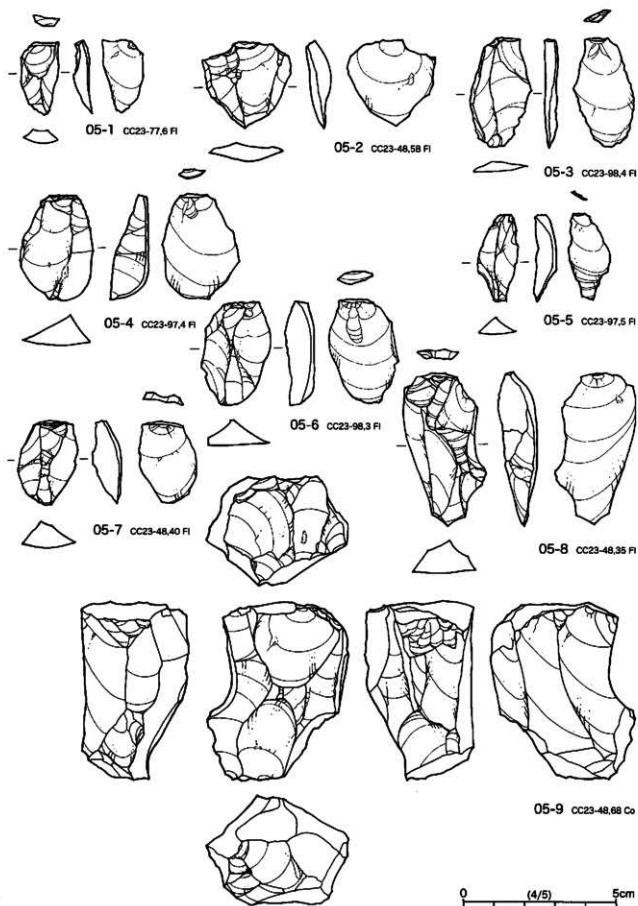
分布

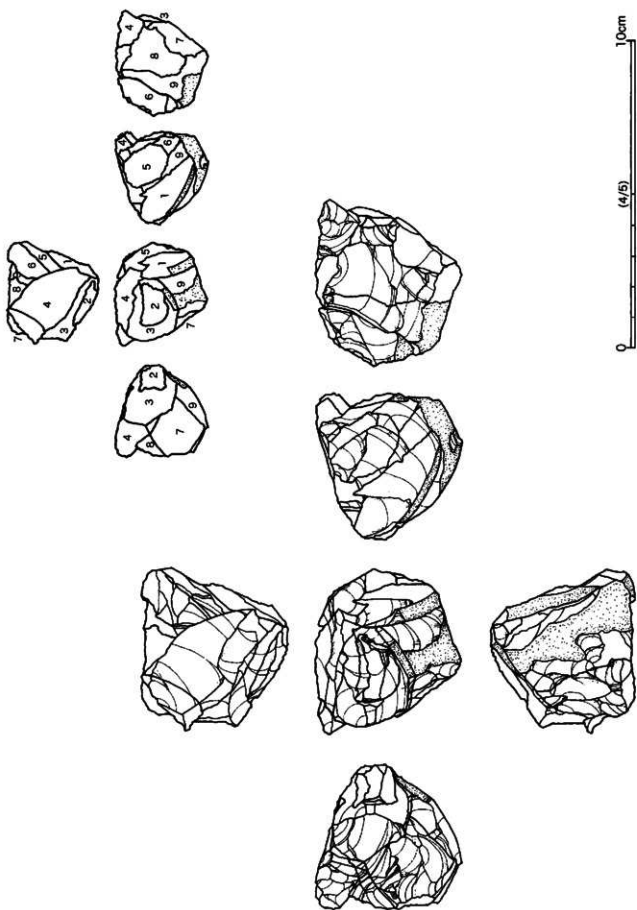
第14・15ブロックに所属する。第15ブロックに所属するのは1の1点のみであり、他は第14ブロックの中心部に分布し、径2mの範囲内で収束する。この集中区の中心から第15ブロックの1は4mの距離を置く。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦5.3cm、横3.5cm、最大厚3.0cmを測る。

1の作出は、2の打面再生以前の打面から行われるが、直前の工程か否かは判断できない。2の打面再生後、3から5が連続して作出される。その後打面を下部に転換して6を作出するが、打面再生は行われず、古い段階の剥離面を打面としている。

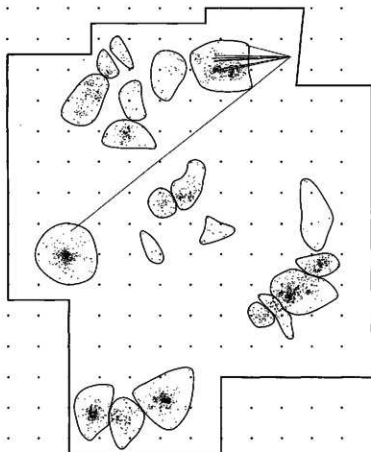




第167图 頁岩06接合狀態

第46表 頁岩06石器一覧表

ブロック番号	フリッド番号	器物番号	種類	出土層	最大径1cm	最大径2cm	最大厚1cm	重量(g)
160	CC23-97	0004	片	6	4.52	2.25	0.55	3.46
160	CC23-28	0037	片	6	2	2.69	1.38	0.43
160	CC23-28	0077	片	6	3	4.12	3.22	1.15
160	CC23-37	0036	片	6	4	4.52	4.31	1.55
160	CC23-37	0057	片	6	4	2.19	1.51	1.18
160	CC23-95	0001	片	6	3	2.90	2.05	0.94
160	CC23-37	0066	片	6	4	3.55	2.18	1.14
160	CC23-37	0063	片	6	7	3.05	2.62	1.65
160	CC23-48	0000	片	6	8	3.17	2.96	1.57
160	CC23-87	0055	片	6	8	5.26	4.04	3.04



第168図 頁岩06接合関係

頁岩04 (第160～163図、第59表、図版60・61)

石材の特徴

自然面は一樣に白色を呈し、一見すると風化し脆弱な感があるが、緻密であり一部光沢が認められる。器表面は緑がかった暗灰色、もしくは茶色を呈する部位もあり一樣ではない。茶色を呈する節理面が多く混入するが、緻密であり剥離面には光沢がある。

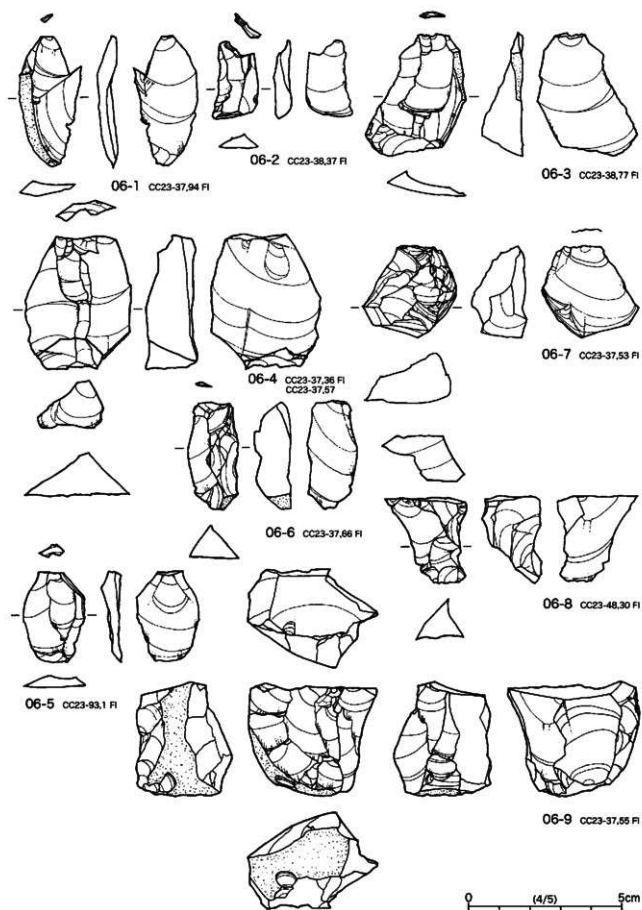
分布

第13・14・15ブロックに所属する。第13ブロックに所属するのは7・11、第15ブロックに所属するのは2であり、その他は全て第14ブロックの所属である。第14・15ブロックに所属する石器は分布を密にするが、第13ブロック出土の石器については、頁岩04の集中区とは最大7mの隔りがある。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦6.5cm、横6.7cm、最大厚3.0cmを測る。接合状態図正面・裏面には自然面が認められ、扁平礫を母岩としていることが理解できる。

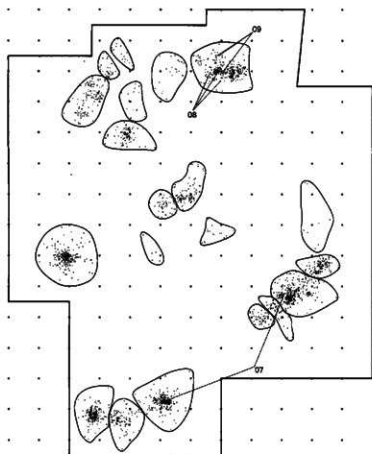
1の作出は左側縁から行われ、作出前に母岩に対して打面の整形が行われている。2も1と同様の打撃により作出されるが、1の作出の後に打面再生が行われていることが理解できる。3・4は打面の再生を目的とした剥片であり、この打面再生の後に5・6・7・9が作出される。この間、8については打面を転換し、2の作出後のネガティブ面を打面として作出される。この後工程上のブランクが認められる。



第169圖 頁岩06

第47表 頁岩07～09石器一覧表

ブロック	発掘層	グリッド	器物番号	種類	材質	厚	長さ	最大幅	最大厚	重量
						mm	mm	mm	mm	g
18	17	CC24-43	0010	片	7	1	4.52	5.14	0.83	8.37
15	17	DD24-10	0148	片	7	2	5.30	4.01	1.38	27.32
7	17	CC23-47	0038	片	8	1	3.94	2.37	0.76	4.69
7	17	CC23-47	0054	片	8	2	2.15	1.46	0.35	1.09
7	17	CC23-47	0050	片	8	3	3.36	1.77	0.60	5.10
7	17c	CC23-37	0059	片	9	1	1.81	2.62	0.41	1.63
7	17c	CC23-37	0060	片	9	1	2.26	1.47	0.32	1.08
7	17c	CC23-38	0069	片	9	2	2.62	1.81	0.30	0.84



第170図 頁岩07・08・09接合関係

10の作出は、前工程（5～9）の剥片剥離により形成された剥離面を打面として行われている。11は打面を転換し、2のネガティブ面を打面として作出される。この後再び打面を転換し、10を含む一連の剥片剥離により形成された剥離面を打面とし12が、さらに12のネガティブ面を打面として13が作出される。

頁岩05（第164～166図、第60表、図版62・63）

石材の特徴

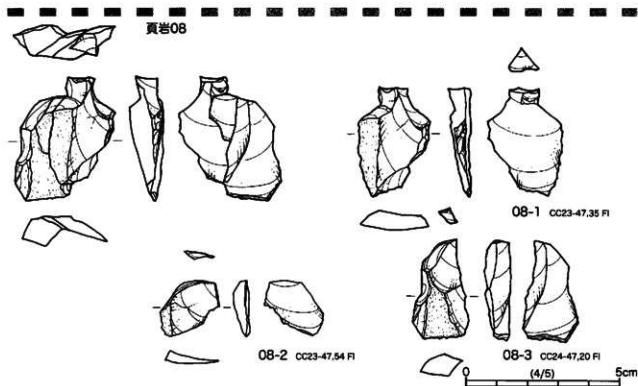
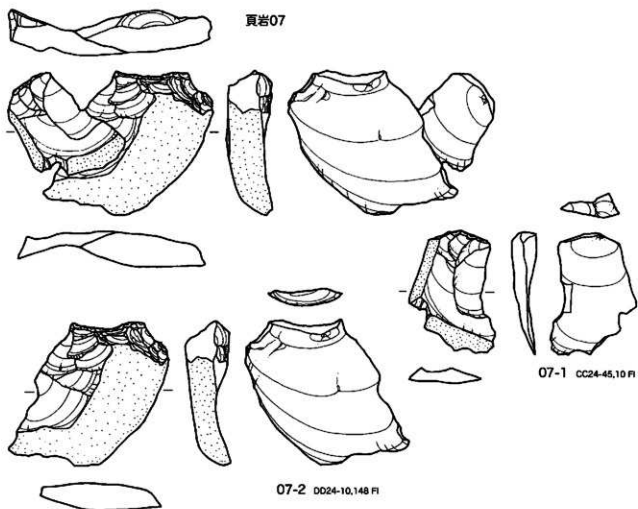
茶褐色を呈する。器表面の肌理は細かいが、光沢はない。0.5mm～3.0mmの白色の不純物をごく少量含む。質感に反し持った感じが重い。

分布

第7・9・12ブロックに所属する。第7ブロックからは2・7～9、第9ブロックからは1、第12ブロックからは3～6が出土している。剥離工程と出土位置の違いに関連性は認められない。第7ブロックから出土した石器は、ブロックの範囲中心部からやや南に偏るが、第12ブロックについてはブロック範囲ほぼ全域に分布しており、散漫な出土である。第7ブロックの出土位置から第12ブロックの出土位置の中心までは20mを測る。

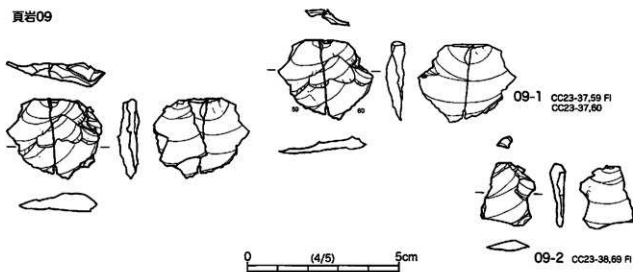
剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦6.9cm、横5.1cm、最大厚4.3cmを測る。

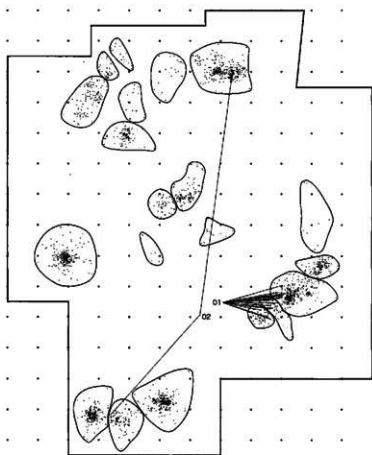


第171圖 頁岩07・08

頁岩09



第172図 頁岩09

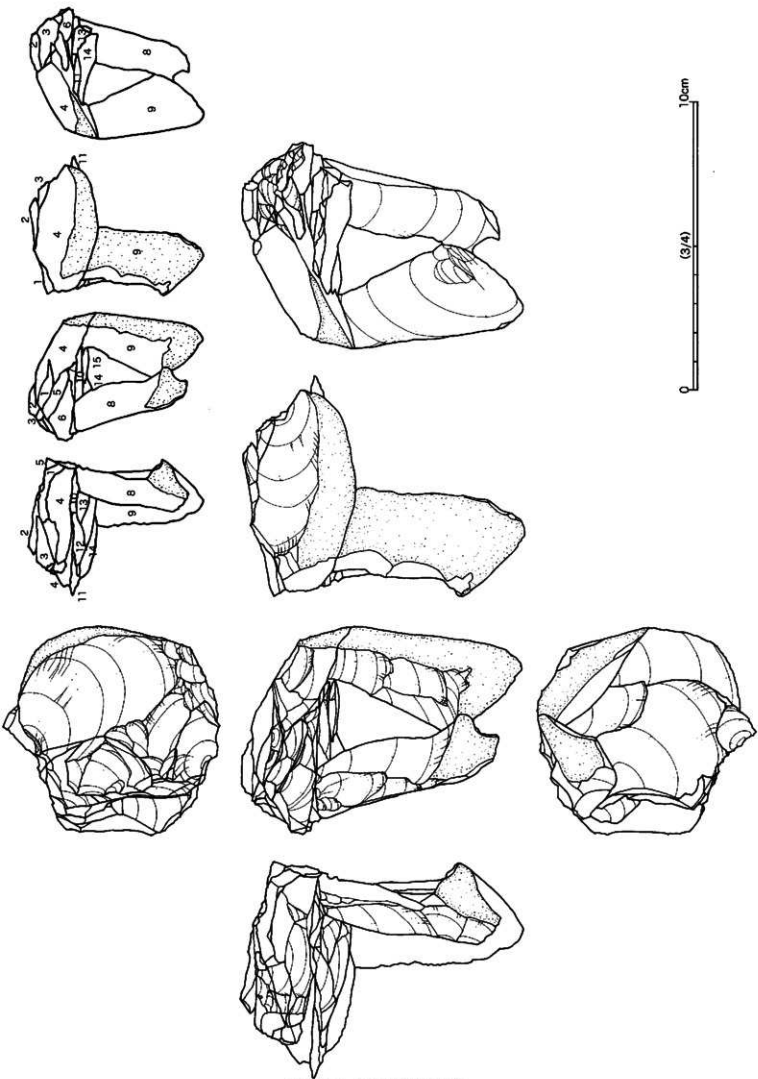


第173図 流紋岩接合関係

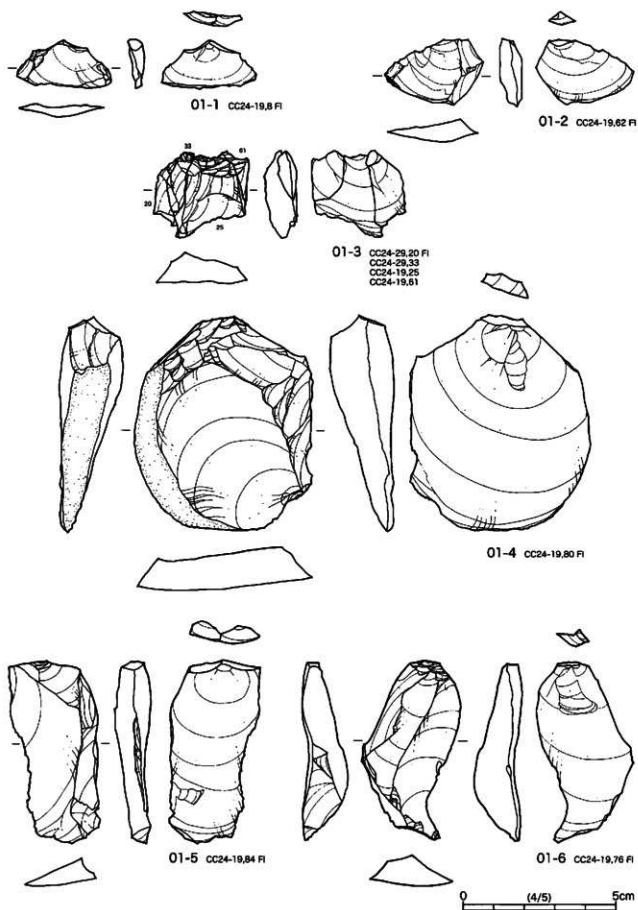
第48表 流紋岩01・02石器一覧表

フリット	グリット	種類	形状	厚さ	長さ	最大径 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	
27	175	CC24-19	00206	円	1	1.53	3.08	0.47	1.53	
16	175	CC24-19	00602	円	2	2.29	2.89	0.81	3.70	
6	175	CC24-19	00225	円	1	3	2.17	2.89	0.86	4.42
16	175	CC24-19	00261	円	1	3	1.12	1.48	0.57	0.86
17	175	CC24-20	00200	円	2	3	2.02	1.09	0.52	1.19
17	175	CC24-20	00333	円	2	3	2.47	0.75	0.70	0.80
26	175	CC24-19	00280	円	1	4	6.96	8.41	1.99	73.14
25	175	CC24-19	00264	円	1	6	5.84	3.54	1.44	15.51
25	175	CC24-19	00276	円	1	6	6.68	2.81	1.28	15.86
16	176	CC24-19	00262	円	1	7	2.47	1.28	0.20	0.49
16	176	CC24-19	00262	円	1	7	4.53	2.85	0.47	3.31
16	176	CC24-19	00246	円	1	8	8.72	3.60	1.45	21.26
16	176	CC24-19	00275	円	1	9	4.25	6.32	1.79	38.42
25	176	CC24-19	00274	円	2	10	3.19	3.94	0.96	3.73
15	176	CC24-19	00277	円	1	11	3.61	3.20	0.33	3.77
16	176	CC24-19	00261	円	1	12	1.99	3.08	0.78	3.60
15	177	CC24-19	00257	円	1	13	2.80	2.15	0.34	1.41
15	177	00244 01	00202	円	1	13	1.22	1.89	0.72	0.82
16	177	CC24-19	00273	円	1	14	5.58	3.09	1.04	15.80
15	177	00244 10	01309	円	2	15	0.96	2.72	0.39	2.11
7	178	CC23 48	00262	円	2	1	5.20	2.49	1.34	8.54
19	178	CC24-01	00209	円	2	2	6.96	4.71	1.99	68.53

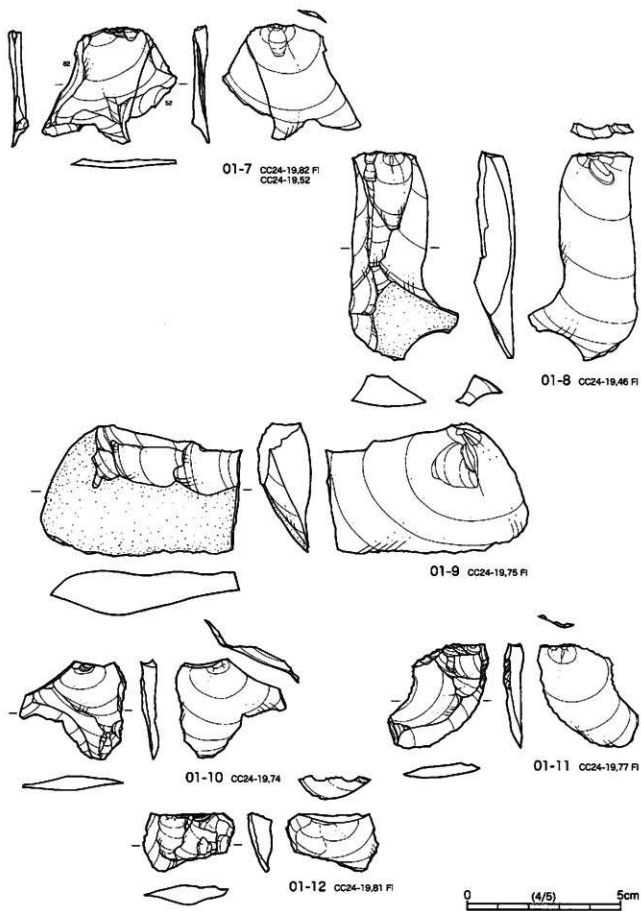
剥片の作出は上面から行われ、1の作出後打面再生が行われ、2から5が作出される。この後打面を下面に転換し6を作出。この打面からの剥片剥離は6の作出後1回のみ行われ、打面再生の後7が作出されている。再び打面を上面に転換し、8を作出している。8の打面は2から5が作出された打面と同一打面であるが、8の背面末端部に下部打面再生痕が残ることから、工程に差が認められる。基本的に上面・下



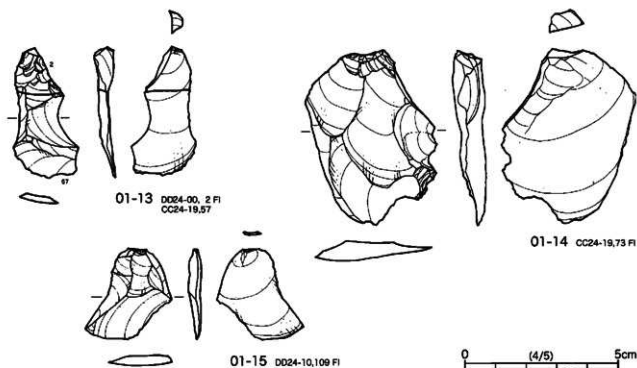
第174图 流纹岩01接合状态



第175图 流纹岩01(1)



第176图 流紋岩01(2)



第177図 流紋岩01(3)

面の両極に打面を設定し、剥片剥離を行っている接合資料である。

頁岩 06 (第 167～169 図、第 61 表、図版 63・64)

石材の特徴

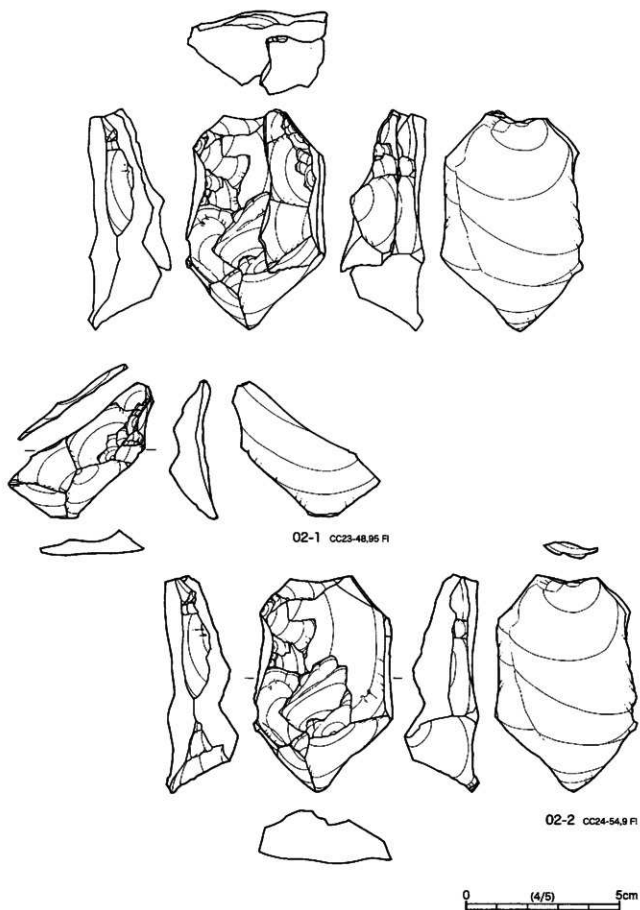
自然面は黄土色を呈し、肌理は細かく光沢がある。内面は、自然面の内側 1 cm ほどは自然面と同一の色調であるが、他の部位は茶褐色を呈する。自然面の黄土色から内面の茶褐色の間に、漸移的に暗青灰色を呈する部位が認められる。剥離面の肌理は細かいが光沢に欠ける。不純物の混入はほとんど認められない。分布

5 の剥片を除き第 7 ブロックに所属する。第 7 ブロックでの分布状態は、特に集中して出土する感はなく、径 4 m の範囲から散漫に出土する。5 の剥片は第 8 ブロックに所属し、第 7 ブロックでの頁岩 06 の分布範囲中心から 28 m の距離を置く。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 4.8 cm、横 5.4 cm、最大厚 4.8 cm を測る。

1 は上面に位置する打面から作出される。1 の作出後、1 のネガティブ面を打面として 2・3 が作出される。この後打面を上面に戻し剥片剥離を行っているが、この工程の接合個体は確認されていない。さらに打面を転換し 2・3 の作出面から 4 を作出している。5 の作出は 4 のネガティブ面を打面として行われ、同一打面から連続的に 6 が作出される。この後、打面を下部に転換し 7 が作出されるが、下部の打面から作出されているのは、7 のみである。8 の作出は、4 のネガティブ面に打面を戻し行われる。頁岩 06 の剥片剥離作業は、8 の作出で終了する。



第178图 流纹岩O2

頁岩 07 (第 170・171 図、第 62 表、図版 65)

石材の特徴

自然面は明るい黄土色を呈し、肌理は細かく光沢がある。内面は灰色がかかった茶褐色を呈する。肌理は細かく不純物の混入は認められない。

分布

1 は第 18 ブロック、2 は第 15 ブロックに属する。両者の出土位置は 20.9 m の距離を置く。

剥片剥離工程

剥片 2 点のみの接合資料である。1 の作出後打面再生を行い、2 の剥片を作出している。

頁岩 08 (第 170・171 図、第 62 表、図版 65)

石材の特徴

自然面は明茶褐色を呈し、平滑で肌理は細かく光沢がある。内面は明茶褐色を基調とし、部分的に青灰色が混入する。不純物の混入は認められない。

分布

第 7 ブロックに所属する。第 7 ブロックの範囲中央やや南寄りで出土する。

剥片剥離工程

剥片 3 点の接合資料である。同一打面から連続的に作出される。2・3 は打面部が欠損しているが、剥片剥離作業初期段階に、自然面に対し加えられた打撃のため亀裂が入り、剥片剥離の際に亀裂から分離したものであろう。

頁岩 09 (第 170・172 図、第 62 表、図版 65)

石材の特徴

色調は茶褐色を基調とし、部分的に暗灰色、赤褐色が混入する。器表面は肌理が細かく光沢がある。節理、不純物の混入は認められない。

分布

第 7 ブロックに所属する。

剥片剥離工程

同一打面から連続的に作出された剥片 2 点の接合資料である。1 は打点から縦に 2 分する。

流紋岩 01 (第 173～177 図、第 63 表、図版 69～71)

石材の特徴

自然面の色調は茶褐色を呈し、平滑で肌理は細かいが光沢感に欠ける。内面は灰色を基調とした色調で、肌理は細かいが光沢感はない。節理、不純物の混入は認められない。

分布

第 15・16・17 ブロックに属する。第 15 ブロックには 4・7・9～13・15、第 16 ブロックには 2・3・8・14、第 17 ブロックには 1・3 が所属する。3 ブロックに渡り分布するが、分布範囲は長軸 5 m、短軸 2 m の範囲で収束し、剥離工程による分布の違いは特に認められない。

剥片剥離工程

接合状態での計測値は、縦 9.3cm、横 6.7cm、最大厚 7.2cmを測る。遺存する自然面の様子から、径 8 cm前後の棒状礫を母岩としていることが窺える。

1から7は打面再生剥片である。この打面再生の工程以前に、素材剥片の作出が行われていることが、各打面再生剥片の打面に見られる背面側からの剥離痕により理解できる。5・6は主軸の傾斜する縦長の形状を呈するが、一連の打面再生により作出されたものである。打面再生後8の剥片が作出されるが、打面は7のネガティブ面である。9は打面を転換し8のネガティブ面を打面として作出される。極端に主軸の傾斜する形状であるが、石核整形を目的として作出された剥片と考えられる。10から15は打面再生剥片で、1から7の打面再生が行われた部位に作業面を転換し、打面再生を行っている。

流紋岩 02 (第 173・178 図、第 63 表、図版 71)

石材の特徴

色調は白色を呈し、部分的に 0.5mm 角の鉱石を含む。一見して脆い感があるが、風化の影響がない部位の器表面は光沢があり、緻密である。

分布

第 7・19 ブロックに属する。距離にして 44 m の隔りがある。

剥片剥離工程

大型剥片 2 点のみの接合資料である。接合状況図の両側面には、背面側から剥片を作出した痕跡が明瞭に認められ、このことから打面再生剥片の可能性も考えられる。

第49表 第1文化層石器一覽表(1)

No.	品名	産地	形状	長さ	幅	厚	重量	年代	備考
11	G223-24-0001	石	024	3.04	2.91	1.17	10.73	1007.750	478.267 11.30
12	G223-24-0002	石	024	1.79	1.87	0.38	0.76	1002.230	1477.606 12.31
13	G223-24-0003	石	024	4.18	1.64	0.72	3.77	1007.351	1477.606 12.30
14	G223-24-0004	石	024	3.56	2.81	0.87	8.13	1002.269	1478.227 12.30
15	G223-24-0005	石	024	1.71	2.32	1.36	5.61	1002.729	1478.147 12.25
16	G223-24-0006	石	024	2.23	1.73	0.71	1.60	1007.379	1477.865 12.35
17	G223-24-0007	石	024	1.52	1.18	0.56	1.71	1007.228	1478.038 12.35
18	G223-24-0011	石	024	0.94	1.36	0.32	0.87	1007.742	1478.808 12.35
19	G223-24-0012	石	024	4.64	3.85	1.18	18.19	1007.731	1478.950 12.25
20	G223-24-0013	石	024	1.74	1.00	0.41	0.83	1004.123	1478.199 12.42
21	G223-24-0014	石	024	0.87	1.20	0.43	0.61	1004.683	1478.888 12.40
22	G223-24-0015a	石	024	0.83	1.10	0.26	0.32	1007.483	1479.310 12.47
23	G223-24-0015b	石	024	1.40	1.13	0.38	0.87	1007.452	1479.249 12.47
24	G223-24-0016	石	024	0.92	1.11	0.28	0.32	1007.784	1478.936 12.48
25	G223-24-0017	石	024	2.83	2.43	0.78	4.24	1004.253	1478.658 12.35
26	G223-24-0018	石	024	1.49	1.72	0.58	0.89	1007.434	1478.959 12.46
27	G223-25-0001	石	024	1.20	1.33	0.36	0.53	1007.248	1480.251 12.44
28	G223-25-0002	石	024	1.34	1.30	0.45	0.65	1005.285	1480.281 12.42
29	G223-24-0001a	石	024	1.11	1.84	0.29	1.29	1007.212	1479.494 12.39
30	G223-24-0002	石	024	0.73	1.23	0.38	0.28	1004.282	1479.292 12.54
31	G223-24-0003	石	024	2.07	2.15	1.79	12.68	1004.742	1477.829 12.77
32	G223-24-0013	石	024	1.30	2.60	0.57	1.14	1007.423	1478.975 12.30
33	G223-24-0019	石	024	1.53	1.28	1.14	1.61	1007.185	1478.163 12.33
34	G223-24-0020	石	024	1.16	0.99	0.52	1.11	1007.453	1478.612 12.18
35	G223-24-0021	石	024	3.10	2.67	1.09	12.50	1007.756	1478.129 12.76
36	G223-24-0022	石	024	4.09	3.80	1.07	8.45	1007.554	1477.876 12.15
37	G223-24-0023	石	024	1.49	0.73	0.35	0.45	1007.354	1477.956 12.49
38	G223-24-0024	石	024	2.87	3.80	1.78	19.89	1009.058	1477.365 12.59
39	G223-24-0024a	石	024	1.78	1.27	0.34	0.82	1000.839	1478.875 12.47
40	G223-24-0018	石	024	1.68	1.70	0.54	1.18	1006.782	1478.387 12.47
41	G223-24-0019	石	024	0.82	1.33	0.16	0.31	1006.362	1478.417 12.47
42	G223-24-0024	石	024	0.89	0.70	0.42	0.25	1005.896	1478.687 12.56
43	G223-24-0020a	石	024	0.81	0.80	0.49	0.24	1007.956	1478.891 12.59
44	G223-24-0021	石	024	1.43	1.22	0.62	1.83	1006.483	1479.226 12.54
45	G223-24-0022	石	024	0.71	0.74	0.32	0.11	1006.782	1477.608 12.34
46	G223-24-0023	石	024	0.85	0.84	0.45	0.25	1005.944	1477.365 12.45
47	G223-24-0026	石	024	1.52	1.44	0.56	1.16	1007.262	1477.185 12.73
48	G223-24-0027	石	024	0.86	0.67	0.25	0.32	1006.472	1477.365 12.52
49	G223-24-0028	石	024	1.00	1.64	0.41	1.08	1007.288	1478.944 12.66
50	G223-24-0029	石	024	4.14	2.18	0.91	3.27	1007.822	1477.185 12.81
51	G223-24-0031	石	024	2.06	2.52	0.76	2.82	1007.427	1477.581 12.71
52	G223-24-0032	石	024	0.90	0.60	0.40	0.15	1007.358	1478.439 12.32
53	G223-24-0029	石	024	4.18	2.54	2.56	14.47	1007.718	1477.185 12.43
54	G223-24-0030	石	024	3.00	1.94	0.67	2.38	1007.763	1478.659 12.23
55	G223-24-0031	石	024	2.96	1.22	0.53	1.21	1006.652	1478.914 12.82
56	G223-24-0032	石	024	2.36	1.47	1.04	3.78	1007.889	1477.245 12.68
57	G223-24-0033	石	024	2.79	3.00	1.19	8.95	1007.982	1477.155 12.29
58	G223-24-0034	石	024	1.49	1.22	0.66	2.43	1006.623	1477.245 12.87
59	G223-24-0035	石	024	1.49	1.80	0.37	0.97	1006.368	1477.588 12.63
60	G223-24-0037	石	024	1.22	0.80	0.33	0.42	1006.176	1477.125 12.14
61	G223-24-0040	石	024	2.08	1.63	0.38	1.08	1007.447	1477.544 12.03
62	G223-24-0041	石	024	2.49	3.28	0.62	4.51	1007.148	1477.246 12.14
63	G223-25-0009	石	024	1.58	1.25	0.29	0.35	1006.615	1478.131 12.31
64	G223-25-0010	石	024	1.64	1.33	0.50	1.71	1006.891	1478.288 12.90
65	G223-25-0011	石	024	2.23	2.27	0.66	2.43	1006.623	1478.741 12.90
66	G223-25-0012	石	024	3.03	3.77	1.30	9.54	1006.955	1478.927 12.82
67	G223-24-0038	石	024	1.50	1.83	0.72	3.07	1007.171	1478.553 12.55
68	G223-24-0039	石	024	2.00	1.13	0.74	1.28	1006.633	1478.033 12.12
69	G223-24-0043	石	024	2.34	2.18	0.58	2.88	1007.287	1474.758 12.98
70	G223-24-0044	石	024	1.80	2.45	0.58	2.89	1007.287	1474.994 12.76
71	G223-24-0045	石	024	1.30	1.82	0.44	0.62	1007.420	1478.228 12.82
72	G223-24-0046	石	024	1.30	1.89	0.46	1.25	1007.543	1478.585 12.70
73	G223-24-0048	石	024	3.38	1.39	0.59	1.94	1007.900	1474.954 12.64
74	G223-24-0049	石	024	0.83	1.45	0.38	0.27	1007.749	1478.630 12.90
75	G223-24-0010	石	024	1.14	1.31	0.46	0.77	1007.800	1478.288 12.95
76	G223-24-0011	石	024	2.98	2.27	0.79	3.24	1007.887	1478.543 12.33
77	G223-24-0012	石	024	0.81	0.77	0.37	0.19	1007.824	1478.388 12.23
78	G223-24-0013	石	024	1.07	1.29	0.49	0.86	1007.975	1478.788 12.89
79	G223-24-0013b	石	024	1.13	0.84	0.28	0.29	1007.875	1478.817 12.40
80	G223-24-0014	石	024	2.57	1.81	0.83	2.64	1007.807	1474.581 12.81
81	G223-24-0015	石	024	1.17	1.31	0.40	0.61	1007.800	1474.128 12.87
82	G223-24-0016	石	024	2.28	1.58	0.55	0.77	1007.857	1478.519 12.27
83	G223-24-0017	石	024	3.61	1.49	0.58	2.39	1007.928	1478.319 12.87
84	G223-24-0018	石	024	1.07	0.86	0.45	0.32	1007.929	1478.562 12.92
85	G223-24-0019	石	024	0.86	0.44	0.26	0.26	1009.212	1478.868 12.23
86	G223-24-0020	石	024	3.98	2.43	0.42	3.56	1009.625	1478.838 12.35
87	G223-24-0021	石	024	0.32	1.25	0.25	0.27	1008.886	1478.210 12.30
88	G223-24-0022	石	024	1.78	1.19	0.39	0.53	1009.618	1478.387 12.35
89	G223-24-0023	石	024	2.03	0.77	0.39	0.80	1009.792	1478.829 12.82
90	G223-24-0024	石	024	3.82	2.13	0.38	3.26	1009.898	1478.951 12.19
91	G223-24-0025	石	024	0.86	0.44	0.26	0.26	1009.212	1478.868 12.23
92	G223-24-0026	石	024	2.76	2.41	0.64	2.98	1009.879	1478.781 12.20
93	G223-24-0027	石	024	1.22	1.33	0.29	0.49	1009.879	1478.839 12.20
94	G223-24-0028	石	024	1.10	1.38	0.32	0.75	1009.818	1478.838 12.20
95	G223-24-0029	石	024	1.69	1.17	0.38	0.23	1009.839	1478.838 12.20
96	G223-24-0030	石	024	1.26	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
97	G223-24-0031	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
98	G223-24-0032	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
99	G223-24-0033	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
100	G223-24-0034	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
101	G223-24-0035	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
102	G223-24-0036	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
103	G223-24-0037	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
104	G223-24-0038	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
105	G223-24-0039	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
106	G223-24-0040	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
107	G223-24-0041	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
108	G223-24-0042	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
109	G223-24-0043	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
110	G223-24-0044	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
111	G223-24-0045	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
112	G223-24-0046	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
113	G223-24-0047	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
114	G223-24-0048	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
115	G223-24-0049	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
116	G223-24-0050	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
117	G223-24-0051	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
118	G223-24-0052	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
119	G223-24-0053	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
120	G223-24-0054	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24	1009.839	1478.838 12.20
121	G223-24-0055	石	024	1.31	0.83	0.31	0.24		

第50表 第1文化庁石工一覽表

No.	種別	工種	資格	性別	年齢	出生年月	籍貫	身長	体重	胸囲	腕囲	手廻り	歩数	下駄	靴底厚	
80	02	02-53	0202	男	U		352	311	650	180	1008	830	4174	26	15255	
81	02	02-53	0202	男	U		2202	287	647	186	1008	863	4174	26	15272	
82	02	02-53	0204	男	U		172	80	632	163	1008	837	4174	23	15289	
83	02	02-53	0205	男	U		220	130	652	182	1008	839	4174	28	15278	
84	53	02-53	0206	男	U	2	309	149	682	246	1008	899	4173	31	15317	
85	02	02-53	0206	男	U		209	123	687	159	1008	201	4173	23	15198	
86	02	02-53	0206	男	U		159	82	634	166	1006	749	4174	25	15259	
87	120	02-53	0203	男	U	24	3	2127	643	1008	1008	870	4173	66	15477	
88	10	02-53	0204	男	U		314	374	117	1236	1008	847	4173	32	15444	
89	130	02-53	0205	男	U	2	4	116	322	696	1707	1008	870	4173	34	15437
90	110	02-53	0206	男	U	18	2	258	337	653	181	1006	208	4173	26	15455
91	02	02-53	0207	男	U		177	662	616	617	1008	532	4173	24	15487	
92	02	02-53	0208	男	U		217	829	731	687	158	1008	201	4173	23	15198
93	02	02-53	0209	男	U		352	632	626	614	1008	814	4174	26	15417	
94	02	02-53	0209	男	U		132	141	622	64	1008	63	4173	25	15380	
95	22	02-53	0207	男	U	6	489	487	497	795	1078	792	4178	36	15167	
96	136	02-53	0208	男	U	2	7	631	733	152	678	1078	792	4178	27	15170
97	02	02-53	0208	男	U		126	298	651	69	1008	378	4178	15	15229	
98	20	02-53	0205	男	U		217	283	651	121	1008	819	4180	24	15197	
99	02	02-53	0205	男	U		104	109	635	632	1027	809	4181	15	15259	
100	22	02-53	0207	男	U		623	211	681	621	1075	109	4180	12	15355	
101	155	02-53	0206	男	U	2	1	557	573	130	2008	1078	641	4180	61	16009
102	22	02-53	0203	男	U		343	739	680	346	1008	833	4179	55	15139	
103	150	02-53	0206	男	U	3	2	379	370	135	1036	1041	4180	17	15175	
104	156	02-53	0204	男	U	2	3	253	271	677	180	1008	808	4180	26	15195
105	155	02-53	0205	男	U	2	1	162	655	136	1008	806	4181	15	15286	
106	155	02-53	0206	男	U	2	2	583	436	180	1180	837	4180	62	15227	
107	156	02-53	0205	男	U	2	4	182	234	133	3453	1008	122	4180	36	15118
108	156	02-53	0206	男	U	2	0	147	163	674	144	1008	600	4180	16	15378
109	02	02-53	0204	男	U		193	122	635	93	1008	363	4179	24	15622	
110	02	02-53	0206	男	U		206	106	649	688	1008	305	4179	47	15637	
111	90	02-53	0206	男	U	8	236	143	670	627	1008	579	4179	15	15630	
112	146	02-53	0204	男	U	1	126	388	655	638	1008	204	4179	47	15555	
113	02	02-53	0209	男	U		105	108	631	633	1008	348	4179	24	15254	
114	02	02-53	0206	男	U		173	180	637	658	1008	610	4179	15	15635	
115	02	02-53	0201	男	U		906	175	627	631	1008	263	4178	31	15712	
116	02	02-53	0202	男	U		391	131	621	628	1008	461	4177	27	15192	
117	817	02-53	0201	男	U	20	2	225	149	652	138	1008	355	4179	28	15194
118	02	02-53	0204	男	U		179	117	654	642	1008	421	4179	24	15286	
119	02	02-53	0205	男	U		249	420	652	157	1008	218	4179	20	15288	
120	02	02-53	0206	男	U		145	165	650	643	1008	522	4179	26	15326	
121	90	02-53	0207	男	U	5	1	217	239	652	146	1008	313	4179	7	15305
122	147	02-53	0208	男	U	12	4	429	632	678	585	1008	333	4179	17	15305
123	02	02-53	0208	男	U		673	254	642	612	1008	305	4179	47	15320	
124	02	02-53	0209	男	U		983	650	678	607	1008	365	4179	12	15355	
125	146	02-53	0209	男	U	1	116	615	611	628	1008	263	4179	29	15320	
126	02	02-53	0201	男	U		283	189	640	108	1008	362	4178	24	15583	
127	02	02-53	0202	男	U		688	652	616	632	1008	382	4178	16	15635	
128	119	02-53	0203	男	U	21	3	155	265	651	151	1008	382	4178	32	15440
129	02	02-53	0204	男	U		979	235	625	641	1008	461	4178	89	15253	
130	146	02-53	0205	男	U	1	5	396	341	681	686	1008	410	4178	24	15218
131	119	02-53	0206	男	U	24	0	206	632	680	206	1008	448	4177	16	15696
132	146	02-53	0207	男	U	14	4	922	170	632	129	1008	664	4177	14	15246
133	02	02-53	0207	男	U		254	265	628	688	1008	221	4183	26	15211	
134	117	02-53	0208	男	U	19	2	178	310	696	458	1008	480	4182	29	15289
135	02	02-53	0208	男	U	19	2	158	428	686	343	1008	317	4180	25	15651
136	20	02-53	0209	男	U		306	276	68	913	1036	175	4180	91	15296	
137	156	02-53	0208	男	U	2	8	545	471	184	2226	1008	451	4181	29	15295
138	02	02-53	0209	男	U	1	7	218	328	688	406	1008	421	4181	29	15218
139	02	02-53	0201	男	U		206	162	626	628	1008	424	4181	29	15278	
140	02	02-53	0203	男	U		223	183	644	121	1008	209	4180	29	15583	
141	02	02-53	0204	男	U	1	11	235	123	658	144	1008	353	4178	17	15305
142	146	02-53	0206	男	U	3	2	236	168	624	686	1008	665	4179	44	15271
143	90	02-53	0208	男	U	3	2	287	361	652	486	1008	448	4178	33	15288
144	02	02-53	0207	男	U		138	148	622	628	1008	176	4177	18	15279	
145	02	02-53	0208	男	U		115	999	611	625	1008	176	4178	48	15227	
146	90	02-53	0209	男	U	5	6	188	188	690	642	1008	448	4177	18	15622
147	02	02-53	0209	男	U	5	3	317	181	640	679	1008	367	4176	30	15196
148	146	02-53	0201	男	U	1	5	283	207	645	208	1008	299	4176	30	15170
149	20	02-53	0202	男	U	8	4	432	31	653	298	1008	229	4176	24	15246
150	02	02-53	0203	男	U		679	379	614	609	1008	329	4175	46	15327	
151	117	02-53	0204	男	U	2	1	209	137	647	636	1008	207	4176	29	15383
152	122	02-53	0205	男	U	21	4	697	697	636	614	1008	643	4175	22	15698
153	02	02-53	0206	男	U		673	380	628	608	1008	643	4175	16	15324	
154	02	02-53	0206	男	U		606	308	613	603	1008	643	4175	16	15324	
155	02	02-53	0207	男	U		333	214	636	627	1008	175	4175	32	15171	
156	146	02-53	0208	男	U	1	8	289	203	638	181	1008	384	4175	28	15182
157	90	02-53	0209	男	U	1	1	146	130	696	608	1008	465	4173	22	15171
158	117	02-53	0209	男	U	2	1	239	137	688	638	1008	207	4173	29	15383
159	90	02-53	0201	男	U	5	4	285	241	104	614	1008	427	4173	29	15191
160	117	02-53	0202	男	U	19	2	244	186	686	386	1008	167	4173	30	15181
161	117	02-53	0203	男	U	19	2	286	288	686	461	1008	165	4173	30	15170

No.	種別	工種	資格	性別	年齢	出生年月	籍貫	身長	体重	胸囲	腕囲	手廻り	歩数	下駄	靴底厚	
162	02	02-54	0204	男	U	21	1	148	180	640	120	1005	260	4173	15	15903
163	117	02-54	0206	男	U	2	3	331	240	650	104	1005	546	4173	16	15934
164	02	02-54	0207	男	U		383	221	683	487	1005	692	4173	18	15351	
165	02	02-54	0208	男	U		171	685	613	813	1006	289	4173	18	15349	
166	02	02-54	0208	男	U		188	139	657	661	1006	368	4173	18	15349	
167	02	02-54	0209	男	U	5	4	406	121	686	124	1005	260	4173	18	15311
168	02	02-54	0210	男	U		435	231	131	1252	1006	634	4178	17	15124	
169	02	02-54	0201	男	U	18	5	318	325</							

第51表 第1文化層石器一覽表(3)

序号	层位	编号	种类	产地	重量	长度	宽度	厚度	备注
01	32	0223-07	0208	Cr	1	0.90	0.64	0.21	0.02
02	142	0223-07	0209	Cr	1	2.92	2.63	0.50	0.25
03	142	0223-07	0210	Cr	1	1.64	0.79	0.28	0.18
04	32	0223-07	0211	Cr	1	3.69	3.98	0.80	0.39
05	32	0223-07	0212	Cr	1	1.17	0.90	0.21	0.08
06	32	0223-07	0213	Cr	1	0.26	0.41	0.24	0.08
07	32	0223-07	0214	Cr	1	4.61	3.72	0.87	0.37
08	32	0223-07	0215	Cr	1	2.44	1.98	0.37	0.07
09	32	0223-07	0216	Cr	1	0.82	0.55	0.08	0.04
10	32	0223-07	0217	Cr	1	1.35	1.15	0.28	0.11
11	32	0223-07	0218	Cr	1	0.83	0.62	0.17	0.07
12	32	0223-07	0219	Cr	1	1.26	1.05	0.13	0.07
13	32	0223-07	0220	Cr	1	1.87	1.45	0.28	0.14
14	34	0223-07	0221	Cr	1	2.41	2.47	0.41	0.20
15	32	0223-07	0222	Cr	1	1.50	1.53	0.30	0.07
16	32	0223-07	0223	Cr	1	1.03	1.08	0.58	0.07
17	32	0223-07	0224	Cr	1	2.26	2.10	0.44	0.25
18	32	0223-07	0225	Cr	1	5.33	2.32	1.82	0.72
19	32	0223-07	0226	Cr	1	1.83	1.59	0.45	0.07
20	32	0223-07	0227	Cr	1	2.17	1.45	0.41	0.07
21	32	0223-07	0228	Cr	1	1.82	1.45	0.31	0.08
22	32	0223-07	0229	Cr	1	1.14	1.43	0.55	0.07
23	32	0223-07	0230	Cr	1	1.90	1.82	0.51	0.32
24	32	0223-07	0231	Cr	1	2.05	2.05	0.42	0.07
25	32	0223-07	0232	Cr	1	1.88	2.27	0.33	0.07
26	32	0223-07	0233	Cr	1	3.64	3.75	0.85	0.27
27	32	0223-07	0234	Cr	1	3.62	2.78	0.65	0.31
28	142	0223-07	0235	Cr	1	2.71	2.18	0.42	0.30
29	349	0223-07	0236	Cr	1	4.32	4.31	1.35	0.81
30	32	0223-07	0237	Cr	1	3.49	4.63	1.53	1.03
31	32	0223-07	0238	Cr	1	1.17	1.39	0.19	0.12
32	32	0223-07	0239	Cr	1	1.19	1.11	0.29	0.12
33	32	0223-07	0240	Cr	1	0.69	0.59	0.12	0.07
34	32	0223-07	0241	Cr	1	1.28	0.98	0.28	0.14
35	32	0223-07	0242	Cr	1	1.28	0.83	0.27	0.13
36	32	0223-07	0243	Cr	1	1.27	1.45	0.33	0.42
37	32	0223-07	0244	Cr	1	1.27	1.45	0.33	0.42
38	135	0223-07	0245	Cr	1	1.35	1.43	0.48	0.18
39	32	0223-07	0246	Cr	1	0.75	0.60	0.12	0.07
40	136	0223-07	0247	Cr	1	3.38	3.65	0.62	0.30
41	32	0223-07	0248	Cr	1	4.28	2.46	0.52	0.26
42	135	0223-07	0249	Cr	1	3.68	4.02	1.81	0.51
43	32	0223-07	0250	Cr	1	1.45	1.04	0.52	0.07
44	32	0223-07	0251	Cr	1	1.61	1.82	0.38	0.62
45	32	0223-07	0252	Cr	1	1.81	1.20	0.24	0.30
46	349	0223-07	0253	Cr	1	3.67	2.92	0.85	0.31
47	32	0223-07	0254	Cr	1	3.62	3.03	0.60	0.24
48	32	0223-07	0255	Cr	1	5.26	4.04	0.34	0.20
49	32	0223-07	0256	Cr	1	2.25	2.31	0.28	0.50
50	349	0223-07	0257	Cr	1	4.21	5.19	1.38	0.47
51	32	0223-07	0258	Cr	1	1.81	1.51	0.18	0.25
52	172	0223-07	0259	Cr	1	1.40	2.62	0.50	0.18
53	32	0223-07	0260	Cr	1	1.75	1.47	0.07	0.32
54	32	0223-07	0261	Cr	1	1.95	1.71	0.27	0.39
55	32	0223-07	0262	Cr	1	1.73	2.49	0.34	0.42
56	32	0223-07	0263	Cr	1	2.05	1.59	0.37	0.14
57	125	0223-07	0264	Cr	1	3.4	4.45	1.74	0.30
58	142	0223-07	0265	Cr	1	2.92	2.29	0.55	0.28
59	32	0223-07	0266	Cr	1	3.54	2.18	1.14	0.46
60	32	0223-07	0267	Cr	1	5.10	2.21	0.85	0.39
61	136	0223-07	0268	Cr	1	2.46	1.65	0.67	0.36
62	32	0223-07	0269	Cr	1	1.82	1.17	0.23	0.25
63	32	0223-07	0270	Cr	1	1.82	1.12	0.52	0.46
64	32	0223-07	0271	Cr	1	2.37	2.67	0.42	0.35
65	32	0223-07	0272	Cr	1	4.19	1.88	0.61	0.31
66	32	0223-07	0273	Cr	1	0.94	1.27	0.28	0.22
67	31	0223-07	0274	Cr	1	3.62	3.71	1.18	0.49
68	32	0223-07	0275	Cr	1	2.07	1.81	0.27	0.39
69	31	0223-07	0276	Cr	1	1.99	1.65	0.78	0.30
70	32	0223-07	0277	Cr	1	2.31	1.12	0.46	0.07
71	32	0223-07	0278	Cr	1	1.80	2.29	0.54	0.18
72	32	0223-07	0279	Cr	1	0.68	1.56	0.25	0.22
73	135	0223-07	0280	Cr	1	2.09	0.97	0.34	0.37
74	32	0223-07	0281	Cr	1	2.61	2.36	0.68	0.27
75	142	0223-07	0282	Cr	1	2.58	2.68	0.72	0.39
76	32	0223-07	0283	Cr	1	0.67	0.69	0.13	0.06
77	32	0223-07	0284	Cr	1	2.23	2.27	0.31	0.26
78	32	0223-07	0285	Cr	1	1.15	0.79	0.09	0.07
79	32	0223-07	0286	Cr	1	1.21	0.94	0.15	0.15
80	32	0223-07	0287	Cr	1	2.23	1.91	0.38	0.27
81	32	0223-07	0288	Cr	1	0.19	0.52	0.30	0.27
82	32	0223-07	0289	Cr	1	0.68	0.87	0.11	0.07
83	32	0223-07	0290	Cr	1	2.61	0.64	0.21	0.12
84	32	0223-07	0291	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
85	32	0223-07	0292	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
86	32	0223-07	0293	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
87	32	0223-07	0294	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
88	32	0223-07	0295	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
89	32	0223-07	0296	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
90	32	0223-07	0297	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
91	32	0223-07	0298	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
92	32	0223-07	0299	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
93	32	0223-07	0300	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
94	32	0223-07	0301	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
95	32	0223-07	0302	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
96	32	0223-07	0303	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
97	32	0223-07	0304	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
98	32	0223-07	0305	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
99	32	0223-07	0306	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12
100	32	0223-07	0307	Cr	1	2.83	1.03	0.21	0.12

第53表 第1文化層石器一覽表(5)

No	分類	プロトタイプ	素材	形状	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	場所	土層	年代
07	02	0223-02-008	Cl	0A	1.46	0.51	0.23	10075.59	1163.47	1537	
08	02	0223-02-010	Cl	0A	0.46	0.60	0.03	10075.49	1163.23	1508	
09	39	0223-02-033	Cl	0B	2.11	2.23	0.56	2377.100853	1485.62	1535	
10	02	0223-02-039	Cl	0A	0.89	0.19	0.23	10098.20	1165.62	1524	
11	02	0223-02-039	Cl	0B	1.86	1.63	1.21	10098.82	1166.08	1524	
12	02	0223-02-039	Cl	0C	1.06	1.50	0.21	10076.73	1165.09	1522	
13	02	0223-02-039	Cl	0D	0.94	1.06	0.31	10094.03	1163.17	1528	
14	02	0223-02-039	Cl	0E	1.01	0.99	0.51	10094.03	1163.17	1528	
15	02	0223-02-039	Cl	0F	0.80	1.29	0.35	11016.13	1170.42	1695	
16	02	0223-02-039	Cl	0G	2.42	1.43	0.67	13097.84	1160.74	1529	
17	118	0223-02-040	Cl	23	1.20	0.94	0.42	10096.94	1167.01	1564	
18	02	0223-02-042	Cl	0C	1.20	1.27	0.35	10097.39	1167.29	1633	
19	41	0223-02-043	Cl	0A	0.62	0.36	0.21	10099.49	1167.63	1576	
20	02	0223-02-044	Cl	0A	1.12	1.15	0.38	10081.92	1167.26	1536	
21	02	0223-02-045	Cl	0A	1.63	1.43	0.68	10068.50	1167.84	1585	
22	05	0223-02-046	Cl	0A	8.5	1.27	0.25	10093.10	1167.45	1532	
23	02	0223-02-047	Cl	0A	0.61	0.61	0.27	10099.30	1167.63	1589	
24	02	0223-02-048	Cl	0A	0.81	1.05	0.25	10096.39	1167.95	1627	
25	02	0223-02-049	Cl	0A	3.20	1.78	0.54	10095.69	1167.19	1549	
26	02	0223-02-050	Cl	0A	1.82	1.94	0.37	10093.23	1167.19	1553	
27	02	0223-02-052	Cl	0A	1.52	1.84	0.21	10095.04	1167.60	1528	
28	02	0223-02-052	Cl	0B	3.25	0.64	0.33	10095.16	1167.30	1548	
29	139	0223-02-022	Cl	4	4.45	2.34	0.30	14009.367	1177.44	1558	
30	02	0223-02-025	Cl	0A	1.17	1.38	0.61	10083.57	1167.40	1522	
31	02	0223-02-028	Cl	0A	1.85	0.82	0.39	10093.67	1167.44	1516	
32	02	0223-02-028	Cl	0B	2.23	1.41	0.31	10093.52	1167.50	1525	
33	02	0223-02-028	Cl	0C	0.75	1.42	0.23	11002.72	1167.30	1629	
34	02	0223-02-028	Cl	0D	1.07	1.01	0.21	10093.80	1167.40	1625	
35	39	0223-02-029	Cl	0A	1.20	1.10	0.38	10086.82	1167.84	1572	
36	118	0223-02-030	Cl	4	3.71	3.33	1.17	13040.06	1170.04	1540	
37	02	0223-02-031	Cl	0A	2.40	1.34	0.57	12300.93	1168.03	1621	
38	02	0223-02-032	Cl	0A	1.34	1.35	0.35	10096.10	1167.90	1612	
39	02	0223-02-033	Cl	0A	6.14	1.94	1.52	16098.67	1167.85	1637	
40	02	0223-02-033	Cl	0B	0.80	0.65	0.67	10093.42	1167.48	1596	
41	02	0223-02-033	Cl	0C	1.17	1.58	0.78	11000.76	1167.80	1625	
42	02	0223-02-036	Cl	0A	1.97	1.15	0.47	10082.22	1167.57	1576	
43	02	0223-02-037	Cl	0A	1.04	1.82	0.31	10096.57	1167.45	1647	
44	139	0223-02-026	Cl	4	3.32	2.91	0.81	10093.67	1167.25	1616	
45	02	0223-02-029	Cl	0A	2.31	2.20	0.57	12009.48	1167.85	1625	
46	139	0223-02-041	Cl	4	4.14	2.82	1.08	14930.14	1168.30	1624	
47	02	0223-02-054	Cl	0A	1.66	1.30	0.45	10094.82	1168.73	1632	
48	02	0223-02-054	Cl	0B	3.40	0.94	0.73	10093.25	1167.70	1629	
49	02	0223-02-054	Cl	0C	1.42	1.12	0.27	10095.25	1167.70	1629	
50	02	0223-02-054	Cl	0D	1.30	1.22	0.48	10096.66	1167.82	1612	
51	02	0223-02-054	Cl	0E	1.60	1.60	0.52	10095.96	1167.93	1624	
52	02	0223-02-054	Cl	0F	0.85	0.80	0.38	10096.67	1167.93	1625	
53	02	0223-02-054	Cl	0G	1.45	1.46	0.50	10096.67	1167.93	1624	
54	02	0223-02-054	Cl	0H	1.64	0.64	0.65	10094.87	1167.20	1624	
55	02	0223-02-054	Cl	0I	1.85	0.82	0.43	10095.85	1167.95	1647	
56	02	0223-02-054	Cl	0J	1.11	0.77	0.20	10100.74	1168.54	1652	
57	139	0223-02-049	Cl	4	3.12	2.70	0.81	10096.67	1167.47	1639	
58	02	0223-02-052	Cl	0A	1.40	1.47	0.38	10094.80	1167.65	1615	
59	02	0223-02-053	Cl	0A	1.21	1.02	0.18	10095.74	1167.18	1605	
60	02	0223-02-053	Cl	0B	2.07	1.38	0.37	10094.80	1167.18	1607	
61	02	0223-02-053	Cl	0C	1.14	0.80	0.21	10100.76	1167.74	1647	
62	02	0223-02-053	Cl	0D	1.74	2.16	0.45	10096.67	1167.74	1639	
63	02	0223-02-056	Cl	0A	1.62	0.81	0.69	10096.87	1167.40	1617	
64	02	0223-02-056	Cl	0B	0.89	0.94	0.58	10092.67	1167.40	1615	
65	02	0223-02-057	Cl	0A	1.40	1.27	0.22	10099.67	1167.48	1615	
66	02	0223-02-057	Cl	0B	0.93	1.27	0.22	10100.87	1167.48	1642	
67	02	0223-02-057	Cl	0C	1.40	0.97	0.19	10094.80	1167.64	1642	
68	02	0223-02-058	Cl	0A	1.00	1.25	0.31	10096.69	1167.86	1620	
69	95	0223-02-099	Cl	6	2.37	2.20	1.21	3339.886	1167.91	1631	
70	02	0223-02-096	Cl	0A	1.20	1.13	0.29	10098.66	1167.90	1623	
71	02	0223-02-091	Cl	0A	1.28	1.25	0.56	2977.0098	1167.54	1630	
72	02	0223-02-091	Cl	0B	1.20	1.23	0.32	10096.87	1167.59	1632	
73	165	0223-02-091	Cl	6	1.90	2.05	0.54	2427.00962	1167.30	1640	
74	02	0223-02-093	Cl	0A	1.45	0.88	0.25	10100.85	1167.36	1614	
75	39	0223-02-020	Cl	6	0.93	0.92	0.20	10100.85	1167.36	1614	
76	02	0223-02-094	Cl	0A	1.00	0.97	0.47	10097.98	1167.98	1618	
77	02	0223-02-095	Cl	0A	1.62	1.40	0.36	10097.98	1167.98	1616	
78	02	0223-02-095	Cl	0B	1.89	2.34	0.57	4429.0083	1167.93	1632	
79	02	0223-02-095	Cl	0C	1.2	1.23	0.32	10096.87	1167.93	1632	
80	02	0223-02-095	Cl	0D	1.32	0.92	0.27	10098.82	1167.79	1630	
81	86	0223-02-095	Cl	3	1.63	1.65	1.20	6168.1009	1167.36	1625	
82	41	0223-02-011	Cl	6	4.73	3.24	1.58	15340.0096	1167.67	1653	
83	02	0223-02-091	Cl	0A	0.65	1.08	0.37	10098.28	1167.54	1639	
84	02	0223-02-093	Cl	0A	1.09	1.14	0.40	10097.98	1167.50	1635	
85	02	0223-02-093	Cl	0B	1.26	1.23	0.28	10099.26	1167.91	1639	
86	02	0223-02-093	Cl	0C	1.38	1.19	0.47	10094.92	1167.50	1636	
87	02	0223-02-093	Cl	0D	0.68	0.54	0.14	10097.98	1167.50	1636	
88	02	0223-02-093	Cl	0E	0.98	2.32	0.43	4803.0097	1167.50	1631	
89	02	0223-02-093	Cl	0F	1.01	1.41	0.47	10097.98	1167.50	1636	
90	02	0223-02-093	Cl	0G	1.06	1.24	0.33	10097.98	1167.50	1636	
91	02	0223-02-093	Cl	0H	0.88	1.04	0.28	10097.98	1167.50	1636	
92	02	0223-02-093	Cl	0I	0.65	1.27	0.21	10097.98	1167.50	1636	
93	02	0223-02-093	Cl	0J	1.30	1.19	0.41	10097.98	1167.50	1636	
94	02	0223-02-093	Cl	0K	1.32	1.04	0.27	10097.98	1167.50	1636	
95	02	0223-02-093	Cl	0L	1.32	1.19	0.47	10097.98	1167.50	1636	
96	02	0223-02-093	Cl	0M	1.11	1.18	0.31	10097.98	1167.50	1636	
97	02	0223-02-093	Cl	0N	0.88	1.18	0.21	10097.98	1167.50	1636	
98	02	0223-02-093	Cl	0O	0.88	1.18	0.21	10097.98	1167.50	1636	
99	02	0223-02-093	Cl	0P	0.88	1.18	0.21	10097.98	1167.50	1636	
100	02	0223-02-093	Cl	0Q	0.88	1.18	0.21	10097.98	1167.50	1636	

No	分類	プロトタイプ	素材	形状	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	場所	土層	年代
101	39	0223-02-017	Cl	6	3.14	2.11	1.00	5380.100682	1167.23	1537	
102	02	0223-02-018	Cl	0A	0.81	0.90	0.21	10099.62	1167.23	1537	
103	95	0223-02-019	Cl	6	4	4.15	3.09	1605.3089	1167.54	1610	
104	02	0223-02-020	Cl	0A	4	3.37	3.12	1334.100894	1167.36	1616	
105	02	0223-02-021	Cl	0A	10.37	1.18	0.17	11030.96	1167.23	1521	
106	02	0223-02-021	Cl	0B	1.76	1.96	0.33	10094.03	1167.23	1521	
107	02	0223-02-021	Cl	0C	0.92	0.84	0.21	10093.84	1167.23	1521	
108	02	0223-02-021	Cl	0D	3.47	1.44	0.46	2005.100349	1166.54	1646	
109	40	0223-02-022	Cl	6	4.46	3.96	1.58	13725.200127	1166.49	1635	
110	02	0223-02-023	Cl	0A	0.87	1.06	0.38	10097.24	1166.80	1645	
111	02	0223-02-023	Cl	0B	2.89	1.27	0.25	10096.94	1167.20	1642	
112	02	0223-02-027	Cl	0A	1.33	0.99	0.39	10097.39	1167.03	1626	
113	02	0223-02-028	Cl	0							

第54表 第1文化層系一覧表(C)

フロ 番号	プラン 番号	部屋 番号	用途	延床 面積	専有 面積	延床 面積	専有 面積	延床 面積	専有 面積	延床 面積	専有 面積
96	0224-01-0272	Fl	Da	2.78	3.00	0.82	4.85	<0.00-00.03>	1147.640	1633.18	
96	0224-01-0273	Fl	Da	1.54	1.86	0.52	1.15	<0.00-00.06>	1147.267	1632.61	
96	0224-01-0274	Fl	Da	0.99	0.71	0.25	0.11	<0.00-00.12>	1147.247	1633.18	
96	0224-01-0275	Fl	Da	0.39	0.91	0.29	0.07	<0.00-00.12>	1147.247	1633.18	
96	0224-01-0276	Fl	Da	0.79	0.51	0.17	0.07	<0.00-00.10>	1147.247	1633.18	
96	0224-01-0277	Fl	Da	1.37	1.16	0.53	0.16	<0.00-00.16>	1147.232	1633.18	
96	0224-01-0278	Fl	Da	1.04	0.25	0.18	0.06	<0.00-00.04>	1147.232	1633.18	
96	0224-01-0279	Fl	Da	1.19	1.87	0.56	1.85	<0.00-00.23>	1147.284	1632.61	
96	0224-01-0277	Fl	Da	2.21	1.25	1.27	1.06	<0.00-00.53>	1147.571	1636.77	
96	0224-01-0278	Fl	Da	2.26	3.29	1.27	5.94	<0.00-00.38>	1147.471	1636.99	
96	0224-01-0279	Fl	Da	1.34	1.27	0.18	0.22	<0.00-00.92>	1147.386	1641.14	
96	0224-01-0279	Fl	Da	1.68	1.27	0.34	0.22	<0.00-00.18>	1147.391	1646.07	
96	0224-01-0280	Fl	Da	2.09	1.90	0.41	0.26	<0.00-00.21>	1147.395	1646.49	
96	0224-01-0281	Fl	Da	0.98	0.52	0.11	0.04	<0.00-00.20>	1147.362	1645.68	
96	0224-01-0281	Fl	Da	0.71	0.44	0.14	0.04	<0.00-00.20>	1147.362	1646.07	
96	0224-01-0282	Fl	Da	1.02	0.89	0.11	0.17	<0.00-00.41>	1147.356	1645.15	
96	0224-01-0283	Fl	Da	1.57	1.07	0.40	0.32	<0.00-00.56>	1147.602	1639.95	
96	0224-01-0284	Fl	Da	3.32	2.29	1.28	1.10	<0.00-00.93>	1147.376	1632.17	
96	0224-01-0285	Fl	Da	1.99	1.20	0.27	2.13	<0.00-00.83>	1147.752	1632.17	
96	0224-01-0286	Fl	Da	0.11	0.06	0.12	0.11	<0.00-00.83>	1147.752	1632.17	
96	0224-01-0287	Fl	Da	0.33	0.71	0.10	0.02	<0.00-00.83>	1147.752	1632.17	
96	0224-01-0288	Fl	Da	1.28	1.81	0.70	2.33	<0.00-00.32>	1147.752	1640.02	
96	0224-01-0289	Fl	Da	2.62	2.17	0.47	0.20	<0.00-00.126>	1147.863	1652.11	
96	0224-01-0290	Fl	Da	0.94	1.00	0.32	0.77	<0.00-00.295>	1147.810	1649.83	
96	0224-01-0291	Fl	Da	1.27	0.74	0.22	0.11	<0.00-00.295>	1147.810	1649.83	
96	0224-01-0292	Fl	Da	1.43	1.12	0.26	0.16	<0.00-00.329>	1147.810	1649.83	
96	0224-01-0293	Fl	Da	0.78	0.6	0.17	0.03	<0.00-00.295>	1147.810	1649.83	
96	0224-01-0294	Fl	Da	3.91	2.07	0.38	2.74	<0.00-01.07>	1147.964	1626.95	
96	0224-01-0295	Fl	Da	2.19	1.28	0.67	1.41	<0.00-00.87>	1147.964	1626.95	
96	0224-01-0296	Fl	Da	0.64	0.31	0.16	0.10	<0.00-01.33>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0297	Fl	Da	0.26	0.31	0.09	0.29	1.33	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0298	Fl	Da	2.63	1.48	0.53	0.33	<0.00-01.12>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0299	Fl	Da	0.39	0.82	0.15	0.05	<0.00-00.122>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0300	Fl	Da	0.45	0.42	0.01	0.01	<0.00-00.122>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0301	Fl	Da	2.15	1.57	0.55	1.68	<0.00-00.96>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0302	Fl	Da	1.06	1.80	0.22	0.18	<0.00-00.145>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0303	Fl	Da	0.68	0.80	0.15	0.04	<0.00-00.145>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0304	Fl	Da	0.51	0.52	0.11	0.09	<0.00-00.145>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0305	Fl	Da	1.79	1.94	0.32	0.44	<0.00-00.444>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0306	Fl	Da	1.32	1.10	0.47	0.28	<0.00-00.729>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0307	Fl	Da	0.45	0.48	0.32	0.06	<0.00-00.729>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0308	Fl	Da	2.19	2.25	0.61	1.82	<0.00-02.103>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0309	Fl	Da	0.49	0.16	0.29	0.07	<0.00-00.220>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0310	Fl	Da	1.16	1.46	0.34	0.06	<0.00-00.269>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0311	Fl	Da	0.95	0.60	0.23	0.11	<0.00-00.559>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0312	Fl	Da	1.39	0.89	0.29	0.16	<0.00-00.559>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0313	Fl	Da	0.57	0.67	0.11	0.28	<0.00-00.295>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0314	Fl	Da	1.02	1.07	0.52	0.14	<0.00-00.519>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0315	Fl	Da	1.06	1.60	0.16	0.07	<0.00-00.519>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0316	Fl	Da	0.75	0.73	0.10	0.05	<0.00-00.519>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0317	Fl	Da	1.22	1.51	0.51	0.57	<0.00-00.521>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0318	Fl	Da	1.13	2.82	0.43	1.13	<0.00-00.959>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0319	Fl	Da	0.05	0.98	0.20	0.12	<0.00-00.332>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0320	Fl	Da	1.89	1.30	0.28	0.74	<0.00-00.962>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0321	Fl	Da	1.17	1.43	0.52	1.15	<0.00-00.145>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0322	Fl	Da	0.86	0.83	0.22	0.13	<0.00-00.914>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0323	Fl	Da	0.67	0.78	0.14	0.10	<0.00-00.914>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0324	Fl	Da	1.16	1.89	0.19	0.19	<0.00-00.323>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0325	Fl	Da	0.95	1.28	0.32	0.16	<0.00-00.303>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0326	Fl	Da	0.90	0.77	0.17	0.06	<0.00-00.303>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0327	Fl	Da	1.87	0.80	0.26	0.74	<0.00-00.962>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0328	Fl	Da	0.97	0.45	0.18	0.06	<0.00-00.303>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0329	Fl	Da	0.54	0.48	0.19	0.04	<0.00-00.303>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0330	Fl	Da	1.51	0.61	0.68	0.31	<0.00-00.295>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0331	Fl	Da	2.61	2.85	0.67	1.57	<0.00-00.332>	1147.956	1625.27	
96	0224-01-0332	Fl	Da	1.99	0.83	0.17	0.07	<0.00-04.44>	1147.956	1627.27	
96	0224-01-0333	Fl	Da	0.77	0.19	0.20	0.11	<0.00-00.82>	1147.956	1632.35	
96	0224-01-0334	Fl	Da	0.77	0.52	0.18	0.09	<0.00-04.44>	1147.956	1632.35	
96	0224-01-0335	Fl	Da	0.16	0.83	0.11	0.03	<0.00-00.443>	1147.956	1632.35	
96	0224-01-0336	Fl	Da	0.68	0.68	0.68	0.67	<0.00-00.443>	1147.956	1632.35	
96	0224-01-0337	Fl	Da	0.48	0.52	0.38	0.07	<0.00-00.443>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0228	C	Da	0.76	0.72	0.15	0.01	<0.00-00.900>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0229	C	Da	0.43	0.52	0.05	0.01	<0.00-00.900>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0230	C	Da	1.18	0.53	0.34	0.21	<0.00-00.902>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0231	C	Da	0.76	0.47	0.38	0.12	<0.00-00.902>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0232	C	Da	0.62	0.85	0.18	0.07	<0.00-00.902>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0233	C	Da	1.36	1.70	1.25	2.25	<0.00-00.907>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0234	C	Da	0.87	0.87	0.18	0.04	<0.00-00.907>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0235	C	Da	1.10	1.00	0.28	0.17	<0.00-00.908>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0236	C	Da	1.74	1.74	0.41	0.10	<0.00-00.905>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0237	C	Da	0.61	0.64	0.11	0.02	<0.00-00.904>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0238	C	Da	1.62	2.30	0.65	1.06	<0.00-00.873>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0239	C	Da	3.4	3.50	0.70	4.80	<0.00-00.182>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0240	C	Da	1.99	1.99	0.22	0.21	<0.00-00.799>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0241	C	Da	1.68	1.24	0.27	0.54	<0.00-00.904>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0242	C	Da	2.84	2.94	0.52	2.08	<0.00-00.915>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0243	C	Da	2.09	2.60	0.80	1.84	<0.00-00.182>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0244	C	Da	1.77	1.62	1.10	1.52	<0.00-00.070>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0245	C	Da	0.77	0.88	0.57	0.22	<0.00-00.070>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0246	C	Da	1.89	1.40	0.75	1.64	<0.00-00.205>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0247	C	Da	0.95	0.98	0.43	0.16	<0.00-00.205>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0248	C	Da	0.82	0.59	1.52	0.19	<0.00-00.752>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0249	C	Da	0.24	0.39	0.42	1.56	<0.00-00.645>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0250	C	Da	2.11	3.22	1.23	1.49	<0.00-00.904>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0251	C	Da	5.54	3.17	1.16	1.48	<0.00-00.925>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0252	C	Da	0.76	1.58	0.68	0.71	<0.00-00.949>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0253	C	Da	2.14	1.17	0.43	1.20	<0.00-00.315>	1147.956	1632.35	
96	0224-02-0254	C	Da	4.48	2.48	0.80	0.72	<0.00-00.760>	1147.956	1	

第55表 第1文化層石器一覧表(7)

品目	フリット	種別	用途	回数	最大径	最大幅	厚さ	重量	大橋	Y直径	標高	
09-38	CC2277-0008	Fl	Fl	10	1.27	0.88	0.20	0.15	1000-700	1488.281	16.671	
09-38	CC2277-0103	Fl	Fl	10	1.47	1.00	0.49	0.31	1001-210	1488.428	16.286	
09-38	CC2277-0210	Fl	Fl	10	1.65	2.63	0.47	1.77	1001-613	1488.860	16.774	
09-38	CC2277-0212	Fl	Fl	10	1.71	1.85	0.67	0.66	1001-701	1488.851	16.471	
09-43	CC2277-0019	Fl	Fl	10	3.25	1.94	0.67	4.56	1001-983	1488.952	16.425	
09-38	CC2277-0213	Fl	Fl	10	3.71	2.86	1.53	10.34	1001-307	1487.643	16.364	
09-38	CC2277-0214	Fl	Fl	10	5	2.14	0.57	0.26	612-381	1487.517	14.89804	16.322
09-38	CC2277-0215	Fl	Fl	10	1.75	1.49	0.34	0.86	1001-307	1489.174	16.462	
09-38	CC2277-0216	Fl	Fl	10	1.96	2.78	0.48	0.84	1001-803	1489.152	16.359	
09-38	CC2277-0217	Fl	Fl	10	2.36	3.28	1.15	3.19	1001-919	1489.207	16.372	
09-38	CC2277-0218	Fl	Fl	10	1.97	1.58	0.25	0.67	1001-701	1488.673	16.446	
09-38	CC2277-0219	Fl	Fl	10	2.57	1.84	0.62	0.58	1001-603	1488.872	16.463	
09-38	CC2277-0220	Fl	Fl	10	1.77	1.27	0.24	0.36	1001-803	1488.875	16.463	
09-38	CC2277-0221	Fl	Fl	10	0.52	0.31	0.15	0.06	1001-603	1488.790	16.375	
09-38	CC2277-0222	Fl	Fl	10	0.81	0.69	0.11	0.04	1001-803	1488.567	16.627	
09-38	CC2277-0223	Fl	Fl	10	0.74	0.48	0.19	0.06	1001-803	1488.567	16.627	
09-38	CC2277-0224	Fl	Fl	10	1.57	1.52	0.30	0.82	1002-064	1486.280	16.335	
09-38	CC2277-0225	Fl	Fl	10	1.96	1.14	0.46	0.33	1001-701	1486.453	16.335	
09-38	CC2277-0226	Fl	Fl	3	4.62	1.75	1.17	6.17	1002-502	1486.914	16.614	
09-38	CC2277-0227	Fl	Fl	9	1.48	1.75	0.72	1.33	1002-300	1486.236	16.443	
09-38	CC2277-0228	Fl	Fl	9	1.22	1.22	0.32	0.55	1002-300	1486.236	16.443	
09-38	CC2277-0229	Fl	Fl	9	1.30	1.37	0.44	0.56	1002-314	1485.802	16.688	
09-38	CC2277-0230	Fl	Fl	9	0.81	1.23	0.42	0.58	1002-300	1486.023	16.308	
09-38	CC2277-0231	Fl	Fl	9	2.92	2.08	0.49	1.21	1002-306	1486.713	16.476	
09-38	CC2277-0232	Fl	Fl	9	1.95	2.17	1.53	7.04	1002-300	1486.713	16.443	
09-38	CC2277-0233	Fl	Fl	9	1.95	1.47	0.90	2.21	1002-307	1487.137	16.263	
09-38	CC2277-0234	Fl	Fl	9	2.34	1.29	0.48	1.29	1002-312	1487.252	16.417	
09-38	CC2277-0235	Fl	Fl	9	1.15	0.97	0.54	0.31	1002-372	1487.252	16.417	
09-38	CC2277-0236	Fl	Fl	9	1.45	0.94	0.37	0.40	1002-388	1487.153	16.425	
09-38	CC2277-0237	Fl	Fl	9	0.87	1.22	0.43	0.37	1002-388	1487.354	16.515	
09-38	CC2277-0238	Fl	Fl	9	2.48	1.13	0.48	1.02	1002-384	1487.819	16.315	
09-38	CC2277-0239	Fl	Fl	9	1.69	1.69	0.48	1.18	1002-388	1487.916	16.320	
09-38	CC2277-0240	Fl	Fl	9	2.04	1.20	0.38	0.89	1002-388	1487.736	16.250	
09-38	CC2277-0241	Fl	Fl	9	4.43	1.98	1.13	2.20	1002-392	1487.949	16.458	
09-38	CC2277-0242	Fl	Fl	9	2.26	2.11	0.65	3.75	1002-387	1486.180	16.254	
09-38	CC2277-0243	Fl	Fl	9	3.29	2.22	0.81	0.84	1002-317	1486.149	16.277	
09-38	CC2277-0244	Fl	Fl	9	1.26	1.28	0.50	1.00	1002-367	1486.390	16.431	
09-38	CC2277-0245	Fl	Fl	9	0.38	0.80	0.20	0.12	1002-367	1486.390	16.431	
09-38	CC2277-0246	Fl	Fl	9	2.87	2.17	1.50	3.49	1002-325	1486.575	16.309	
09-38	CC2277-0247	Fl	Fl	9	0.86	1.30	0.36	0.31	1002-326	1486.575	16.290	
09-38	CC2277-0248	Fl	Fl	9	1.22	1.01	0.23	0.18	1002-325	1486.776	16.274	
09-38	CC2277-0249	Fl	Fl	9	1.98	5.53	1.31	7.88	1002-370	1486.713	16.313	
09-38	CC2277-0250	Fl	Fl	9	0.94	0.80	2.86	3.59	1002-348	1486.872	16.434	
09-38	CC2277-0251	Fl	Fl	9	1.38	0.68	0.22	0.18	1002-337	1486.872	16.429	
09-38	CC2277-0252	Fl	Fl	9	0.83	1.26	0.18	0.17	1002-337	1486.872	16.429	
09-38	CC2277-0253	Fl	Fl	9	1.07	1.07	0.24	0.11	1002-337	1486.872	16.292	
09-38	CC2277-0254	Fl	Fl	9	4.46	4.40	1.58	35.58	1002-616	1486.874	16.377	
09-38	CC2277-0255	Fl	Fl	9	2.57	1.81	0.63	1.58	1002-526	1486.891	16.308	
09-38	CC2277-0256	Fl	Fl	9	1.19	1.26	0.21	0.29	1002-627	1487.223	16.205	
09-38	CC2277-0257	Fl	Fl	9	1.87	0.87	0.29	0.48	1002-629	1487.152	16.396	
09-38	CC2277-0258	Fl	Fl	10	1.26	2.64	0.98	6.37	1002-337	1487.673	16.248	
09-38	CC2277-0259	Fl	Fl	10	1.96	1.90	0.32	0.87	1002-627	1487.676	16.268	
09-38	CC2277-0260	Fl	Fl	10	2.07	0.92	0.45	0.82	1002-626	1486.512	16.208	
09-38	CC2277-0261	Fl	Fl	10	0.86	0.58	0.28	0.15	1002-627	1486.512	16.208	
09-38	CC2277-0262	Fl	Fl	10	0.73	0.70	0.21	0.19	1002-627	1486.512	16.208	
09-38	CC2277-0263	Fl	Fl	10	0.97	0.84	0.33	0.27	1002-200	1486.628	16.246	
09-38	CC2277-0264	Fl	Fl	10	0.87	0.93	0.31	0.31	1002-427	1486.294	16.238	
09-38	CC2277-0265	Fl	Fl	10	1.19	1.07	0.24	0.36	1002-200	1486.738	16.238	
09-38	CC2277-0266	Fl	Fl	10	0.78	1.16	0.30	0.28	1002-290	1486.801	16.230	
09-38	CC2277-0267	Fl	Fl	10	0.65	0.57	0.12	0.07	1002-790	1486.801	16.230	
09-38	CC2277-0268	Fl	Fl	10	0.79	2.79	1.27	1.28	1002-309	1486.778	16.195	
09-38	CC2277-0269	Fl	Fl	10	3.27	2.36	0.87	4.08	1002-230	1486.840	16.227	
09-38	CC2277-0270	Fl	Fl	10	0.90	0.90	0.34	0.31	1002-592	1486.672	16.188	
09-38	CC2277-0271	Fl	Fl	10	0.89	0.74	0.15	0.06	1002-387	1486.623	16.212	
09-38	CC2277-0272	Fl	Fl	10	1.17	0.91	0.24	0.24	1002-386	1486.623	16.212	
09-38	CC2277-0273	Fl	Fl	10	1.94	0.85	0.46	0.85	1002-386	1486.623	16.212	
09-38	CC2277-0274	Fl	Fl	10	0.78	0.29	0.24	0.06	1002-386	1486.623	16.212	
09-38	CC2277-0275	Fl	Fl	10	1.47	0.99	0.36	0.34	1002-386	1486.623	16.212	
09-38	CC2277-0276	Fl	Fl	10	0.62	0.38	0.25	0.05	1002-386	1486.623	16.212	
09-38	CC2277-0277	Fl	Fl	10	0.67	0.58	0.18	0.14	1002-386	1486.623	16.212	
09-38	CC2277-0278	Fl	Fl	10	2.00	2.90	0.73	2.84	1002-382	1487.730	16.208	
09-38	CC2277-0279	Fl	Fl	10	0.61	0.45	0.14	0.12	1002-790	1487.818	16.244	
09-38	CC2277-0280	Fl	Fl	10	1.29	2.14	0.64	1.81	1003-234	1487.818	16.170	
09-38	CC2277-0281	Fl	Fl	10	3.94	2.96	0.97	8.29	1002-122	1487.803	16.790	
09-38	CC2277-0282	Fl	Fl	10	1.94	0.80	0.46	0.36	1002-320	1488.253	16.345	
09-38	CC2277-0283	Fl	Fl	10	0.60	0.24	0.18	0.11	1002-320	1487.302	16.221	
09-38	CC2277-0284	Fl	Fl	10	1.54	1.08	0.38	1.00	1003-380	1486.918	16.308	
09-38	CC2277-0285	Fl	Fl	10	0.78	1.17	0.46	0.32	1003-317	1487.820	16.423	
09-38	CC2277-0286	Fl	Fl	10	2.46	1.82	0.50	1.27	1003-253	1486.127	16.882	
09-38	CC2277-0287	Fl	Fl	10	2.31	2.80	0.83	2.29	1002-343	1486.390	16.322	
09-38	CC2277-0288	Fl	Fl	10	4.24	2.91	1.50	6.37	1002-230	1486.253	16.320	
09-38	CC2277-0289	Fl	Fl	10	1.00	0.81	0.18	0.07	1002-320	1486.253	16.320	
09-38	CC2277-0290	Fl	Fl	7	4.22	1.37	0.61	1.84	1002-230	1486.452	16.215	
09-38	CC2277-0291	Fl	Fl	8	4.94	1.38	0.22	0.25	1002-230	1486.452	16.215	
09-38	CC2277-0292	Fl	Fl	10	0.62	0.18	0.24	0.04	1002-386	1486.950	16.274	
09-38	CC2277-0293	Fl	Fl	10	2.92	1.18	0.24	0.48	1002-386	1486.950	16.274	

品目	フリット	種別	用途	回数	最大径	最大幅	厚さ	重量	大橋	Y直径	標高	
09-38	CC2277-0294	Fl	Fl	10	3.91	1.83	0.63	2.86	1002-980	1486.280	16.274	
09-38	CC2277-0295	Fl	Fl	10	1.78	1.21	0.32	0.52	1002-985	1486.280	16.221	
09-38	CC2277-0296	Fl	Fl	10	1.55	1.09	0.34	0.57	1002-929	1486.280	16.224	
09-38	CC2277-0297	Fl	Fl	10	9	3.79	2.39	0.90	6.29	1002-920	1486.280	16.214
09-38	CC2277-0298	Fl	Fl	10	2.47	1.65	0.55	1.41	1002-775	1486.280	16.239	
09-38	CC2277-0299	Fl	Fl	10	1.17	0.68	0.30	0.10	1002-243	1486.038	16.133	
09-38	CC2277-0300	Fl	Fl	10	0.17	0.38	0.18	0.04	1002-243	1486.038	16.133	
09-38	CC2277-0301	Fl	Fl	10	4	1.81	1.28	0.35	0.80	1002-255	1486.038	16.200
09-38	CC2277-0302	Fl	Fl	10	0.38	1.01	0.25	0.05	1001-203	1486.273	16.577	
09-38	CC2277-0303	Fl	Fl	10	1.23	0.77	0.18	0.14	1003-130	1486.038	16.576	
09-38	CC2277-0304	Fl	Fl	10	1.96	1.13	0.32	0.85	1002-220	1486.215	16.519	
09-38	CC2277-0305	Fl	Fl	10	1.85	2.01	0.85	1.62	1002-220	1486.215	16.519	
09-38	CC2277-0306	Fl	Fl	10	0.82	0.94	0.22	0.17	1004-200			

第57表 第1文化層石器一覧表(9)

ブタ	グロ	種別	用途	素材	長さ	幅	重量	特徴	備考	
15	176	CC24	002	Fl	1	7	3.83	2.95	4.71	1000
15	175	CC24	003	Fl	1	5	3.84	3.64	4.44	1531
15	176	CC24	004	Fl	1	7	3.44	2.39	4.08	1903
15	175	CC24	005	Fl	1	5	4.60	4.47	5.14	1000
15	176	CC24	006	Fl	1	7	4.80	3.51	6.14	1903
15	176	CC24	007	Fl	1	7	4.28	4.65	5.18	1000
87	187	CC24	008	Fl	1	13	1.22	1.72	0.72	802
15	803	04	009	Fl	2	3	1.20	1.55	0.65	803
15	803	04	010	Fl	2	3	0.87	0.81	0.64	1011
15	803	04	011	Fl	2	3	1.28	0.72	0.22	1012
15	803	04	012	Fl	2	3	2.07	1.98	0.63	1309
15	803	04	013	Fl	2	3	2.60	1.90	0.78	1310
15	803	04	014	Fl	2	3	1.62	1.07	0.66	1311
15	803	04	015	Fl	2	3	0.80	1.32	0.13	1312
15	803	04	016	Fl	2	3	1.53	2.05	0.63	236
15	803	04	017	Fl	2	3	2.39	1.90	0.43	239
15	803	04	018	Fl	2	3	1.16	1.24	0.22	238
58	803	04	019	Fl	2	3	2.31	2.12	0.71	101
58	803	04	020	Fl	2	3	1.23	1.90	0.48	102
58	803	04	021	Fl	2	3	0.25	0.87	0.13	103
58	803	04	022	Fl	2	3	4.96	1.16	0.86	278
58	803	04	023	Fl	2	3	3.33	3.24	0.54	517
58	803	04	024	Fl	2	3	1.54	0.82	0.27	303
58	803	04	025	Fl	2	3	1.52	1.74	0.33	304
58	803	04	026	Fl	2	3	1.42	1.63	0.33	305
58	803	04	027	Fl	2	3	3.14	2.60	0.75	306
58	803	04	028	Fl	2	3	2.23	1.77	0.66	445
58	803	04	029	Fl	2	3	3.59	2.42	0.87	518
58	803	04	030	Fl	2	3	0.60	0.67	0.27	614
58	803	04	031	Fl	2	3	0.89	0.43	0.17	604
58	803	04	032	Fl	2	3	0.77	0.32	0.11	605
58	803	04	033	Fl	2	3	1.02	1.03	0.11	606
58	803	04	034	Fl	2	3	2.20	1.90	0.75	185
58	803	04	035	Fl	2	3	1.94	1.48	0.76	186
122	803	04	036	Fl	2	3	6.12	4.73	2.96	5653
15	803	04	037	Fl	2	3	1.63	1.63	0.68	117
15	803	04	038	Fl	2	3	1.86	1.52	0.93	117
15	803	04	039	Fl	2	3	0.95	0.70	0.28	107
15	803	04	040	Fl	2	3	0.54	0.40	0.02	108
122	803	04	041	Fl	2	3	2.38	4.75	1.98	1179
15	803	04	042	Fl	2	3	1.17	0.72	0.36	119
15	803	04	043	Fl	2	3	1.57	1.13	0.55	120
15	803	04	044	Fl	2	3	6.46	5.59	0.17	607
15	803	04	045	Fl	2	3	1.32	1.17	0.34	608
15	803	04	046	Fl	2	3	1.52	0.67	0.14	609
15	803	04	047	Fl	2	3	0.81	0.47	0.19	610
15	803	04	048	Fl	2	3	1.33	0.73	0.15	611
15	803	04	049	Fl	2	3	1.22	1.63	0.37	612
15	803	04	050	Fl	2	3	0.79	0.73	0.18	613
58	803	04	051	Fl	2	3	3.10	3.08	0.72	101
15	803	04	052	Fl	2	3	4.07	2.30	0.77	789
82	803	04	053	Fl	2	4	5.97	3.98	1.76	3132
58	803	04	054	Fl	2	4	1.49	1.20	0.64	106
15	803	04	055	Fl	2	4	2.00	2.83	0.39	1867
15	803	04	056	Fl	2	4	2.24	1.59	0.54	105
15	803	04	057	Fl	2	4	2.01	2.04	0.24	079
15	803	04	058	Fl	2	4	1.37	1.27	0.38	062
15	803	04	059	Fl	2	4	2.87	2.32	1.46	1018
11	803	04	060	Fl	2	4	1.81	1.77	0.76	226
58	803	04	061	Fl	2	4	2.96	2.79	0.68	1070
15	803	04	062	Fl	2	4	1.50	2.20	0.38	077
15	803	04	063	Fl	2	4	0.89	0.75	0.27	051
15	803	04	064	Fl	2	4	1.86	1.43	0.37	139
58	803	04	065	Fl	2	4	1.58	2.60	0.27	106
15	803	04	066	Fl	2	4	0.63	1.27	0.14	023
58	803	04	067	Fl	2	4	3.09	2.80	0.72	101
15	803	04	068	Fl	2	4	1.53	1.11	0.31	072
15	803	04	069	Fl	2	4	1.16	1.25	0.17	016
15	803	04	070	Fl	2	4	2.46	1.21	0.51	121
15	803	04	071	Fl	2	4	1.65	1.38	0.48	062
15	803	04	072	Fl	2	4	1.02	1.30	0.42	062
15	803	04	073	Fl	2	4	1.67	3.31	2.52	188
15	803	04	074	Fl	2	4	1.81	2.42	0.60	139
15	803	04	075	Fl	2	4	2.55	1.91	0.76	126
15	803	04	076	Fl	2	4	1.04	1.13	0.28	031
15	803	04	077	Fl	2	4	0.58	0.77	0.03	005
15	803	04	078	Fl	2	4	2.11	1.61	0.61	103
58	803	04	079	Fl	2	4	0.75	0.80	0.28	106
58	803	04	080	Fl	2	4	3.08	1.62	0.76	232
15	803	04	081	Fl	2	4	1.94	0.69	0.28	033
15	803	04	082	Fl	2	4	2.52	0.37	0.19	027
15	803	04	083	Fl	2	4	0.71	0.84	0.28	009
15	803	04	084	Fl	2	4	0.87	0.77	0.13	004
15	803	04	085	Fl	2	4	0.89	0.48	0.28	006

ブタ	グロ	種別	用途	素材	長さ	幅	重量	特徴	備考	
15	803	04	086	Fl	2	4	1.58	1.00	0.28	080
15	803	04	087	Fl	2	4	0.88	0.79	0.18	017
15	803	04	088	Fl	2	4	1.27	0.97	0.54	037
15	803	04	089	Fl	2	4	0.83	1.35	0.26	012
15	803	04	090	Fl	2	4	2.96	2.17	0.47	526
15	803	04	091	Fl	2	4	3.66	2.40	0.47	245
80	803	04	092	Fl	2	4	2.30	2.90	0.58	245
15	803	04	093	Fl	2	4	2.65	1.27	0.81	101
80	803	04	094	Fl	2	4	4.47	2.27	0.79	508
15	803	04	095	Fl	2	4	1.09	1.05	0.30	026
15	803	04	096	Fl	2	4	1.85	1.02	0.30	040
15	803	04	097	Fl	2	4	1.70	1.02	0.51	027
15	803	04	098	Fl	2	4	2.08	1.80	0.34	032
15	803	04	099	Fl	2	4	1.00	1.21	0.38	040
15	803	04	100	Fl	2	4	1.13	0.88	0.29	025
15	803	04	101	Fl	2	4	3.25	2.28	1.31	774
15	803	04	102	Fl	2	4	1.71	1.82	0.76	140
15	803	04	103	Fl	2	4	3.13	2.39	0.54	082
15	803	04	104	Fl	2	4	2.99	2.38	0.64	356
112	803	04	105	Fl	2	4	2.08	2.80	0.52	284
15	803	04	106	Fl	2	4	1.31	0.63	0.08	028
15	803	04	107	Fl	2	4	1.58	1.09	0.21	031
15	803	04	108	Fl	2	4	1.39	1.11	0.25	033
15	803	04	109	Fl	2	4	3.08	2.81	0.82	743
15	803	04	110	Fl	2	4	3.00	2.35	1.82	980
15	803	04	111	Fl	2	4	1.07	1.07	0.25	028
15	803	04	112	Fl	2	4	0.87	1.18	0.13	027
15	803	04	113	Fl	2	4	1.76	1.26	0.58	051
39	803	04	114	Fl	2	4	2.24	3.20	0.81	486
15	803	04	115	Fl	2	4	0.93	0.50	0.17	009
15	803	04	116	Fl	2	4	1.78	0.40	0.20	012
15	803	04	117	Fl	2	4	2.55	2.62	0.81	285
15	803	04	118	Fl	2	4	1.57	1.22	0.36	049
152	803	04	119	Fl	2	4	2.98	2.44	1.50	188
15	803	04	120	Fl	2	4	1.16	0.95	0.47	101
15	803	04								

第58表 第1文化層石器一覧表(10)

No.	品名	年代	種別	規格	長さ	幅	厚	重量	加工	出土層	図
10	001101-001101	Ch	1		6.50	6.16	0.07	0.015060	11501233	16233	
11	001101-001101	Ch	2		3.43	3.95	0.61	0.019600	11502545	16177	
12	001101-001101	Ch	3		2.05	1.45	0.30	0.010970	11502744	16157	
13	001101-001101	Ch	4		1.52	0.49	0.12	0.061165	11501049	16257	
14	001101-001101	Ch	5		2.86	1.66	0.78	0.201047	11501969	16147	
15	001101-001101	Ch	6		1.30	0.89	0.64	0.041052	11502245	16175	
16	001101-001101	Ch	7		2.24	1.12	0.26	0.091043	11501172	16165	
17	001101-001101	Ch	8		1.93	2.46	0.60	0.17104028	11501836	16146	
18	001101-001101	Ch	9		1.20	2.59	0.43	0.74104065	11500211	16167	
19	001101-001101	Ch	10		2.33	0.97	0.21	0.07104062	11502131	16177	
20	001101-001101	Ch	11		2.93	1.55	0.76	0.26105050	11501227	16245	
21	001101-001101	Ch	12		2.00	1.79	0.72	0.17104064	11501699	16130	
22	001101-001101	Ch	13		6.99	2.22	0.36	0.11104029	11501999	16106	
23	001101-001101	Ch	14		1.22	1.12	0.26	0.09104061	11501172	16165	
24	001101-001101	Ch	15		2.37	2.51	0.61	0.24104042	11501277	16130	
25	001101-001101	Ch	16		1.51	2.95	0.41	1.29104065	11501064	16405	
26	001101-001101	Ch	17		3.13	4.03	1.18	1.15104057	11501814	16375	
27	001101-001101	Ch	18		2.84	2.02	0.82	0.5511040437	11501833	16258	
28	001101-001101	Ch	19		1.90	1.17	0.31	0.42104047	11501232	16130	
29	001101-001101	Ch	20		3.79	1.97	0.72	0.26104026	11502335	16200	
30	001101-001101	Ch	21		1.72	1.63	0.29	0.62104038	11501698	16286	
31	001101-001101	Ch	22		1.80	1.65	0.44	1.14104066	11501708	16308	
32	001101-001101	Ch	23		1.52	2.05	0.47	1.17104061	11501218	16257	
33	001101-001101	Ch	24		1.70	1.39	0.40	0.87104036	11502188	16262	
34	001101-001101	Ch	25		1.92	1.19	0.26	0.29104079	11501217	16241	
35	001101-001101	Ch	26		1.17	0.84	0.20	0.49104018	11501445	16167	
36	001101-001101	Ch	27		0.84	0.64	0.15	0.22104042	11502099	16286	
37	001101-001101	Ch	28		1.26	2.69	0.29	0.80104053	11501694	16135	
38	001101-001101	Ch	29		1.09	2.13	0.77	2.07104044	11501568	16197	
39	001101-001101	Ch	30		0.96	1.13	0.38	0.63104080	11502129	16292	
40	001101-001101	Ch	31		2.59	1.49	0.67	1.67104013	11502179	16190	
41	001101-001101	Ch	32		2.09	1.62	0.48	0.80104029	11501629	16292	
42	001101-001101	Ch	33		2.22	0.83	0.44	0.66104029	11501699	16169	
43	001101-001101	Ch	34		2.55	2.05	0.62	0.92104033	11502099	16290	
44	001101-001101	Ch	35		1.12	2.05	0.27	0.36104030	11501138	16213	
45	001101-001101	Ch	36		1.80	1.05	0.27	2.07104044	11501568	16197	
46	001101-001101	Ch	37		0.99	1.13	0.38	0.63104080	11502129	16292	
47	001101-001101	Ch	38		1.94	2.69	0.27	1.14104043	11501172	16165	
48	001101-001101	Ch	39		3.74	2.41	0.86	4.85104043	11501172	16165	
49	001101-001101	Ch	40		1.27	1.13	0.36	0.48104029	11501795	16185	
50	001101-001101	Ch	41		2.90	2.30	0.59	2.55104044	11501699	16169	
51	001101-001101	Ch	42		2.29	2.65	0.58	2.26104044	11501699	16169	
52	001101-001101	Ch	43		1.66	0.85	0.21	0.24104044	11501708	16308	
53	001101-001101	Ch	44		0.44	0.66	0.11	0.41104079	11501309	16305	
54	001101-001101	Ch	45		1.96	1.54	0.24	0.29104081	11501709	16230	
55	001101-001101	Ch	46		2.20	1.90	0.44	1.59104051	11502162	16295	
56	001101-001101	Ch	47		2.18	0.71	0.37	0.32104036	11501627	16170	
57	001101-001101	Ch	48		2.99	1.80	0.54	1.45104042	11502129	16179	
58	001101-001101	Ch	49		2.26	2.35	0.62	1.54104042	11502129	16179	
59	001101-001101	Ch	50		4.03	2.95	2.97	24.39104037	11502243	16239	
60	001101-001101	Ch	51		2.00	1.33	0.27	1.06103045	11501409	16305	
61	001101-001101	Ch	52		3.52	2.35	0.88	6.39104048	11502129	16230	
62	001101-001101	Ch	53		2.79	4.61	1.38	27.82104080	11501466	16185	
63	001101-001101	Ch	54		2.58	1.05	0.40	2.09104029	11501699	16169	
64	001101-001101	Ch	55		1.94	0.82	0.33	0.33103048	11501749	16290	
65	001101-001101	Ch	56		2.23	2.95	0.47	1.44104059	11501172	16165	
66	001101-001101	Ch	57		3.74	4.82	1.36	16.37104043	11501709	16308	
67	001101-001101	Ch	58		1.21	1.52	0.22	0.44104043	11501170	16305	
68	001101-001101	Ch	59		2.31	2.95	0.44	1.23104049	11501695	16159	
69	001101-001101	Ch	60		1.50	1.29	0.36	0.39103047	11502055	16255	
70	001101-001101	Ch	61		3.24	1.29	0.46	1.75104044	11501448	16345	
71	001101-001101	Ch	62		2.99	1.87	0.81	3.99104061	11501293	16245	
72	001101-001101	Ch	63		3.26	3.25	1.52	4.84104042	11501170	16449	
73	001101-001101	Ch	64		2.29	1.87	0.61	2.35104061	11501409	16249	
74	001101-001101	Ch	65		1.26	0.40	0.23	0.10104087	11501836	16146	
75	001101-001101	Ch	66		1.64	1.83	0.43	0.98104060	11501745	16225	
76	001101-001101	Ch	67		1.65	1.79	0.60	1.01040325	11501171	16222	
77	001101-001101	Ch	68		3.17	2.99	0.87	3.75104036	11501699	16169	
78	001101-001101	Ch	69		3.43	2.96	0.96	3.39104055	11501699	16169	
79	001101-001101	Ch	70		3.31	1.45	0.45	2.23104067	11501699	16169	
80	001101-001101	Ch	71		3.16	3.21	0.81	3.57104042	11501241	16185	
81	001101-001101	Ch	72		1.32	1.96	0.47	1.06105082	11501081	16279	
82	001101-001101	Ch	73		2.50	2.80	0.47	2.43104086	11501517	16269	
83	001101-001101	Ch	74		0.64	0.80	0.23	0.351050219	11501567	16429	
84	001101-001101	Ch	75		1.22	0.94	0.21	0.13104038	11501699	16169	
85	001101-001101	Ch	76		3.43	2.96	0.96	3.39104055	11501699	16169	
86	001101-001101	Ch	77		4.10	2.28	0.41	7.22104067	11501081	16192	
87	001101-001101	Ch	78		1.40	0.82	0.33	0.49104036	11501171	16185	
88	001101-001101	Ch	79		0.65	0.83	0.25	0.15104041	11501541	16247	
89	001101-001101	Ch	80		2.04	1.87	0.62	1.34104087	11502145	16265	
90	001101-001101	Ch	81		1.27	0.80	0.19	0.17104042	11501448	16329	
91	001101-001101	Ch	82		1.27	0.86	0.36	0.36105052	11501932	16129	
92	001101-001101	Ch	83		3.23	2.94	0.81	4.26104042	11501241	16269	
93	001101-001101	Ch	84		6.39	3.24	2.33	8.65104074	11501087	16219	
94	001101-001101	Ch	85		4.89	4.82	3.89	39.05104061	11501932	16225	
95	001101-001101	Ch	86		1.34	0.54	0.24	0.14104041	11501836	16146	
96	001101-001101	Ch	87		2.73	1.02	0.46	0.99104041	11501836	16146	
97	001101-001101	Ch	88		1.90	1.65	0.28	0.18104041	11501836	16146	
98	001101-001101	Ch	89		1.06	1.22	0.33	0.26104041	11501836	16146	
99	001101-001101	Ch	90		1.09	2.13	0.77	2.07104041	11501836	16146	
100	001101-001101	Ch	91		1.37	1.27	0.40	0.52104041	11501836	16146	
101	001101-001101	Ch	92		1.01	1.63	0.45	0.42104041	11501836	16146	
102	001101-001101	Ch	93		1.23	1.13	0.24	0.25104041	11501836	16146	
103	001101-001101	Ch	94		1.38	1.73	0.20	0.41104041	11501836	16146	
104	001101-001101	Ch	95		1.30	1.65	0.39	0.83104041	11501836	16146	
105	001101-001101	Ch	96		2.74	2.52	0.25	1.00104041	11501836	16146	
106	001101-001101	Ch	97		0.64	1.32	0.15	0.05104041	11501836	16146	
107	001101-001101	Ch	98		1.13	1.94	0.40	0.54104041	11501836	16146	
108	001101-001101	Ch	99		2.58	2.97	0.63	4.69104041	11501836	16146	
109	001101-001101	Ch	100		1.14	1.37	0.24	0.35104041	11501836	16146	
110	001101-001101	Ch	101		3.89	1.97	1.10	3.50104041	11501836	16146	
111	001101-001101	Ch	102		1.00	1.17	0.23	0.03104041	11501836	16146	
112	001101-001101	Ch	103		2.24	1.86	0.58	1.86104041	11501836	16146	
113	001101-001101	Ch	104		1.02	1.07	0.23	0.25104041	11501836	16146	
114	001101-001101	Ch	105		0.67	1.49	0.33	0.29104041	11501836	16146	
115	00										

第61表 第1文化層石層一覧表(13)

フタ ナン	サブフ タナン	層名	層高	層厚	層底	層頂	工事種	下層	備考
16	024-46-01000	02	00	1.47	1.78	0.32	01-0119.023	1104.620	6.420
16	024-46-01002	03	00	0.95	1.00	0.07	01-0119.033	1104.320	6.420
16	024-46-01003	04	00	1.28	0.59	0.64	01-0119.033	1104.360	6.420
16	024-46-01004	05	00	0.85	0.80	0.14	00-0119.073	1104.300	6.420
16	024-46-01005	06	00	2.21	2.24	0.06	00-0119.207	1104.207	6.300
16	024-46-01006	07	00	1.32	1.13	0.21	00-0119.217	1104.217	6.240
16	024-46-01010	10	00	1.49	1.74	0.25	01-0119.250	1104.250	6.300
16	024-46-01011	11	00	1.42	0.85	0.50	00-0119.256	1104.270	6.200
16	024-46-01012	12	00	1.29	0.89	0.41	01-0119.265	1104.270	6.200
16	024-46-01013	13	00	0.79	1.19	0.42	01-0119.279	1104.270	6.300
16	024-46-01014	14	00	2.71	4.18	1.47	01-0119.279	1104.251	6.260
47	024-46-01015	15	00	2.00	1.90	0.10	01-0119.487	1104.370	6.420
48	024-46-01016	16	00	1.32	1.34	0.02	01-0119.487	1104.470	6.440
49	024-46-01018	18	00	1.35	0.54	0.81	02-0144.050	1104.470	6.440
67	024-46-01017	17	00	2.08	1.41	0.69	00-0144.050	1104.602	6.464
15	024-46-01018	18	00	2.34	1.96	0.47	01-0119.603	1104.607	6.412
15	024-46-01019	19	00	2.18	1.44	0.74	00-0119.603	1104.607	6.412
15	024-46-01020	20	00	1.02	1.40	0.24	02-0144.050	1104.617	6.412
48	024-46-01021	21	00	3.87	2.19	1.63	01-0119.621	1104.701	6.370
48	024-46-01024	24	00	1.30	2.26	0.96	02-0144.050	1104.800	6.364
15	024-46-01021	21	00	1.46	0.67	0.79	01-0119.792	1105.122	6.398
15	024-46-01022	22	00	0.56	0.83	0.14	01-0119.817	1105.207	6.395
15	024-46-01023	23	00	0.76	1.00	0.24	01-0119.154	1105.187	6.325
15	024-46-01024	24	00	1.80	1.33	0.47	01-0119.267	1105.154	6.311
15	024-46-01025	25	00	0.89	0.92	0.04	01-0119.266	1105.154	6.311
15	024-46-01026	26	00	0.87	0.84	0.03	01-0119.270	1104.990	6.296
15	024-46-01027	27	00	1.26	2.17	0.92	02-0119.154	1104.803	6.371
15	024-46-01028	28	00	0.72	0.80	0.14	00-0119.120	1104.544	6.305
15	024-46-01029	29	00	0.70	0.88	0.14	00-0119.202	1104.365	6.423
15	024-46-01030	30	00	1.03	0.52	0.46	00-0119.202	1104.365	6.423
15	024-46-01031	31	00	1.48	1.54	0.04	00-0119.154	1104.266	6.371
15	024-46-01034	34	00	1.21	0.75	0.43	00-0119.976	1104.699	6.238
15	024-46-01035	35	00	0.84	0.69	0.16	01-0119.791	1104.698	6.238
15	024-46-01037	37	00	1.06	1.00	0.06	00-0119.932	1104.676	6.411
15	024-46-01038	38	00	0.34	1.90	1.43	01-0119.073	1104.603	6.439
15	024-46-01040	40	00	1.04	0.84	0.20	01-0119.057	1104.365	6.404
15	024-46-01040	40	00	1.14	0.96	0.13	01-0119.057	1104.365	6.404
15	024-46-01046	46	00	1.29	1.06	0.23	02-0119.120	1104.698	6.345
15	024-46-01049	49	00	1.45	1.90	0.45	01-0119.120	1104.698	6.345
15	024-46-01049	49	00	0.68	0.91	0.23	01-0119.120	1104.698	6.345
15	024-46-01053	53	00	1.52	1.20	0.14	01-0119.960	1104.605	6.390
15	024-46-01053	53	00	1.11	0.80	0.31	02-0119.960	1104.605	6.390
15	024-46-01058	58	00	0.84	2.04	1.32	02-0119.896	1104.605	6.390
15	024-46-01058	58	00	1.89	1.20	0.77	01-0119.750	1104.476	6.350
15	024-46-01060	60	00	2.27	3.18	0.91	00-0119.863	1104.919	6.238
15	024-46-01061	61	00	0.89	1.40	0.53	02-0119.863	1104.919	6.238
15	024-46-01062	62	00	0.69	0.33	0.31	00-0119.863	1104.919	6.238
15	024-46-01064	64	00	0.89	0.70	0.25	00-0119.653	1104.218	6.340
111	024-46-01043	43	12	3.36	0.89	0.94	00-0119.122	1104.365	6.390
15	024-46-01044	44	00	1.17	1.34	0.21	01-0118.813	1104.378	6.318
15	024-46-01045	45	00	1.55	1.78	0.23	01-0118.817	1104.856	6.383
15	024-46-01060	60	00	2.23	1.91	0.47	01-0119.057	1104.751	6.371
15	024-46-01060	60	00	0.55	0.38	0.12	00-0119.057	1104.751	6.371
15	024-46-01074	74	00	1.45	0.79	0.67	00-0119.126	1104.759	6.349
15	024-46-01074	74	00	0.60	0.80	0.20	00-0119.126	1104.759	6.349
67	024-46-01046	46	00	3.06	2.98	1.00	00-0119.822	1104.544	6.408
69	024-46-01060	60	00	4.51	3.48	1.07	01-0119.126	1104.492	6.365
15	024-46-01090	90	00	3.78	1.21	1.81	00-0119.126	1104.492	6.365
15	024-46-01090	90	00	1.89	0.25	0.35	01-0119.262	1104.314	6.293
15	024-46-01091	91	00	1.20	1.27	0.23	00-0119.264	1104.307	6.350
15	024-46-01092	92	00	0.81	0.80	0.04	00-0119.122	1104.651	6.334
15	024-46-01093	93	00	1.54	1.47	0.04	00-0119.790	1104.580	6.321
15	024-46-01094	94	00	1.70	1.80	0.31	01-0119.807	1104.793	6.258
15	024-46-01094	94	00	0.59	0.51	0.08	01-0118.897	1104.793	6.258
15	024-46-01094	94	00	0.82	0.85	0.26	01-0119.154	1104.538	6.297
15	024-46-01094	94	00	0.90	1.32	0.14	01-0119.154	1104.538	6.297
15	024-46-01094	94	00	0.85	0.80	0.27	00-0119.154	1104.538	6.297
15	024-46-01094	94	00	0.55	0.71	0.07	00-0119.154	1104.538	6.297
15	024-46-01094	94	00	0.56	0.36	0.01	01-0119.154	1104.538	6.297
111	024-46-01064	64	12	4.28	4.04	1.06	00-0119.880	1104.458	6.330
15	024-46-01068	68	00	0.81	1.72	0.94	01-0119.154	1104.538	6.297
15	024-46-01068	68	00	1.47	0.54	0.24	01-0118.883	1104.912	6.291
15	024-46-01068	68	00	0.64	0.47	0.19	00-0118.883	1104.912	6.291
15	024-46-01082	82	00	0.82	0.80	0.02	00-0119.122	1104.759	6.349
15	024-46-02001	01	00	1.98	1.88	0.46	01-0200.020	1104.759	6.349
15	024-46-02002	02	00	2.88	1.73	1.52	02-0200.133	1104.512	6.414
15	024-46-02003	03	00	2.08	0.73	1.19	01-0200.133	1104.629	6.269
15	024-46-02004	04	00	0.32	0.58	0.23	00-0200.133	1104.835	6.366
15	024-46-02005	05	00	1.44	1.41	0.47	00-0200.118	1104.668	6.347
79	024-46-02006	06	00	0.74	3.42	0.62	00-0200.030	1104.759	6.296
15	024-46-02007	07	00	0.75	0.82	0.09	00-0200.120	1104.759	6.296
15	024-46-02007	07	00	1.86	1.05	0.60	00-0200.252	1104.544	6.540
15	024-46-02007	07	00	1.71	1.00	0.30	00-0200.266	1104.408	6.564
15	024-46-02007	07	00	0.71	0.80	0.32	01-0200.250	1104.512	6.668
15	024-46-02008	08	00	2.20	1.14	0.11	01-0200.020	1104.668	6.420
15	024-46-02009	09	00	2.43	1.23	0.54	05-0200.394	1104.151	6.835
15	024-46-02010	10	00	0.84	1.04	0.18	01-0200.030	1104.259	6.540
15	024-46-02011	11	00	0.76	0.42	0.20	00-0200.030	1104.259	6.540
15	024-46-02012	12	00	0.74	0.42	0.20	00-0200.030	1104.259	6.540
15	024-46-02013	13	00	1.09	0.73	0.14	00-0200.270	1104.644	6.384
15	024-46-02014	14	00	1.32	1.36	0.12	02-0200.284	1104.629	6.679
15	024-46-02015	15	00	0.87	0.87	0.03	02-0200.284	1104.629	6.679
15	024-46-02016	16	00	2.00	2.48	0.40	07-0200.020	1104.629	6.679
15	024-46-02017	17	00	0.79	3.30	1.81	00-0119.880	1104.764	6.414
15	024-46-02018	18	00	0.91	0.87	0.24	01-0119.317	1104.764	6.414
15	024-46-02019	19	00	2.18	1.44	0.74	01-0119.317	1104.764	6.414
15	024-46-02020	20	00	0.82	0.54	0.19	00-0120.703	1104.807	6.380
15	024-46-02021	21	00	1.88	2.73	0.85	02-0200.394	1104.807	6.380
15	024-46-02022	22	00	0.96	0.47	0.19	00-0200.394	1104.807	6.380
15	024-46-02023	23	00	0.58	0.81	0.17	01-0120.000	1104.764	6.537
15	024-46-02024	24	00	0.52	0.64	0.08	01-0120.000		

第62表 第1文化層石器一覧表(14)

種別	品名	図号	場所	層位	年代	長さ	幅	厚	重量	出土	備考
19	CG24-54 0065	072			11	2.11	2.26	1.27	10.23.93	1479367	16463
19	CG24-54 0066	072			2.12	2.16	1.26	1.25	10.23.93	1479367	16463
19	CG24-54 0067	072			1.82	1.81	0.33	0.61	10.23.93	1479368	16448
19	CG24-54 0068	072	9		1.34	1.81	0.81	1.38	-0.61.02.93	1479351	16364
19	CG24-54 0069	072			1.45	1.77	0.38	0.33	-0.12.96	1479385	16445
20	CG24-54 0070	072	11	18	1.81	0.94	0.50	0.43	-0.26.93	1479281	16219
20	CG24-54 0071	072			1.28	1.11	0.42	0.34	-0.25.93	1479291	16222
20	CG24-54 0072	072			1.80	2.12	0.42	2.48	-0.02.79	1479286	16278
20	CG24-54 0073	072	8	6	1.49	1.13	0.64	2.08	-0.02.79	1479280	16324
20	CG24-54 0074	072			2.22	0.70	0.22	0.12	-0.21.41	1479282	16385
20	CG24-54 0075	072			1.18	0.74	0.17	0.63	-0.13.43	1479283	16386
20	CG24-54 0076	072			1.98	1.26	0.47	1.01	-1.21.04	1479287	16385
20	CG24-54 0077	072			0.77	0.81	0.41	0.69	-0.21.74	1479284	16329
20	CG24-54 0078	072			1.21	1.21	0.38	0.24	0.04	1479194	16435
20	CG24-54 0079	072			2.35	0.69	0.22	0.11	-0.21.03	1479285	16375
20	CG24-54 0079	072			0.97	0.50	0.21	0.67	-0.21.03	1479282	16339
20	CG24-54 0080	072			0.47	0.97	0.24	0.67	-0.21.04	1479286	16334
20	CG24-54 0081	072			1.32	0.89	0.18	0.16	-0.13.28	1479288	16386
20	CG24-54 0082	072			0.85	0.42	0.14	0.36	-0.21.02	1479289	16310
20	CG24-54 0083	072			1.68	1.43	0.19	0.34	-0.01.28	1479289	16310
20	CG24-54 0084	072			1.20	1.21	0.38	0.36	-0.21.24	1479290	16314
20	CG24-54 0085	072			0.81	0.84	0.32	0.11	-0.21.12	1479283	16439
20	CG24-54 0086	072			3.18	0.37	0.31	0.79	-0.02.43	1479288	16368
20	CG24-54 0087	072	13	14	1.44	1.08	0.29	0.51	-0.02.17	1479284	16363
20	CG24-54 0088a	072	7	7	1.85	1.90	0.30	0.31	-0.21.09	1479285	16369
20	CG24-54 0088b	072			2.03	1.23	0.18	0.14	-0.21.09	1479289	16369
20	CG24-54 0089	072			2.25	1.40	0.26	0.20	-0.21.29	1479286	16392
20	CG24-54 0090	072			1.13	1.15	0.39	0.71	-0.21.10	1479284	16395
20	CG24-54 0091	072			2.03	2.20	0.47	2.49	-0.20.90	1481212	16334
20	CG24-54 0092	072			0.65	1.87	0.25	0.28	-0.20.90	1481252	16513
20	CG24-54 0093	072			2.33	2.52	0.94	1.54	-0.20.34	1481184	16464
20	CG24-54 0094	072			1.31	0.50	0.38	1.35	-0.25.34	1480837	16527
20	CG24-54 0095	072			1.23	1.48	0.49	0.57	-0.20.93	1480984	16336
20	CG24-54 0095	072	10	10	1.19	2.59	2.96	0.26	-0.20.25	1480921	16468
20	CG24-54 0096	072	9	9	1.26	1.60	0.82	1.36	-0.20.26	1480984	16465
20	CG24-54 0097	072			2.10	1.99	0.82	2.21	-0.20.78	1480928	16305
20	CG24-54 0098	072			1.80	1.70	0.64	1.14	-0.21.34	1480920	16309
20	CG24-54 0099	072			1.58	2.06	0.44	1.22	-0.21.01	1480990	16456
20	CG24-54 0100	072			1.04	1.16	0.13	0.38	-0.20.29	1480920	16462
20	CG24-54 0101	072			1.76	0.69	0.31	0.34	-0.22.99	1480927	16375
20	CG24-54 0102	072	71		1.26	1.88	0.26	1.98	-0.20.13	1479506	16326
20	CG24-54 0103	072			1.23	1.80	0.45	1.12	-0.22.33	1479505	16313
20	CG24-54 0104	072	96		2.49	2.30	0.88	4.46	-0.18.98	1479523	16385
20	CG24-54 0105	072	7	14	1.49	1.32	0.32	0.48	-0.18.93	1479486	16597
20	CG24-54 0106	072			0.85	0.60	0.33	0.28	-0.15.22	1479572	16709
20	CG24-54 0107	072			0.72	1.40	0.23	0.18	-0.19.78	1479512	16425
20	CG24-54 0108	072			0.84	1.20	0.27	0.14	-0.19.78	1479512	16425
20	CG24-54 0109	072			0.36	0.62	0.13	0.34	-0.19.78	1479513	16426
20	CG24-54 0110	072	72		1.42	2.15	0.38	0.74	-0.18.67	1479509	16427
20	CG24-54 0111	072			1.02	0.51	0.17	0.16	-0.18.08	1479582	16437
20	CG24-54 0112	072			1.35	1.43	0.28	0.36	-0.17.45	1479472	16433
20	CG24-54 0113	072			0.83	0.54	0.48	0.32	-0.18.85	1479427	16532
20	CG24-54 0114	072			0.62	0.81	0.38	0.36	-0.18.74	1479478	16434
20	CG24-54 0115	072	78		0.98	2.24	0.86	0.89	-0.19.92	1479436	16300
20	CG24-54 0116	072			0.68	1.28	0.18	0.12	-0.19.73	1479493	16416
20	CG24-54 0117	072			1.86	1.40	0.31	0.74	-0.18.62	1479481	16407
20	CG24-54 0118	072			1.17	1.05	0.41	0.42	-0.19.93	1479475	16425
20	CG24-54 0119	072			1.56	1.81	0.43	1.26	-0.19.71	1479462	16335
20	CG24-54 0120	072	78		1.72	2.31	0.73	0.86	-0.19.74	1479520	16430
20	CG24-54 0121	072	9		0.95	0.69	0.36	0.18	-0.19.23	1479471	16440
20	CG24-54 0122	072			0.76	0.80	0.17	0.36	-0.19.89	1479524	16306
20	CG24-54 0123	072			0.74	0.74	0.26	0.29	-0.19.41	1479524	16306
20	CG24-54 0124	072			2.43	0.77	0.26	0.28	-0.18.82	1479486	16335
20	CG24-54 0125	072			3.08	0.74	0.15	0.77	-0.19.83	1479480	16325
20	CG24-54 0126	072			3.86	2.85	0.55	4.09	-0.19.43	1479423	16335
20	CG24-54 0127	072	9		2.47	3.82	0.87	4.19	-0.19.22	1479411	16309
20	CG24-54 0128	072			3.23	0.86	0.19	0.36	-0.20.48	1479586	16420
20	CG24-54 0129	072			3.66	0.62	0.13	0.24	-0.20.56	1479595	16437
20	CG24-54 0130	072			0.68	1.28	0.56	0.21	-0.20.25	1479595	16445
20	CG24-54 0131	072			1.08	0.80	0.41	0.28	-0.20.25	1479525	16448
20	CG24-54 0132	072			1.37	0.80	0.27	0.36	-0.20.85	1479590	16622
20	CG24-54 0133	072			0.77	0.77	0.37	0.17	-0.20.78	1479586	16360
20	CG24-54 0134	072			2.85	1.45	0.38	1.36	-0.21.09	1479563	16396
20	CG24-54 0135	072			0.39	0.18	0.19	0.11	-0.21.29	1479579	16399
20	CG24-54 0136	072	77		2.8	3.99	0.89	3.29	-0.21.19	1479516	16394
20	CG24-54 0137	072			0.68	1.28	0.58	0.21	-0.20.25	1479595	16437
20	CG24-54 0138	072			1.48	0.58	0.38	0.37	-0.20.25	1479583	16396
20	CG24-54 0139	072			2.19	2.50	0.83	3.04	-0.21.01	1479453	16385
20	CG24-54 0140	072			0.96	0.97	0.27	0.18	-0.21.01	1479433	16385
20	CG24-54 0141	072			1.47	0.89	0.23	0.10	-0.21.02	1479433	16385
20	CG24-54 0142	072			3.87	1.13	0.29	1.82	-0.20.87	1479394	16398
20	CG24-54 0143	072			1.97	2.89	0.72	1.80	-0.20.73	1479416	16405
20	CG24-54 0144	072			1.24	0.71	0.18	0.26	-0.20.73	1479416	16405
20	CG24-54 0145	072			1.49	1.31	0.45	0.42	-0.20.68	1479487	16375

種別	品名	図号	場所	層位	年代	長さ	幅	厚	重量	出土	備考
20	CG24-54 0146	072			0.84	1.50	0.37	0.41	-0.21.22	1479470	16404
20	CG24-54 0147	072			1.63	0.97	0.24	0.45	-0.21.34	1479425	16465
20	CG24-54 0148	072			1.12	1.34	0.45	0.41	-0.21.18	1479480	16479
20	CG24-54 0149	072			1.87	1.73	0.41	1.01	-0.21.22	1479508	16464
20	CG24-54 0150	072			1.85	1.81	0.31	0.79	-0.21.64	1479513	16318
20	CG24-54 0151	072			2.06	1.71	0.49	1.46	-0.21.26	1479529	16330
20	CG24-54 0152	072	4	2	2.58	3.97	0.50	1.21	-0.21.45	1479529	16438
20	CG24-54 0153	072			1.77	0.85	0.34	0.22	-0.20.12	1479596	16426
20	CG24-54 0154	072			3.35	3.81	1.26	3.02	-0.20.22	1479468	16584
20	CG24-54 0155	072	4	5	1.88	1.88	0.65				

第63表 第1文化層石器一覧表(15)

プロト	グループ	品名	数量	年代	出土位置	長さ	最大径	重量	断面	Y値	単位	
20	IC24-53-0082	片	10			3.85	5.03	1.61	32.62	10121.022	11475.568	16.425
20	IC24-53-0083	片	10			1.76	1.61	0.53	6.92	10026.023	11475.380	16.420
20	IC24-53-0094	片	10			0.53	1.29	0.11	1.01	10035.010	11475.380	16.390
77	IC24-53-0095	片	1	1	1	1.13	1.37	0.38	0.54	10119.987	11474.953	16.380
25	IC24-53-0096	片	10			2.22	1.26	0.95	1.39	10139.970	11474.630	16.290
25	IC24-53-0097	片	10			4.39	1.69	0.59	6.09	10139.969	11474.630	16.271
25	IC24-53-0098	片	10			0.99	1.18	0.27	0.36	10028.823	11474.996	16.294
25	IC24-53-0099	片	10			3.17	1.29	0.81	6.06	10105.007	11475.543	16.259
78	IC24-53-0100	片	1	1	1	8.96	2.42	0.42	8.62	10026.770	11474.952	16.422
78	IC24-53-0101	片	1	1	1	1.20	1.51	0.67	0.79	10120.713	11475.584	16.362
88	IC24-53-0102A	片	10			1.02	1.13	0.20	0.17	10120.919	11474.686	16.309
88	IC24-53-0102B	片	10			7.88	1.87	0.49	1.31	10120.974	11474.686	16.309
72	IC24-53-0103	片	10			3.95	1.61	0.98	3.26	10026.564	11475.171	16.257
72	IC24-53-0104	片	10			1.98	0.87	0.24	0.21	10021.102	11474.717	16.320
72	IC24-53-0105	片	10			1.17	0.81	0.30	0.42	10021.117	11475.340	16.386
88	IC24-53-0106	片	4	1	1	7.81	2.13	0.40	2.89	10021.082	11475.252	16.316
70	IC24-53-0107	片	10			1.79	1.43	0.43	0.99	10021.484	11475.151	16.233
70	IC24-53-0108A	片	10			0.59	1.11	0.20	0.13	10120.825	11475.751	16.250
70	IC24-53-0108B	片	10			0.59	0.99	0.21	0.26	10120.822	11475.751	16.250
70	IC24-53-0109	片	10			1.35	0.97	0.18	0.26	10120.822	11475.751	16.250
70	IC24-53-0110	片	1	12	10	4.04	1.70	1.14	5.64	10022.350	11474.782	16.315
70	IC24-53-0111	片	1	15	14	4.08	1.41	1.07	3.04	10026.618	11475.548	16.354
80	IC24-53-0111	片	4	5	2.78	1.84	1.03	1.41	3.03	10026.985	11475.353	16.364
72	IC24-53-0112	片	10			2.76	2.63	1.32	6.41	10021.090	11475.107	16.366
78	IC24-53-0113A	片	1	11	3.79	3.96	1.38	2.03	10021.029	11474.678	16.313	
78	IC24-53-0113B	片	10			0.85	1.73	0.27	0.26	10021.096	11474.678	16.313
78	IC24-53-0114	片	10			0.86	1.27	0.38	0.32	10020.712	11474.788	16.308
78	IC24-53-0115	片	10			1.71	0.95	0.28	0.29	10021.195	11474.678	16.313
78	IC24-53-0116	片	10			1.77	0.98	0.27	0.23	10021.096	11474.678	16.313
78	IC24-53-0117A	片	10			0.99	0.54	0.27	0.11	10021.095	11474.678	16.313
78	IC24-53-0117B	片	10			0.87	0.61	0.34	0.10	10021.095	11474.678	16.313
78	IC24-53-0118	片	10			1.02	0.53	0.18	0.06	10021.095	11474.678	16.313
78	IC24-53-0119	片	10			0.58	0.55	0.15	0.04	10021.095	11474.678	16.313
78	IC24-53-0120	片	10			0.87	0.60	0.19	0.06	10021.095	11474.678	16.313
78	IC24-53-0121	片	10			0.73	0.45	0.28	0.02	10021.095	11474.678	16.313
78	IC24-53-0122A	片	10			1.24	0.95	0.35	0.37	10020.430	11475.056	16.307
78	IC24-53-0122B	片	10			1.19	0.40	0.48	0.21	10021.030	11475.596	16.307
88	IC24-53-0123	片	4	6	2.59	1.17	0.41	1.09	1.02	10021.023	11475.621	16.289
88	IC24-53-0124	片	10			1.97	2.54	0.49	1.89	10020.791	11475.671	16.308
88	IC24-53-0125	片	10			0.86	0.61	0.24	0.12	10020.791	11475.671	16.308
88	IC24-53-0126	片	10			1.84	0.83	0.22	0.23	10021.111	11475.512	16.243
88	IC24-53-0127	片	10			0.42	0.28	0.13	0.02	10020.791	11475.671	16.308
88	IC24-53-0128	片	10			1.45	1.18	0.45	0.51	10021.052	11474.684	16.293
78	IC24-53-0129	片	1	11	1.15	2.55	0.49	0.80	10020.538	11474.426	16.314	
88	IC24-53-0130	片	10			1.38	1.24	0.32	0.42	10020.646	11474.689	16.294
88	IC24-53-0131	片	4	1	2.21	2.82	1.17	1.42	10020.133	11474.679	16.319	
78	IC24-53-0132	片	10			1.99	1.46	0.32	0.29	10020.415	11475.216	16.296
78	IC24-53-0133	片	10			2.21	2.26	1.34	1.96	10020.668	11474.984	16.294
78	IC24-53-0134	片	10			0.54	1.04	0.21	0.13	10020.213	11474.941	16.276

プロト	グループ	品名	数量	年代	出土位置	長さ	最大径	重量	断面	Y値	単位	
20	IC24-53-0136	片	10			1.03	1.76	0.53	1.23	10020.811	11474.782	16.289
20	IC24-53-0137	片	10			0.91	0.98	0.11	0.23	10020.807	11474.832	16.269
88	IC24-53-0138	片	4	6	2.76	2.81	0.41	2.15	10020.972	11474.678	16.280	
78	IC24-53-0139	片	10			0.78	1.17	0.33	0.18	10021.182	11474.949	16.261
78	IC24-53-0140	片	10			1.44	0.83	0.18	0.28	10021.254	11475.274	16.330
77	IC24-53-0141	片	1	3	5.29	3.20	1.98	35.56	10021.264	11475.416	16.305	
77	IC24-53-0142	片	10			0.54	0.47	0.25	0.24	10021.254	11475.416	16.330
78	IC24-53-0143	片	10			0.83	0.30	0.10	0.02	10021.254	11475.416	16.330
80	IC24-53-0144	片	4	8	5.74	5.45	1.45	14.97	10021.055	11475.245	16.322	
78	IC24-53-0145	片	1	13	4.74	2.53	1.45	14.52	10021.125	11475.273	16.322	
78	IC24-53-0146	片	1	10	3.03	0.82	3.05	32.31	10020.972	11475.481	16.312	
78	IC24-53-0150A	片	10			4.73	3.18	1.52	23.37	10020.795	11475.481	16.319
78	IC24-53-0150B	片	10			0.82	0.49	0.18	0.06	10020.795	11475.481	16.319
78	IC24-53-0151	片	1	8	1.51	1.90	0.26	8.25	10021.026	11475.588	16.243	
78	IC24-53-0157	片	10			1.45	0.91	0.44	1.13	10020.741	11475.286	16.304
78	IC24-53-0160A	片	10			1.49	0.88	0.38	0.52	10020.990	11475.288	16.233
78	IC24-53-0160B	片	10			1.03	0.21	0.23	0.19	10020.990	11475.288	16.233
78	IC24-53-0162	片	10			0.98	0.50	0.20	0.06	10020.990	11475.288	16.233
78	IC24-53-0163A	片	10			1.92	1.67	0.74	2.36	10020.611	11475.411	16.259
78	IC24-53-0163B	片	10			0.48	0.83	0.16	0.03	10020.969	11475.288	16.233
78	IC24-53-0169	片	10			1.22	2.02	0.25	0.11	10020.885	11475.595	16.257
78	IC24-53-0171A	片	1	7	2.16	1.73	1.51	1.25	10021.197	11475.423	16.165	
78	IC24-53-0171B	片	4	6	1.54	2.41	0.47	1.05	10021.166	11475.259	16.305	
78	IC24-53-0172	片	10			1.14	0.70	0.39	0.30	10021.188	11475.259	16.305
78	IC24-53-0173	片	10			1.05	0.81	0.21	0.12	10021.188	11475.259	16.305
78	IC24-53-0175	片	10			0.28	0.62	0.23	0.08	10021.188	11475.259	16.305
78	IC24-53-0177	片	10			0.85	0.39	0.19	0.02	10021.188	11475.259	16.305
78	IC24-53-0182	片	10			2.15	0.74	0.25	0.15	10021.173	11474.979	16.246
78	IC24-53-0184	片	1	10	3.58	2.00	0.87	6.76	10020.811	11475.053	16.190	
78	IC24-53-0185	片	10			1.75	1.07	0.50	1.35	10020.811	11474.702	16.273
78	IC24-53-0186	片	10			0.51	0.42	0.19	0.01	10020.882	11474.702	16.238
78	IC24-53-0187	片	10			1.50	1.09	0.40	0.21	10021.020	11475.020	16.216
78	IC24-53-0188	片	10			2.85	2.50	0.35	3.62	10020.741	11475.388	16.224
78	IC24-53-0191	片	10			7.82	2.21	0.79	62.39	10020.676	11475.198	16.244
78	IC24-53-0192	片	10			1.35	0.75	0.20	0.20	10020.824	11474.648	16.681
78	IC24-53-0193	片	10			0.66	0.40	0.17	0.07	10021.022	11474.658	16.680
78	IC24-53-0194	片	10			1.67	1.10	0.52	1.02	10021.026	11474.971	16.664
78	IC24-53-0195	片	10			1.35	1.17	0.45	0.68	10021.245	11474.971	16.247
72	IC24-53-0200	片	10			0.74	3.02	0.87	18.84	10021.079	11474.140	16.262
78	IC24-53-0201	片	10			2.25	1.46	0.79	1.38	10021.949	11474.928	16.576
78	IC24-53-0202	片	10			1.75	1.52	0.57	1.58	10021.857	11474.981	16.434
78	IC24-53-0203	片	10			1.50	1.35	0.43	0.47	10020.980	11474.795	16.296
78	IC24-53-0204	片	10			0.51	0.40	0.15	0.04	10021.386	11474.511	16.597
78	IC24-53-0205	片	10			0.92	1.21	0.48	0.53	10021.386	11474.511	16.597
78	IC24-53-0206	片	10			0.75	0.72	0.34	0.15	10020.883	11474.511	16.235
78	IC24-53-0207	片	10			1.89	1.23	0.34	1.37	10020.883	11474.511	16.235
100	IC24-53-0208	片	7	16	4.81	4.72	2.05	49.88	10020.999	11474.662	16.814	
78	IC24-53-0209	片	10			0.98	0.40	0.15	0.03	10021.158	11478.377	

第3節 第2文化層

第21ブロック1地点がこの文化層に該当し、遺跡範囲の中央東側、台地縁辺部から検出された。遺物の出土層位はⅢ層下位からⅥ層である。

1 第21ブロック（第179～181図、第64・65表、図版5・71）

分布

EE24-10からEE24-32グリッドにかけて検出された。石器の分布範囲は直径6mほどの円形状を呈する。台地縁辺部に位置し、このブロックのすぐ東側は急に角度を増す斜面となるため、東西方向の垂直分布状況を見ると、東に向かい若干傾斜していることがわかる。

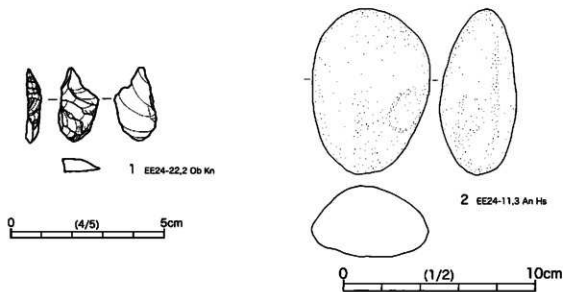
石器の出土層位はソフトローム層中であり、石器出土レベルの最大値は16.413m、最小値は15.835m、平均は16.184mである。

器種・石材

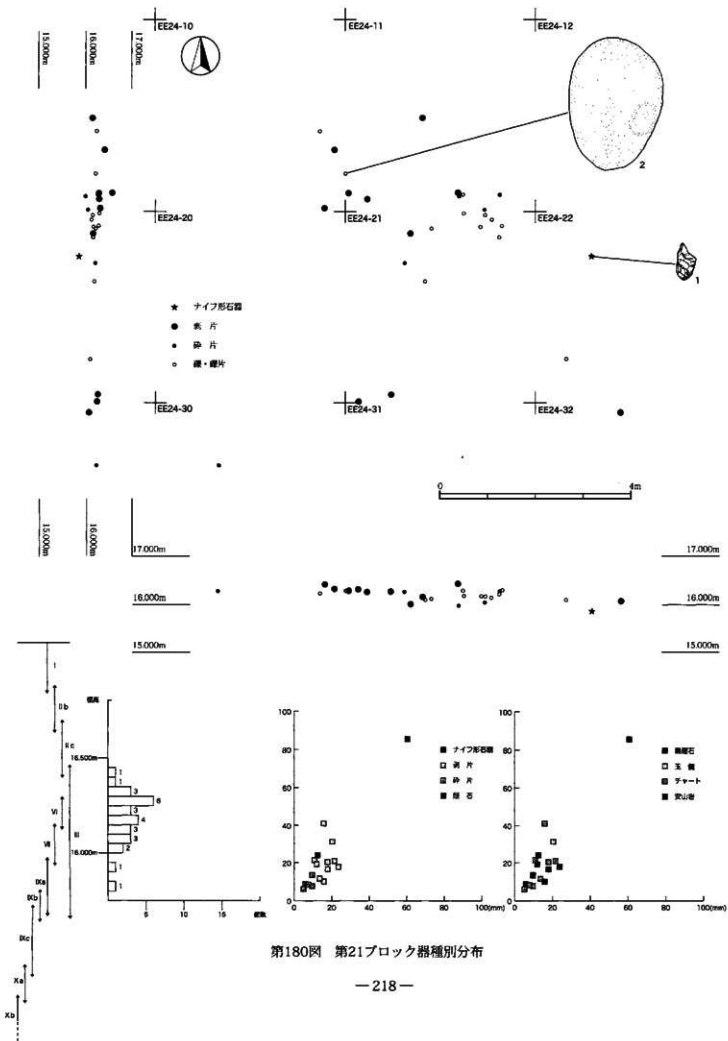
剥片石器については、黒曜石製のナイフ形石器1点以外は、玉髓、安山岩、チャート製の剥片・碎片で占められる。他に安山岩製の敲石、チャート・砂岩製の礫片が石器組成に加わる。

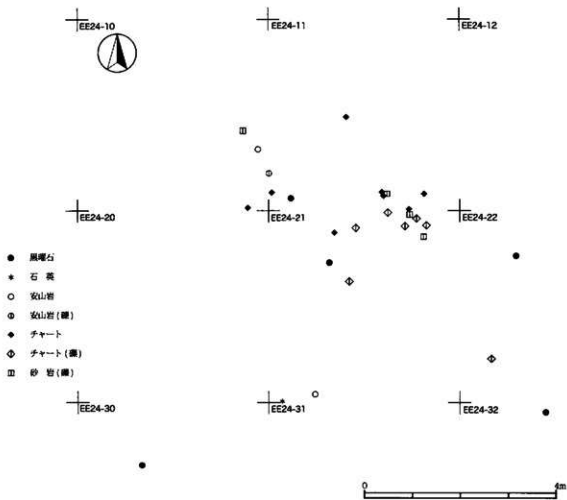
1は黒曜石製のナイフ形石器である。透明度の高い石質で、不純物がほとんど混入していない。小型の不定形剥片を素材とし、素材剥片の打面から片側縁にかけて調整を施し、他の部位は無調整となる。

2は安山岩製の敲石である。色調は暗灰色を呈する。敲打痕は実測図下端部および右側縁の一部に認められるが、被熱し器表面全体が脆くなっているため明瞭ではない。



第179図 第21ブロック出土石器





第181図 第21ブロック石材別分布

第64表 第21ブロック石器組成表

	ナイフ 厚台数	剥片	砕片	燧石	黒片	合計	組成比
黒曜石	1.25	2	2			5	17.86
		2.15	0.51			6.91	1.43
玉 觥		5.23				5.23	3.57
		1.09				1.09	1.09
安山岩	2		1			3	10.71
	1.87		233.85			235.72	48.88
チャート	5	3		7	15	25	53.57
	9.38	0.73				101.61	111.72
砂 岩				4	4	8	14.29
				122.61	122.61	245.22	25.43
合計	1.25	10	5	1	11	28	100.00
	21.83	1.24	233.85	224.22	482.19	100.00	100.00
組成比	3.57	35.71	17.86	3.57	39.29	100.00	
	0.26	4.49	0.25	48.50	46.50	100.00	

第65表 第2文化層石器一覽表

層位	種別	ブランク	形状	材料	注目	長さ	幅	厚さ	重量	全長	全幅	全厚	重量	X線	備考	図号
Z1	E24-0	0002	円	燧		1.21	1.59	0.44	0.30	01007.717			01543.777	16.300		
Z1	E24-0	0003	円	燧		2.03	1.78	0.32	1.00	01007.929			01543.998	16.413		
Z1	E24-0	0004	円	砂		0.81	10.02	0.33	8.81	01007.323			01543.681	16.205		
Z1	E24-1	0002	円	燧		5.11	1.57	1.17	3.94	01007.613			01544.006	16.217		
Z1/179	E24-1	0003	円	燧		8.96	5.02	3.90	23.80	01007.211			01544.027	16.206		
Z1	E24-1	0004	円	砂		1.78	2.27	1.99	4.02	01007.724			01544.039	16.240		
Z1	E24-1	0005	円	燧		2.13	1.65	0.66	1.22	01007.608			01545.379	16.201		
Z1	E24-1	0006	円	燧		0.79	2.88	0.45	0.36	01007.642			01545.280	16.252		
Z1	E24-1	0007	円	燧		2.10	2.15	0.82	2.55	01005.653			01545.638	16.415		
Z1	E24-1	0008	円	砂		1.09	01007.663			01545.695			01546.495	16.265		
Z1	E24-1	0009	円	燧		0.85	3.77	0.45	0.22	01007.983			01546.542	16.018		
Z1	E24-1	0010	円	燧		0.81	3.31	0.32	0.43	01007.888			01546.613	16.242		
Z1	E24-2	0002	円	燧					0.86	01008.261			01545.930	16.096		
Z1	E24-2	0003	円	燧					12.24	01008.628			01546.204	16.152		
Z1	E24-2	0004	円	燧					19.40	01008.204			01546.838	16.104		
Z1	E24-2	0005	円	砂					67.05	01008.678			01546.996	16.194		
Z1	E24-2	0006	円	砂					1.29	01008.326			01547.304	16.302		
Z1	E24-2	0007	円	燧					46.86	01008.545			01547.246	16.185		
Z1	E24-2	0008	円	燧					1.30	01008.324			01547.086	16.242		
Z1	E24-2	0009	円	燧					1.49	01008.676			01547.495	16.228		
Z1	E24-2	0010	円	燧					1.14	01008.206			01548.263	16.043		
Z1	E24-2	0011	円	燧					1.94	01008.128			01548.575	16.262		
Z1	E24-2	0012	円	燧					3.13	0203.070			0203.011.073	16.644.280	16.347	
Z1	E24-2	0013	円	燧					40.10	01008.155			01547.099	16.129		
Z1/179	E24-2	0014	円	燧					2.80	1.25	0.48	1.25	01008.848	01548.171	16.183	
Z1	E24-2	0016	円	燧					45.07	01011.128			01548.655	16.293		
Z1	E24-2	0017	円	燧					0.80	01008.075			01013.208	01549.226	16.280	
Z1	E24-2	0018	円	燧					1.8	1.25	0.59	1.13	011.21.188	01549.780	16.262	

第4節 その他の遺物（第182・183図、第66表、図版72）

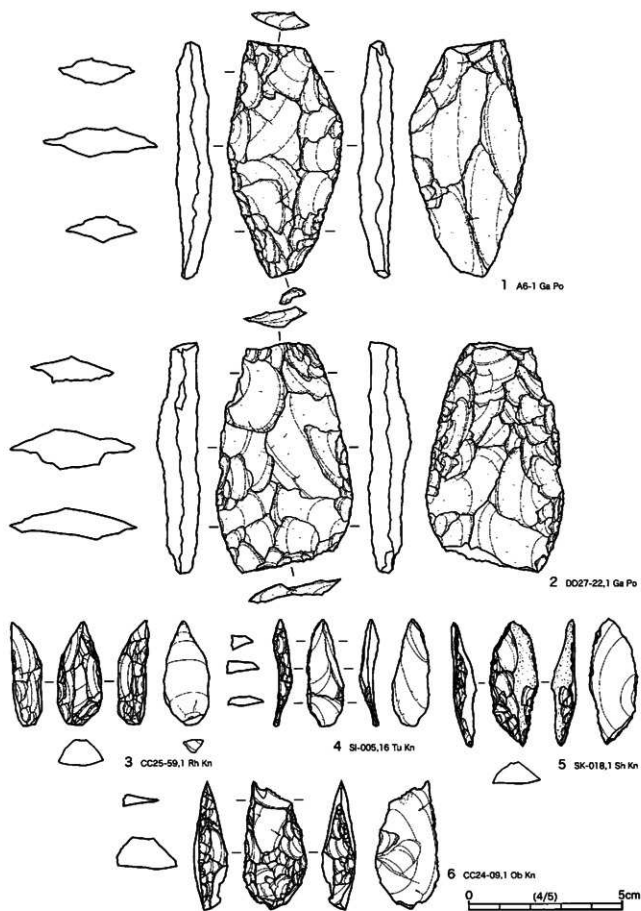
大松遺跡では石器集中に属さない、単独出土の石器も検出されている。これらは縄文時代の遺構精査時に遺構覆土から出土したものや、正確な出土位置、出土層位も不明であることから、前述した第1・2文化層に帰属させることのできない石器として一括して取り扱った。

1・2は木葉形を呈する槍先形尖頭器である。両者とも黒色緻密安山岩の大型剥片を素材として作出されている。先端部と基部が欠損しているが、やや先端部側に最大幅を有する形状と考えられる。器表の風化面の色合いや状態はほぼ同一であり、時期的にも密接な関係があると考えられる。

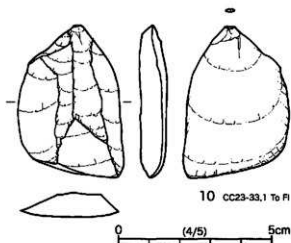
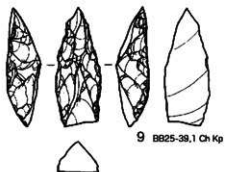
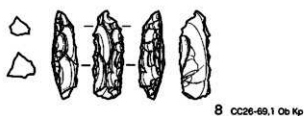
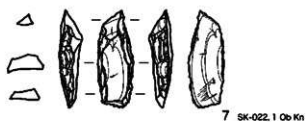
3から7はナイフ形石器である。3・6はグリッド一括出土、4・5・7は遺構覆土からの出土である。石材はすべて真なり、3が白色を呈する流紋岩製、4は青灰色を呈する凝灰岩製、5は黄土色を呈する頁岩製、6は透明感のある黒曜石製、7は透明感に欠ける黒曜石製である。3は縦長剥片を素材とし、素材剥片の打面を留めている。調整は両側縁に施されるが、やや粗めの調整で完了している。4は縦長剥片の打面側を先端部に設定し、打面を除去するように両側縁に調整を施す。5から7は横長剥片を素材とし、打面部および末端部に調整を施す。5は末端部、6・7は側縁の一部を無調整部位とする。

8・9は角錐状石器である。8は黒曜石製で、横長剥片の打面部および末端部に、腹面からの急角度の調整を施し製品としている。9はチャート製の縦長剥片の両側縁を調整部位とし、腹面からの急角度の調整を施している。

10は表面が青灰色を呈する安山岩製（トロトロ石）の剥片である。背面の剥離の方向は一貫して同一方向からの打撃であり、腹面の剥離の方向と一致する。同一方向に設定された打面から、連続的に作出された剥片であろう。末端部はヒンジ・フラクチュアとなる。



第182図 ブロック外出土石器(1)



第183図 ブロック外出土石器(2)

第66表 ブロック外出土石器一覧表

ブロック番号	フリット	器種	面	厚	長さ	幅	最大径	最大径	最大径	重量	X座標	Y座標	出土層
					mm	mm	mm	mm	mm	g			
182	086	0001	Pa	Ca			7.80	3.52	1.19	23.61			
182	087-22	0001	Pa	Ca			7.49	4.49	1.32	43.42			
182	CC26-59	0001	Ka	Ma			2.38	1.49	0.39	4.92			
182	0095	0016	Ka	Ta			3.48	1.24	0.52	1.93			
182	0018	0001	Ka	Ma			4.31	1.51	0.61	2.61			
182	CC24-09	0001	Ka	Ma			4.22	2.06	1.05	8.21			
183	SK-022	0001	Ka	Ma			3.13	1.21	0.79	2.51			
183	CC26-49	0001	Kp	Ca			2.88	0.98	0.86	2.17			
183	BB25-39	0001	Kp	Ca			3.80	1.45	1.09	4.96			
183	CC23-33	0001	Ft	Ta			4.97	3.51	0.91	16.83			

第3章 まとめ

大松遺跡の調査で検出された石器集中は21ブロックを数える。第2章では出土層位をもとに文化層を2つに分け、それぞれの詳細を述べた。ここでは大松遺跡の旧石器時代について、特にIX層上部に所属する第1文化層に着目し、簡単にまとめたいと思う。

○石器群について

大松遺跡第1文化層は20ブロックで構成される。北側に第1～7ブロックの一群、中央部に第9～12ブロックの一群、東側に第13～17ブロックの一群、南側に第18～20ブロックの一群、西側に第8ブロックが単独で位置する。連続した環状とはならないが、南北方向50mを測る環状にブロックが配置される。なお、群については「ユニット」と換言して以後記述することとする。

各ブロック内では剥片生産が盛んに行われており、合計51点もの接合資料が確認された。これらはブロック内で完結するものや、ユニット内で完結するもの等、数パターンが認められる。以下にパターン毎に表記してみたい。

ブロック内で完結する接合資料

黒曜石 02、04、05、06、08、10 玉髓 03、04 珪質頁岩 01、02 頁岩 01

ユニット内で完結する接合資料

黒曜石 01、07、24 頁岩 02、03、04 流紋岩 01

ユニット間で接合関係が認められる資料（単純型）

黒曜石 09 玉髓 01、06 頁岩 06、07 流紋岩 02

ユニット間で接合関係が認められる資料（複雑型）

黒曜石 03 玉髓 02 頁岩 05

ブロック内で完結する接合資料については、石器群形成における基本的な要因であるため、特記すべき点はない。また、ユニット間で完結する接合資料についても、隣接したブロックにおける接合関係であるため、敢えて説明はしない。着目したい資料は、ユニット間で接合関係が認められる、ユニット相互の関連性を示す資料である。

ユニット間で接合関係が認められる資料は、2種のパターンに分けることができ、仮に「単純型」、「複雑型」とした。

「単純型」は、一連の石器生産はブロック内、もしくは隣接したブロック内で行われているが、1点のみが他のユニットを構成するブロックで出土している例である。黒曜石 09 は縦横 1.5cm 程の小型剥片が、玉髓 01 は縦 6.4cm の大型剥片が石器生産地点から距離を置いて出土しており、搬出した石器の形状には規則性が認められない。

「複雑型」は、2点以上がユニット間接合となるパターンである。黒曜石 03 は、中央部のユニットを構成する第9・10ブロックで石器生産が行われるが、西側ユニットと東側ユニットに石器が分離している。

石 材 背面構成	黒曜石	玉 髄	珪質頁岩	頁 岩	その他
打面側もしくは末端部側	 5B 15B 19B	 8B 14B 17B 15B	 8B	 15B 15B	
打面側・末端部側 + 側縁側	 10B			 1B 2B 8B	 3B ch 15B rh
不定方向	 18B	 7B	 5B		

第184図 第1文化層ナイフ形石器

これは作出した石器の搬出によるものと考えられる。玉髄 02 は、北側ユニットと東側ユニットにおいて接合関係が認められる。石器生産の途中で、北側ユニットを構成する第3ブロックから搬出され、東側ユニットを構成する第14・15ブロック内で石器生産を終了している。頁岩 05 については、北側ユニットと中央ユニットとの接合関係であるが、剥片剥離工程については両ユニット間を往復するような分布を示す。おそらく石核が検出された第7ブロック内で石器生産が行われ、素材として第9・12ブロックへ搬出されたものと考えられる。

このように、大松遺跡第1文化層の石器群は、複雑な接合関係を有しながら構成された石器群である。不規則なブロック配置ではあるが、検出例の増加している環状ユニットの一例としてとらえることができる。

○主要石器について

大松遺跡第1文化層の石器群における石器組成は、ナイフ形石器を主要石器とし、調整痕・使用痕の認められる剥片、剥片、碎片、石核からなる。

ナイフ形石器は、縦長剥片を素材とし、背面側の二側縁に対し調整を施す形態である。素材剥片は前述したように単一打面、もしくは両設打面から連続的に作出されたものが多く、特に玉髄製および頁岩製のナイフ形石器に顕著に認められる。また、180°の打面転移のみならず、打面再生、石核整形を含む90°の打面転移による剥離痕も認められ、これは第184図中段の、左右側縁方向からの剥離が背面にみられるナイフ形石器に反映されている。数量的には少ないが、背面構成が不定方向からの剥離で構成されるものが認められる。第184図の下段がこれに該当する。調整は概して粗く、形状も一定ではない。これらは礫面を有しており、剥片剥離工程の初期段階に作出された剥片であることが理解できる。

石材の違いによる石器形態の差は特に認められないが、石器総点数の80%以上を占める黒曜石製のナイフ形石器が極めて少数であることが指摘できよう。素材剥片もしくは完成品として遺跡外への搬出も考えられるが、大松遺跡で消費された黒曜石の石質にも要因があると考えられる。大松遺跡で消費された黒曜石は、不純物の粒が大きく含有率も多い。このため、剥片剥離の際に不純物により打撃の方向が変わり、分割した剥片が多く存在する。

黒曜石製の石器総点数1,022点のうち、53.7%の549点に折断面が認められる。このうちの全てが素材剥片となり得る形状ではないが、剥片の折断面の剥離の方向は、腹面側もしくは背面側に存在する不純物に端を発しているものが多く認められる。このため、玉髄製および頁岩製のものにみられる薄い縦長剥片の作出が困難であったことも一要因と考えられる。

○黒曜石石材について

大松遺跡第1文化層で使用される石材は黒曜石を主体とし、玉髄、頁岩、珪質頁岩、流紋岩等で構成される。これらの石材は、北関東に原産地を求めることのできる石材であるが、このうち黒曜石については、可視的な観察により全て栃木県高原山産の黒曜石であると思われる。

下総台地において、第2黒色帯下部に所属する石器群のうち、高原山産の黒曜石が使用される石器群と

して、成田市木の根拓美遺跡（空港 No. 6 遺跡）第 1 文化層¹、東峰御幸畑東遺跡（空港 No.62 遺跡）第 1 文化層²、鎌ヶ谷市五本松 No. 3 遺跡第Ⅱ a 文化層³があげられる。いずれも遺跡内において積極的な剥片剥離が行われており、非黒曜石器群は極めて客体的である。木の根拓美遺跡と東峰御幸畑東遺跡には類似点が多く、局部磨製石斧破片、台形様石器を石器組成に含む。大松遺跡の石器群との違いは、石器組成のみならず層位的な差も認められ、木の根拓美遺跡および東峰御幸畑東遺跡の石器群が古い段階に位置づけられよう。五本松 No. 3 遺跡については非黒曜石器群の割合が前者の 2 遺跡と比較して高いが、局部磨製石斧破片、台形様石器を石器組成に含む。出土層位の点では大松遺跡第 1 文化層とレベル差は認められないが、やはり時期的な差が感じられる。

剥片生産の素材については、東峰御幸畑東遺跡では「角礫状（もしくは亜角礫状）の原石もしくは分割礫」が搬入されている。5cm から最大でも 10cm を越えない大きさと推測されるが、この点では大松遺跡も同様である。良好な接合資料の黒曜石 01～10 を観察すると、原石のまま搬入された個体は、黒曜石 01、02、04、07、08 が該当し、角礫より扁平礫に近い形状といえる。分割礫に該当する個体は、黒曜石 03、06、09 であるが、03 については礫面の裏は風化面に近い様相を呈しており、人為的に分割されたものかは疑問である。五本松 No. 3 遺跡は 14cm を測る大型の接合資料であり、現存重量は 376.3 g を測る。原石状態での重量は 1 kg 前後となろう。

黒曜石原産地の高原山から大松遺跡は、直線距離で 112km を測る。当時の移動経路と考えられる鬼怒川右岸を辿るとしても 10km を加えるに過ぎない。高原山からは鬼怒川を流下するに従い展開していく関東平野を望むことができ、古地形の観点からも比較的移動しやすい経路であったと想定される。石材原産地と消費地を視覚的に結ぶことのできる一例であり、今後下総台地での検出例が増加するに従い、さらに当時の様相が明らかになるであろう。

- 注1 新田浩三他 1995 『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅹ 一 鎌田基兵衛山北遺跡（空港 No.11 遺跡）』 千葉県文化財センター調査報告第 264 集
- 2 永塚俊司他 2004 『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅨ 一 東峰御幸畑東遺跡（空港 No.62 遺跡）一』 千葉県文化財センター調査報告第 483 集
- 3 矢本節朗他 2003 『新鎌ヶ谷地区埋蔵文化財調査報告書Ⅰ 一 鎌ヶ谷市五本松 No. 3 遺跡一』 千葉県文化財センター調査報告第 457 集

写 真 图 版



花前II遺跡

花前I遺跡

花前III遺跡

堀林II遺跡

矢船I遺跡

堀形遺跡

矢船II遺跡

富士見遺跡

大松遺跡

原畑遺跡

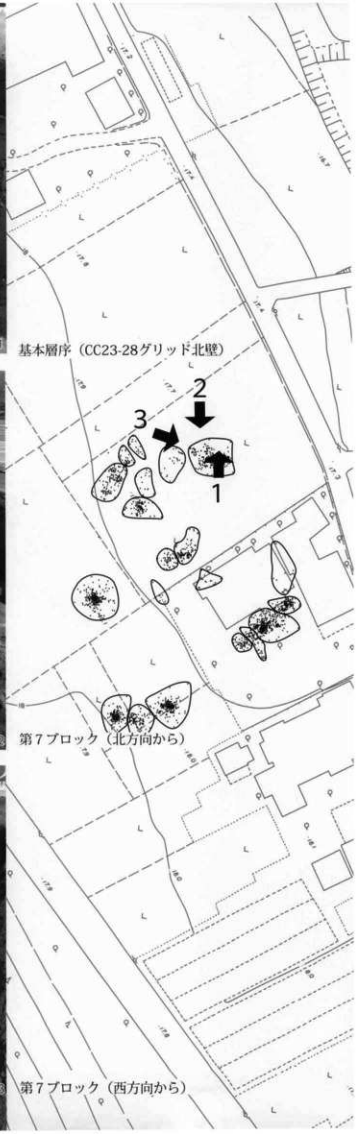
小山台遺跡

宮前遺跡

寺下前遺跡

八反目台遺跡

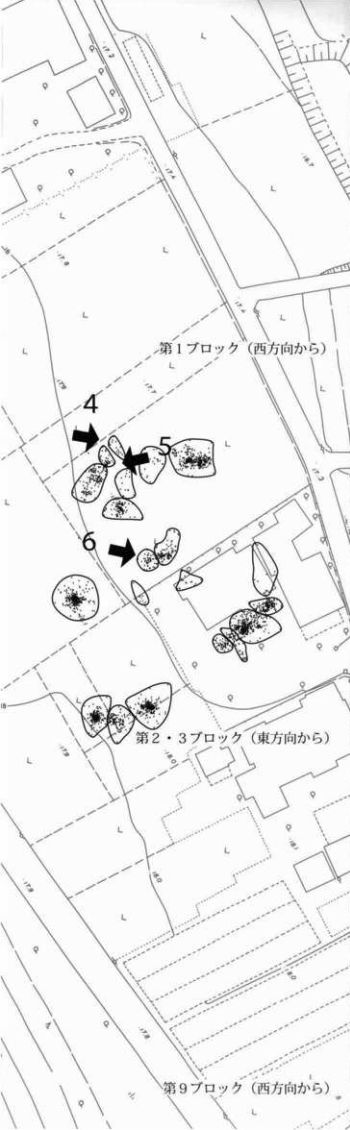
100m



基本層序 (CC23-28グリッド北壁)

第7ブロック (北方向から)

第7ブロック (西方向から)





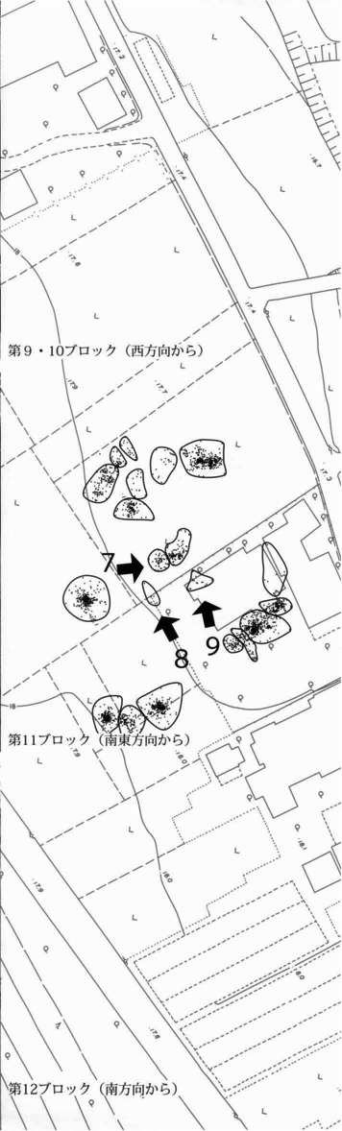
7 第9・10ブロック (西方向から)

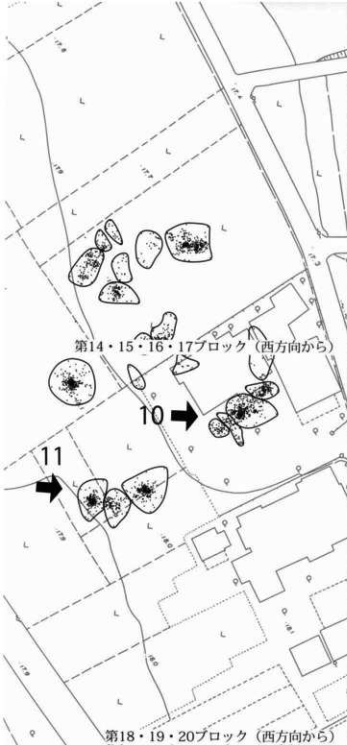


8 第11ブロック (南東方向から)

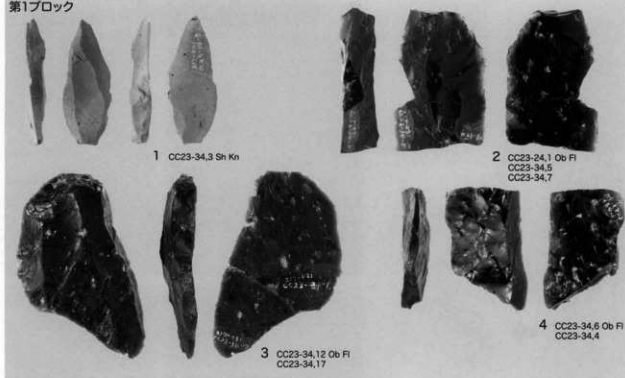


9 第12ブロック (南方向から)

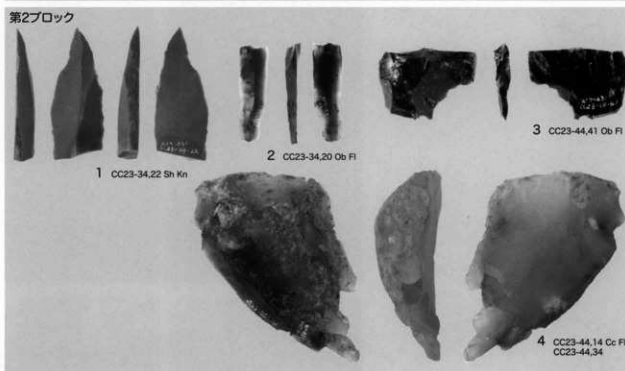




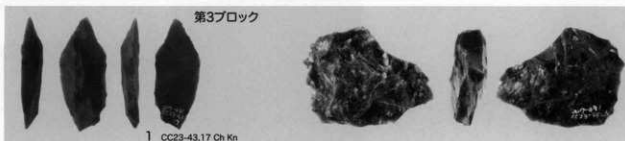
第1ブロック



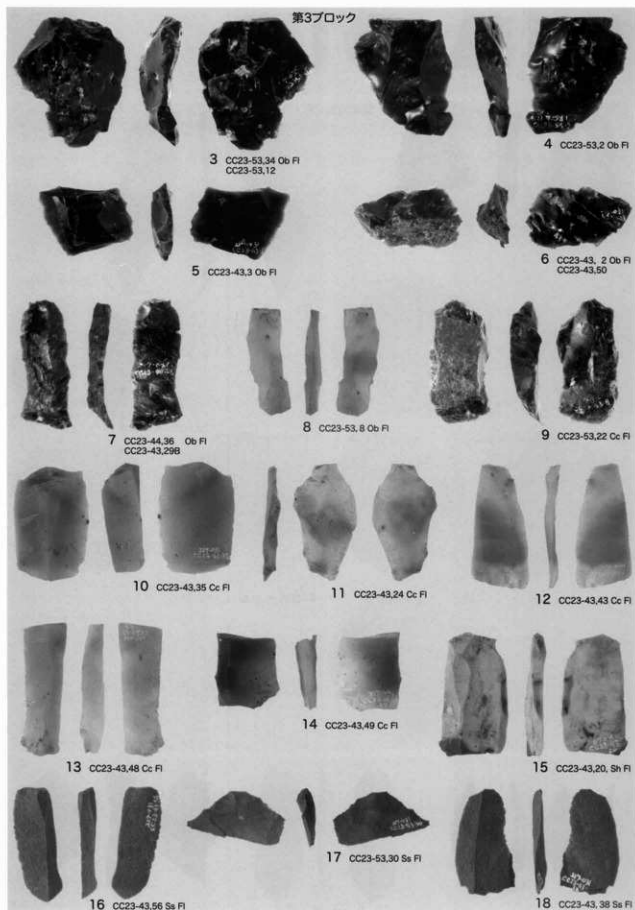
第2ブロック



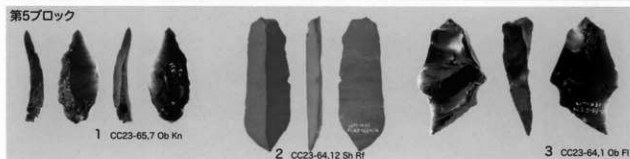
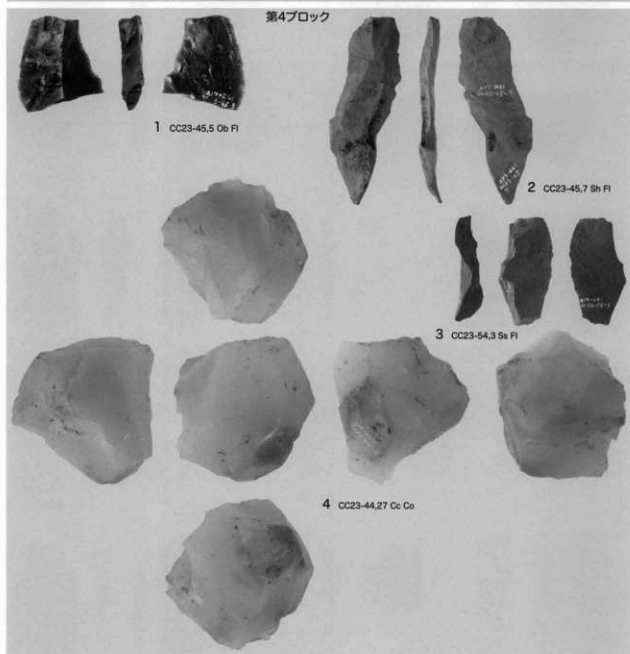
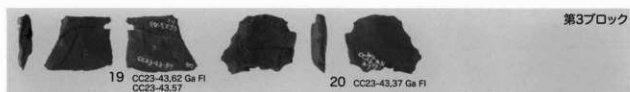
第3ブロック



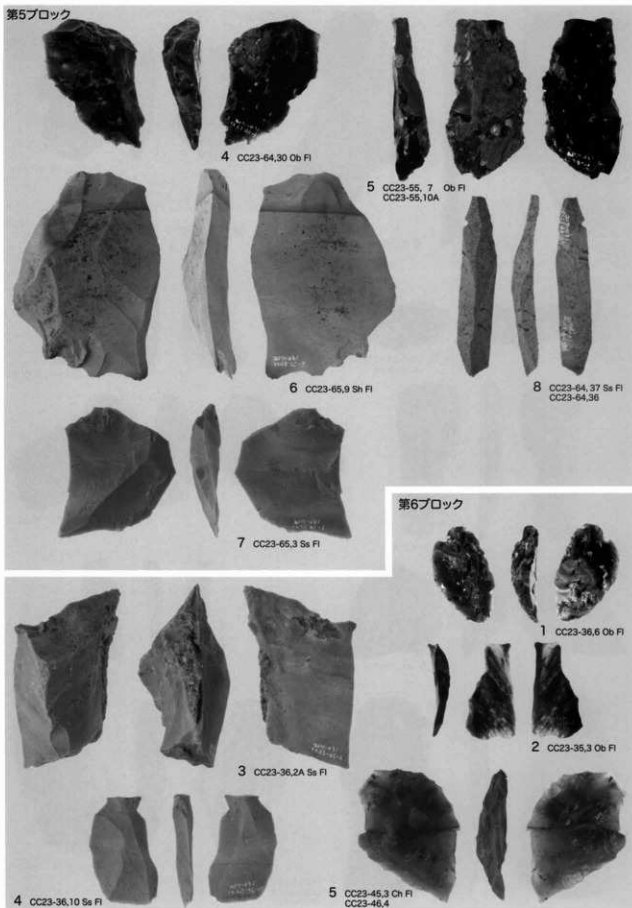
第1文化層出土石器1 (第1・2・3(I)ブロック)



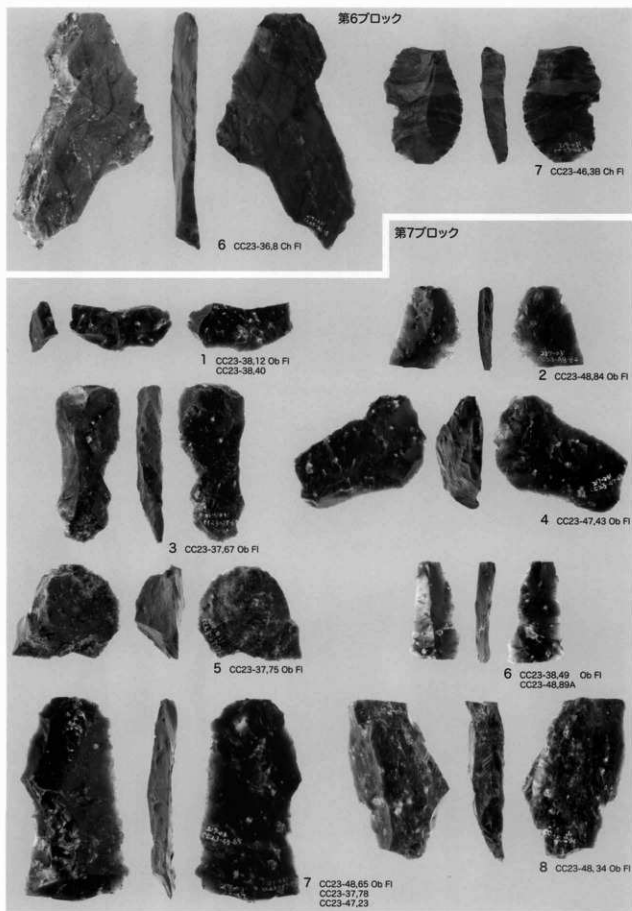
第1文化層出土石器2 (第3(2)ブロック)



第1文化層出土石器3 (第3(3)・4・5(1)ブロック)

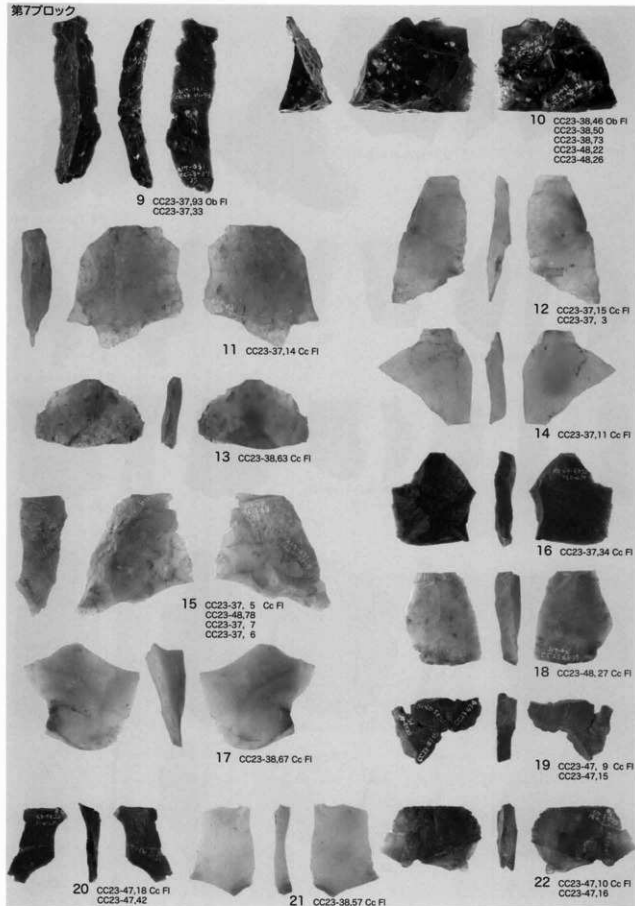


第1文化層出土石器4 (第5(2)・6(1)ブロック)

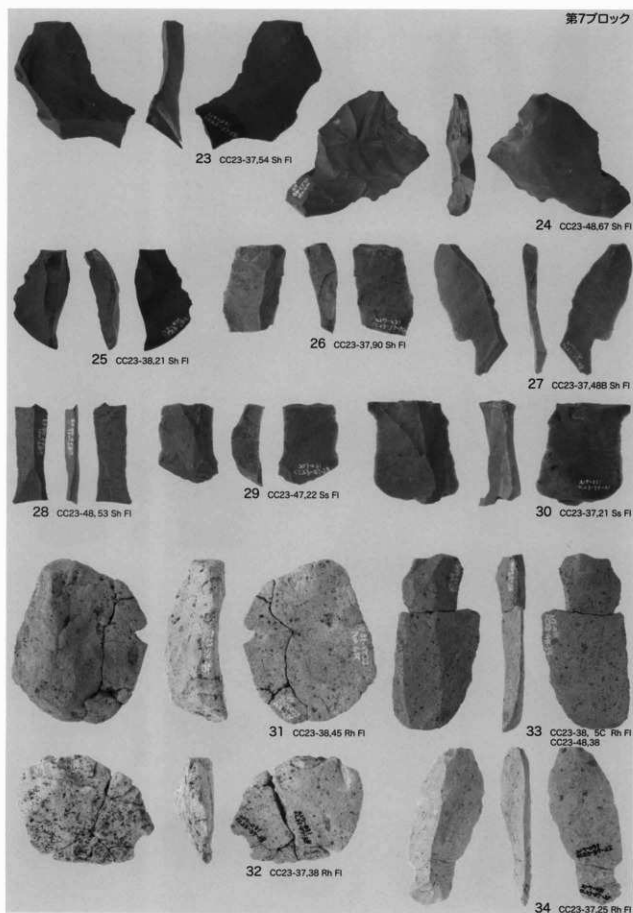


第1文化層出土石器5 (第6(2)・7(1)ブロック)

第7ブロック

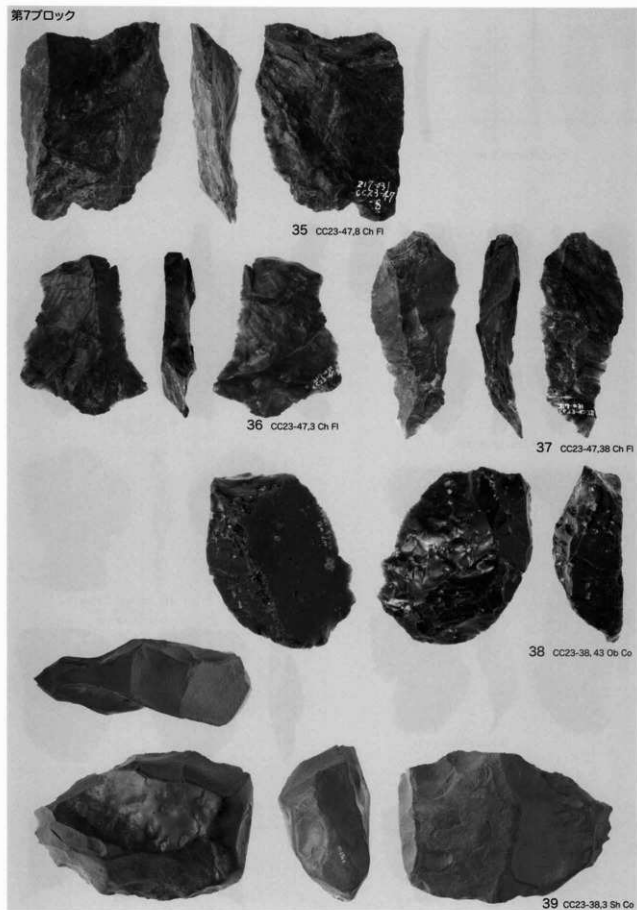


第1文化層出土石器6 (第7(2)ブロック)

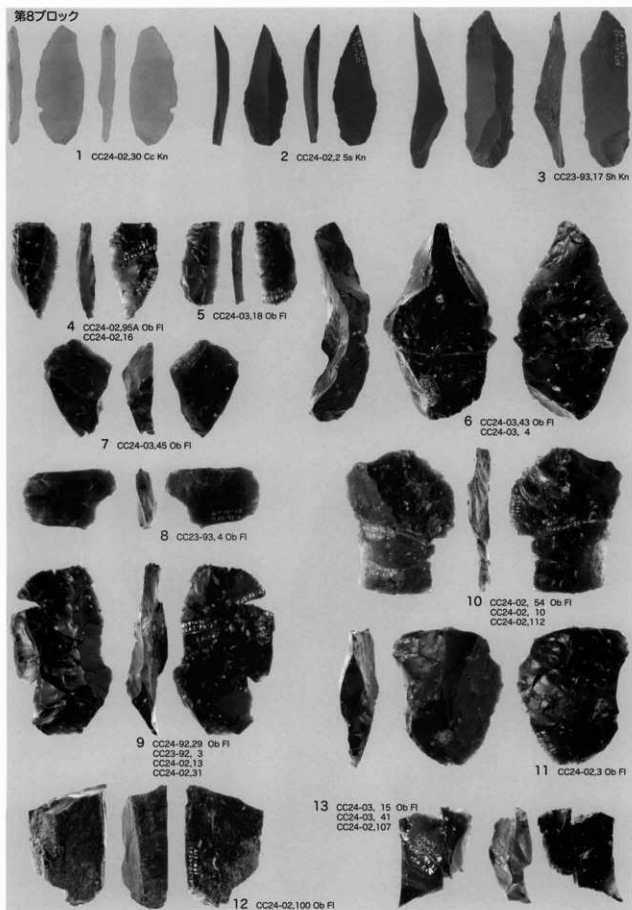


第1文化層出土石器7 (第7(3)ブロック)

第7ブロック

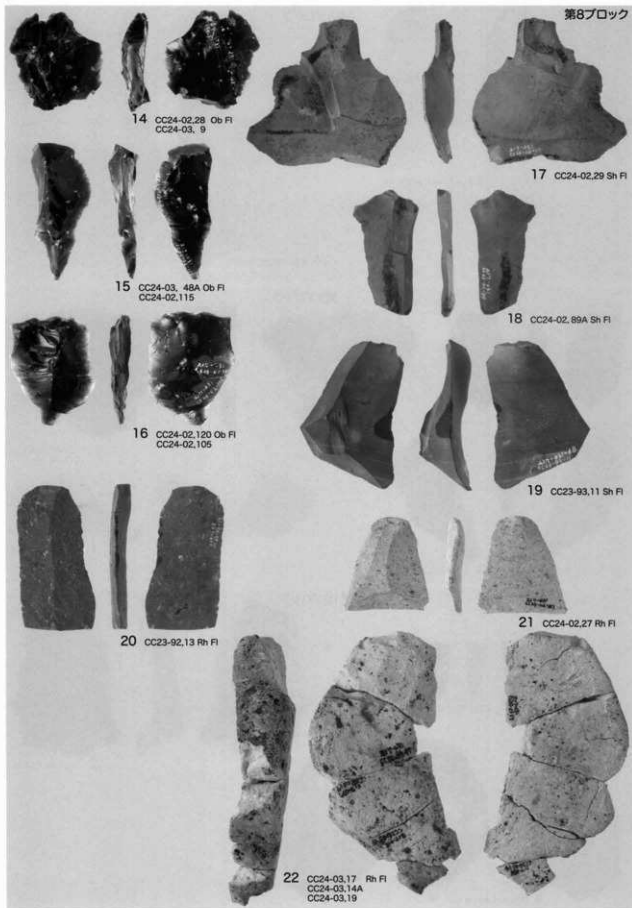


第1文化層出土石器8 (第7(4)ブロック)

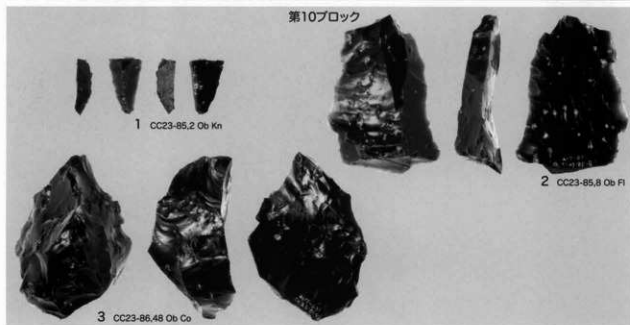
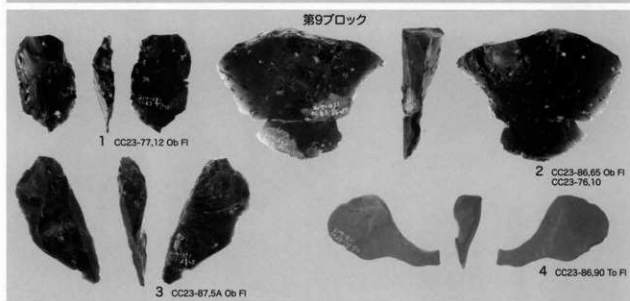
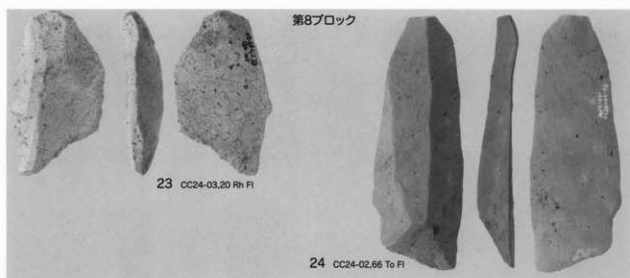


第1文化層出土石器9 (第8(1)ブロック)

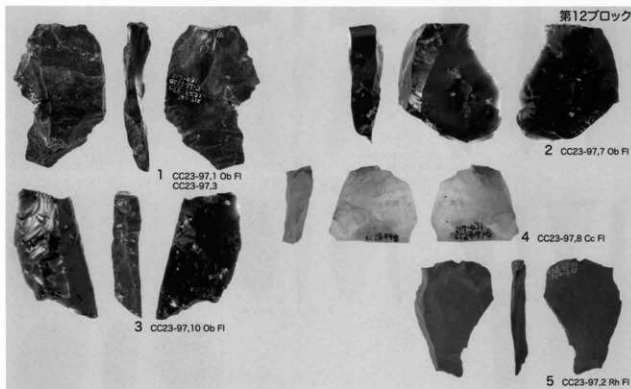
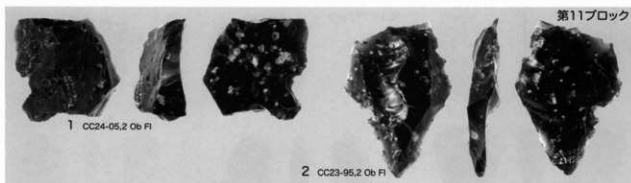
第8ブロック



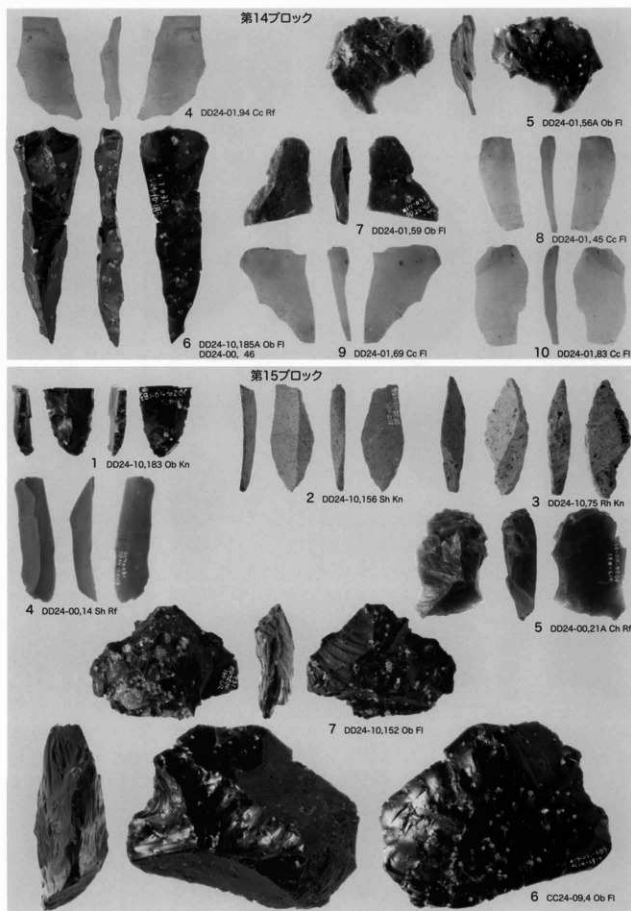
第1文化層出土石器10 (第8(2)ブロック)



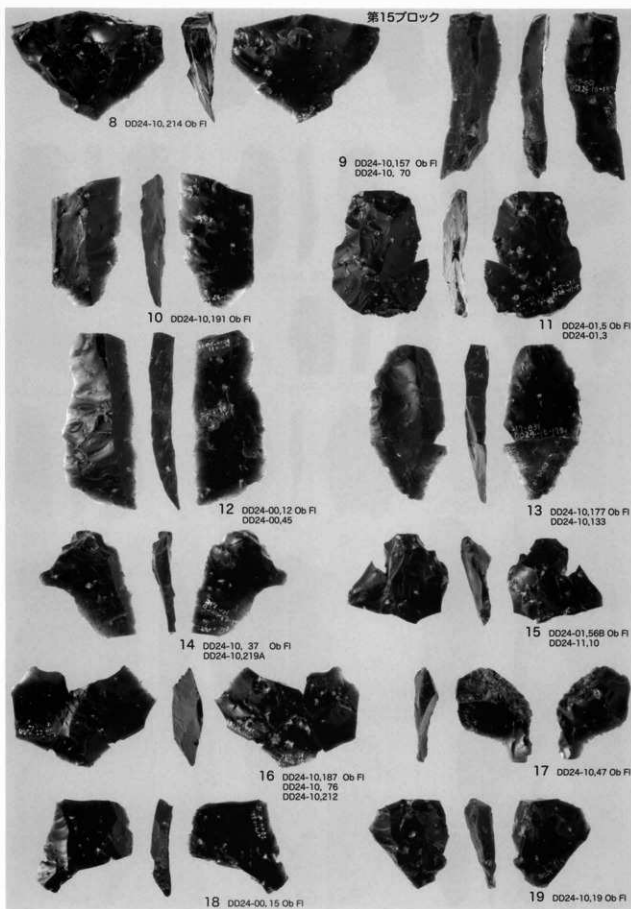
第1文化層出土石器11 (第8(3)・9・10ブロック)



第1文化層出土石器12 (第11・12・13・14(1)ブロック)

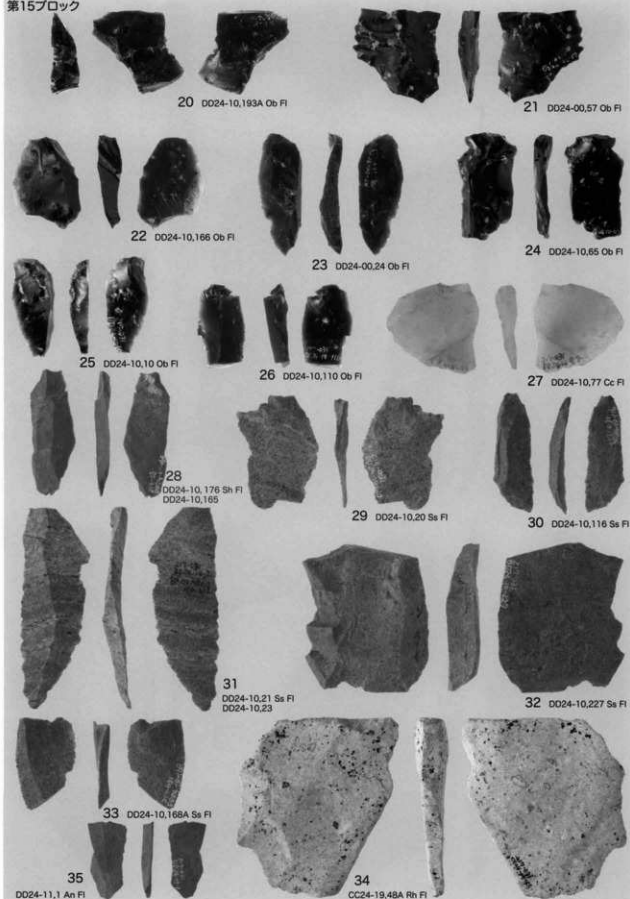


第1文化層出土石器13 (第14(2)・15(1)ブロック)

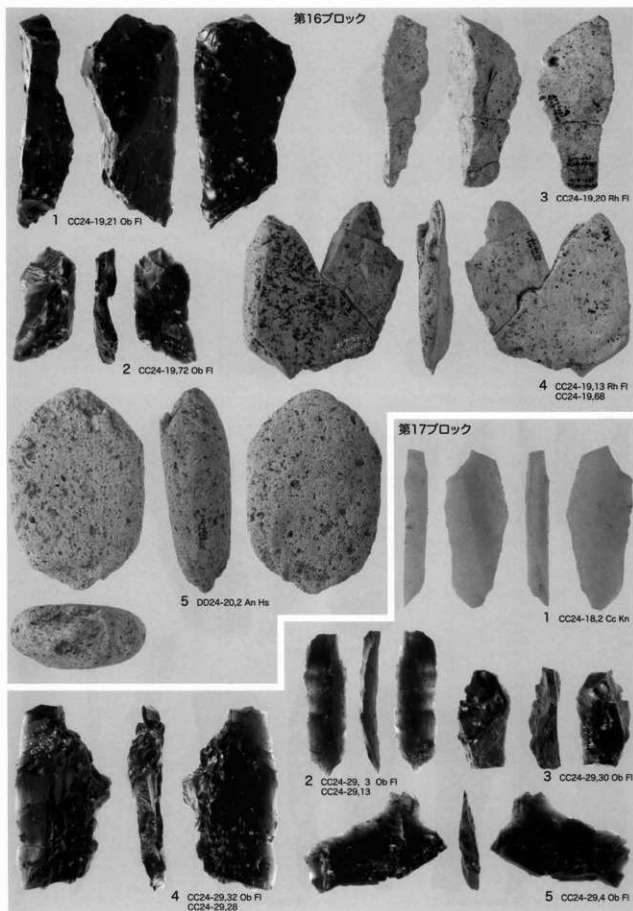


第1文化層出土石器14 (第15(2)ブロック)

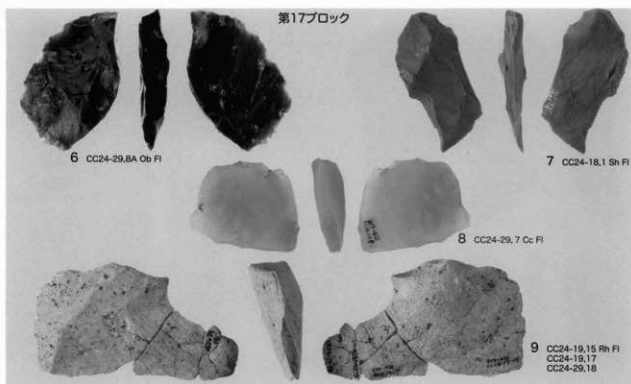
第15ブロック



第1文化層出土石器15 (第15(3)ブロック)



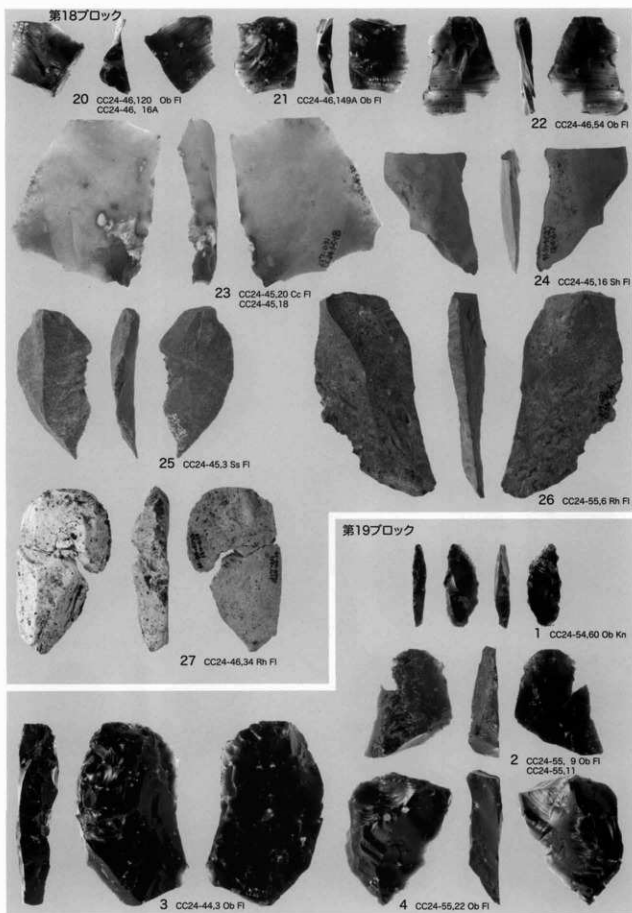
第1文化層出土石器16 (第16・17(1)ブロック)



第1文化層出土石器17 (第17(2)・18(1)ブロック)

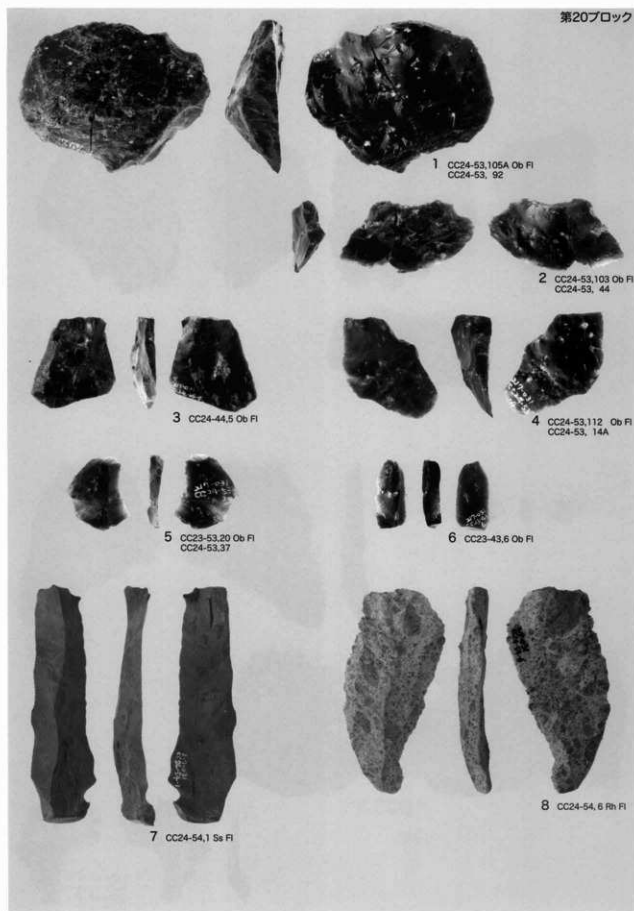


第1文化層出土石器18 (第18(2)ブロック)



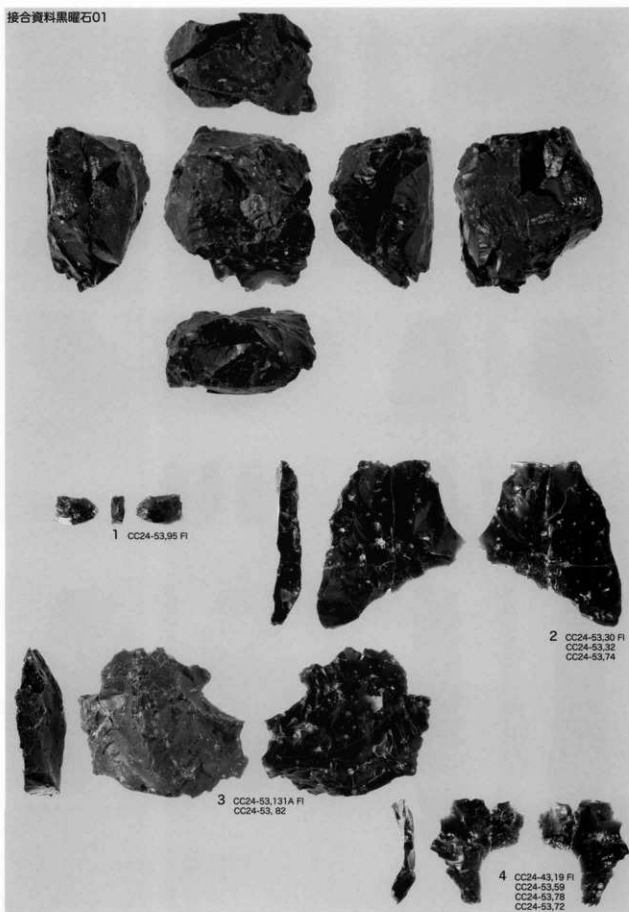
第1文化層出土石器19 (第18(3)・19ブロック)

第20ブロック



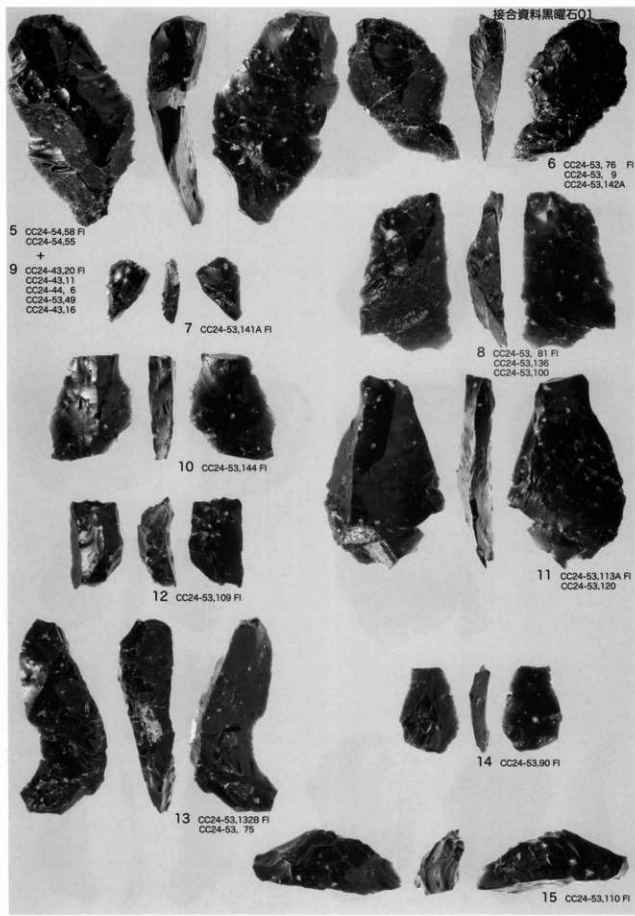
第1文化層出土石器20 (第20ブロック)

接合資料黒曜石01

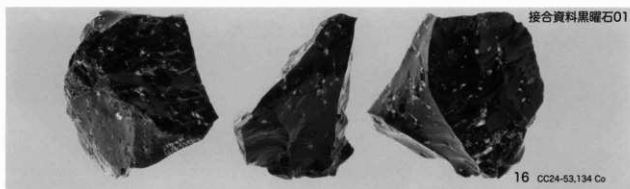


第1文化層出土石器21（黒曜石01(1)）

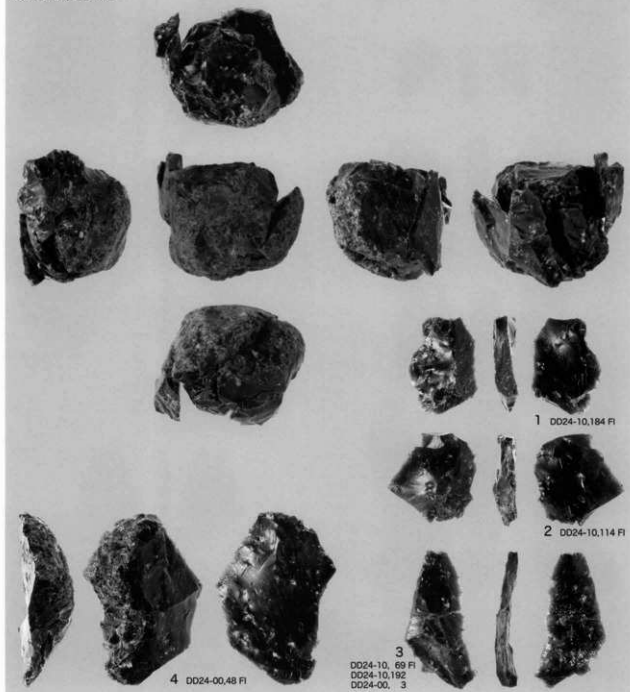
接合資料黒曜石01



第1文化層出土石器22 (黒曜石01(2))

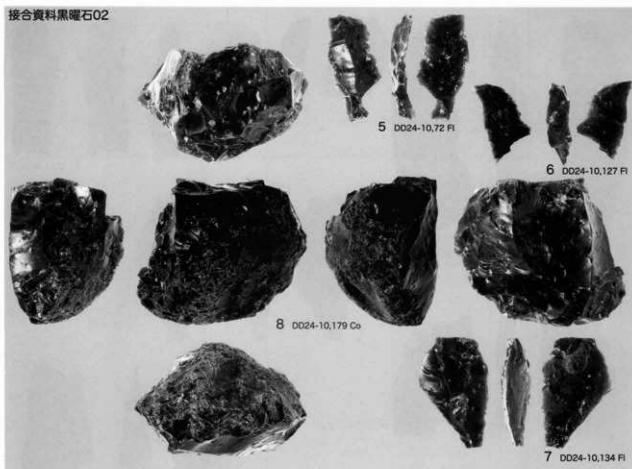


接合資料黒曜石02



第1文化層出土石器23 (黒曜石01(3)・02(1))

接合資料黑曜石02

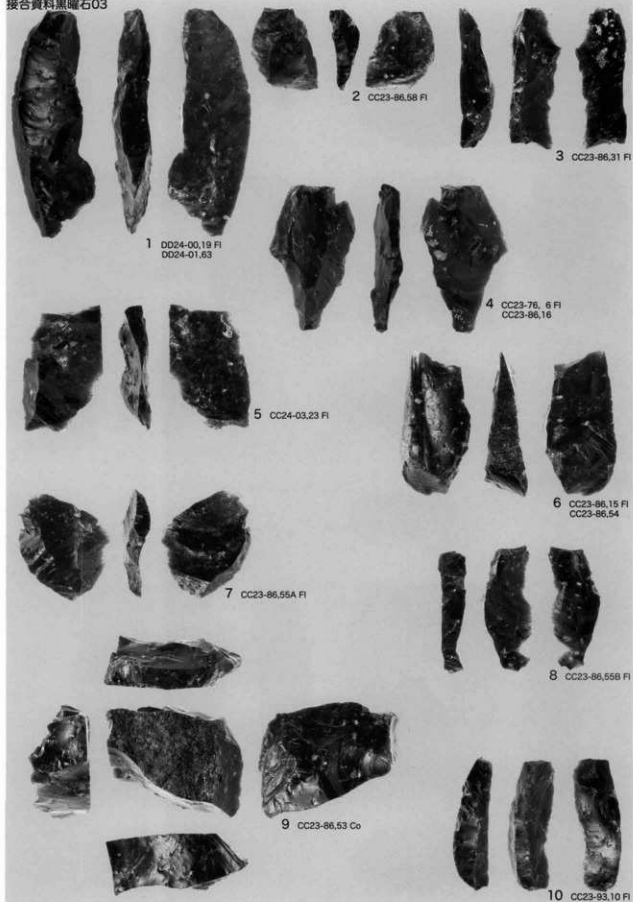


接合資料黑曜石03



第1文化層出土石器24 (黑曜石02(2)・03(1))

接合資料黒曜石03

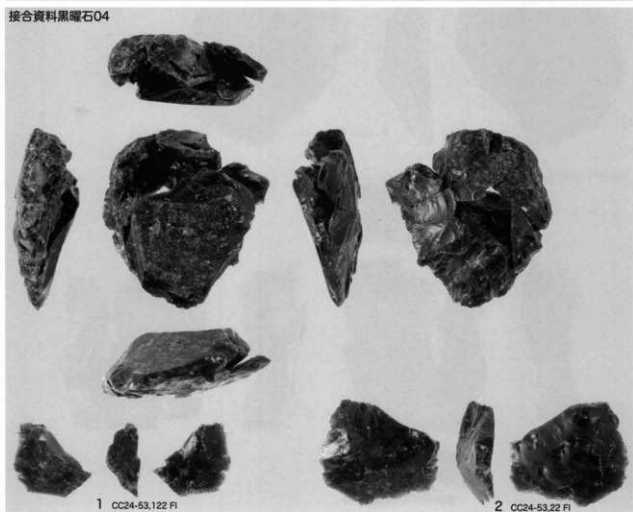


第1文化層出土石器25 (黒曜石03(2))

接合資料黑曜石03

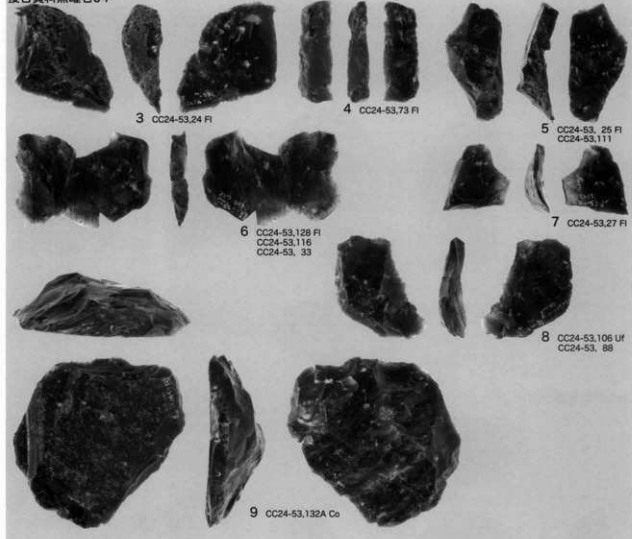


接合資料黑曜石04



第1文化層出土石器26 (黑曜石03(3)・04(1))

接合資料黒曜石04

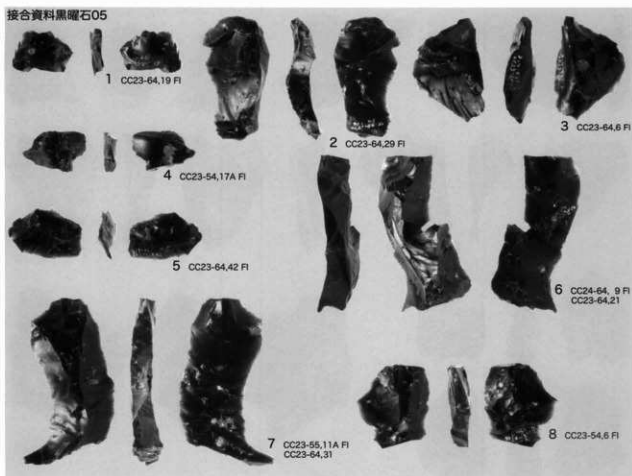


接合資料黒曜石05

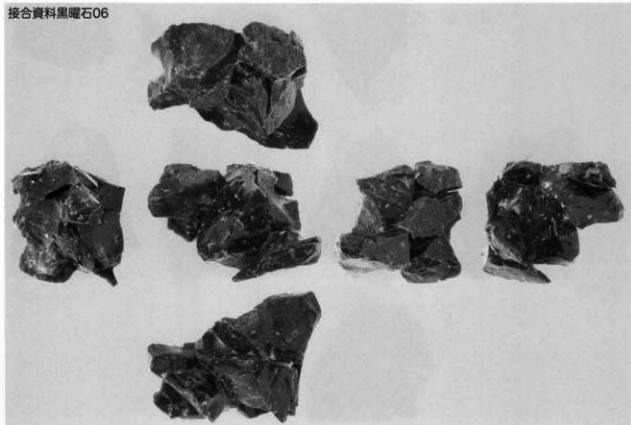


第1文化層出土石器27 (黒曜石04(2)・05(1))

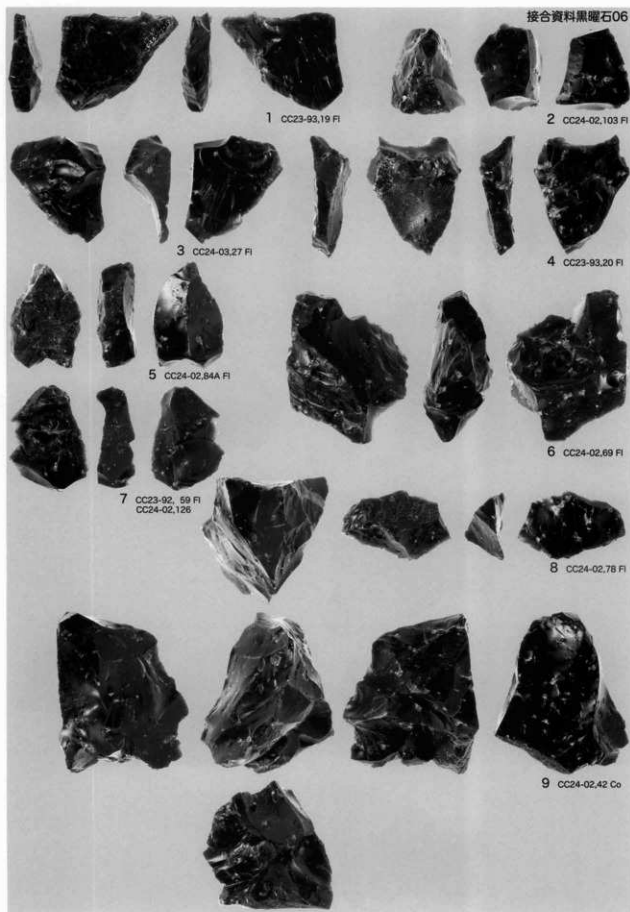
接合資料黒曜石05



接合資料黒曜石06

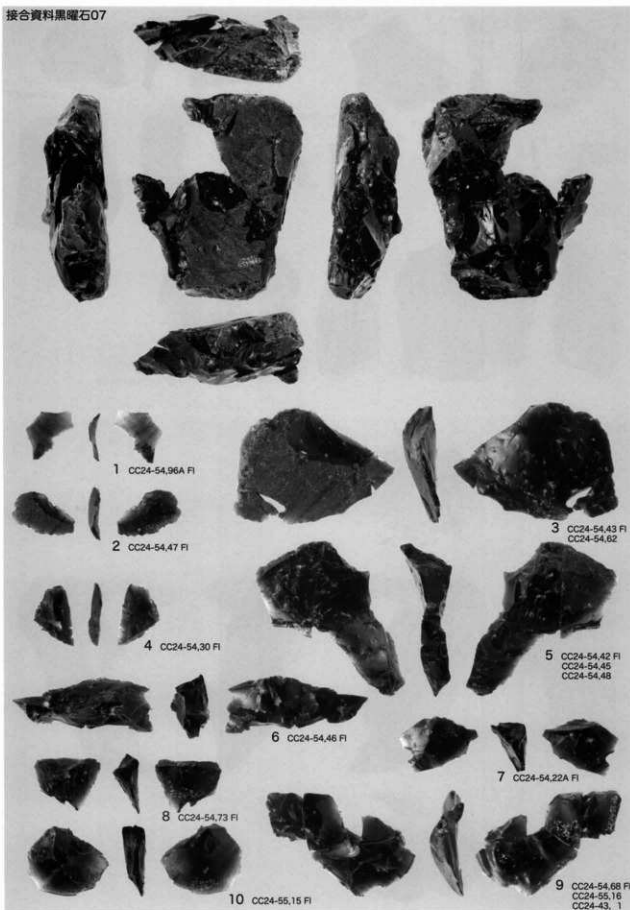


第1文化層出土石器28 (黒曜石05(2)・06(1))

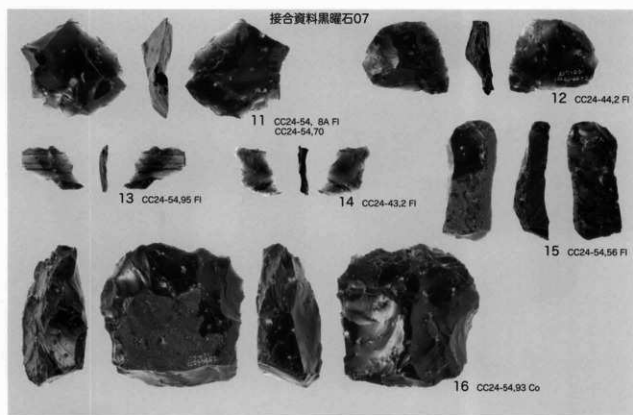


第1文化層出土石器29 (黒曜石06(2))

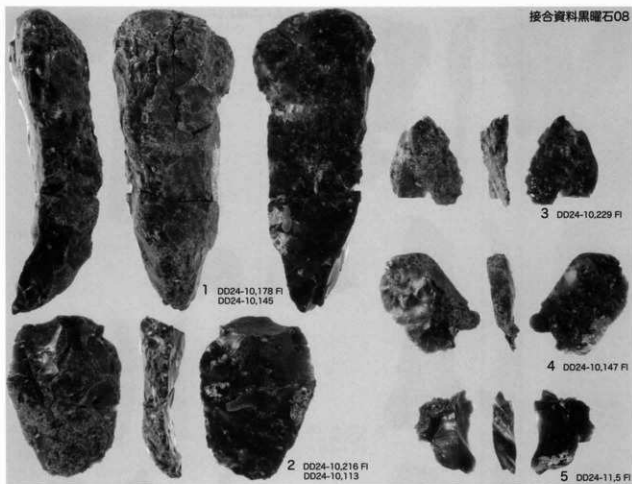
接合資料黒曜石07



第1文化層出土石器30 (黒曜石07(1))



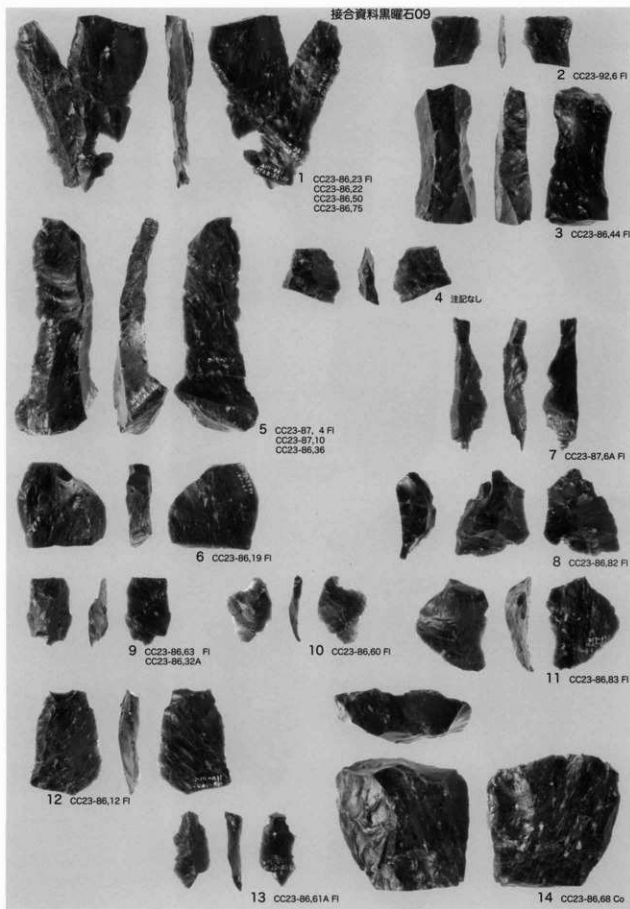
第1文化層出土石器31 (黒曜石07(2)・08(1))



接合資料黒曜石09

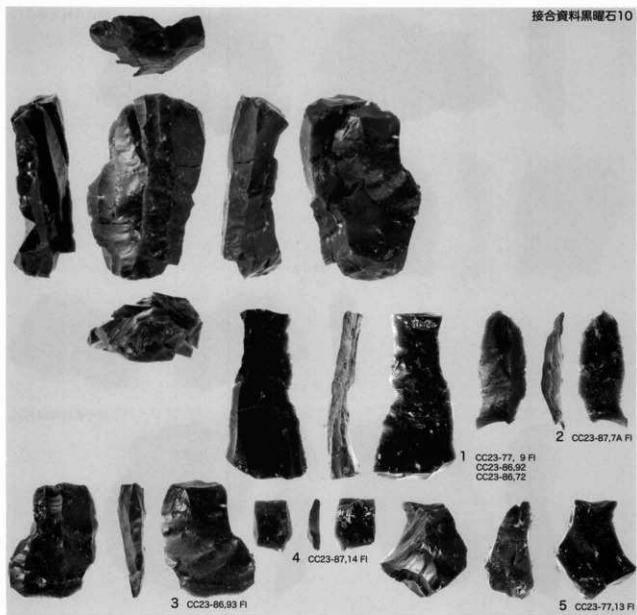


第1文化層出土石器32 (黒曜石08(2)・09(1))



第1文化層出土石器33 (黒曜石09(2))

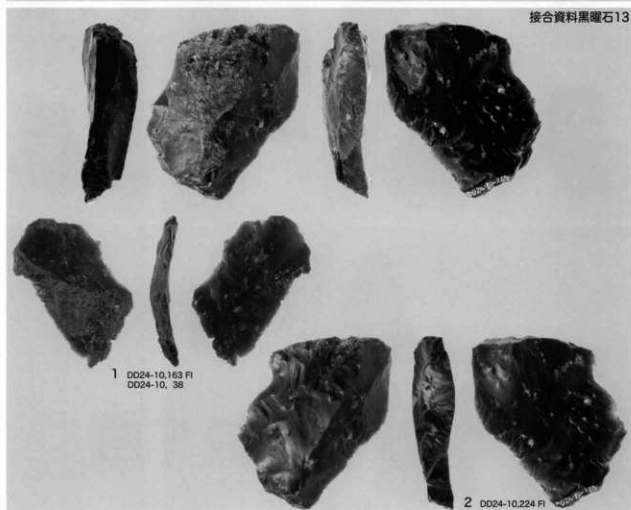
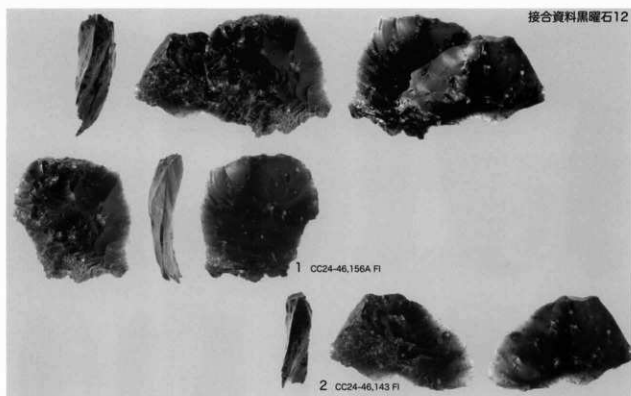
接合資料黑曜石10



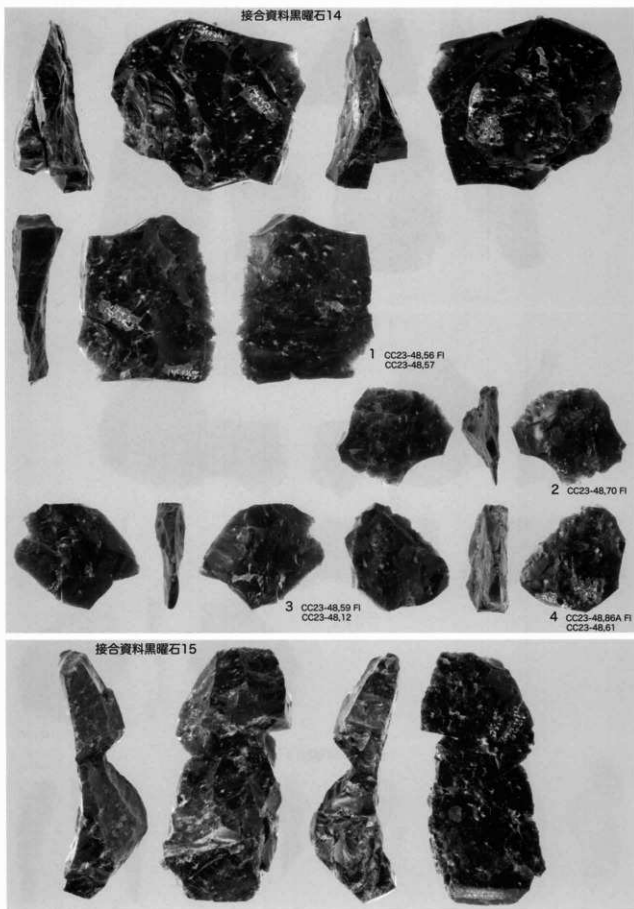
接合資料黑曜石11



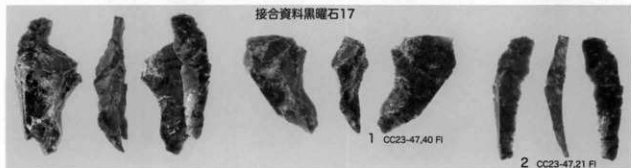
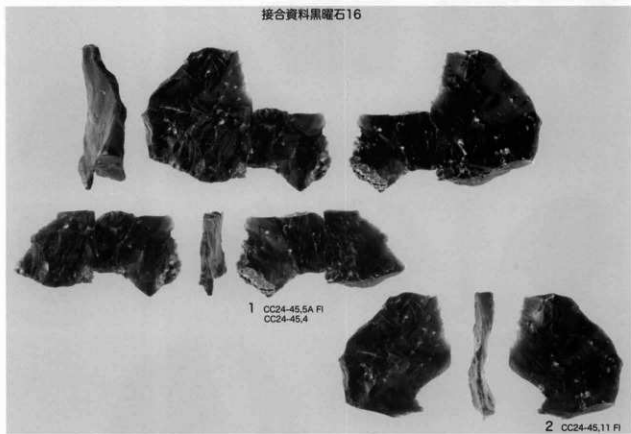
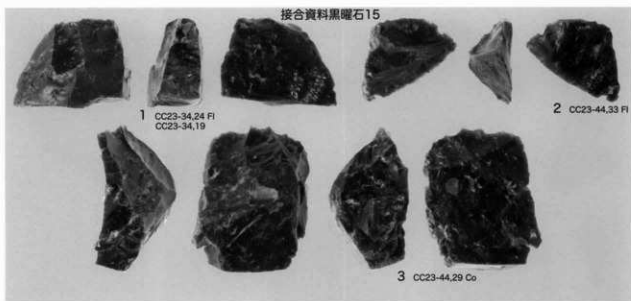
第1文化層出土石器34(黑曜石10・11)



第1文化層出土石器35（黑曜石12・13）

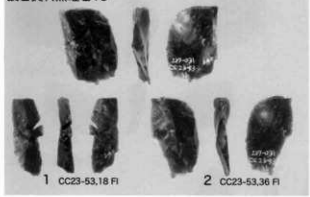


第1文化層出土石器36（黒曜石14・15(1)）



第1文化層出土石器37(黒曜石15(2)・16・17)

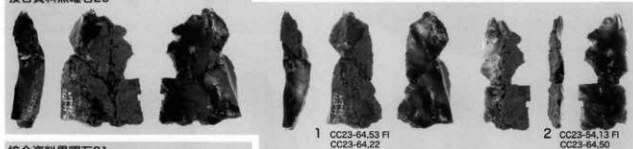
接合資料黒曜石18



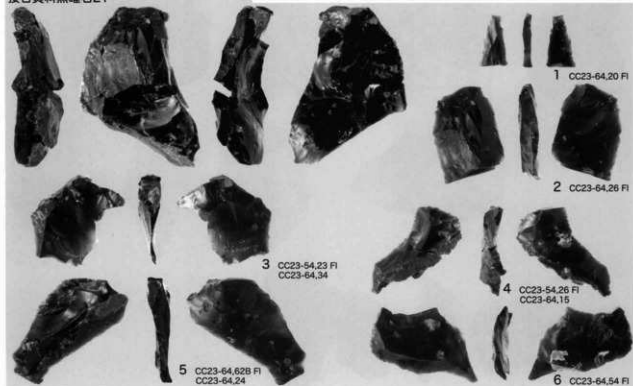
接合資料黒曜石19



接合資料黒曜石20

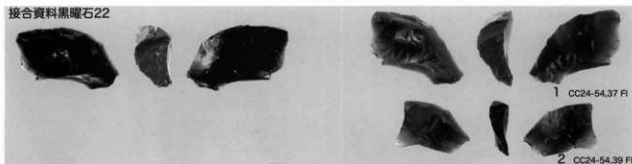


接合資料黒曜石21

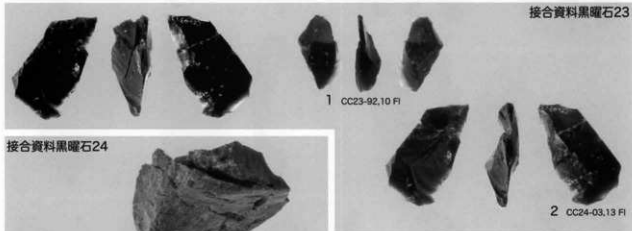


第1文化層出土石器38 (黒曜石18・19・20・21)

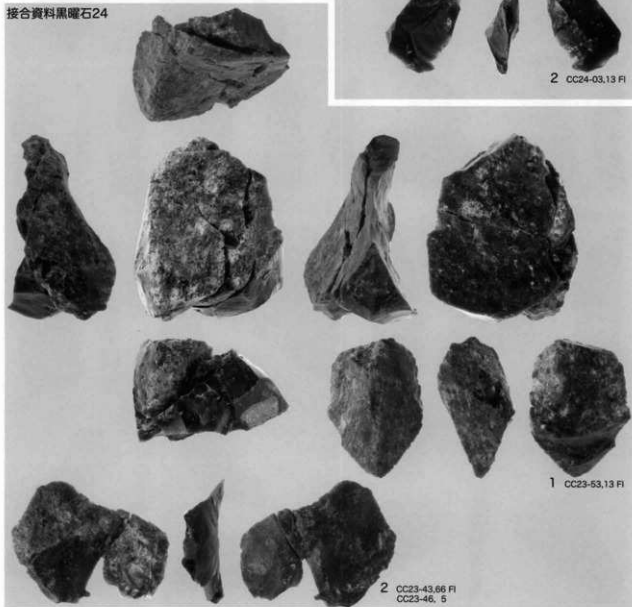
接合資料黑曜石22



接合資料黑曜石23

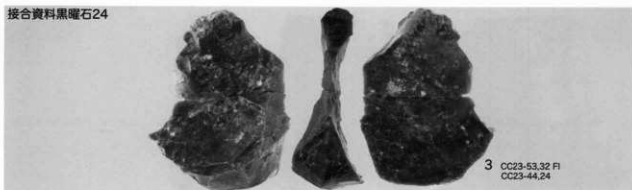


接合資料黑曜石24

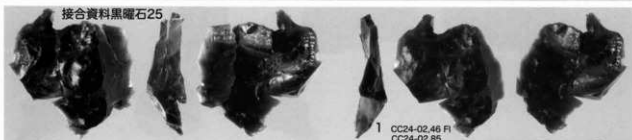


第1文化層出土石器39 (黑曜石22・23・24(1))

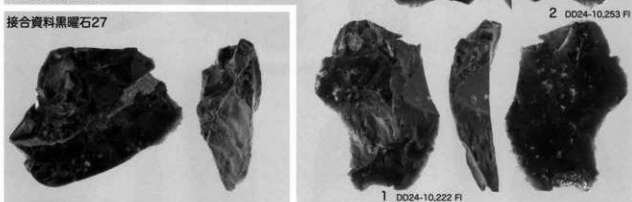
接合資料黒曜石24



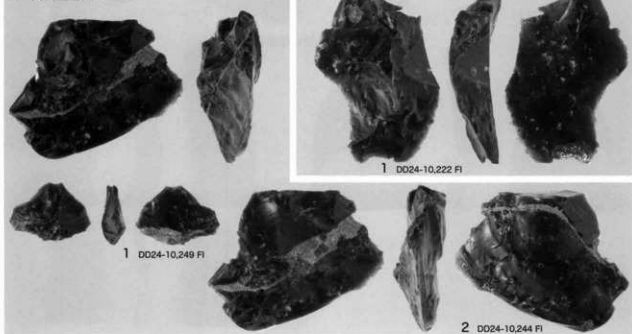
接合資料黒曜石25



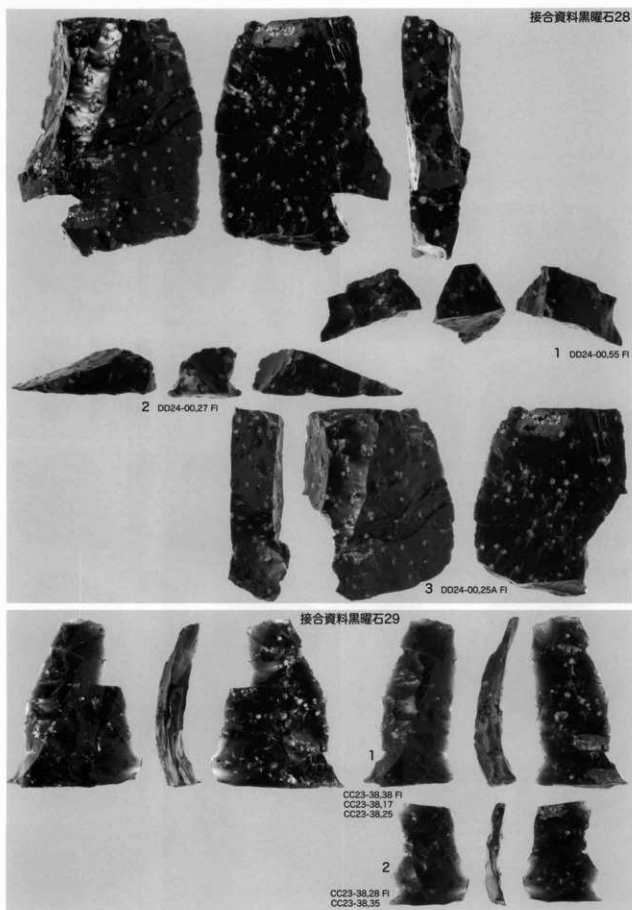
接合資料黒曜石26



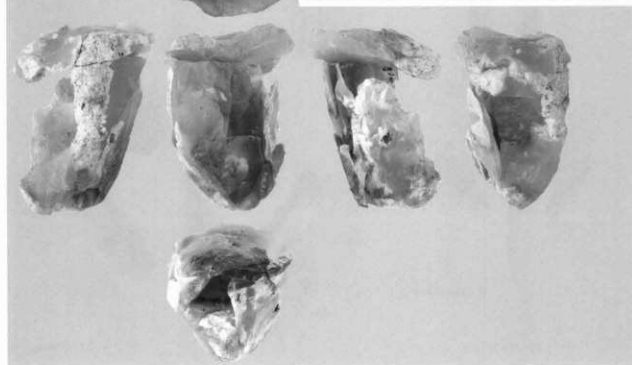
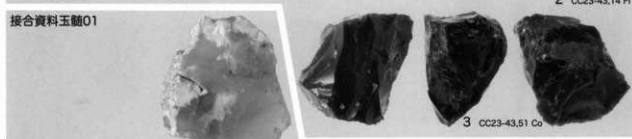
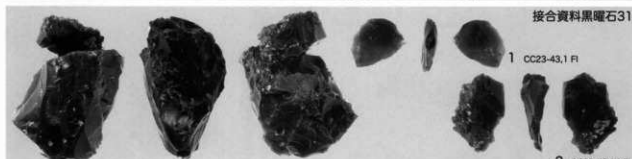
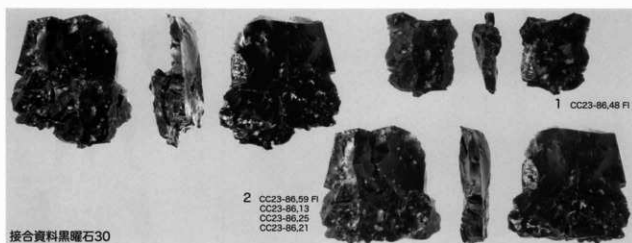
接合資料黒曜石27



第1文化層出土石器40 (黒曜石24(2)・25・26・27)

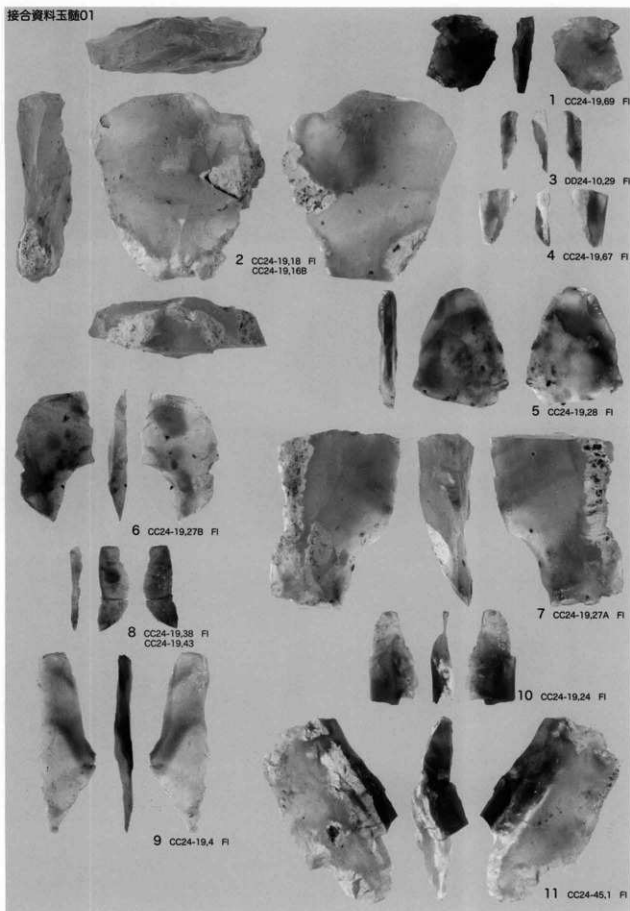


第1文化層出土石器41 (黒曜石28・29)



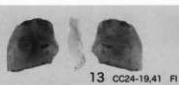
第1文化層出土石器42（黒曜石30・31、玉髓01(1)）

接合資料玉髓01

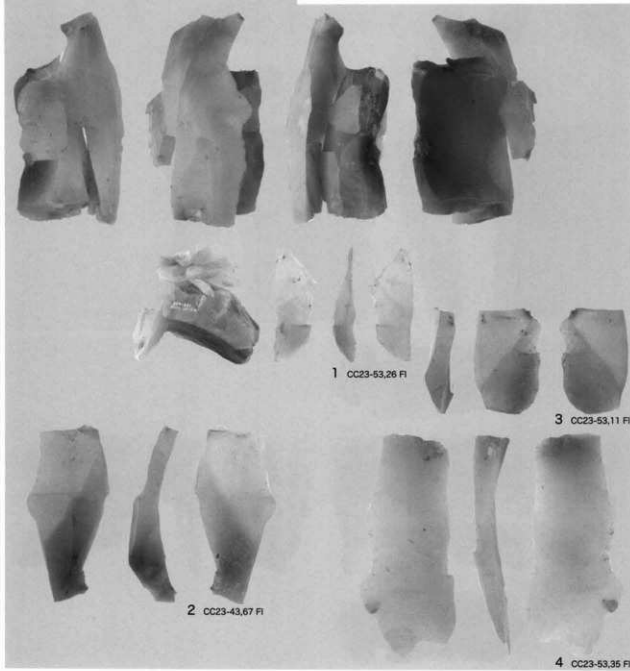
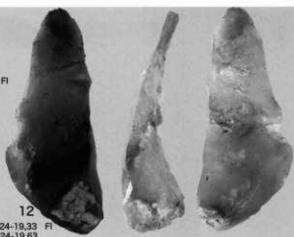


第1文化層出土石器43 (玉髓01(2))

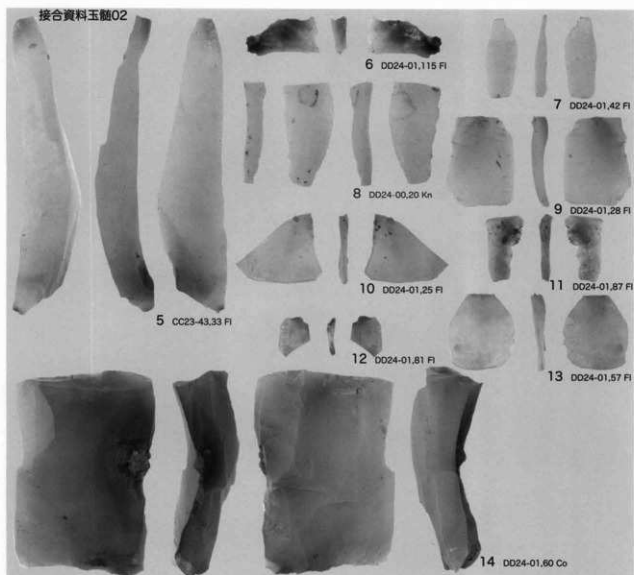
接合資料玉髓01



接合資料玉髓02

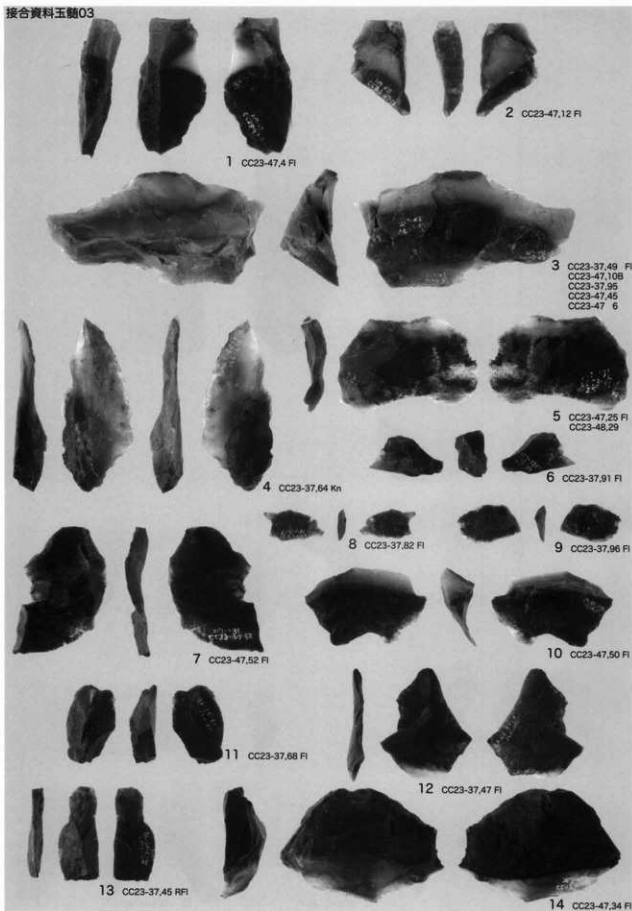


第1文化層出土石器44 (玉髓01(3)・02(1))



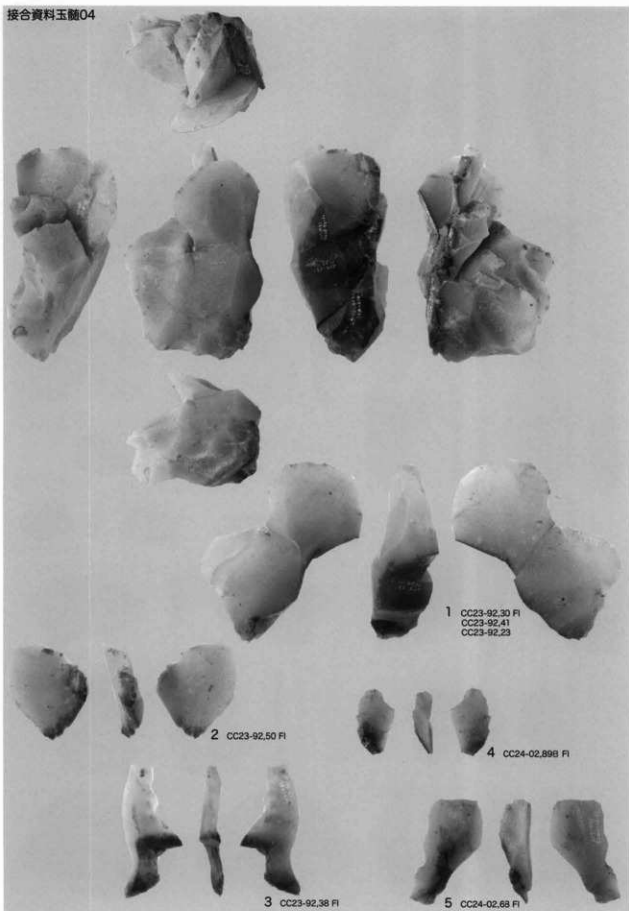
第1文化層出土石器45 (玉髓02(2)・03(1))

接合資料玉髓03



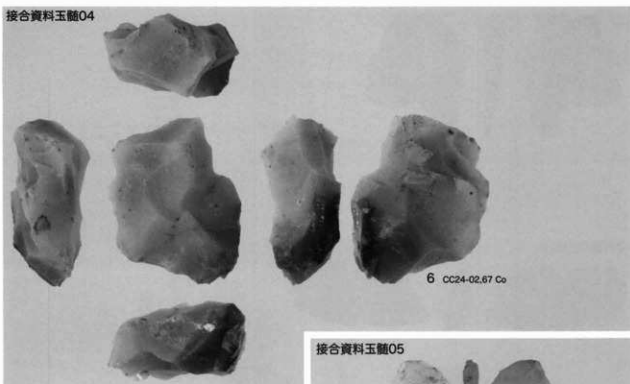
第 1 文化層出土石器46 (玉髓03(2))

接合資料玉髓04



第1文化層出土石器47 (玉髓04(1))

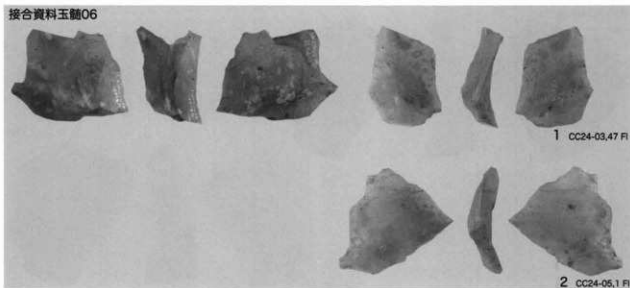
接合資料玉髓04



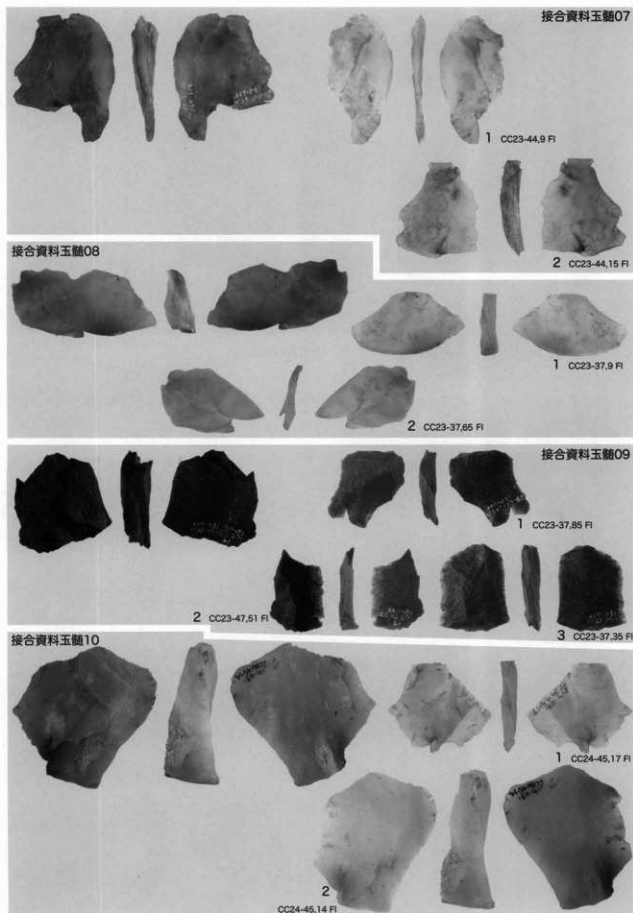
接合資料玉髓05



接合資料玉髓06



第1文化層出土石器48 (玉髓04(2)・05・06)



第1文化層出土石器49 (玉髓07・08・09・10)

接合資料玉髓11

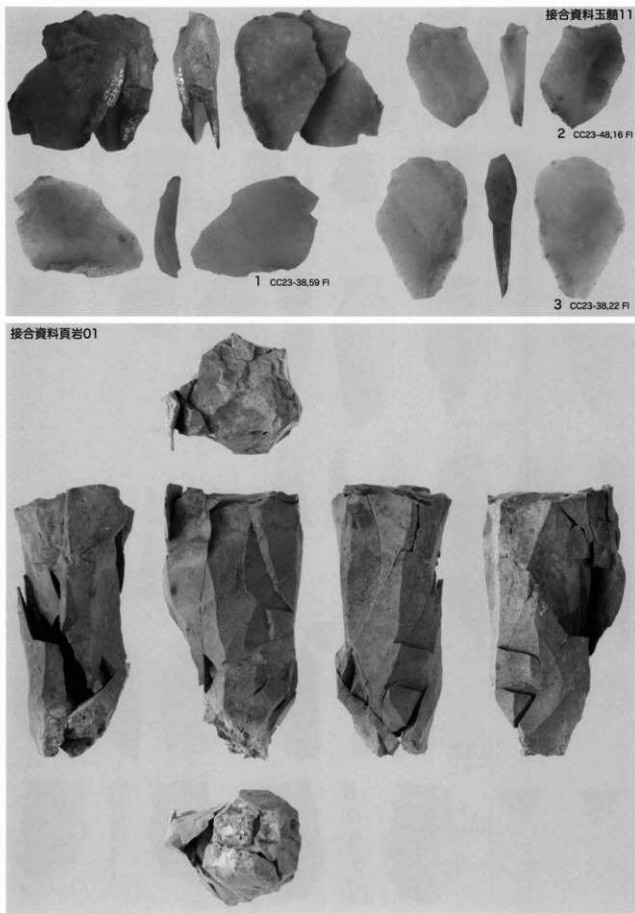
2 CC23-48,16 Fl

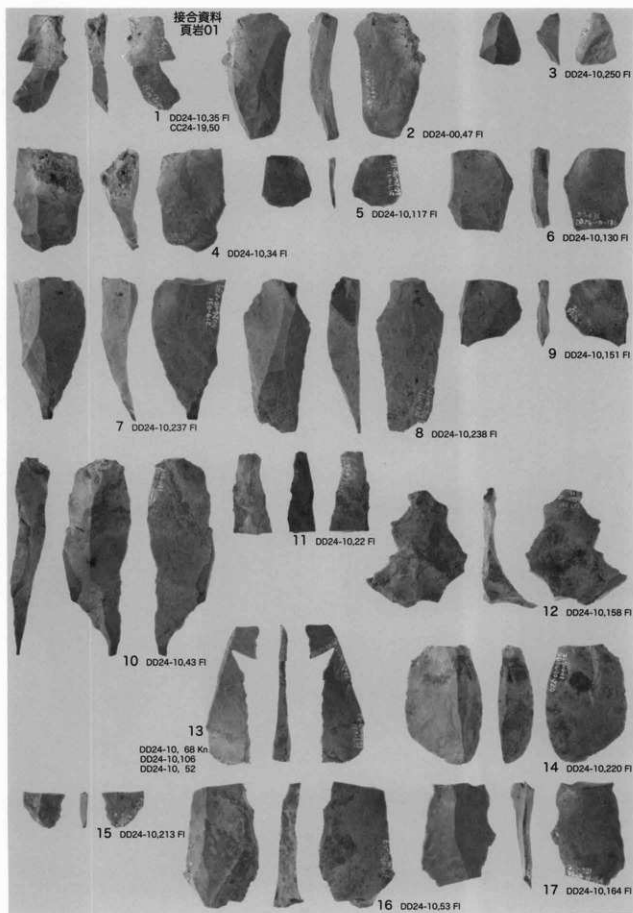
1 CC23-38,59 Fl

3 CC23-38,22 Fl

接合資料頁岩01

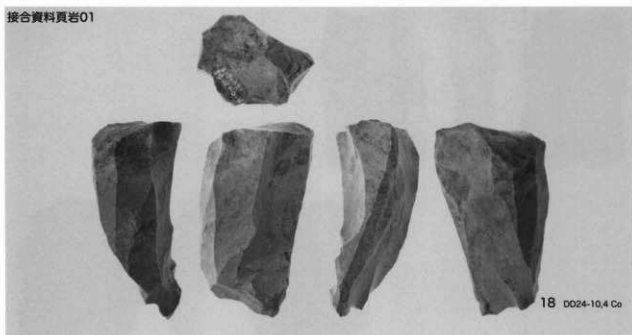
第1文化層出土石器50 (玉髓11、頁岩01(1))



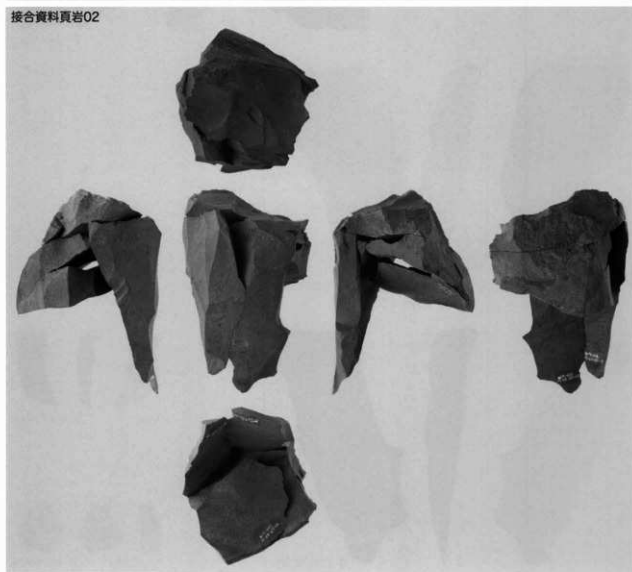


第1文化層出土石器51(頁岩01(2))

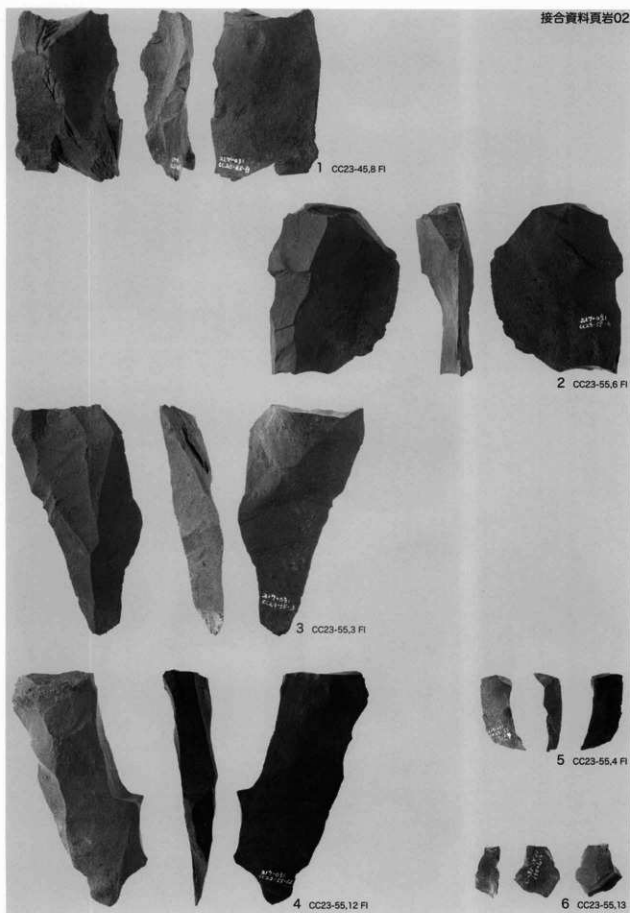
接合資料頁岩01



接合資料頁岩02

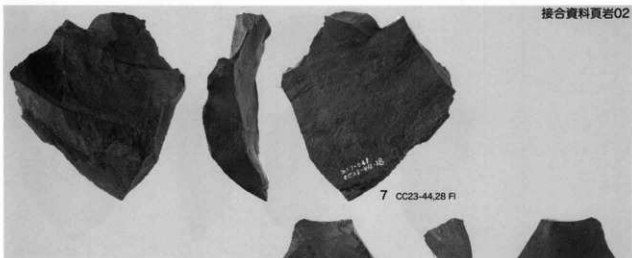


第1文化層出土石器52 (頁岩01(3)・02(1))



第1文化層出土石器53 (頁岩02(2))

接合資料頁岩02

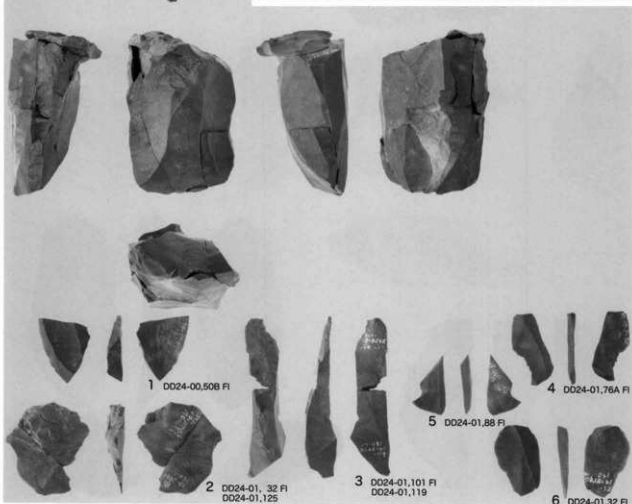


7 CC23-44.28 FI

接合資料頁岩03



8 CC23-55.108 FI



1 DD24-00,508 FI

2 DD24-01, 32 FI
DD24-01,125

3 DD24-01,101 FI
DD24-01,119

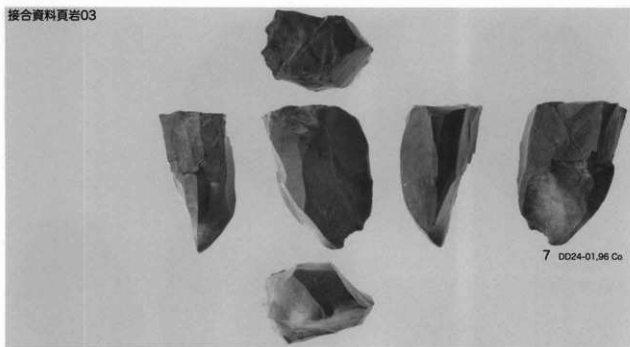
5 DD24-01,88 FI

4 DD24-01,76A FI

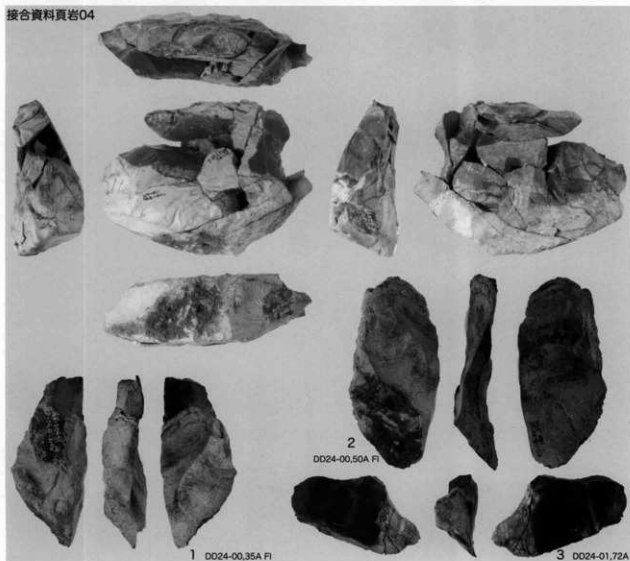
6 DD24-01,32 FI

第1文化層出土石器54 (頁岩02(3)・03(1))

接合資料頁岩03

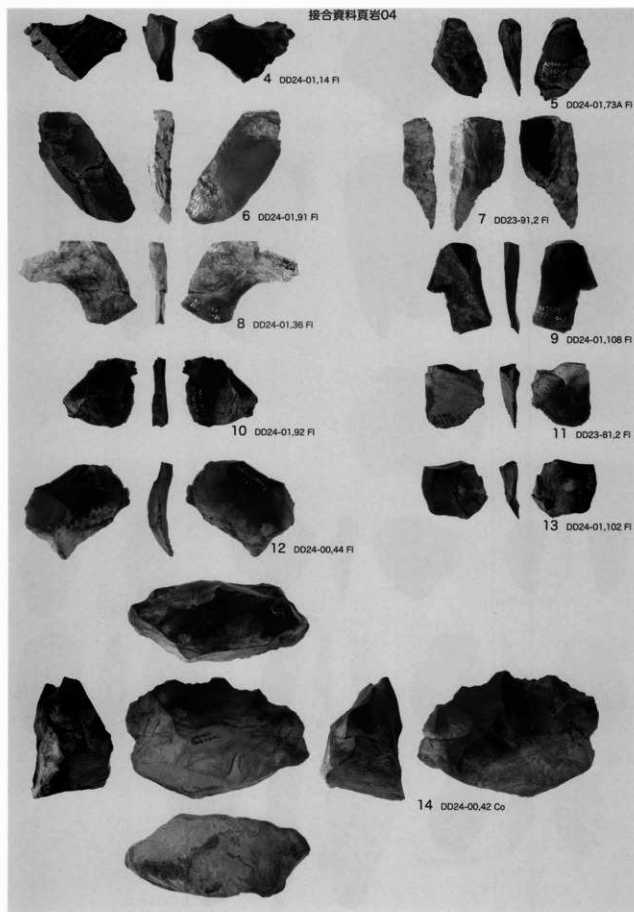


接合資料頁岩04



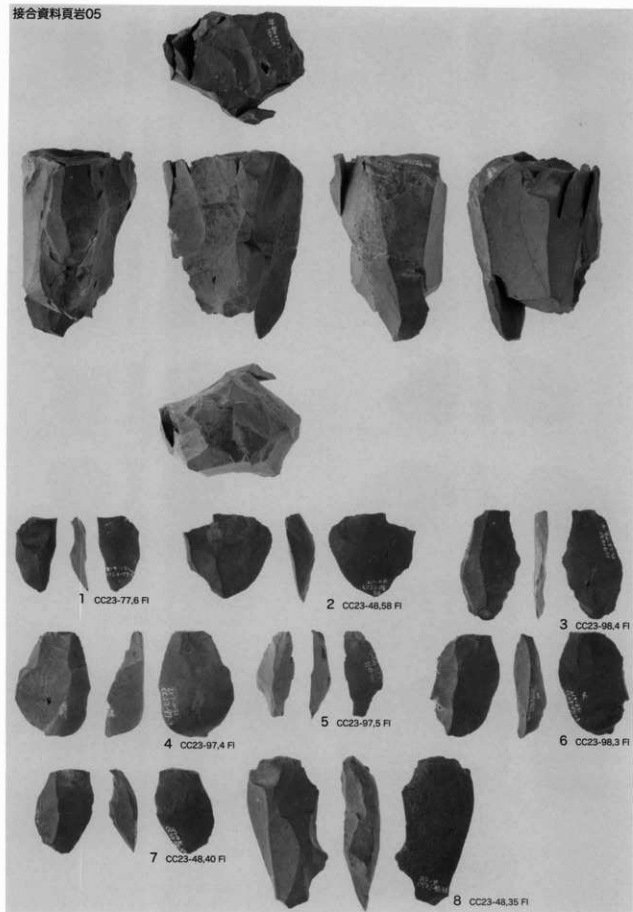
第1文化層出土石器55 (頁岩03(2)・04(1))

接合資料頁岩04



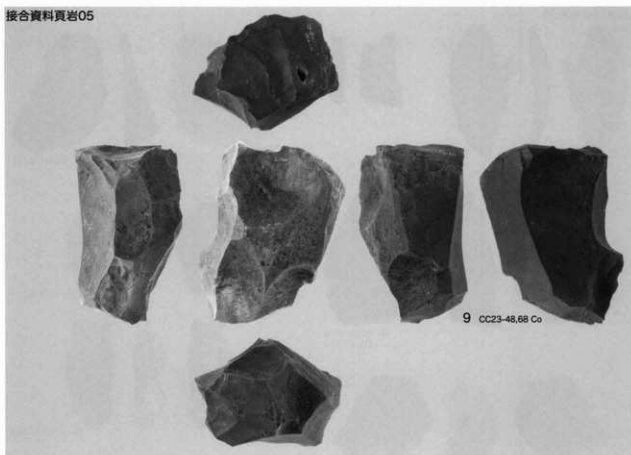
第1文化層出土石器56 (頁岩04(2))

接合資料頁岩05

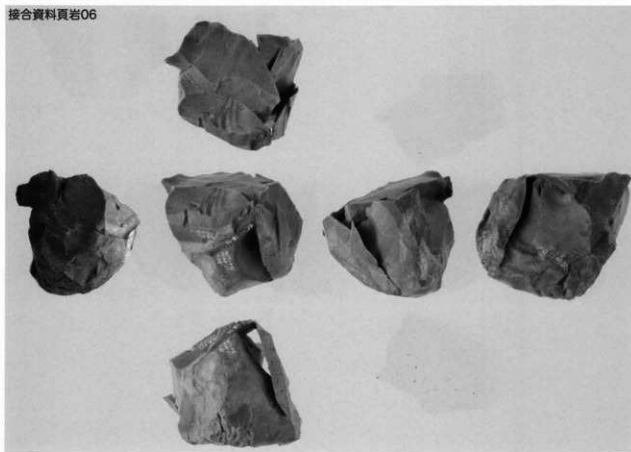


第1文化層出土石器57 (頁岩05(1))

接合資料頁岩05

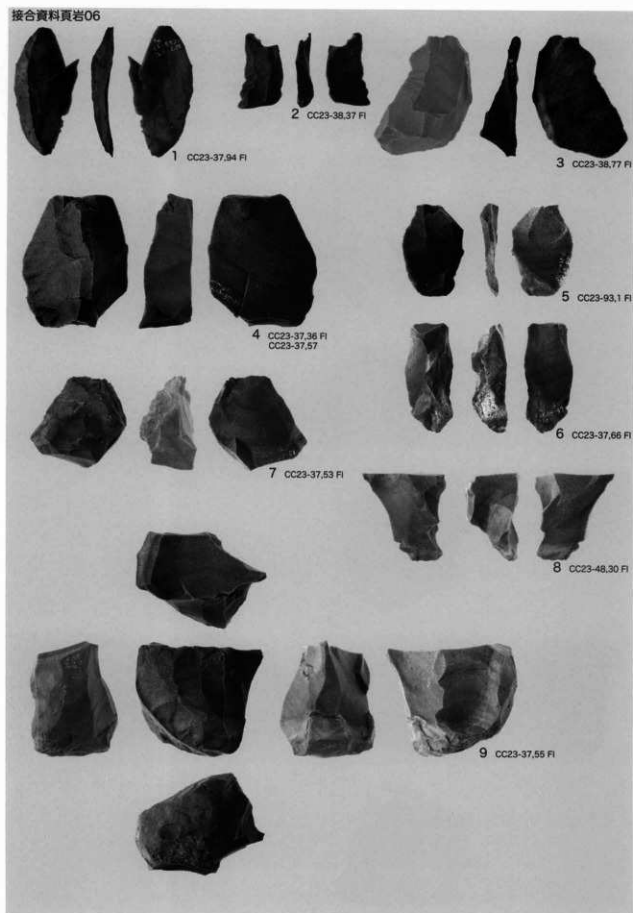


接合資料頁岩06



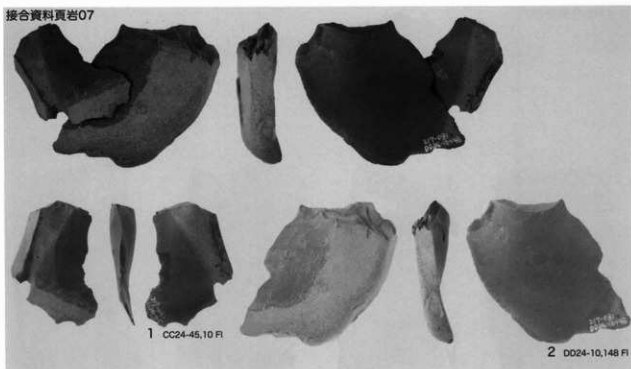
第1文化層出土石器58 (頁岩05(2)・06(1))

接合資料頁岩06

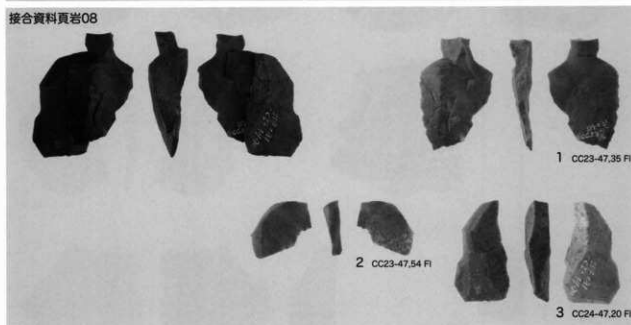


第1文化層出土石器59 (頁岩06(2))

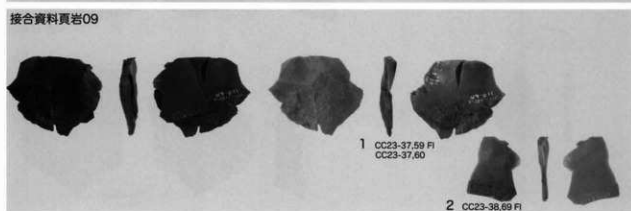
接合資料頁岩07



接合資料頁岩08

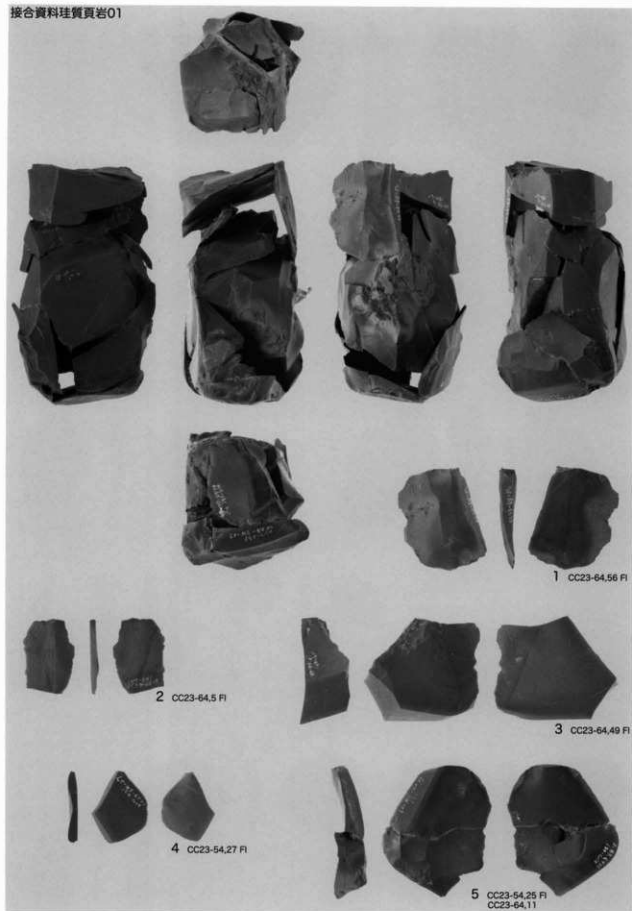


接合資料頁岩09

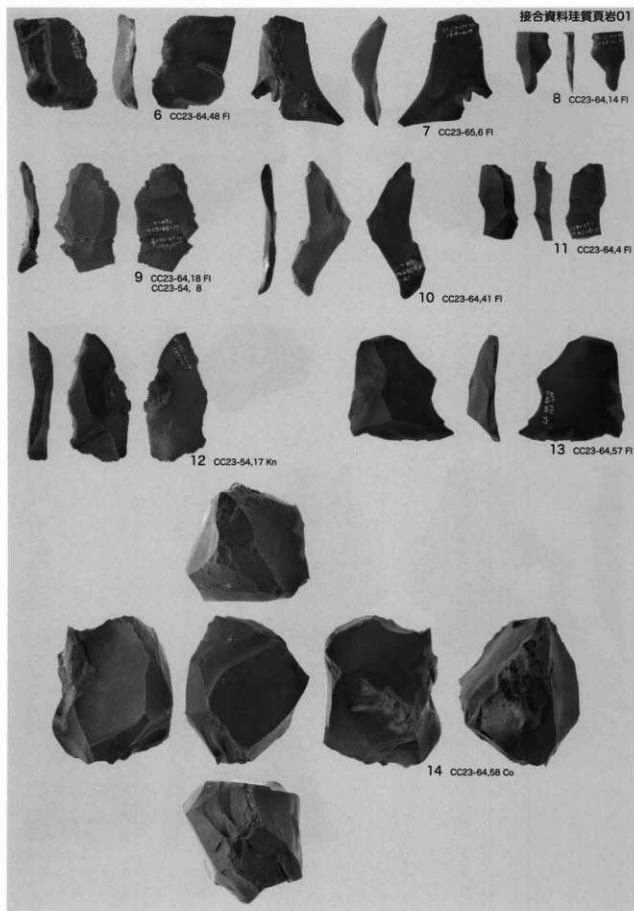


第1文化層出土石器60 (頁岩07・08・09)

接合資料珪質頁岩01

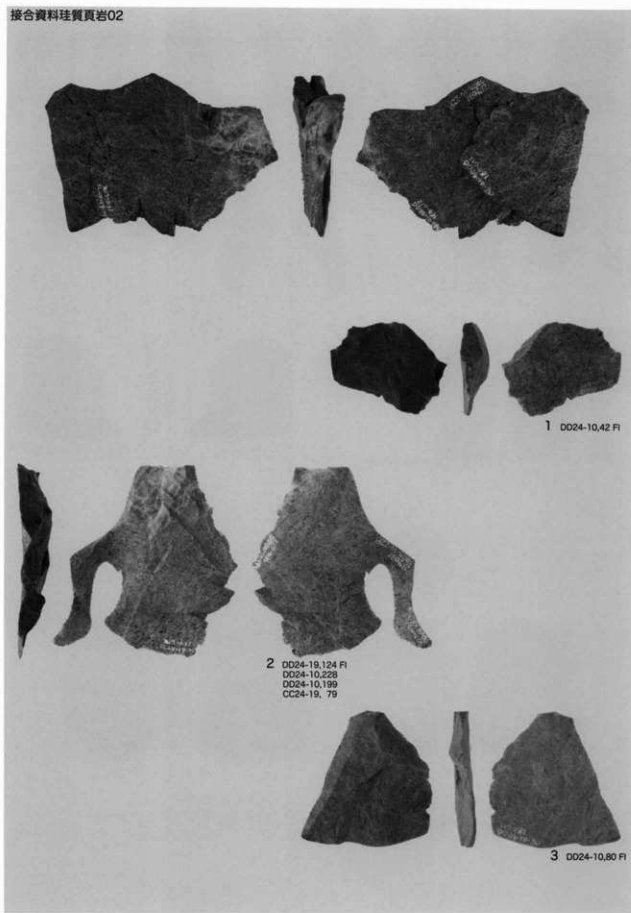


第1文化層出土石器61 (珪質頁岩01(1))



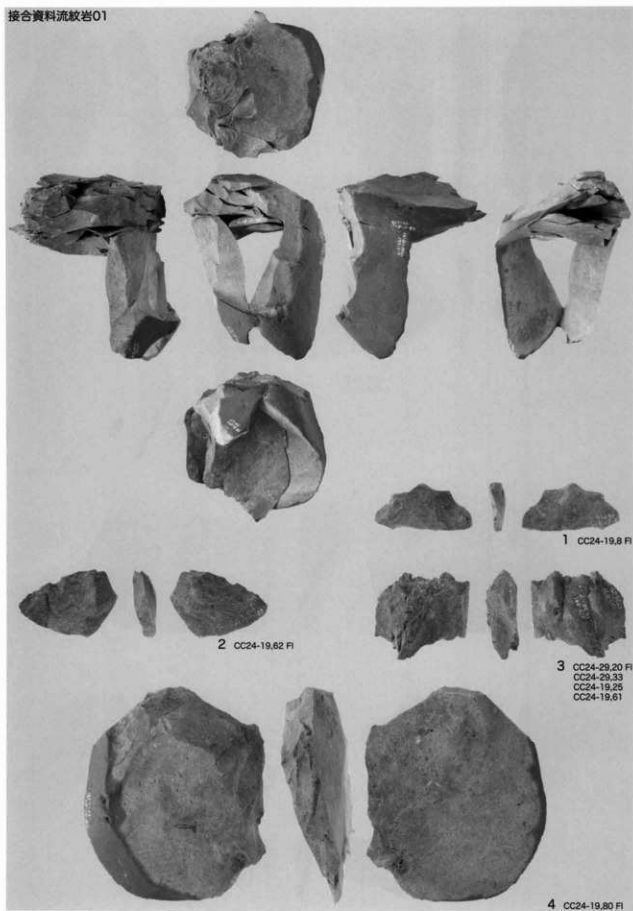
第1文化層出土石器62 (珪質頁岩01(2))

接合資料珪質頁岩02



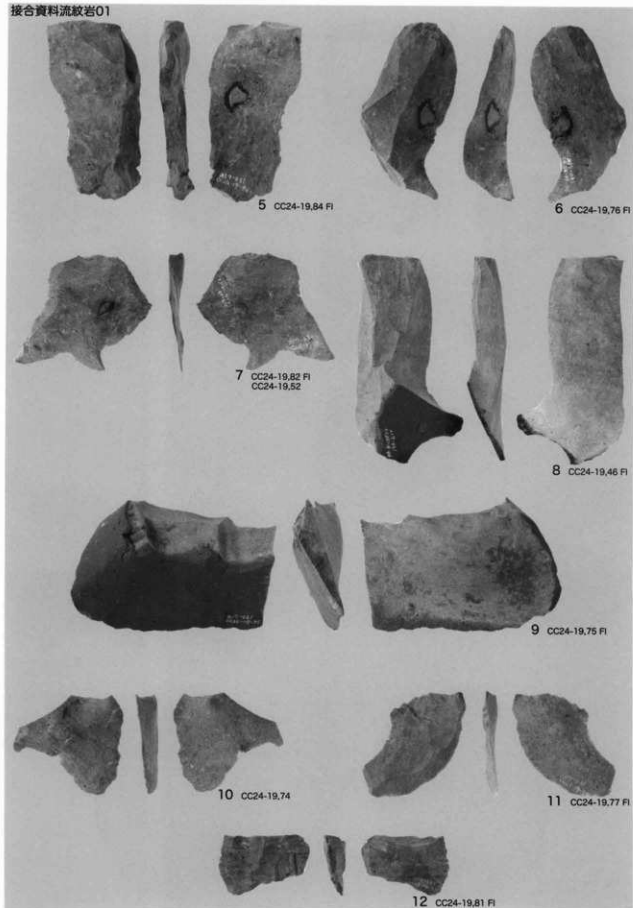
第1文化層出土石器63 (珪質頁岩02)

接合資料流紋岩01

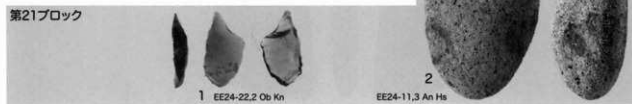
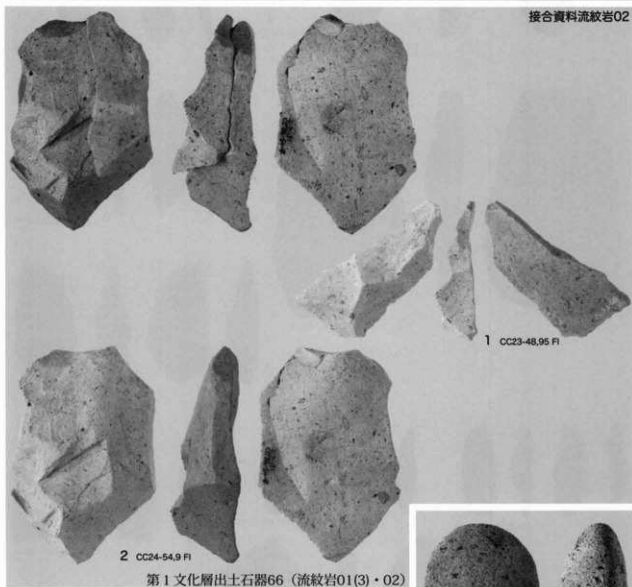
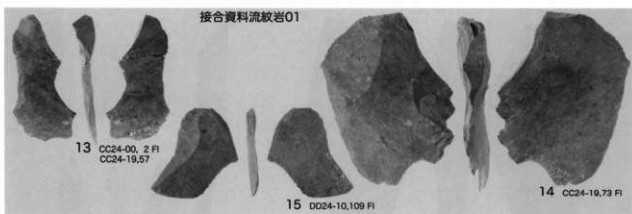


第1文化層出土石器64 (流紋岩01(1))

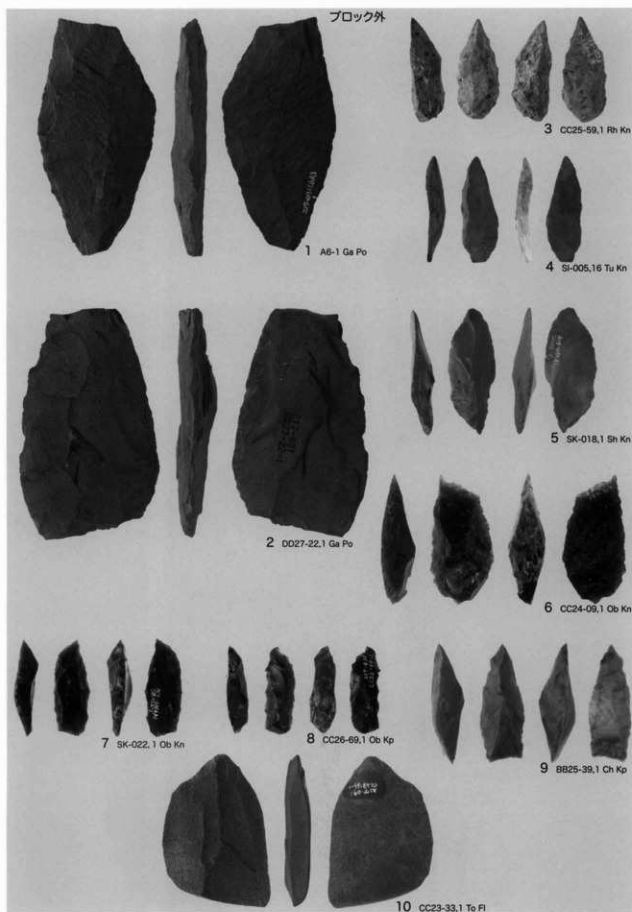
接合資料流紋岩01



第1文化層出土石器65 (流紋岩01(2))



第2文化層出土石器 (第21ブロック)



ブロック外出土石器

報告書抄録

ふりがな	かしわほくぶひがしちくまいぞうぶんかざいはっくつちょうさほうこくしょ
書名	柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書1
副書名	柏市大松遺跡(旧石器時代編)
巻次	1
シリーズ名	千葉県教育振興財団調査報告
シリーズ番号	第589集
編著者名	落合章雄
編集機関	財団法人千葉県教育振興財団 文化財センター
所在地	〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡809番地の2 TEL043(424)4848
発行年月日	西暦2008年1月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
大松遺跡	千葉県柏市 小青田字大松 274-1 ほか	12327	001	35度	139度	第1次		土地区画整理事業に伴う 埋蔵文化財調査
				54分	57分	20011101 ~ 20011127	1,240㎡	
				35秒	53秒	第2次		
						20020107 ~ 20020329	1,150㎡	
						第3次		
						20020107 ~ 20020131	860㎡	
						第4次		
		20020201 ~ 20020329						
		20020408 ~ 20020430	1,480㎡					
		第5次						
		20020408 ~ 20020430	500㎡					
		第6次						
		20020501 ~ 20030314	13,670㎡					
		第7次						
		20021125 ~ 20021129	135㎡					

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
大松遺跡	包蔵地 集落跡	旧石器時代	石器集中地点 21地点	ナイフ形石器、剥片、 碎片、石核	黒曜石を主体とした 接合資料が多数確認 された。

要 約	<p>検出した石器集中地点21地点のうち、立川ローム層区層に属する20地点は、南北方向50m、東西方向40mの遺状に分布している。石器集中地点間の石器接合関係が確認され、環状ユニットと判断される。</p> <p>主要石器は縦長剥片を素材としたナイフ形石器である。使用石材は黒曜石を主体とし、玉髄、頁岩、珪質頁岩、流紋岩等が使用される。</p>
-----	---

千葉県教育振興財団調査報告第589集

柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書 1

— 柏市大松遺跡 —

旧石器時代編

平成20年1月31日発行

編 集	財団法人 千葉県教育振興財団 文化財センター
発 行	独立行政法人 都市再生機構 千葉地域支社 千葉県美浜区中瀬1-3
印 刷	財団法人 千葉県教育振興財団 四街道市鹿渡809番地の2 株式会社 正文社 千葉県中央区都町1-10-6
